

Virtex-4 ライブラリ ガイド (回路図用)

UG620 (v11.3) 2009 年 9 月 16 日

本資料は英語版 (v11.3) を翻訳したものです。英語の更新バージョンがリリースされている場合には、最新の英語版を必ずご参照ください。

ザイリンクス商標および著作権情報



Xilinx is disclosing this user guide, manual, release note, and/or specification (the “Documentation”) to you solely for use in the development of designs to operate with Xilinx hardware devices. You may not reproduce, distribute, republish, download, display, post, or transmit the Documentation in any form or by any means including, but not limited to, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written consent of Xilinx. Xilinx expressly disclaims any liability arising out of your use of the Documentation. Xilinx reserves the right, at its sole discretion, to change the Documentation without notice at any time. Xilinx assumes no obligation to correct any errors contained in the Documentation, or to advise you of any corrections or updates. Xilinx expressly disclaims any liability in connection with technical support or assistance that may be provided to you in connection with the Information.

THE DOCUMENTATION IS DISCLOSED TO YOU “AS-IS” WITH NO WARRANTY OF ANY KIND. XILINX MAKES NO OTHER WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, OR STATUTORY, REGARDING THE DOCUMENTATION, INCLUDING ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NONINFRINGEMENT OF THIRD-PARTY RIGHTS. IN NO EVENT WILL XILINX BE LIABLE FOR ANY CONSEQUENTIAL, INDIRECT, EXEMPLARY, SPECIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING ANY LOSS OF DATA OR LOST PROFITS, ARISING FROM YOUR USE OF THE DOCUMENTATION.

© Copyright 2002–2009 Xilinx Inc. All Rights Reserved. XILINX, the Xilinx logo, the Brand Window and other designated brands included herein are trademarks of Xilinx, Inc. All other trademarks are the property of their respective owners. The PowerPC name and logo are registered trademarks of IBM Corp., and used under license. All other trademarks are the property of their respective owners.

目次

ザイリンクス商標および著作権情報	2
1: このマニュアルについて	45
デザイン エLEMENT	45
2: ファンクション別分類	47
3: デザイン エLEMENT	67
ACC16	68
概要	68
論理表	69
デザインの入力方法	69
詳細情報	69
ACC4	70
概要	70
論理表	71
デザインの入力方法	71
詳細情報	71
ACC8	72
概要	72
論理表	73
デザインの入力方法	73
詳細情報	73
ADD16	74
概要	74
論理表	74
デザインの入力方法	74
詳細情報	74
ADD4	75
概要	75
論理表	75
デザインの入力方法	75
詳細情報	75
ADD8	76
概要	76
論理表	76
デザインの入力方法	76
詳細情報	76
ADSU16	77
概要	77
論理表	77
デザインの入力方法	78
詳細情報	78
ADSU4	79
概要	79
論理表	79
デザインの入力方法	80
詳細情報	80
ADSU8	81
概要	81
論理表	81
デザインの入力方法	82
詳細情報	82
AND12	83
概要	83
デザインの入力方法	83
詳細情報	83
AND16	84

概要.....	84
デザインの入力方法.....	84
詳細情報	84
AND2.....	85
概要.....	85
デザインの入力方法.....	85
詳細情報	85
AND2B1.....	86
概要.....	86
デザインの入力方法.....	86
詳細情報	86
AND2B2.....	87
概要.....	87
デザインの入力方法.....	87
詳細情報	87
AND3.....	88
概要.....	88
デザインの入力方法.....	88
詳細情報	88
AND3B1.....	89
概要.....	89
デザインの入力方法.....	89
詳細情報	89
AND3B2.....	90
概要.....	90
デザインの入力方法.....	90
詳細情報	90
AND3B3.....	91
概要.....	91
デザインの入力方法.....	91
詳細情報	91
AND4.....	92
概要.....	92
デザインの入力方法.....	92
詳細情報	92
AND4B1.....	93
概要.....	93
デザインの入力方法.....	93
詳細情報	93
AND4B2.....	94
概要.....	94
デザインの入力方法.....	94
詳細情報	94
AND4B3.....	95
概要.....	95
デザインの入力方法.....	95
詳細情報	95
AND4B4.....	96
概要.....	96
デザインの入力方法.....	96
詳細情報	96
AND5.....	97
概要.....	97
デザインの入力方法.....	97
詳細情報	97
AND5B1.....	98
概要.....	98
デザインの入力方法.....	98
詳細情報	98

AND5B2	99
概要	99
デザインの入力方法	99
詳細情報	99
AND5B3	100
概要	100
デザインの入力方法	100
詳細情報	100
AND5B4	101
概要	101
デザインの入力方法	101
詳細情報	101
AND5B5	102
概要	102
デザインの入力方法	102
詳細情報	102
AND6	103
概要	103
デザインの入力方法	103
詳細情報	103
AND7	104
概要	104
デザインの入力方法	104
詳細情報	104
AND8	105
概要	105
デザインの入力方法	105
詳細情報	105
AND9	106
概要	106
デザインの入力方法	106
詳細情報	106
BRLSHFT4	107
概要	107
論理表	107
デザインの入力方法	107
詳細情報	107
BRLSHFT8	108
概要	108
論理表	108
デザインの入力方法	108
詳細情報	108
BSCAN_VIRTEX4	109
概要	109
ポートの説明	109
デザインの入力方法	109
使用可能な属性	110
詳細情報	110
BUF	111
概要	111
デザインの入力方法	111
詳細情報	111
BUFCF	112
概要	112
デザインの入力方法	112
詳細情報	112
BUFG	113
概要	113
ポートの説明	113

デザインの入力方法.....	113
詳細情報	113
BUFGCE	114
概要.....	114
論理表.....	114
デザインの入力方法.....	114
詳細情報	114
BUFGCE_1	115
概要.....	115
論理表.....	115
デザインの入力方法.....	115
詳細情報	115
BUFGCTRL	116
概要.....	116
ポートの説明	116
デザインの入力方法.....	116
使用可能な属性.....	117
詳細情報	117
BUFGMUX	118
概要.....	118
論理表.....	118
ポートの説明	118
デザインの入力方法.....	118
使用可能な属性.....	118
詳細情報	119
BUFGMUX_1.....	120
概要.....	120
論理表.....	120
デザインの入力方法.....	120
詳細情報	120
BUFGMUX_VIRTEX4	121
概要.....	121
ポートの説明	121
デザインの入力方法.....	121
詳細情報	121
BUFIO	122
概要.....	122
ポートの説明	122
デザインの入力方法.....	122
詳細情報	122
BUFR.....	123
概要.....	123
ポートの説明	123
デザインの入力方法.....	123
使用可能な属性.....	123
詳細情報	123
CAPTURE_VIRTEX4	124
概要.....	124
ポートの説明	124
デザインの入力方法.....	124
使用可能な属性.....	124
詳細情報	124
CB16CE	125
概要.....	125
論理表.....	125
デザインの入力方法.....	125
詳細情報	125
CB16CLE	126
概要.....	126

論理表.....	127
デザインの入力方法.....	127
詳細情報	127
CB16CLED	128
概要.....	128
論理表.....	128
デザインの入力方法.....	129
詳細情報	129
CB16RE	130
概要.....	130
論理表.....	130
デザインの入力方法.....	130
詳細情報	130
CB2CE.....	131
概要.....	131
論理表.....	131
デザインの入力方法.....	131
詳細情報	131
CB2CLE.....	132
概要.....	132
論理表.....	132
デザインの入力方法.....	132
詳細情報	133
CB2CLED.....	134
概要.....	134
論理表.....	134
デザインの入力方法.....	135
詳細情報	135
CB2RE	136
概要.....	136
論理表.....	136
デザインの入力方法.....	136
詳細情報	136
CB4CE.....	137
概要.....	137
論理表.....	137
デザインの入力方法.....	137
詳細情報	138
CB4CLE.....	139
概要.....	139
論理表.....	139
デザインの入力方法.....	140
詳細情報	140
CB4CLED.....	141
概要.....	141
論理表.....	142
デザインの入力方法.....	142
詳細情報	142
CB4RE	143
概要.....	143
論理表.....	143
デザインの入力方法.....	143
詳細情報	144
CB8CE.....	145
概要.....	145
論理表.....	145
デザインの入力方法.....	145
詳細情報	145
CB8CLE.....	146

概要.....	146
論理表.....	146
デザインの入力方法.....	146
詳細情報	147
CB8CLED.....	148
概要.....	148
論理表.....	148
デザインの入力方法.....	149
詳細情報	149
CB8RE	150
概要.....	150
論理表.....	150
デザインの入力方法.....	150
詳細情報	150
CC16CE.....	151
概要.....	151
論理表.....	151
デザインの入力方法.....	151
詳細情報	151
CC16CLE.....	152
概要.....	152
論理表.....	152
デザインの入力方法.....	152
詳細情報	153
CC16CLED.....	154
概要.....	154
論理表.....	154
デザインの入力方法.....	155
詳細情報	155
CC16RE	156
概要.....	156
論理表.....	156
デザインの入力方法.....	156
詳細情報	156
CC8CE	157
概要.....	157
論理表.....	157
デザインの入力方法.....	157
詳細情報	157
CC8CLE.....	158
概要.....	158
論理表.....	158
デザインの入力方法.....	158
詳細情報	159
CC8CLED	160
概要.....	160
論理表.....	160
デザインの入力方法.....	161
詳細情報	161
CC8RE	162
概要.....	162
論理表.....	162
デザインの入力方法.....	162
詳細情報	162
CD4CE	163
概要.....	163
論理表.....	164
デザインの入力方法.....	164
詳細情報	164

CD4CLE.....	165
概要.....	165
論理表.....	166
デザインの入力方法.....	166
詳細情報	166
CD4RE.....	167
概要.....	167
論理表.....	168
デザインの入力方法.....	168
詳細情報	168
CD4RLE.....	169
概要.....	169
論理表.....	170
デザインの入力方法.....	170
詳細情報	170
CJ4CE	171
概要.....	171
論理表.....	171
デザインの入力方法.....	171
詳細情報	171
CJ4RE.....	172
概要.....	172
論理表.....	172
デザインの入力方法.....	172
詳細情報	172
CJ5CE	173
概要.....	173
論理表.....	173
デザインの入力方法.....	173
詳細情報	173
CJ5RE.....	174
概要.....	174
論理表.....	174
デザインの入力方法.....	174
詳細情報	174
CJ8CE	175
概要.....	175
論理表.....	175
デザインの入力方法.....	175
詳細情報	175
CJ8RE.....	176
概要.....	176
論理表.....	176
デザインの入力方法.....	176
詳細情報	176
COMP16	177
概要.....	177
デザインの入力方法.....	177
詳細情報	177
COMP2.....	178
概要.....	178
デザインの入力方法.....	178
詳細情報	178
COMP4	179
概要.....	179
デザインの入力方法.....	179
詳細情報	179
COMP8	180
概要.....	180

デザインの入力方法.....	180
詳細情報	180
COMP16.....	181
概要.....	181
論理表.....	181
デザインの入力方法.....	181
詳細情報	182
COMP2	183
概要.....	183
論理表.....	183
デザインの入力方法.....	183
詳細情報	183
COMP4	184
概要.....	184
論理表.....	184
デザインの入力方法.....	184
詳細情報	184
COMP8	185
概要.....	185
論理表.....	185
デザインの入力方法.....	185
詳細情報	186
COMPMC16	187
概要.....	187
論理表.....	187
デザインの入力方法.....	187
詳細情報	188
COMPMC8	189
概要.....	189
論理表.....	189
デザインの入力方法.....	189
詳細情報	190
CR16CE	191
概要.....	191
論理表.....	191
デザインの入力方法.....	191
詳細情報	191
CR8CE.....	192
概要.....	192
論理表.....	192
デザインの入力方法.....	192
詳細情報	192
D2_4E	193
概要.....	193
論理表.....	193
デザインの入力方法.....	193
詳細情報	193
D3_8E	194
概要.....	194
論理表.....	194
デザインの入力方法.....	194
詳細情報	194
D4_16E.....	195
概要.....	195
デザインの入力方法.....	195
詳細情報	195
DCIRESET	196
概要.....	196
ポートの説明	196

デザインの入力方法.....	196
使用可能な属性.....	196
詳細情報	196
DCM_ADV.....	197
概要.....	197
ポートの説明	197
デザインの入力方法.....	200
使用可能な属性.....	200
詳細情報	201
DCM_BASE.....	202
概要.....	202
ポートの説明	202
デザインの入力方法.....	204
使用可能な属性.....	204
詳細情報	205
DCM_PS.....	206
概要.....	206
ポートの説明	206
デザインの入力方法.....	208
使用可能な属性.....	209
詳細情報	209
DEC_CC16.....	210
概要.....	210
論理表.....	210
デザインの入力方法.....	210
詳細情報	211
DEC_CC4.....	212
概要.....	212
論理表.....	212
デザインの入力方法.....	212
詳細情報	212
DEC_CC8.....	213
概要.....	213
論理表.....	213
デザインの入力方法.....	213
詳細情報	213
DECODE16.....	214
概要.....	214
論理表.....	214
デザインの入力方法.....	214
詳細情報	214
DECODE32.....	215
概要.....	215
論理表.....	215
デザインの入力方法.....	215
詳細情報	215
DECODE4.....	216
概要.....	216
論理表.....	216
デザインの入力方法.....	216
詳細情報	216
DECODE64.....	217
概要.....	217
論理表.....	217
デザインの入力方法.....	217
詳細情報	217
DECODE8.....	218
概要.....	218
論理表.....	218

デザインの入力方法.....	218
詳細情報	218
DSP48.....	219
概要.....	219
ポートの説明	220
デザインの入力方法.....	223
使用可能な属性.....	223
詳細情報	223
EMAC.....	224
概要.....	224
ポートの説明	224
デザインの入力方法.....	227
詳細情報	227
FD.....	228
概要.....	228
論理表.....	228
デザインの入力方法.....	228
使用可能な属性.....	228
詳細情報	228
FD_1.....	229
概要.....	229
論理表.....	229
デザインの入力方法.....	229
使用可能な属性.....	229
詳細情報	229
FD16CE.....	230
概要.....	230
論理表.....	230
デザインの入力方法.....	230
使用可能な属性.....	230
詳細情報	230
FD16RE.....	231
概要.....	231
論理表.....	231
デザインの入力方法.....	231
使用可能な属性.....	231
詳細情報	231
FD4CE.....	232
概要.....	232
論理表.....	232
デザインの入力方法.....	232
使用可能な属性.....	232
詳細情報	232
FD4RE.....	233
概要.....	233
論理表.....	233
デザインの入力方法.....	233
使用可能な属性.....	233
詳細情報	233
FD8CE.....	234
概要.....	234
論理表.....	234
デザインの入力方法.....	234
使用可能な属性.....	234
詳細情報	234
FD8RE.....	235
概要.....	235
論理表.....	235
デザインの入力方法.....	235

使用可能な属性.....	235
詳細情報	235
FDC	236
概要.....	236
論理表.....	236
デザインの入力方法.....	236
使用可能な属性.....	236
詳細情報	236
FDC_1.....	237
概要.....	237
論理表.....	237
デザインの入力方法.....	237
使用可能な属性.....	237
詳細情報	237
FDCE	238
概要.....	238
論理表.....	238
デザインの入力方法.....	238
使用可能な属性.....	238
詳細情報	238
FDCE_1.....	239
概要.....	239
論理表.....	239
デザインの入力方法.....	239
使用可能な属性.....	239
詳細情報	239
FDCP.....	240
概要.....	240
論理表.....	240
デザインの入力方法.....	240
使用可能な属性.....	240
詳細情報	240
FDCP_1.....	241
概要.....	241
論理表.....	241
デザインの入力方法.....	241
使用可能な属性.....	241
詳細情報	241
FDCPE.....	242
概要.....	242
論理表.....	242
ポートの説明	242
デザインの入力方法.....	243
使用可能な属性.....	243
詳細情報	243
FDCPE_1	244
概要.....	244
論理表.....	244
ポートの説明	244
デザインの入力方法.....	244
使用可能な属性.....	245
詳細情報	245
FDE.....	246
概要.....	246
論理表.....	246
デザインの入力方法.....	246
使用可能な属性.....	246
詳細情報	246
FDE_1	247

概要.....	247
論理表.....	247
デザインの入力方法.....	247
使用可能な属性.....	247
詳細情報	247
FDP.....	248
概要.....	248
論理表.....	248
デザインの入力方法.....	248
使用可能な属性.....	248
詳細情報	248
FDP_1	249
概要.....	249
論理表.....	249
デザインの入力方法.....	249
使用可能な属性.....	249
詳細情報	249
FDPE.....	250
概要.....	250
論理表.....	250
デザインの入力方法.....	250
使用可能な属性.....	250
詳細情報	250
FDPE_1	251
概要.....	251
論理表.....	251
デザインの入力方法.....	251
使用可能な属性.....	251
詳細情報	251
FDR.....	252
概要.....	252
論理表.....	252
デザインの入力方法.....	252
使用可能な属性.....	252
詳細情報	252
FDR_1	253
概要.....	253
論理表.....	253
デザインの入力方法.....	253
使用可能な属性.....	253
詳細情報	253
FDRE.....	254
概要.....	254
論理表.....	254
デザインの入力方法.....	254
使用可能な属性.....	254
詳細情報	254
FDRE_1	255
概要.....	255
論理表.....	255
デザインの入力方法.....	255
使用可能な属性.....	255
詳細情報	255
FDRS.....	256
概要.....	256
論理表.....	256
デザインの入力方法.....	256
使用可能な属性.....	256
詳細情報	256

FDRS_1	257
概要	257
論理表	257
デザインの入力方法	257
使用可能な属性	257
詳細情報	257
FDRSE	258
概要	258
論理表	258
デザインの入力方法	258
使用可能な属性	258
詳細情報	258
FDRSE_1	259
概要	259
論理表	259
デザインの入力方法	259
使用可能な属性	259
詳細情報	259
FDS	260
概要	260
論理表	260
デザインの入力方法	260
使用可能な属性	260
詳細情報	260
FDS_1	261
概要	261
論理表	261
デザインの入力方法	261
使用可能な属性	261
詳細情報	261
FDSE	262
概要	262
論理表	262
デザインの入力方法	262
使用可能な属性	262
詳細情報	262
FDSE_1	263
概要	263
論理表	263
デザインの入力方法	263
使用可能な属性	263
詳細情報	263
FIFO16	264
概要	264
ポートの説明	266
デザインの入力方法	266
使用可能な属性	266
詳細情報	267
FJKC	268
概要	268
論理表	268
デザインの入力方法	268
使用可能な属性	268
詳細情報	268
FJKCE	269
概要	269
論理表	269
デザインの入力方法	269
使用可能な属性	269

詳細情報	269
FJKP.....	270
概要.....	270
論理表.....	270
デザインの入力方法.....	270
使用可能な属性.....	270
詳細情報	270
FJKPE.....	271
概要.....	271
論理表.....	271
デザインの入力方法.....	271
使用可能な属性.....	271
詳細情報	272
FJKRSE	273
概要.....	273
論理表.....	273
デザインの入力方法.....	273
使用可能な属性.....	273
詳細情報	274
FJKSRE	275
概要.....	275
論理表.....	275
デザインの入力方法.....	275
使用可能な属性.....	275
詳細情報	276
FMAP	277
概要.....	277
デザインの入力方法.....	277
詳細情報	277
FRAME_ECC_VIRTEX4.....	278
概要.....	278
ポートの説明	278
デザインの入力方法.....	278
SYNDROME の値とエラー ステータスの関係	278
詳細情報	278
FTC.....	279
概要.....	279
論理表.....	279
デザインの入力方法.....	279
使用可能な属性.....	279
詳細情報	279
FTCE.....	280
概要.....	280
論理表.....	280
デザインの入力方法.....	280
使用可能な属性.....	280
詳細情報	280
FTCLE.....	281
概要.....	281
論理表.....	281
デザインの入力方法.....	281
使用可能な属性.....	281
詳細情報	282
FTCLEX.....	283
概要.....	283
論理表.....	283
デザインの入力方法.....	283
使用可能な属性.....	283
詳細情報	284

FTP	285
概要	285
論理表	285
デザインの入力方法	285
使用可能な属性	285
詳細情報	285
FTPE	286
概要	286
論理表	286
デザインの入力方法	286
使用可能な属性	286
詳細情報	286
FTPLE	287
概要	287
論理表	287
デザインの入力方法	287
使用可能な属性	287
詳細情報	288
FTRSE	289
概要	289
論理表	289
デザインの入力方法	289
使用可能な属性	289
詳細情報	289
FTRSLE	290
概要	290
論理表	290
デザインの入力方法	290
使用可能な属性	291
詳細情報	291
FTSRE	292
概要	292
論理表	292
デザインの入力方法	292
使用可能な属性	292
詳細情報	292
FTSRLE	293
概要	293
論理表	293
デザインの入力方法	293
使用可能な属性	294
詳細情報	294
GND	295
概要	295
デザインの入力方法	295
詳細情報	295
GT11_CUSTOM	296
概要	297
論理表	297
デザインの入力方法	299
詳細情報	299
GT11_DUAL	300
概要	302
論理表	302
デザインの入力方法	306
詳細情報	306
GT11_CLK	307
概要	307
ポートの説明	307

デザインの入力方法.....	307
詳細情報	307
GT11CLK_MGT.....	308
概要.....	308
ポートの説明	308
デザインの入力方法.....	308
詳細情報	308
IBUF.....	309
概要.....	309
ポートの説明	309
デザインの入力方法.....	309
使用可能な属性.....	309
詳細情報	309
IBUF16	310
概要.....	310
デザインの入力方法.....	310
使用可能な属性.....	310
詳細情報	310
IBUF4	311
概要.....	311
デザインの入力方法.....	311
使用可能な属性.....	311
詳細情報	311
IBUF8	312
概要.....	312
デザインの入力方法.....	312
使用可能な属性.....	312
詳細情報	312
IBUFDS.....	313
概要.....	313
論理表.....	313
ポートの説明	313
デザインの入力方法.....	313
使用可能な属性.....	313
詳細情報	314
IBUFDS_DIFF_OUT	315
概要.....	315
デザインの入力方法.....	315
詳細情報	315
IBUFG	316
概要.....	316
ポートの説明	316
デザインの入力方法.....	316
使用可能な属性.....	316
詳細情報	316
IBUFGDS	317
概要.....	317
論理表.....	317
ポートの説明	317
デザインの入力方法.....	317
使用可能な属性.....	318
詳細情報	318
ICAP_VIRTEX4.....	319
概要.....	319
ポートの説明	319
デザインの入力方法.....	319
使用可能な属性.....	319
詳細情報	319
IDDR	320

概要.....	320
ポートの説明.....	320
デザインの入力方法.....	321
使用可能な属性.....	321
詳細情報.....	321
IDELAY.....	322
概要.....	322
ポートの説明.....	322
デザインの入力方法.....	324
使用可能な属性.....	324
詳細情報.....	324
IDELAYCTRL.....	325
概要.....	325
ポートの説明.....	325
デザインの入力方法.....	325
詳細情報.....	325
IFD.....	326
概要.....	326
論理表.....	326
デザインの入力方法.....	326
詳細情報.....	326
IFD_1.....	327
概要.....	327
論理表.....	327
デザインの入力方法.....	327
詳細情報.....	327
IFD16.....	328
概要.....	328
論理表.....	328
デザインの入力方法.....	328
詳細情報.....	328
IFD4.....	329
概要.....	329
論理表.....	329
デザインの入力方法.....	329
詳細情報.....	329
IFD8.....	330
概要.....	330
論理表.....	330
デザインの入力方法.....	330
詳細情報.....	330
IFDI.....	331
概要.....	331
論理表.....	331
デザインの入力方法.....	331
詳細情報.....	331
IFDI_1.....	332
概要.....	332
論理表.....	332
デザインの入力方法.....	332
詳細情報.....	332
IFDX.....	333
概要.....	333
論理表.....	333
デザインの入力方法.....	333
詳細情報.....	333
IFDX_1.....	334
概要.....	334
論理表.....	334

デザインの入力方法.....	334
詳細情報	334
IFDX16	335
概要.....	335
論理表.....	335
デザインの入力方法.....	335
詳細情報	335
IFDX4	336
概要.....	336
論理表.....	336
デザインの入力方法.....	336
詳細情報	336
IFDX8	337
概要.....	337
論理表.....	337
デザインの入力方法.....	337
詳細情報	337
IFDXI.....	338
概要.....	338
論理表.....	338
デザインの入力方法.....	338
詳細情報	338
IFDXI_1	339
概要.....	339
論理表.....	339
デザインの入力方法.....	339
詳細情報	339
ILD	340
概要.....	340
論理表.....	340
デザインの入力方法.....	340
詳細情報	340
ILD_1	341
概要.....	341
論理表.....	341
デザインの入力方法.....	341
詳細情報	341
ILD16.....	342
概要.....	342
論理表.....	342
デザインの入力方法.....	342
詳細情報	342
ILD4	343
概要.....	343
論理表.....	343
デザインの入力方法.....	343
詳細情報	343
ILD8	344
概要.....	344
論理表.....	344
デザインの入力方法.....	344
詳細情報	344
ILDI	345
概要.....	345
論理表.....	345
デザインの入力方法.....	345
詳細情報	345
ILDI_1	346
概要.....	346

論理表.....	346
デザインの入力方法.....	346
詳細情報	346
ILDX.....	347
概要.....	347
論理表.....	347
デザインの入力方法.....	347
詳細情報	347
ILDX_1	348
概要.....	348
論理表.....	348
デザインの入力方法.....	348
詳細情報	348
ILDX16	349
概要.....	349
論理表.....	349
デザインの入力方法.....	349
詳細情報	349
ILDX4	350
概要.....	350
論理表.....	350
デザインの入力方法.....	350
詳細情報	350
ILDX8	351
概要.....	351
論理表.....	351
デザインの入力方法.....	351
詳細情報	351
ILD XI.....	352
概要.....	352
論理表.....	352
デザインの入力方法.....	352
詳細情報	352
ILD XI_1	353
概要.....	353
論理表.....	353
デザインの入力方法.....	353
詳細情報	353
INV.....	354
概要.....	354
デザインの入力方法.....	354
詳細情報	354
INV16	355
概要.....	355
デザインの入力方法.....	355
詳細情報	355
INV4	356
概要.....	356
デザインの入力方法.....	356
詳細情報	356
INV8	357
概要.....	357
デザインの入力方法.....	357
詳細情報	357
IOBUF	358
概要.....	358
論理表.....	358
ポートの説明	358
デザインの入力方法.....	358

使用可能な属性.....	358
詳細情報	359
IOBUFDS	360
概要.....	360
論理表.....	360
ポートの説明	360
デザインの入力方法.....	360
使用可能な属性.....	360
詳細情報	361
ISERDES.....	362
概要.....	362
ポートの説明	364
デザインの入力方法.....	366
使用可能な属性.....	366
詳細情報	366
JTAGPPC	367
概要.....	367
ポートの説明	367
デザインの入力方法.....	367
詳細情報	367
KEEPER.....	368
概要.....	368
ポートの説明	368
デザインの入力方法.....	368
詳細情報	368
LD	369
概要.....	369
論理表.....	369
デザインの入力方法.....	369
使用可能な属性.....	369
詳細情報	369
LD_1.....	370
概要.....	370
論理表.....	370
デザインの入力方法.....	370
使用可能な属性.....	370
詳細情報	370
LD16	371
概要.....	371
論理表.....	371
デザインの入力方法.....	371
使用可能な属性.....	371
詳細情報	371
LD16CE	372
概要.....	372
論理表.....	372
デザインの入力方法.....	372
使用可能な属性.....	372
詳細情報	372
LD4	373
概要.....	373
論理表.....	373
デザインの入力方法.....	373
使用可能な属性.....	373
詳細情報	373
LD4CE	374
概要.....	374
論理表.....	374
デザインの入力方法.....	374

使用可能な属性.....	374
詳細情報	374
LD8	375
概要	375
論理表.....	375
デザインの入力方法.....	375
使用可能な属性.....	375
詳細情報	375
LD8CE.....	376
概要	376
論理表.....	376
デザインの入力方法.....	376
使用可能な属性.....	376
詳細情報	376
LDC	377
概要	377
論理表.....	377
デザインの入力方法.....	377
使用可能な属性.....	377
詳細情報	377
LDC_1.....	378
概要	378
論理表.....	378
デザインの入力方法.....	378
使用可能な属性.....	378
詳細情報	378
LDCE.....	379
概要	379
論理表.....	379
デザインの入力方法.....	379
使用可能な属性.....	379
詳細情報	379
LDCE_1.....	380
概要	380
論理表.....	380
デザインの入力方法.....	380
使用可能な属性.....	380
詳細情報	380
LDCP.....	381
概要	381
論理表.....	381
デザインの入力方法.....	381
使用可能な属性.....	381
詳細情報	381
LDCP_1.....	382
概要	382
論理表.....	382
デザインの入力方法.....	382
使用可能な属性.....	382
詳細情報	382
LDCPE.....	383
概要	383
論理表.....	383
ポートの説明	383
デザインの入力方法.....	384
使用可能な属性.....	384
詳細情報	384
LDCPE_1	385
概要.....	385

論理表.....	385
デザインの入力方法.....	385
使用可能な属性.....	385
詳細情報	385
LDE.....	386
概要.....	386
論理表.....	386
デザインの入力方法.....	386
使用可能な属性.....	386
詳細情報	386
LDE_1.....	387
概要.....	387
論理表.....	387
デザインの入力方法.....	387
使用可能な属性.....	387
詳細情報	387
LDP.....	388
概要.....	388
論理表.....	388
デザインの入力方法.....	388
使用可能な属性.....	388
詳細情報	388
LDP_1.....	389
概要.....	389
論理表.....	389
デザインの入力方法.....	389
使用可能な属性.....	389
詳細情報	389
LDPE.....	390
概要.....	390
論理表.....	390
デザインの入力方法.....	390
使用可能な属性.....	390
詳細情報	390
LDPE_1.....	391
概要.....	391
論理表.....	391
デザインの入力方法.....	391
使用可能な属性.....	391
詳細情報	391
LUT1.....	392
概要.....	392
論理表.....	392
デザインの入力方法.....	392
使用可能な属性.....	392
詳細情報	393
LUT1_D.....	394
概要.....	394
論理表.....	394
デザインの入力方法.....	394
使用可能な属性.....	394
詳細情報	394
LUT1_L.....	395
概要.....	395
論理表.....	395
デザインの入力方法.....	395
使用可能な属性.....	395
詳細情報	395
LUT2.....	396

概要.....	396
論理表.....	396
デザインの入力方法.....	396
使用可能な属性.....	396
詳細情報	397
LUT2_D.....	398
概要.....	398
論理表.....	398
デザインの入力方法.....	398
使用可能な属性.....	398
詳細情報	399
LUT2_L.....	400
概要.....	400
論理表.....	400
デザインの入力方法.....	400
使用可能な属性.....	400
詳細情報	401
LUT3.....	402
概要.....	402
論理表.....	402
デザインの入力方法.....	402
使用可能な属性.....	403
詳細情報	403
LUT3_D.....	404
概要.....	404
論理表.....	404
デザインの入力方法.....	404
使用可能な属性.....	405
詳細情報	405
LUT3_L.....	406
概要.....	406
論理表.....	406
デザインの入力方法.....	406
使用可能な属性.....	407
詳細情報	407
LUT4.....	408
概要.....	408
論理表.....	409
デザインの入力方法.....	409
使用可能な属性.....	409
詳細情報	409
LUT4_D.....	410
概要.....	410
論理表.....	411
デザインの入力方法.....	411
使用可能な属性.....	411
詳細情報	411
LUT4_L.....	412
概要.....	412
論理表.....	413
デザインの入力方法.....	413
使用可能な属性.....	413
詳細情報	413
M16_1E.....	414
概要.....	414
論理表.....	415
デザインの入力方法.....	415
詳細情報	415
M2_1.....	416

概要.....	416
論理表.....	416
デザインの入力方法.....	416
詳細情報	416
M2_1B1	417
概要.....	417
論理表.....	417
デザインの入力方法.....	417
詳細情報	417
M2_1B2	418
概要.....	418
論理表.....	418
デザインの入力方法.....	418
詳細情報	418
M2_1E.....	419
概要.....	419
論理表.....	419
デザインの入力方法.....	419
詳細情報	419
M4_1E.....	420
概要.....	420
論理表.....	420
デザインの入力方法.....	420
詳細情報	420
M8_1E.....	421
概要.....	421
論理表.....	421
デザインの入力方法.....	421
詳細情報	421
MULT_AND	422
概要.....	422
論理表.....	422
デザインの入力方法.....	422
詳細情報	422
MULT18X18	423
概要.....	423
論理表.....	423
デザインの入力方法.....	423
詳細情報	423
MULT18X18S.....	424
概要.....	424
論理表.....	424
デザインの入力方法.....	424
詳細情報	424
MUXCY.....	425
概要.....	425
論理表.....	425
デザインの入力方法.....	425
詳細情報	425
MUXCY_D	426
概要.....	426
論理表.....	426
デザインの入力方法.....	426
詳細情報	426
MUXCY_L.....	427
概要.....	427
論理表.....	427
デザインの入力方法.....	427
詳細情報	427

MUXF5	428
概要.....	428
論理表.....	428
デザインの入力方法.....	428
詳細情報	428
MUXF5_D	429
概要.....	429
論理表.....	429
デザインの入力方法.....	429
詳細情報	429
MUXF5_L	430
概要.....	430
論理表.....	430
デザインの入力方法.....	430
詳細情報	430
MUXF6	431
概要.....	431
論理表.....	431
デザインの入力方法.....	431
詳細情報	431
MUXF6_D	432
概要.....	432
論理表.....	432
デザインの入力方法.....	432
詳細情報	432
MUXF6_L	433
概要.....	433
論理表.....	433
デザインの入力方法.....	433
詳細情報	433
MUXF7	434
概要.....	434
論理表.....	434
ポートの説明	434
デザインの入力方法.....	434
詳細情報	434
MUXF7_D	435
概要.....	435
論理表.....	435
ポートの説明	435
デザインの入力方法.....	435
詳細情報	435
MUXF7_L	436
概要.....	436
論理表.....	436
ポートの説明	436
デザインの入力方法.....	436
詳細情報	436
MUXF8	437
概要.....	437
論理表.....	437
ポートの説明	437
デザインの入力方法.....	437
詳細情報	437
MUXF8_D	438
概要.....	438
論理表.....	438
ポートの説明	438
デザインの入力方法.....	438

詳細情報	438
MUXF8_L	439
概要	439
論理表	439
ポートの説明	439
デザインの入力方法	439
詳細情報	439
NAND12	440
概要	440
デザインの入力方法	440
詳細情報	440
NAND16	441
概要	441
デザインの入力方法	441
詳細情報	441
NAND2	442
概要	442
デザインの入力方法	442
詳細情報	442
NAND2B1	443
概要	443
デザインの入力方法	443
詳細情報	443
NAND2B2	444
概要	444
デザインの入力方法	444
詳細情報	444
NAND3	445
概要	445
デザインの入力方法	445
詳細情報	445
NAND3B1	446
概要	446
デザインの入力方法	446
詳細情報	446
NAND3B2	447
概要	447
デザインの入力方法	447
詳細情報	447
NAND3B3	448
概要	448
デザインの入力方法	448
詳細情報	448
NAND4	449
概要	449
デザインの入力方法	449
詳細情報	449
NAND4B1	450
概要	450
デザインの入力方法	450
詳細情報	450
NAND4B2	451
概要	451
デザインの入力方法	451
詳細情報	451
NAND4B3	452
概要	452
デザインの入力方法	452
詳細情報	452

NAND4B4.....	453
概要.....	453
デザインの入力方法.....	453
詳細情報	453
NAND5.....	454
概要.....	454
デザインの入力方法.....	454
詳細情報	454
NAND5B1.....	455
概要.....	455
デザインの入力方法.....	455
詳細情報	455
NAND5B2.....	456
概要.....	456
デザインの入力方法.....	456
詳細情報	456
NAND5B3.....	457
概要.....	457
デザインの入力方法.....	457
詳細情報	457
NAND5B4.....	458
概要.....	458
デザインの入力方法.....	458
詳細情報	458
NAND5B5.....	459
概要.....	459
デザインの入力方法.....	459
詳細情報	459
NAND6.....	460
概要.....	460
デザインの入力方法.....	460
詳細情報	460
NAND7.....	461
概要.....	461
デザインの入力方法.....	461
詳細情報	461
NAND8.....	462
概要.....	462
デザインの入力方法.....	462
詳細情報	462
NAND9.....	463
概要.....	463
デザインの入力方法.....	463
詳細情報	463
NOR12.....	464
概要.....	464
デザインの入力方法.....	464
詳細情報	464
NOR16.....	465
概要.....	465
デザインの入力方法.....	465
詳細情報	465
NOR2.....	466
概要.....	466
デザインの入力方法.....	466
詳細情報	466
NOR2B1.....	467
概要.....	467
デザインの入力方法.....	467

詳細情報	467
NOR2B2	468
概要	468
デザインの入力方法	468
詳細情報	468
NOR3	469
概要	469
デザインの入力方法	469
詳細情報	469
NOR3B1	470
概要	470
デザインの入力方法	470
詳細情報	470
NOR3B2	471
概要	471
デザインの入力方法	471
詳細情報	471
NOR3B3	472
概要	472
デザインの入力方法	472
詳細情報	472
NOR4	473
概要	473
デザインの入力方法	473
詳細情報	473
NOR4B1	474
概要	474
デザインの入力方法	474
詳細情報	474
NOR4B2	475
概要	475
デザインの入力方法	475
詳細情報	475
NOR4B3	476
概要	476
デザインの入力方法	476
詳細情報	476
NOR4B4	477
概要	477
デザインの入力方法	477
詳細情報	477
NOR5	478
概要	478
デザインの入力方法	478
詳細情報	478
NOR5B1	479
概要	479
デザインの入力方法	479
詳細情報	479
NOR5B2	480
概要	480
デザインの入力方法	480
詳細情報	480
NOR5B3	481
概要	481
デザインの入力方法	481
詳細情報	481
NOR5B4	482
概要	482

デザインの入力方法.....	482
詳細情報	482
NOR5B5	483
概要	483
デザインの入力方法.....	483
詳細情報	483
NOR6.....	484
概要.....	484
デザインの入力方法.....	484
詳細情報	484
NOR7.....	485
概要.....	485
デザインの入力方法.....	485
詳細情報	485
NOR8.....	486
概要.....	486
デザインの入力方法.....	486
詳細情報	486
NOR9.....	487
概要.....	487
デザインの入力方法.....	487
詳細情報	487
OBUF	488
概要.....	488
ポートの説明	488
デザインの入力方法.....	488
使用可能な属性.....	488
詳細情報	488
OBUF16.....	489
概要.....	489
デザインの入力方法.....	489
使用可能な属性.....	489
詳細情報	489
OBUF4.....	490
概要.....	490
デザインの入力方法.....	490
使用可能な属性.....	490
詳細情報	490
OBUF8.....	491
概要.....	491
デザインの入力方法.....	491
使用可能な属性.....	491
詳細情報	491
OBUFDS	492
概要.....	492
論理表.....	492
ポートの説明	492
デザインの入力方法.....	492
使用可能な属性.....	492
詳細情報	492
OBUFT	493
概要.....	493
論理表.....	493
ポートの説明	493
デザインの入力方法.....	493
使用可能な属性.....	493
詳細情報	494
OBUFT16.....	495
概要.....	495

論理表.....	495
デザインの入力方法.....	495
使用可能な属性.....	495
詳細情報	495
OBUFF4	496
概要.....	496
論理表.....	496
デザインの入力方法.....	496
使用可能な属性.....	496
詳細情報	497
OBUFF8	498
概要.....	498
論理表.....	498
デザインの入力方法.....	498
使用可能な属性.....	498
詳細情報	498
OBUFFDS	499
概要.....	499
論理表.....	499
ポートの説明	499
デザインの入力方法.....	499
使用可能な属性.....	499
詳細情報	499
ODDR.....	500
概要.....	500
ポートの説明	500
デザインの入力方法.....	500
使用可能な属性.....	501
詳細情報	501
OFD	502
概要.....	502
論理表.....	502
デザインの入力方法.....	502
詳細情報	502
OFD_1.....	503
概要.....	503
論理表.....	503
デザインの入力方法.....	503
詳細情報	503
OFD16.....	504
概要.....	504
論理表.....	504
デザインの入力方法.....	504
詳細情報	504
OFD4.....	505
概要.....	505
論理表.....	505
デザインの入力方法.....	505
詳細情報	505
OFD8.....	506
概要.....	506
論理表.....	506
デザインの入力方法.....	506
詳細情報	506
OFDE	507
概要.....	507
論理表.....	507
デザインの入力方法.....	507
詳細情報	507

OFDE_1.....	508
概要.....	508
論理表.....	508
デザインの入力方法.....	508
詳細情報	508
OFDE16.....	509
概要.....	509
論理表.....	509
デザインの入力方法.....	509
詳細情報	509
OFDE4.....	510
概要.....	510
論理表.....	510
デザインの入力方法.....	510
詳細情報	510
OFDE8.....	511
概要.....	511
論理表.....	511
デザインの入力方法.....	511
詳細情報	511
OFDI	512
概要.....	512
論理表.....	512
デザインの入力方法.....	512
詳細情報	512
OFDI1.....	513
概要.....	513
論理表.....	513
デザインの入力方法.....	513
詳細情報	513
OFDT	514
概要.....	514
論理表.....	514
デザインの入力方法.....	514
詳細情報	514
OFDT_1.....	515
概要.....	515
論理表.....	515
デザインの入力方法.....	515
詳細情報	515
OFDT16.....	516
概要.....	516
論理表.....	516
デザインの入力方法.....	516
詳細情報	516
OFDT4.....	517
概要.....	517
論理表.....	517
デザインの入力方法.....	517
詳細情報	517
OFDT8.....	518
概要.....	518
論理表.....	518
デザインの入力方法.....	518
詳細情報	518
OFDX.....	519
概要.....	519
論理表.....	519
デザインの入力方法.....	519

詳細情報	519
OFDX_1	520
概要	520
論理表	520
デザインの入力方法	520
詳細情報	520
OFDX16	521
概要	521
論理表	521
デザインの入力方法	521
詳細情報	521
OFDX4	522
概要	522
論理表	522
デザインの入力方法	522
詳細情報	522
OFDX8	523
概要	523
論理表	523
デザインの入力方法	523
詳細情報	523
OFDX1	524
概要	524
論理表	524
デザインの入力方法	524
詳細情報	524
OFDX1.1	525
概要	525
論理表	525
デザインの入力方法	525
詳細情報	525
OR12	526
概要	526
デザインの入力方法	526
詳細情報	526
OR16	527
概要	527
デザインの入力方法	527
詳細情報	527
OR2	528
概要	528
デザインの入力方法	528
詳細情報	528
OR2B1	529
概要	529
デザインの入力方法	529
詳細情報	529
OR2B2	530
概要	530
デザインの入力方法	530
詳細情報	530
OR3	531
概要	531
デザインの入力方法	531
詳細情報	531
OR3B1	532
概要	532
デザインの入力方法	532
詳細情報	532

OR3B2	533
概要	533
デザインの入力方法	533
詳細情報	533
OR3B3	534
概要	534
デザインの入力方法	534
詳細情報	534
OR4	535
概要	535
デザインの入力方法	535
詳細情報	535
OR4B1	536
概要	536
デザインの入力方法	536
詳細情報	536
OR4B2	537
概要	537
デザインの入力方法	537
詳細情報	537
OR4B3	538
概要	538
デザインの入力方法	538
詳細情報	538
OR4B4	539
概要	539
デザインの入力方法	539
詳細情報	539
OR5	540
概要	540
デザインの入力方法	540
詳細情報	540
OR5B1	541
概要	541
デザインの入力方法	541
詳細情報	541
OR5B2	542
概要	542
デザインの入力方法	542
詳細情報	542
OR5B3	543
概要	543
デザインの入力方法	543
詳細情報	543
OR5B4	544
概要	544
デザインの入力方法	544
詳細情報	544
OR5B5	545
概要	545
デザインの入力方法	545
詳細情報	545
OR6	546
概要	546
デザインの入力方法	546
詳細情報	546
OR7	547
概要	547
デザインの入力方法	547

詳細情報	547
OR8	548
概要	548
デザインの入力方法	548
詳細情報	548
OR9	549
概要	549
デザインの入力方法	549
詳細情報	549
OSERDES	550
概要	550
ポートの説明	550
デザインの入力方法	551
使用可能な属性	552
詳細情報	553
PMCD	554
概要	554
ポートの説明	554
デザインの入力方法	555
使用可能な属性	555
詳細情報	555
PPC405.ADV	556
概要	557
デザインの入力方法	557
詳細情報	558
PULLDOWN	559
概要	559
ポートの説明	559
デザインの入力方法	559
詳細情報	559
PULLUP	560
概要	560
ポートの説明	560
デザインの入力方法	560
詳細情報	560
RAM16X1D	561
概要	561
論理表	561
デザインの入力方法	562
使用可能な属性	562
詳細情報	562
RAM16X1D_1	563
概要	563
論理表	563
ポートの説明	564
デザインの入力方法	564
使用可能な属性	564
詳細情報	564
RAM16X1S	565
概要	565
論理表	565
デザインの入力方法	565
使用可能な属性	565
詳細情報	566
RAM16X1S_1	567
概要	567
論理表	567
デザインの入力方法	567
使用可能な属性	567

詳細情報	568
RAM16X2S	569
概要	569
論理表	569
デザインの入力方法	569
使用可能な属性	570
詳細情報	570
RAM16X4S	571
概要	571
論理表	571
デザインの入力方法	571
使用可能な属性	571
詳細情報	572
RAM16X8S	573
概要	573
論理表	573
デザインの入力方法	573
使用可能な属性	573
詳細情報	574
RAM32X1S	575
概要	575
論理表	575
デザインの入力方法	575
使用可能な属性	575
詳細情報	576
RAM32X1S_1	577
概要	577
論理表	577
デザインの入力方法	577
使用可能な属性	577
詳細情報	578
RAM32X2S	579
概要	579
論理表	579
デザインの入力方法	579
使用可能な属性	580
詳細情報	580
RAM32X4S	581
概要	581
論理表	581
デザインの入力方法	581
使用可能な属性	582
詳細情報	582
RAM32X8S	583
概要	583
論理表	583
デザインの入力方法	583
使用可能な属性	584
詳細情報	584
RAM64X1S	585
概要	585
論理表	585
デザインの入力方法	585
使用可能な属性	585
詳細情報	586
RAM64X1S_1	587
概要	587
論理表	587
デザインの入力方法	587

使用可能な属性.....	587
詳細情報	588
RAM64X2S	589
概要.....	589
論理表.....	589
デザインの入力方法.....	589
使用可能な属性.....	590
詳細情報	590
RAMB16.....	591
概要.....	591
ポートの説明	592
デザインの入力方法.....	593
使用可能な属性.....	593
詳細情報	594
RAMB32_S64_ECC	595
概要.....	595
ポートの説明	595
デザインの入力方法.....	596
使用可能な属性.....	596
詳細情報	596
ROM128X1	597
概要.....	597
論理表.....	597
デザインの入力方法.....	597
使用可能な属性.....	598
詳細情報	598
ROM16X1	599
概要.....	599
論理表.....	599
デザインの入力方法.....	599
使用可能な属性.....	600
詳細情報	600
ROM256X1	601
概要.....	601
論理表.....	601
デザインの入力方法.....	602
使用可能な属性.....	602
詳細情報	602
ROM32X1	603
概要.....	603
論理表.....	603
デザインの入力方法.....	603
使用可能な属性.....	604
詳細情報	604
ROM64X1	605
概要.....	605
論理表.....	605
デザインの入力方法.....	605
使用可能な属性.....	606
詳細情報	606
SOP3	607
概要.....	607
デザインの入力方法.....	607
詳細情報	607
SOP3B1A	608
概要.....	608
デザインの入力方法.....	608
詳細情報	608
SOP3B1B.....	609

概要.....	609
デザインの入力方法.....	609
詳細情報	609
SOP3B2A	610
概要.....	610
デザインの入力方法.....	610
詳細情報	610
SOP3B2B.....	611
概要.....	611
デザインの入力方法.....	611
詳細情報	611
SOP3B3.....	612
概要.....	612
デザインの入力方法.....	612
詳細情報	612
SOP4	613
概要.....	613
デザインの入力方法.....	613
詳細情報	613
SOP4B1.....	614
概要.....	614
デザインの入力方法.....	614
詳細情報	614
SOP4B2A	615
概要.....	615
デザインの入力方法.....	615
詳細情報	615
SOP4B2B.....	616
概要.....	616
デザインの入力方法.....	616
詳細情報	616
SOP4B3.....	617
概要.....	617
デザインの入力方法.....	617
詳細情報	617
SOP4B4.....	618
概要.....	618
デザインの入力方法.....	618
詳細情報	618
SR16CE.....	619
概要.....	619
論理表.....	619
デザインの入力方法.....	619
詳細情報	619
SR16CLE.....	620
概要.....	620
論理表.....	620
デザインの入力方法.....	620
詳細情報	621
SR16CLED.....	622
概要.....	622
論理表.....	622
デザインの入力方法.....	622
詳細情報	623
SR16RE	624
概要.....	624
論理表.....	624
デザインの入力方法.....	624
詳細情報	624

SR16RLE	625
概要.....	625
論理表.....	625
デザインの入力方法.....	625
詳細情報	626
SR16RLED	627
概要.....	627
論理表.....	627
デザインの入力方法.....	627
詳細情報	628
SR4CE	629
概要.....	629
論理表.....	629
デザインの入力方法.....	629
詳細情報	629
SR4CLE.....	630
概要.....	630
論理表.....	630
デザインの入力方法.....	631
詳細情報	631
SR4CLED	632
概要.....	632
論理表.....	632
デザインの入力方法.....	633
詳細情報	633
SR4RE.....	634
概要.....	634
論理表.....	634
デザインの入力方法.....	634
詳細情報	634
SR4RLE	635
概要.....	635
論理表.....	635
デザインの入力方法.....	636
詳細情報	636
SR4RLED.....	637
概要.....	637
論理表.....	637
デザインの入力方法.....	638
詳細情報	638
SR8CE	639
概要.....	639
論理表.....	639
デザインの入力方法.....	639
詳細情報	639
SR8CLE.....	640
概要.....	640
論理表.....	640
デザインの入力方法.....	640
詳細情報	641
SR8CLED	642
概要.....	642
論理表.....	642
デザインの入力方法.....	642
詳細情報	643
SR8RE.....	644
概要.....	644
論理表.....	644
デザインの入力方法.....	644

詳細情報	644
SR8RLE	645
概要	645
論理表	645
デザインの入力方法	645
詳細情報	646
SR8RLED	647
概要	647
論理表	647
デザインの入力方法	647
詳細情報	648
SRL16	649
概要	649
論理表	649
デザインの入力方法	649
使用可能な属性	650
詳細情報	650
SRL16_1	651
概要	651
論理表	651
デザインの入力方法	651
使用可能な属性	652
詳細情報	652
SRL16E	653
概要	653
論理表	653
ポートの説明	654
デザインの入力方法	654
使用可能な属性	654
詳細情報	654
SRL16E_1	655
概要	655
論理表	655
デザインの入力方法	655
使用可能な属性	656
詳細情報	656
SRLC16	657
概要	657
論理表	657
デザインの入力方法	657
使用可能な属性	658
詳細情報	658
SRLC16_1	659
概要	659
論理表	659
デザインの入力方法	659
使用可能な属性	659
詳細情報	660
SRLC16E	661
概要	661
論理表	661
デザインの入力方法	661
使用可能な属性	662
詳細情報	662
SRLC16E_1	663
概要	663
論理表	663
デザインの入力方法	663
使用可能な属性	664

詳細情報	664
STARTUP_VIRTEX4	665
概要	665
ポートの説明	665
デザインの入力方法	665
詳細情報	666
USR_ACCESS_VIRTEX4	667
概要	667
ポートの説明	667
デザインの入力方法	667
詳細情報	668
VCC	669
概要	669
デザインの入力方法	669
詳細情報	669
XNOR2	670
概要	670
論理表	670
デザインの入力方法	670
詳細情報	670
XNOR3	671
概要	671
論理表	671
デザインの入力方法	671
詳細情報	671
XNOR4	672
概要	672
論理表	672
デザインの入力方法	672
詳細情報	672
XNOR5	673
概要	673
論理表	673
デザインの入力方法	673
詳細情報	673
XNOR6	674
概要	674
論理表	674
デザインの入力方法	674
詳細情報	674
XNOR7	675
概要	675
論理表	675
デザインの入力方法	675
詳細情報	675
XNOR8	676
概要	676
論理表	676
デザインの入力方法	676
詳細情報	676
XNOR9	677
概要	677
論理表	677
デザインの入力方法	677
詳細情報	677
XOR2	678
概要	678
デザインの入力方法	678
詳細情報	678

XOR3.....	679
概要.....	679
デザインの入力方法.....	679
詳細情報	679
XOR4.....	680
概要.....	680
デザインの入力方法.....	680
詳細情報	680
XOR5.....	681
概要.....	681
デザインの入力方法.....	681
詳細情報	681
XOR6.....	682
概要.....	682
デザインの入力方法.....	682
詳細情報	682
XOR7.....	683
概要.....	683
デザインの入力方法.....	683
詳細情報	683
XOR8.....	684
概要.....	684
デザインの入力方法.....	684
詳細情報	684
XOR9.....	685
概要.....	685
デザインの入力方法.....	685
詳細情報	685
XORCY	686
概要.....	686
論理表.....	686
デザインの入力方法.....	686
詳細情報	686
XORCY.D.....	687
概要.....	687
論理表.....	687
デザインの入力方法.....	687
詳細情報	687
XORCY.L	688
概要.....	688
論理表.....	688
デザインの入力方法.....	688
詳細情報	688

第 1 章

このマニュアルについて

回路図用ライブラリ ガイドは、ISE のオンライン マニュアルの 1 つです。HDL を使用して設計する場合は、HDL 用ライブラリ ガイドを参照してください。

このマニュアルには、次の内容が含まれます。

- ・ 概要
- ・ このアーキテクチャでサポートされるプリミティブとマクロのファンクション別リスト
- ・ 各プリミティブの詳細説明

デザイン エLEMENT

このバージョンのライブラリ ガイドでは、このアーキテクチャのデザイン エLEMENTが記載されています。デザイン エLEMENTはいくつかのカテゴリに分類されています。

- ・ **プリミティブ**：ザイリンクス ライブラリで、ロジックの基本となる最も単純なデザイン エLEMENT。ザイリンクスのプリミティブの例として、BUF (バッファ)、FD (D フリップフロップ) などがあります。
- ・ **マクロ**：ザイリンクス ライブラリの基本となるデザイン エLEMENT。デザイン エLEMENTのプリミティブまたはマクロから作成することができます。たとえば、FD4CE フリップフロップ マクロは 4 つの FDCE プリミティブをまとめたものです。

ザイリンクスでは、さまざまなデバイス アーキテクチャに対応した多数のデザイン エLEMENT (マクロおよびプリミティブ) を含むソフトウェア ライブラリを提供しています。開発システム ソフトウェアのリリースごとに、新しいデザイン エLEMENT が組み込まれます。このマニュアルは、そのようなアーキテクチャ固有のライブラリの 1 つです。

ファンクション別分類

このセクションでは、デバイスに含まれるデザイン エLEMENTをファンクション別に分類して示します。ELEMENT (プリミティブおよびマクロのインプリメンテーション) は、各カテゴリでアルファベット順にリストしています。

アドバンス	フリップフロップ	ラッチ
演算ファンクション	汎用ELEMENT	ロジック
バッファ	ギガビット 11 I/O	LUT
キャリー ロジック	ギガビット I/O/プロセッサ	MAP
クロック リソース	入力/出力ファンクション	メモリ
コンパレータ	I/O	マルチプレクサ
カウンタ	I/O フリップフロップ	シフト レジスタ
デコーダ	I/O ラッチ	シフタ

アドバンス

デザイン ELEMENT	説明
EMAC	プリミティブ : Fully integrated 10/100/1000 Mb/s Ethernet Media Access Controller (Ethernet MAC)
FIFO16	プリミティブ : Virtex-4 Block RAM Based, Built-In FIFO

演算ファンクション

デザイン エLEMENT	説明
ACC16	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset
ACC4	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset
ACC8	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset
ADD16	マクロ : 16-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADD4	マクロ : 4-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADD8	マクロ : 8-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADSU16	マクロ : 16-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADSU4	マクロ : 4-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
ADSU8	マクロ : 8-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow
DSP48	プリミティブ : 18x18 Signed Multiplier Followed by a Three-Input Adder with Optional Pipeline Registers
MULT18X18	プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier
MULT18X18S	プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier -- Registered Version

バッファ

デザイン エLEMENT	説明
BUF	プリミティブ : General Purpose Buffer
BUFCF	プリミティブ : Fast Connect Buffer
BUFG	プリミティブ : Global Clock Buffer
BUFGCE	プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable
BUFGCE_1	プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable and Output State 1
BUFGMUX	プリミティブ : Global Clock MUX Buffer
BUFGMUX_1	プリミティブ : Global Clock MUX Buffer with Output State 1

キャリー ロジック

デザイン エLEMENT	説明
MUXCY	プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with General Output
MUXCY_D	プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Dual Output
MUXCY_L	プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Local Output
XORCY	プリミティブ : XOR for Carry Logic with General Output
XORCY_D	プリミティブ : XOR for Carry Logic with Dual Output
XORCY_L	プリミティブ : XOR for Carry Logic with Local Output

クロック リソース

デザイン エLEMENT	説明
BUFGCTRL	プリミティブ : Global Clock MUX Buffer
BUFGMUX_VIRTEX4	プリミティブ : Global Clock MUX Buffer
BUFIO	プリミティブ : Local Clock Buffer for I/O
BUFR	プリミティブ : Regional Clock Buffer for I/O and Logic Resources
DCM_ADV	プリミティブ : Advanced Digital Clock Manager Circuit
DCM_BASE	プリミティブ : Base Digital Clock Manager Circuit
DCM_PS	プリミティブ : Digital Clock Manager with Basic and Phase Shift Features
GT11CLK	プリミティブ : A MUX That Can Select From Differential Package Input Clock, refclk From the Fabric, or rxblck to Drive the Two Vertical Reference Clock Buses for the Column of MGTs
GT11CLK_MGT	プリミティブ : Allows Differential Package Input to Drive the Two Vertical Reference Clock Buses for the Column of MGTs
PMCD	プリミティブ : Phase-Matched Clock Divider

コンパレータ

デザイン エLEMENT	説明
COMP16	マクロ : 16-Bit Identity Comparator
COMP2	マクロ : 2-Bit Identity Comparator
COMP4	マクロ : 4-Bit Identity Comparator
COMP8	マクロ : 8-Bit Identity Comparator
COMPM16	マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator
COMPM2	マクロ : 2-Bit Magnitude Comparator
COMPM4	マクロ : 4-Bit Magnitude Comparator
COMPM8	マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator
COMPMC16	マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator
COMPMC8	マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator

カウンタ

デザイン エLEMENT	説明
CB16CE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB16CLE	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB16CLED	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB16RE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CB2CE	マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB2CLE	マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear

デザイン エLEMENT	説明
CB2CLED	マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB2RE	マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CB4CE	マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB4CLE	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB4CLED	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB4RE	マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CB8CE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB8CLE	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB8CLED	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear
CB8RE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CC16CE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC16CLE	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC16CLED	マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC16RE	マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CC8CE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC8CLE	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC8CLED	マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CC8RE	マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CD4CE	マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CD4CLE	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CD4RE	マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CD4RLE	マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CJ4CE	4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CJ4RE	マクロ : 4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CJ5CE	マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CJ5RE	マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CJ8CE	マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CJ8RE	マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset
CR16CE	マクロ : 16-Bit Negative-Edge Binary Ripple Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear
CR8CE	マクロ : 8-Bit Negative-Edge Binary Ripple Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear

デコーダ

デザイン エLEMENT	説明
D2_4E	マクロ : 2- to 4-Line Decoder/Demultiplexer with Enable
D3_8E	マクロ : 3- to 8-Line Decoder/Demultiplexer with Enable
D4_16E	マクロ : 4- to 16-Line Decoder/Demultiplexer with Enable
DEC_CC16	マクロ : 16-Bit Active Low Decoder
DEC_CC4	マクロ : 4-Bit Active Low Decoder
DEC_CC8	マクロ : 8-Bit Active Low Decoder
DECODE16	マクロ : 16-Bit Active-Low Decoder
DECODE32	マクロ : 32-Bit Active-Low Decoder
DECODE4	マクロ : 4-Bit Active-Low Decoder
DECODE64	マクロ : 64-Bit Active-Low Decoder
DECODE8	マクロ : 8-Bit Active-Low Decoder

フリップフロップ

デザイン エLEMENT	説明
FD	プリミティブ : D Flip-Flop
FD_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock
FD16CE	マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
FD16RE	マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset
FD4CE	マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
FD4RE	マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset
FD8CE	マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
FD8RE	マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset
FDC	プリミティブ : D Flip-Flop with Asynchronous Clear
FDC_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Clear
FDCE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FDCE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Clear
FDCP	プリミティブ : D Flip-Flop with Asynchronous Preset and Clear
FDCP_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Preset and Clear
FDCPE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset and Clear
FDCPE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Preset and Clear
FDE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable
FDE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Clock Enable
FDP	プリミティブ : D Flip-Flop with Asynchronous Preset
FDP_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Preset

デザイン エLEMENT	説明
FDPE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FDPE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Preset
FDR	プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Reset
FDR_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Reset
FDRE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset
FDRE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge, Clock Enable, and Synchronous Reset
FDRS	プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Reset and Set
FDRS_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge and Synchronous Reset and Set
FDRSE	プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Reset and Set and Clock Enable
FDRSE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge, Synchronous Reset and Set, and Clock Enable
FDS	プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Set
FDS_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Set
FDSE	プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set
FDSE_1	プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Synchronous Set
FJKC	マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Clear
FJKCE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FJKP	マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Preset
FJKPE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FJKRSE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set
FJKSRE	マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset
FTC	マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Clear
FTCE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FTCLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FTCLEX	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear
FTP	マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Preset
FTPE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FTPLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset
FTRSE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set
FTRSLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set
FTSRE	マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset
FTSRLE	マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset

汎用エレメント

デザイン エレメント	説明
BSCAN_VIRTEX4	プリミティブ : Virtex®-4 JTAG Boundary-Scan Logic Access Circuit
CAPTURE_VIRTEX4	プリミティブ : Virtex®-4 Boundary Scan Logic Control Circuit
FRAME_ECC_VIRTEX4	プリミティブ : Reads a Single, Virtex®-4 Configuration Frame and Computes a Hamming, Single-Error Correction, Double-Error Detection Syndrome
GND	プリミティブ : Ground-Connection Signal Tag
ICAP_VIRTEX4	プリミティブ : Virtex-4 Internal Configuration Access Port
KEEPER	プリミティブ : KEEPER Symbol
PULLDOWN	プリミティブ : Resistor to GND for Input Pads, Open-Drain, and 3-State Outputs
PULLUP	プリミティブ : Resistor to VCC for Input PADS, Open-Drain, and 3-State Outputs
STARTUP_VIRTEX4	プリミティブ : Virtex®-4 User Interface to Configuration Clock, Global Reset, Global 3-State Controls, and Other Configuration Signals
USR_ACCESS_VIRTEX4	プリミティブ : 32-Bit Register with a 32-Bit DATA Bus and a DATAVALID Port
VCC	プリミティブ : VCC-Connection Signal Tag

ギガビット 11 I/O

デザイン エレメント	説明
GT11_CUSTOM	プリミティブ : RocketIO MGTs with 622 Mb/s to 11.1 Gb/s Data Rates, 8 to 24 Transceivers per FPGA, and 2.5 GHz 5.55 GHz VCO, Less Than 1ns RMS Jitter
GT11_DUAL	プリミティブ : RocketIO MGT Tile (contains 2 GT11_CUSTOM) with 622 Mb/s to 11.1 Gb/s data rates, 8 to 24 transceivers per FPGA, and 2.5 GHz 5.55 GHz VCO, less than 1ns RMS jitter

ギガビット I/O/プロセッサ

デザイン エレメント	説明
JTAGPPC	プリミティブ : JTAG プリミティブ for the Power PC
PPC405_ADV	プリミティブ : プリミティブ for the Power PC Core

入力/出力ファンクション

デザイン エレメント	説明
DCIRESET	プリミティブ : DCI State Machine Reset (After Configuration Has Been Completed)
IDDR	プリミティブ : Input Dual Data-Rate Register
IDELAY	プリミティブ : Input Delay Element
IDELAYCTRL	プリミティブ : IDELAY Tap Delay Value Control
ISERDES	プリミティブ : Dedicated I/O Buffer Input Deserializer
ODDR	プリミティブ : Dedicated Dual Data Rate (DDR) Output Register
OSERDES	プリミティブ : Dedicated IOB Output Serializer

I/O

デザイン エLEMENT	説明
IBUF	プリミティブ : Input Buffer
IBUF16	マクロ : 16-Bit Input Buffer
IBUF4	マクロ : 4-Bit Input Buffer
IBUF8	マクロ : 8-Bit Input Buffer
IBUFDS	プリミティブ : Differential Signaling Input Buffer
IBUFDS_DIFF_OUT	プリミティブ : Differential I/O Input Buffer with Differential Outputs
IBUFG	プリミティブ : Dedicated Input Clock Buffer
IBUFGDS	プリミティブ : Differential Signaling Dedicated Input Clock Buffer and Optional Delay
IOBUF	プリミティブ : Bi-Directional Buffer
IOBUFDS	プリミティブ : 3-State Differential Signaling I/O Buffer with Active Low Output Enable
OBUF	プリミティブ : Output Buffer
OBUF16	マクロ : 16-Bit Output Buffer
OBUF4	マクロ : 4-Bit Output Buffer
OBUF8	マクロ : 8-Bit Output Buffer
OBUFDS	プリミティブ : Differential Signaling Output Buffer
OBUFT	プリミティブ : 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable
OBUFT16	マクロ : 16-Bit 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable
OBUFT4	マクロ : 4-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable
OBUFT8	マクロ : 8-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable
OBUFTDS	プリミティブ : 3-State Output Buffer with Differential Signaling, Active-Low Output Enable

I/O フリップフロップ

デザイン エLEMENT	説明
IFD	マクロ : Input D Flip-Flop
IFD_1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)
IFD16	マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flop
IFD4	マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop
IFD8	マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop
IFDI	マクロ : Input D Flip-Flop (Asynchronous Preset)
IFDI_1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)
IFDX	マクロ : Input D Flip-Flop with Clock Enable
IFDX_1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable
IFDX16	マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flops with Clock Enable
IFDX4	マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable

デザイン エLEMENT	説明
IFDX8	マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable
IFDXI	マクロ : Input D Flip-Flop with Clock Enable (Asynchronous Preset)
IFDXL1	マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable (Asynchronous Preset)
OFD	マクロ : Output D Flip-Flop
OFD1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock
OFD16	マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop
OFD4	マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop
OFD8	マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop
OFDE	マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDE1	マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffer and Inverted Clock
OFDE16	マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDE4	マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDE8	マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers
OFDI	マクロ : Output D Flip-Flop (Asynchronous Preset)
OFDI1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)
OFDT	マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer
OFDT1	マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer and Inverted Clock
OFDT16	マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers
OFDT4	マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers
OFDT8	マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers
OFDX	マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDX1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable
OFDX16	マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDX4	マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDX8	マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable
OFDXI	マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable (Asynchronous Preset)
OFDXL1	マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable (Asynchronous Preset)

I/O ラッチ

デザイン エLEMENT	説明
ILD	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILD_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate
ILD16	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILD4	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILD8	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILDI	マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)
ILDI_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)
ILDx	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILDx_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate
ILDx16	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILDx4	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILDx8	マクロ : Transparent Input Data Latch
ILDxI	マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)
ILDxI_1	マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)

ラッチ

デザイン エLEMENT	説明
LD	プリミティブ : Transparent Data Latch
LD_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Inverted Gate
LD16	マクロ : Multiple Transparent Data Latch
LD16CE	マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LD4	マクロ : Multiple Transparent Data Latch
LD4CE	マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LD8	マクロ : Multiple Transparent Data Latch
LD8CE	マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LDC	プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear
LDC_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Inverted Gate
LDCE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable
LDCE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear, Gate Enable, and Inverted Gate
LDCP	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset
LDCP_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset and Inverted Gate
LDCPE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset and Gate Enable
LDCPE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset, Gate Enable, and Inverted Gate
LDE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable
LDE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable and Inverted Gate
LDP	プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset
LDP_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Inverted Gate
LDPE	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Gate Enable
LDPE_1	プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset, Gate Enable, and Inverted Gate

ロジック

デザイン エLEMENT	説明
AND12	マクロ : 12- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND16	マクロ : 16- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND2	プリミティブ : 2-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND2B1	プリミティブ : 2-Input AND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND2B2	プリミティブ : 2-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND3	プリミティブ : 3-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND3B1	プリミティブ : 3-Input AND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
AND3B2	プリミティブ : 3-Input AND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs

デザイン エLEMENT	説明
AND3B3	プリミティブ : 3-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND4	プリミティブ : 4-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND4B1	プリミティブ : 4-Input AND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
AND4B2	プリミティブ : 4-Input AND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
AND4B3	プリミティブ : 4-Input AND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND4B4	プリミティブ : 4-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND5	プリミティブ : 5-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND5B1	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
AND5B2	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
AND5B3	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
AND5B4	プリミティブ : 5-Input AND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
AND5B5	プリミティブ : 5-Input AND Gate with Inverted Inputs
AND6	マクロ : 6-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND7	マクロ : 7-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND8	マクロ : 8-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
AND9	マクロ : 9-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs
INV	プリミティブ : Inverter
INV16	マクロ : 16 Inverters
INV4	マクロ : Four Inverters
INV8	マクロ : Eight Inverters
MULT_AND	プリミティブ : Fast Multiplier AND
NAND12	マクロ : 12- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND16	マクロ : 16- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND2	プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND2B1	プリミティブ : 2-Input NAND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND2B2	プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND3	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND3B1	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NAND3B2	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND3B3	プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND4	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND4B1	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NAND4B2	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NAND4B3	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND4B4	プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND5	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs

デザイン エLEMENT	説明
NAND5B1	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
NAND5B2	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NAND5B3	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NAND5B4	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NAND5B5	プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Inverted Inputs
NAND6	マクロ : 6-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND7	マクロ : 7-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND8	マクロ : 8-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NAND9	マクロ : 9-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs
NOR12	マクロ : 12-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR16	マクロ : 16-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR2	プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR2B1	プリミティブ : 2-Input NOR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR2B2	プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR3	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR3B1	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NOR3B2	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR3B3	プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR4	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR4B1	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NOR4B2	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NOR4B3	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR4B4	プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR5	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR5B1	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
NOR5B2	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
NOR5B3	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
NOR5B4	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
NOR5B5	プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Inverted Inputs
NOR6	マクロ : 6-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR7	マクロ : 7-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR8	マクロ : 8-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
NOR9	マクロ : 9-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs
OR12	マクロ : 12-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR16	マクロ : 16-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR2	プリミティブ : 2-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs

デザイン エLEMENT	説明
OR2B1	プリミティブ : 2-Input OR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR2B2	プリミティブ : 2-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR3	プリミティブ : 3-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR3B1	プリミティブ : 3-Input OR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
OR3B2	プリミティブ : 3-Input OR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR3B3	プリミティブ : 3-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR4	プリミティブ : 4-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR4B1	プリミティブ : 4-Input OR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
OR4B2	プリミティブ : 4-Input OR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
OR4B3	プリミティブ : 4-Input OR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR4B4	プリミティブ : 4-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR5	プリミティブ : 5-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR5B1	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs
OR5B2	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs
OR5B3	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs
OR5B4	プリミティブ : 5-Input OR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs
OR5B5	プリミティブ : 5-Input OR Gate with Inverted Inputs
OR6	マクロ : 6-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR7	マクロ : 7-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR8	マクロ : 8-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
OR9	マクロ : 9-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs
SOP3	マクロ : 3-Input Sum of Products
SOP3B1A	マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option A)
SOP3B1B	マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option B)
SOP3B2A	マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)
SOP3B2B	マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)
SOP3B3	マクロ : 3-Input Sum of Products with Inverted Inputs
SOP4	マクロ : 4-Input Sum of Products
SOP4B1	マクロ : 4-Input Sum of Products with One Inverted Input
SOP4B2A	マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)
SOP4B2B	マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)
SOP4B3	マクロ : 4-Input Sum of Products with Three Inverted Inputs
SOP4B4	マクロ : 4-Input Sum of Products with Inverted Inputs
XNOR2	プリミティブ : 2-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR3	プリミティブ : 3-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR4	プリミティブ : 4-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs

デザイン エLEMENT	説明
XNOR5	プリミティブ : 5-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR6	マクロ : 6-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR7	マクロ : 7-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR8	マクロ : 8-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XNOR9	マクロ : 9-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR2	プリミティブ : 2-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR3	プリミティブ : 3-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR4	プリミティブ : 4-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR5	プリミティブ : 5-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR6	マクロ : 6-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR7	マクロ : 7-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR8	マクロ : 8-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs
XOR9	マクロ : 9-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs

LUT

デザイン エLEMENT	説明
LUT1	プリミティブ : 1-Bit Look-Up Table with General Output
LUT1_D	プリミティブ : 1-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT1_L	プリミティブ : 1-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT2	プリミティブ : 2-Bit Look-Up Table with General Output
LUT2_D	プリミティブ : 2-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT2_L	プリミティブ : 2-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT3	プリミティブ : 3-Bit Look-Up Table with General Output
LUT3_D	プリミティブ : 3-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT3_L	プリミティブ : 3-Bit Look-Up Table with Local Output
LUT4	プリミティブ : 4-Bit Look-Up-Table with General Output
LUT4_D	プリミティブ : 4-Bit Look-Up Table with Dual Output
LUT4_L	プリミティブ : 4-Bit Look-Up Table with Local Output

MAP

デザイン エLEMENT	説明
FMAP	プリミティブ : F Function Generator Partitioning Control Symbol

メモリ

デザイン エレメント	説明
RAM16X1D	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM
RAM16X1D_1	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM16X1S	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM
RAM16X1S_1	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM16X2S	プリミティブ : 16-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM
RAM16X4S	プリミティブ : 16-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM
RAM16X8S	プリミティブ : 16-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X1S	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X1S_1	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM32X2S	プリミティブ : 32-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X4S	プリミティブ : 32-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM
RAM32X8S	プリミティブ : 32-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM
RAM64X1S	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM
RAM64X1S_1	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock
RAM64X2S	プリミティブ : 64-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM
RAMB16	プリミティブ : 16K-bit Data and 2K-bit Parity Single-Port Synchronous Block RAM with Configurable Port Widths
RAMB32_S64_ECC	プリミティブ : 512 Deep by 64-Bit Wide Synchronous, Two-Port Block RAM with Built-In Error Correction
ROM128X1	プリミティブ : 128-Deep by 1-Wide ROM
ROM16X1	プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide ROM
ROM256X1	プリミティブ : 256-Deep by 1-Wide ROM
ROM32X1	プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide ROM
ROM64X1	プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide ROM

マルチプレクサ

デザイン エLEMENT	説明
M16_1E	マクロ : 16-to-1 Multiplexer with Enable
M2_1	マクロ : 2-to-1 Multiplexer
M2_1B1	マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 Inverted
M2_1B2	マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 and D1 Inverted
M2_1E	マクロ : 2-to-1 Multiplexer with Enable
M4_1E	マクロ : 4-to-1 Multiplexer with Enable
M8_1E	マクロ : 8-to-1 Multiplexer with Enable
MUXF5	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output
MUXF5_D	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output
MUXF5_L	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output
MUXF6	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output
MUXF6_D	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output
MUXF6_L	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output
MUXF7	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output
MUXF7_D	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output
MUXF7_L	プリミティブ : 2-to-1 look-up table Multiplexer with Local Output
MUXF8	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output
MUXF8_D	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output
MUXF8_L	プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output

シフトレジスタ

デザイン エLEMENT	説明
SR16CE	マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR16CLE	マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR16CLED	マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR16RE	マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR16RLE	マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR16RLED	マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR4CE	マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR4CLE	マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR4CLED	マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR4RE	マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR4RLE	マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR4RLED	マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR8CE	マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR8CLE	マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR8CLED	マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear
SR8RE	マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR8RLE	マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SR8RLED	マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset
SRL16	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT)
SRL16_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock
SRL16E	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Clock Enable
SRL16E_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock and Clock Enable
SRLC16	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry
SRLC16_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Negative-Edge Clock
SRLC16E	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Clock Enable
SRLC16E_1	プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry, Negative-Edge Clock, and Clock Enable

シフタ

デザイン エLEMENT	説明
BRLSHFT4	マクロ : 4-Bit Barrel Shifter
BRLSHFT8	マクロ : 8-Bit Barrel Shifter

デザイン エLEMENT

このセクションでは、このアーキテクチャで利用できるデザイン エLEMENTについて説明します。デザイン エLEMENTは、アルファベット順に並べられています。

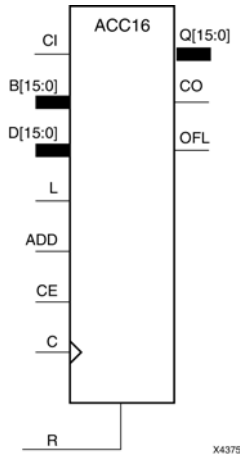
各ライブラリ エLEMENTについて、次の情報を示します。

- ・ 名称
- ・ 説明
- ・ 回路図シンボル (該当するELEMENTでのみ)
- ・ 論理表 (該当するELEMENTでのみ)
- ・ ポートの説明 (該当するELEMENTでのみ)
- ・ デザインの入力方法
- ・ 使用可能な属性 (該当するELEMENTでのみ)
- ・ その他のリソース

VHDL および Verilog のインスタンス化コードの例は、ISE ソフトウェア ([Edit] → [Language Templates]) またはこのアーキテクチャの HDL 用のライブラリ ガイドから入手できます。

ACC16

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、16 ビット データレジスタの値に対して 16 ビットの符号なし 2 進数または 2 の補数ワードを加算または減算して、その結果をレジスタに保存します。レジスタには、16 ビットワードでロードできます。

ロード入力 (L) が High になると、CE が無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がレジスタにロードされます。ACC16 では、入力 D15 ~ D0 の値が 16 ビットレジスタにロードされます。

このデザイン エLEMENTは、16 ビットの符号なし 2 進数または 16 ビットの 2 の補数を処理します。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数ではキャリー出力 (CO) が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

- ・ 符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボロアウトで、Low になります。CO は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。CO には、入力 B15 ~ B0 入力の値の加算値が常に出力されます。このため、各 ACC16 の CO を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

- ・ 2 の補数演算の場合、-8 ~ +7 までの数を表現できます。加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。オーバーフロー (OFL) は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。OFL には、B 入力 (B15 ~ B0) とレジスタの値の合計が常に出力されます。このため、各 ACC4 の OFL を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。

2 の補数演算では、CO は無視されます。

同期リセット (R) は、ほかのすべての入力よりも優先され、R が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が Low の場合は、C の遷移は無視されます。

電力を供給すると、このデザイン エLEMENTは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	L	CE	ADD	D	C	Q
1	x	x	x	x	↑	0
0	1	x	x	D _n	↑	D _n
0	0	1	1	x	↑	Q0 + B _n + CI
0	0	1	0	x	↑	Q0 - B _n - CI
0	0	0	x	x	↑	変化なし
Q0 : Q の以前の値 B _n : データ入力 B の値 CI : 入力 CI の値						

デザインの入力方法

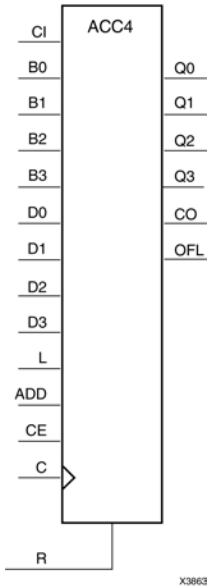
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ACC4

マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビット データレジスタの値に対して 4 ビットの符号なし 2 進数または 2 の補数ワードを加算または減算して、その結果をレジスタに保存します。レジスタには、4 ビット ワードでロードできます。

ロード入力 (L) が High になると、CE が無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がレジスタにロードされます。ACC4 では、入力 D3 ~ D0 の値が 4 ビットレジスタにロードされます。

このデザイン エLEMENTは、4 ビットの符号なし 2 進数または 4 ビットの 2 の補数を処理します。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数ではキャリー出力 (CO) が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

- ・ 符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。CO は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。CO には、入力 B3 ~ B0 入力の値の加算値が常に出力されます。このため、各 ACC4 の CO を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

- ・ 2 の補数演算の場合、-8 ~ +7 までの数を表現できます。加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。オーバーフロー (OFL) は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。OFL には、B 入力 (B3 ~ B0) とレジスタの値の合計が常に出力されます。このため、各 ACC4 の OFL を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。

2 の補数演算では、CO は無視されます。

同期リセット (R) は、ほかのすべての入力よりも優先され、R が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が Low の場合は、C の遷移は無視されます。

電力を供給すると、このデザイン エLEMENTは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	L	CE	ADD	D	C	Q
1	x	x	x	x	↑	0
0	1	x	x	Dn	↑	Dn
0	0	1	1	x	↑	$Q0 + Bn + CI$
0	0	1	0	x	↑	$Q0 - Bn - CI$
0	0	0	x	x	↑	変化なし
Q0 : Q の以前の値 Bn : データ入力 B の値 CI : 入力 CI の値						

デザインの入力方法

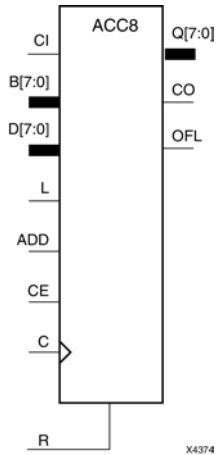
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ACC8

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Accumulator with Carry-In, Carry-Out, and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビット データレジスタの値に対して 8 ビットの符号なし 2 進数または 2 の補数ワードを加算または減算して、その結果をレジスタに保存します。レジスタには、8 ビット ワードでロードできます。

ロード入力 (L) が High になると、CE が無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がレジスタにロードされます。ACC8 では、入力 D7 ~ D0 の値が 8 ビットレジスタにロードされます。

このデザイン エLEMENTは、8 ビットの符号なし 2 進数または 8 ビットの 2 の補数処理します。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数ではキャリー出力 (CO) が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

- ・ 符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 255 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。CO は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。CO には、入力 B3 ~ B0 入力の値の加算値が常に出力されます。このため、各 ACC8 の CO を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

- ・ 2 の補数演算の場合、-128 ~ +127 までの数を表現できます。加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。オーバーフロー (OFL) は、データ出力と同時にレジスタに出力されません。OFL には、B 入力 (B3 ~ B0) とレジスタの値の合計が常に出力されます。このため、各 ACC8 の OFL を次の段の CI に接続してカスケード接続できます。

2 の補数演算では、CO は無視されます。

同期リセット (R) は、ほかのすべての入力よりも優先され、R が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が Low の場合は、C の遷移は無視されます。

電力を供給すると、このデザイン エLEMENTは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	L	CE	ADD	D	C	Q
1	x	x	x	x	↑	0
0	1	x	x	D _n	↑	D _n
0	0	1	1	x	↑	Q0 + B _n + CI
0	0	1	0	x	↑	Q0 - B _n - CI
0	0	0	x	x	↑	変化なし
Q0 : Q の以前の値 B _n : データ入力 B の値 CI : 入力 CI の値						

デザインの入力方法

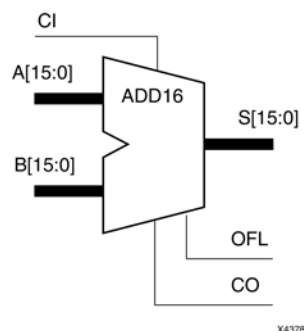
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ADD16

マクロ : 16-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

このエレメントは、2 つのワードとキャリー入力 (CI) を加算して、その和とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。A15 ~ A0、B15 ~ B0、および CI が加算され、その和 S15 ~ S0 および CO (または OFL) が出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	S
A _n	B _n	A _n + B _n + CI
CI : 入力 CI の値		

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、16 ビットの符号なし 2 進数または 16 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。したがって、符号なし 2 進数が入力された場合は CO 出力を確認し、2 の補数が入力された場合は OFL 出力を確認します。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 65535 までの数を表現できます。符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-32768 から +32767 までの数を表現できます。合計値が加算器の範囲を超えると、OFL がアクティブ (High) になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

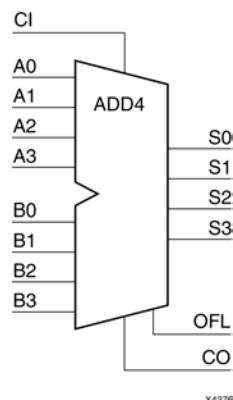
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ADD4

マクロ : 4-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

このエレメントは、2 つのワードとキャリー入力 (CI) を加算して、その和とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。A3 ~ A0、B3 ~ B0、および CI が加算され、その和 S3 ~ S0 および CO (または OFL) が出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	S
A _n	B _n	A _n + B _n + CI
CI : 入力 CI の値		

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、4 ビットの符号なし 2 進数または 4 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。したがって、符号なし 2 進数が入力された場合は CO 出力を確認し、2 の補数が入力された場合は OFL 出力を確認します。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-8 から +7 までの数を表現できます。合計値が加算器の範囲を超えると、OFL がアクティブ (High) になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

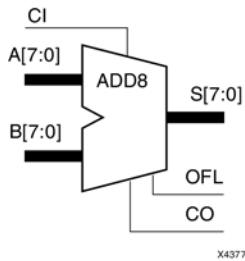
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ADD8

マクロ : 8-Bit Cascadable Full Adder with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

このエレメントは、2 つのワードとキャリー入力 (CI) を加算して、その和とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。A7 ~ A0、B7 ~ B0、および CI が加算され、その和 S7 ~ S0 および CO (または OFL) が出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	S
A _n	B _n	A _n + B _n + CI
CI : 入力 CI の値		

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、8 ビットの符号なし 2 進数または 8 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。したがって、符号なし 2 進数が入力された場合は CO 出力を確認し、2 の補数が入力された場合は OFL 出力を確認します。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 255 までの数を表現できます。符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-128 から +127 までの数を表現できます。合計値が加算器の範囲を超えると、OFL がアクティブ (High) になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

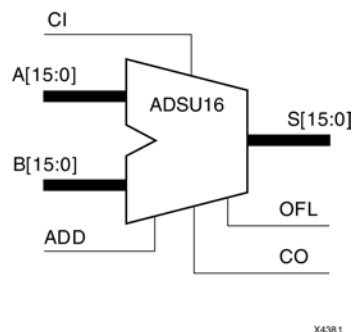
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ADSU16

マクロ : 16-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

ADD が High の場合、2 つの 16 ビットワード (A15 ~ A0 と B15 ~ B0) とキャリー入力 (CI) を加算し、16 ビットの和 (S15 ~ S0) とキャリー出力 (CO) (またはオーバーフロー (OFL)) を出力します。

ADD 入力が Low の場合、A15 ~ A0 から B15 ~ B0 を減算し、その差とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。

加算モードでは、CO と CI はアクティブ High になります。減算モードでは、CO と CI はアクティブ Low になります。OFL は、モードにかかわらず常にアクティブ High です。

論理表

入力			出力
ADD	A	B	S
1	A _n	B _n	A _n +B _n +CI*
0	A _n	B _n	A _n -B _n -CI*
CI* : ADD = 0、CI、CO アクティブ Low			
CI* : ADD = 1、CI、CO アクティブ High			

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、16 ビットの符号なし 2 進数または 16 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

加減算器では、符号なし 2 進演算でも 2 の補数演算でもオーバーフローが発生します。演算結果がオーバーフローになる場合、オーバーフローが生成されます。同様に、演算結果が桁上がりする場合、キャリー出力が生成されます。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ～ 65535 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。

符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-32768 から +32767 までの数を表現できます。

加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

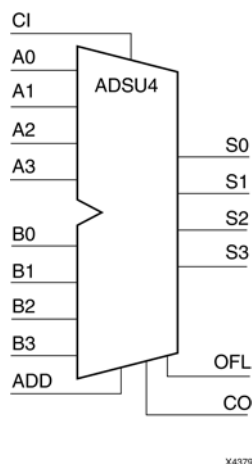
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ADSU4

マクロ : 4-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



概要

ADD が High の場合、2 つの 4 ビットワード (A3 ~ A0 と B3 ~ B0) とキャリー入力 (CI) を加算し、4 ビットの和 (S3 ~ S0) とキャリー出力 (CO) (またはオーバーフロー (OFL)) を出力します。

ADD 入力が Low の場合、A3 ~ A0 から B3 ~ B0 を減算し、4 ビットの差 (S3 ~ S0) とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。

加算モードでは、CO と CI はアクティブ High になります。減算モードでは、CO と CI はアクティブ Low になります。OFL は、モードにかかわらず常にアクティブ High です。

論理表

入力			出力
ADD	A	B	S
1	A _n	B _n	A _n + B _n + CI*
0	A _n	B _n	A _n - B _n - CI*
CI* : ADD = 0、CI、CO アクティブ Low			
CI* : ADD = 1、CI、CO アクティブ High			

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、4 ビットの符号なし 2 進数または 4 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

加減算器では、符号なし 2 進演算でも 2 の補数演算でもオーバーフローが発生します。演算結果がオーバーフローになる場合、オーバーフローが生成されます。同様に、演算結果が桁上がりする場合、キャリー出力が生成されます。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 15 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。

符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-8 から +7 までの数を表現できます。

加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

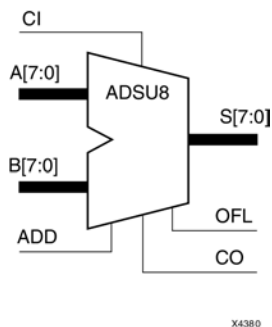
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ADSU8

マクロ : 8-Bit Cascadable Adder/Subtractor with Carry-In, Carry-Out, and Overflow



X4380

概要

ADD が High の場合、2 つの 8 ビットワード (A7 ~ A0 と B7 ~ B0) とキャリー入力 (CI) を加算し、8 ビットの和 (S7 ~ S0) とキャリー出力 (CO) (またはオーバーフロー (OFL)) を出力します。

ADD 入力が Low の場合、A7 ~ A0 から B7 ~ B0 を減算し、8 ビットの差 (S7 ~ S0) とキャリー出力 (CO) またはオーバーフロー (OFL) を出力します。

加算モードでは、CO と CI はアクティブ High になります。減算モードでは、CO と CI はアクティブ Low になります。OFL は、モードにかかわらず常にアクティブ High です。

論理表

入力			出力
ADD	A	B	S
1	A _n	B _n	A _n + B _n + CI*
0	A _n	B _n	A _n - B _n - CI*
CI* : ADD = 0、CI、CO アクティブ Low			
CI* : ADD = 1、CI、CO アクティブ High			

符号なし 2 進数と 2 の補数

このデザイン エLEMENT は、8 ビットの符号なし 2 進数または 8 ビットの 2 の補数を処理できます。符号なし 2 進数が入力されると、符号なし 2 進数が出力されます。2 の補数が入力されると、2 の補数が出力されます。この 2 つの唯一の機能的な違いは、オーバーフローの認識方法にあり、オーバーフローの発生を認識するのに符号なし 2 進数では CO が使用され、2 の補数では OFL が使用されます。

加減算器では、符号なし 2 進演算でも 2 の補数演算でもオーバーフローが発生します。演算結果がオーバーフローになる場合、オーバーフローが生成されます。同様に、演算結果が桁上がりする場合、キャリー出力が生成されます。

符号なし 2 進演算

符号なし 2 進演算の場合、0 ~ 255 までの数を表現できます。加算モードでは、加算結果が加減算器の範囲を超えると CO がアクティブ (High) になります。減算モードでは、減算器の範囲を超えると CO がアクティブ Low のボローアウトで、Low になります。

符号なし 2 進数のオーバーフローは、常にアクティブ High で、ADD と CO を次のようにゲート接続すると発生させることができます。

符号なしオーバーフロー = CO XOR ADD

符号なし 2 進演算では、OFL は無視されます。

2 の補数演算

2 の補数演算の場合、-128 から +127 までの数を表現できます。

加算または減算の結果がこの範囲を超えると、OFL 出力が High になります。2 の補数演算では、CO は無視されます。

デザインの入力方法

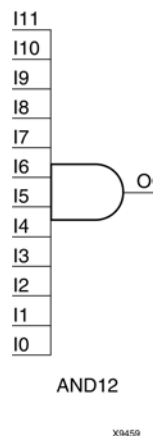
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND12

マクロ : 12- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

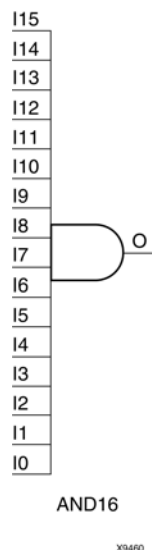
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND16

マクロ : 16- Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

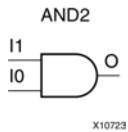
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND2

プリミティブ : 2-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

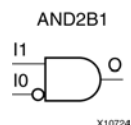
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND2B1

プリミティブ : 2-Input AND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

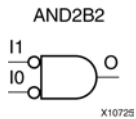
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND2B2

プリミティブ : 2-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

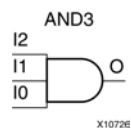
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND3

プリミティブ : 3-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

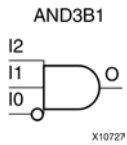
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND3B1

プリミティブ : 3-Input AND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

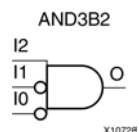
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND3B2

プリミティブ : 3-Input AND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

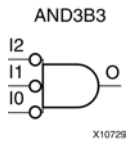
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND3B3

プリミティブ : 3-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

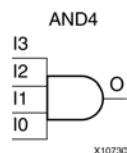
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND4

プリミティブ : 4-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

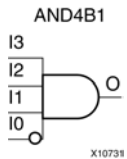
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND4B1

プリミティブ : 4-Input AND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

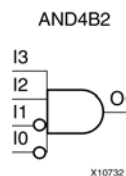
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND4B2

プリミティブ : 4-Input AND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

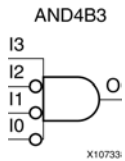
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND4B3

プリミティブ : 4-Input AND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

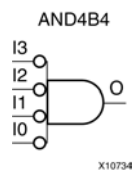
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND4B4

プリミティブ : 4-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

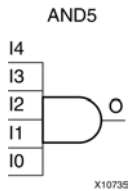
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND5

プリミティブ : 5-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

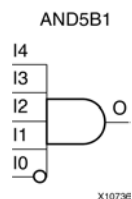
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND5B1

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

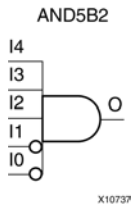
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND5B2

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

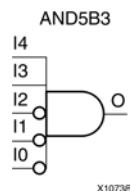
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND5B3

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

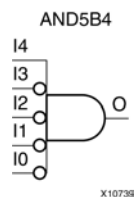
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND5B4

プリミティブ : 5-Input AND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

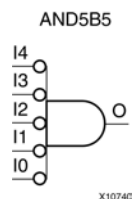
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND5B5

プリミティブ : 5-Input AND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

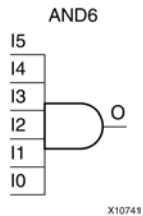
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND6

マクロ : 6-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

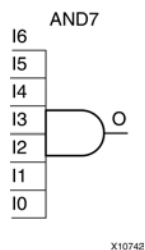
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND7

マクロ : 7-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

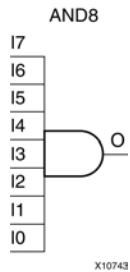
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND8

マクロ : 8-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

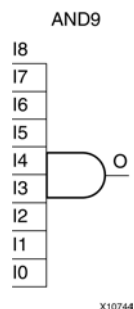
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

AND9

マクロ : 9-Input AND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの AND ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の AND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転させるには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

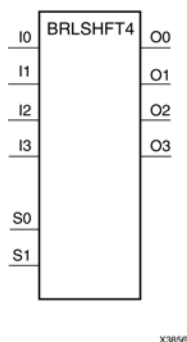
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BRLSHFT4

マクロ : 4-Bit Barrel Shifter



概要

このデザイン エLEMENTは 4 ビットのバレル シフタで、4 つの入力 (I3 ~ I0) を 4 回までローテーションできます。制御入力 (S1 と S0) は、データをローテーションする回数 (1 ~ 4) を指定します。4 つの出力 (O3 ~ O0) には、ローテーションされたデータ入力が出力されます。

論理表

入力						出力			
S1	S0	I0	I1	I2	I3	O0	O1	O2	O3
0	0	a	b	c	d	a	b	c	d
0	1	a	b	c	d	b	c	d	a
1	0	a	b	c	d	c	d	a	b
1	1	a	b	c	d	d	a	b	c

デザインの入力方法

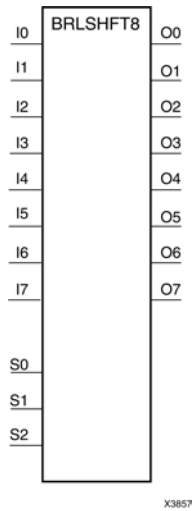
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BRLSHFT8

マクロ : 8-Bit Barrel Shifter



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのバレル シフタで、8 つの入力 (I7 ~ I0) を 8 回までローテーションできます。制御入力 (S2 ~ S0) は、データをローテーションする回数 (1 ~ 8) を指定します。8 つの出力 (O7 ~ O0) には、ローテーションされたデータ入力が出力されます。

論理表

入力											出力							
S2	S1	S0	I0	I1	I2	I3	I4	I5	I6	I7	O0	O1	O2	O3	O4	O5	O6	O7
0	0	0	a	b	c	d	e	f	g	h	a	b	c	d	e	f	g	h
0	0	1	a	b	c	d	e	f	g	h	b	c	d	e	f	g	h	a
0	1	0	a	b	c	d	e	f	g	h	c	d	e	f	g	h	a	b
0	1	1	a	b	c	d	e	f	g	h	d	e	f	g	h	a	b	c
1	0	0	a	b	c	d	e	f	g	h	e	f	g	h	a	b	c	d
1	0	1	a	b	c	d	e	f	g	h	f	g	h	a	b	c	d	e
1	1	0	a	b	c	d	e	f	g	h	g	h	a	b	c	d	e	f
1	1	1	a	b	c	d	e	f	g	h	h	a	b	c	d	e	f	g

デザインの入力方法

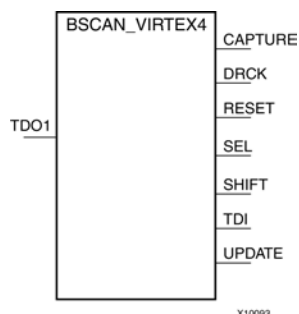
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BSCAN_VIRTEX4

プリミティブ : Virtex®-4 JTAG Boundary-Scan Logic Access Circuit



概要

このデザイン エLEMENTを使用すると、JTAG バウンダリ スキャン ロジック コントローラを介して内部ロジックへアクセスできるので、内部実行デザインと FPGA の専用 JTAG ピン間の通信を可能にします。

このデザイン エLEMENTの各インスタンスでは、JTAG_CHAIN 属性の設定に従い、JTAG USER 命令 1 つ (USER1 から USER4 まで) が処理されます。USER 命令の 4 つすべてを処理するには、ELEMENTを 4 つインスタンス化して JTAG_CHAIN 属性を設定します。

メモ: 各アーキテクチャのバウンダリ スキャンの詳細については、データシートを参照してください。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CAPTURE	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが CAPTURE-DR ステートになると High にアサートされます。
DRCK	出力	1	JTAG_CHAIN によって割り当てられた JTAG USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが SHIFT-DR ステートまたは CAPTURE-DR ステートになると TCK ピンと同じ値を出力します。
RESET	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが TEST-LOGIC-RESET ステートになると High にアサートされます。
SEL	出力	1	JTAG 命令レジスタに USER 命令が読み込まれたことを示します。UPDATE-IR ステートになるとアクティブになり、新しい命令が読み込まれるまでアクティブのままになります。
SHIFT	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが SHIFT-DR ステートになると High にアサートされます。
TDI	出力	1	TDI ピンと同じ値を出力します。
UPDATE	出力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、JTAG TAP コントローラが UPDATE-DR ステートになると High にアサートされます。
TDO	入力	1	USER 命令が読み込まれるとアクティブになり、外部 JTAG TDO ピンには、マクロの TDO1 ピンへのデータ入力の値が示されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

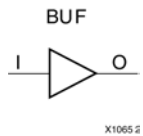
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
JTAG_CHAIN	整数	1、2、3、4	1	エレメントのインスタンスで処理可能な JTAG USER 命令数を設定します。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUF

プリミティブ : General Purpose Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、汎用の非反転バッファです。

このELEMENTは不要なので、MAP によって削除されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

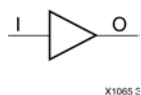
詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFCF

プリミティブ : Fast Connect Buffer

BUFCF



概要

このデザイン エLEMENTは、一部の専用ロジックと LUT の出力を別の LUT の入力に直接接続するために使用する、単一の高速結合バッファです。このバッファを使用すると、CLB パックも行われます。LUT は、4 つまで 1 つのグループとして接続できます。

デザインの入力方法

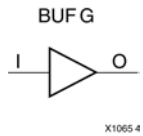
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFG

プリミティブ : Global Clock Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、ファンアウトが大きいバッファで、スキューを抑えて信号を分散するために、グローバル配線リソースへの信号に接続します。BUFG は通常クロック ネットで使用されます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
I	入力	1	クロック バッファ出力
O	出力	1	クロック バッファ入力

デザインの入力方法

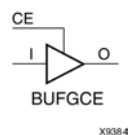
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFGCE

プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable



概要

このデザイン エレメントは、クロック イネーブル付きグローバル クロック バッファです。O 出力は、クロック イネーブル (CE) が Low (非アクティブ) のときに 0 になります。CE が High になると、I 入力の値が O に出力されます。

論理表

入力		出力
I	CE	O
X	0	0
I	1	I

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFGCE_1

プリミティブ : Global Clock Buffer with Clock Enable and Output State 1



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブル付きグローバル クロック バッファです。O 出力は、クロック イネーブル (CE) が Low (非アクティブ) のときに High (1) になります。CE が High になると、I 入力の値が O に出力されます。

論理表

入力		出力
I	CE	O
X	0	1
I	1	I

デザインの入力方法

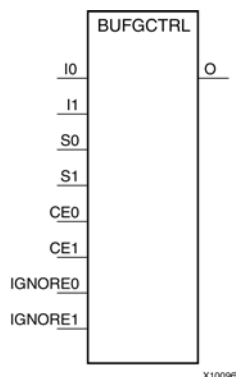
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFGCTRL

プリミティブ : Global Clock MUX Buffer



概要

BUFGCTRL は、2 つのクロック入力を持つ同期/非同期のグリッチのない 2:1 マルチプレクサとして機能するグローバル クロック バッファです。Virtex-4 以前の FPGA に含まれるグローバル クロック バッファに比べ、制御ピンが追加されており、さまざまな機能の使用および効率的な入力の切り替えが可能です。BUFGCTRL は、クロック供給以外の用途にも使用できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
O	出力	1	クロック出力ピン
I	入力	1	クロック入力 : I0 : クロック入力ピン I1 : クロック入力ピン
CE0、CE1	入力	1 (それぞれ)	クロック イネーブル入力。CE ピンは、各クロック入力ピンのクロック イネーブル入力で、クロック入力を選択するときに使用します。入力を選択するために CE ピンを使用する場合は、セットアップ/ホールド タイムを設定する必要があります。要件を満たさない場合、クロックでグリッチが発生する可能性があります。
S0、S1	入力	1 (それぞれ)	クロック セレクト入力。S ピンは、各クロック入力ピンのクロック セレクト入力です。入力を選択するために S ピンを使用する場合は、セットアップおよびホールド タイム要件を満たす必要があります。CE ピンとは異なり、要件を満たさなくてもクロック グリッチが発生することはありませんが、出力クロックがピンに現れるのが 1 クロック サイクル後になる場合があります。
IGNORE0、IGNORE1	入力	1 (それぞれ)	クロック IGNORE 入力。IGNORE ピンは、BUFGCTRL により実行されるスイッチ アルゴリズムをバイパスする場合に使用します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_OUT	整数	0、1	0	コンフィギュレーション後の BUFGCTRL 出力の初期値を指定
PRESELECT_I0	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、コンフィギュレーション後に I0 入力が出力されます。
PRESELECT_I1	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、コンフィギュレーション後に I1 入力が出力されます。

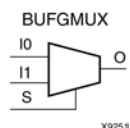
メモ : 2 つの PRESELECT 属性を同時に TRUE にすることはできません。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFGMUX

プリミティブ : Global Clock MUX Buffer



概要

BUFGMUX はマルチプレクサの機能を持つグローバル クロック バッファで、2 つの入力クロック (I0 および I1) のいずれかを選択できます。セレクト入力 (S) が Low の場合、I0 の信号が出力 (O) に選択されます。S が High の場合は、I1 の信号が O に選択されます。

BUFGMUX および BUFGMUX_1 では、S の値が変化した後クロックが切り替わるまでに保持される出力ステートが異なります。BUFGMUX は出力ステートが 0 に、BUFGMUX_1 は出力ステートが 1 に保持されます。

メモ : BUFGMUX では、S がトグルされると、次のアクティブ クロック エッジ (I0 または I1) まで、出力のステートが非アクティブのまま保持されます。

論理表

入力			出力
I0	I1	S	O
I0	X	0	I0
X	I1	1	I1
X	X	↑	0
X	X	↓	0

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
I0	入力	1	クロック 0 入力
I1	入力	1	クロック 1 入力
O	出力	1	クロック MUX 出力
S	入力	1	クロック セレクト入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

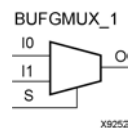
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLK_SEL_TYPE	文字列	SYNC、ASYNC	SYNC	同期クロックまたは非同期クロックを指定します。
DISABLE_VALUE	文字列	HIGH、LOW	LOW	入力を切り替えるときに出力が想定するステートを指定します。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFGMUX_1

プリミティブ : Global Clock MUX Buffer with Output State 1



概要

このデザイン エLEMENTは、マルチプレクサの機能を持つグローバル クロック バッファで、2 つの入力クロック (I0 および I1) のいずれかを選択できます。セレクト入力 (S) が Low の場合、I0 の信号が出力 (O) に選択されます。S が High の場合は、I1 の信号が O に選択されます。

このデザイン エLEMENTと BUFGMUX では、S の値が変化した後クロックが切り替わるまでに保持される出力ステートが異なります。BUFGMUX は出力ステートが 0 に、BUFGMUX_1 は出力ステートが 1 に保持されます。

論理表

入力			出力
I0	I1	S	O
I0	X	0	I0
X	I1	1	I1
X	X	↑	1
X	X	↓	1

デザインの入力方法

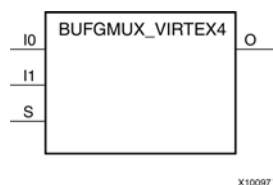
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFGMUX_VIRTEX4

プリミティブ : Global Clock MUX Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、2 つのクロック入力、1 つのクロック出力、セレクト入力を持つクロック バッファです。このプリミティブは BUFGCTRL に基づいており、一部のピンが High または Low に接続されています。

このELEMENTは、S ピンをセレクト ピンとして使用します。S ピンは、グリッチを発生させずにいつでも切り替えることができます。S ピンのセットアップ/ホールド タイムによって、新しいクロックに切り替える前に、その前のクロックの余分なパルスが出力されるかどうかが決まります。S ピンがセットアップ タイム TBCCCK_S より前、I/O が High から Low に切り替わる前に変化した場合、I/O の余分なパルスは出力されません。S ピンがホールド タイムの後に変化した場合は、余分なパルスが出力されますが、グリッチが発生することはありません。いずれの場合でも、出力は遅い方のクロックの 3 クロック サイクル以内に新しいクロックに切り替わります。

S0 と S1 のセットアップ/ホールド タイム要件は、CE0 と CE1 のように立ち上がりエッジではなく、立ち下がりエッジを基準としています (INIT_OUT = 0 の場合)。

このELEMENTの切り替え条件は、BUFGCTRL の S ピンと同様です。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	クロック出力
I1 : I0	入力	1	クロック入力
S0 : S1	入力	1	クロック セレクト入力

デザインの入力方法

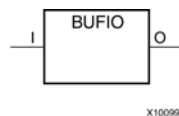
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFIO

プリミティブ : Local Clock Buffer for I/O



概要

このデザイン エLEMENTはクロック バッファです。単にクロック信号を入力し、出力します。I/O 列の専用クロック ネットを駆動し、グローバル クロック リソースからは独立しているため、ソース同期データ キャプチャ (転送/受信クロック分配) に適しています。これらのELEMENTを駆動できるのは、同じクロック領域内のクロック信号を処理できる I/O のみです。これらのELEMENTでは、隣接する 2 つの I/O クロック ネット (最大 3 クロック領域まで) とリージョナル クロック バッファ (BUFR) を駆動できます。ただし、I/O クロック ネットワークの範囲は I/O 列までなので、CLB やブロック RAM などのロジック リソースは駆動できません。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
O	出力	1	クロック出力
I	入力	1	クロック入力

デザインの入力方法

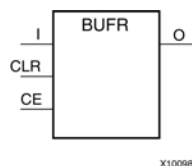
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

BUFR

プリミティブ : Regional Clock Buffer for I/O and Logic Resources



概要

BUFR はクロック バッファです。グローバル クロック ツリーからは独立しており、クロック領域内の専用クロック ネットにクロック信号を供給します。BUFR は I/O ロジックだけでなく、同じクロック領域および隣接するクロック領域のロジックリソース (CLB、ブロック RAM など) も駆動できます。BUFR はクロック対応ピンまたはローカル インターコネクトで駆動できます。クロック入力信号を分周したクロックを出力することもできます。分周の除算値は、1 ~ 8 の整数です。BUFR は、クロックドメインの切り替えやシリアルからパラレルへの変換が必要なソース同期アプリケーションに適しています。通常、1 つのクロック領域 (リージョナル クロック ネットワーク 2 つ) には BUFR が 2 つ含まれます。中央列には BUFR は含まれません。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
CE	入力	1	クロック イネーブル ポート Low でアサートされる場合、ポート O で出力クロックがディスエーブルになります。High でアサートされる場合、分周されたクロック出力を生成するのに使用されるカウンタがリセットされます。
CLR	入力	1	分周クロック出力用のカウンタリセット。High でアサートされる場合、分周されたクロック出力を生成するのに使用されるカウンタがリセットされます。
I	入力	1	クロック入力ポート。BUFR のクロック ソース ポートです。BUFR の出力またはローカル インターコネクトで駆動できます。
O	出力	1	クロック出力ポート BUFR と同じクロック領域および 2 つの隣接するクロック領域 (最大 3 クロック領域) のクロック ネットを駆動できます。FPGA および IOB を駆動します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

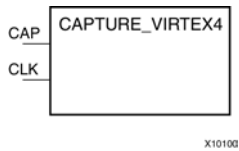
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
BUFR_DIVIDE	文字列	BYPASS、1、2、3、4、5、6、7、8	BYPASS	出力クロックが入力クロックを分周したものであるかを定義します。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CAPTURE_VIRTEX4

プリミティブ : Virtex®-4 Boundary Scan Logic Control Circuit



概要

このデザイン エLEMENTは、レジスタ (フリップフロップとラッチ) 情報のキャプチャ方法およびそのタイミングを制御します。リードバック機能は、専用のコンフィギュレーション ポート命令により提供されます。このELEMENTを使用しない場合は、データはコンフィギュレーション クロックに同期してリードバックされます。レジスタ (フリップフロップとラッチ) の値のみをキャプチャできます。LUT RAM、SRL、ブロック RAM の値もリードバックされますが、キャプチャできません。

CAP 信号を High にアサートすると、次にクロックが Low から High に切り替わるときにデバイス内のレジスタがキャプチャされます。デフォルトでは、トリガ (CAP をアサートしているときの CLK の遷移) のたびにデータがキャプチャされます。リードバック処理を 1 回のデータ キャプチャだけに制限するには、このELEMENTに ONESHOT=TRUE 属性を追加します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
CAP	入力	1	リードバック キャプチャトリガ
CLK	入力	1	リードバック キャプチャ クロック

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

正しく動作するように、入力および出力をすべてデザインに接続します。

使用可能な属性

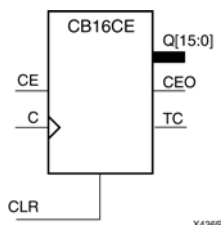
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ONESHOT	ブール代数	TRUE、FALSE	TRUE	CAPトリガごとに 1 回のリードバックを実行します。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB16CE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

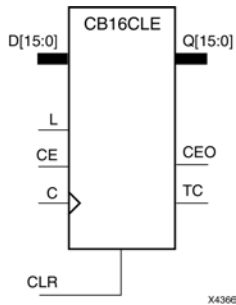
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB16CLE

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

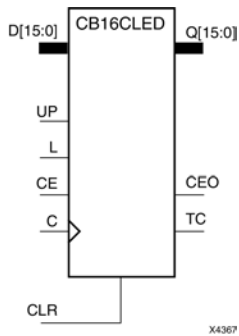
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB16CLED

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP)$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

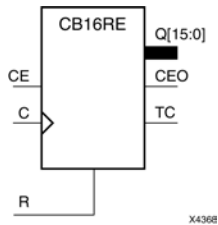
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB16RE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

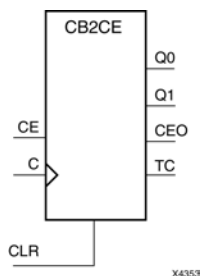
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB2CE

マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

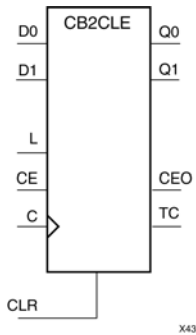
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB2CLE

マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エレメントは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

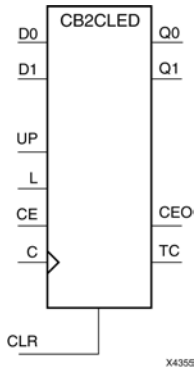
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB2CLED

マクロ : 2-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP)$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

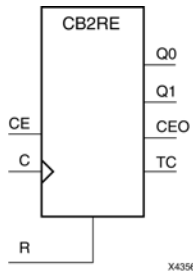
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB2RE

マクロ : 2-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

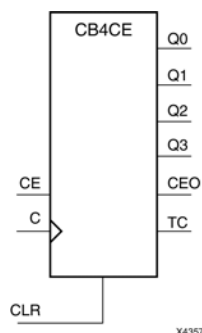
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB4CE

マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

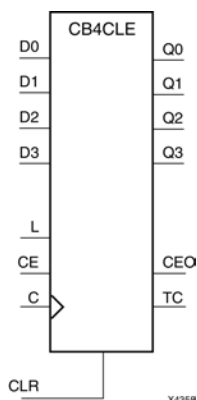
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB4CLE

マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

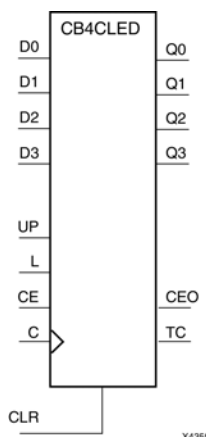
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB4CLED

マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot \overline{UP})$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

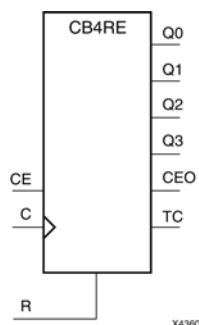
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB4RE

マクロ : 4-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリカウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

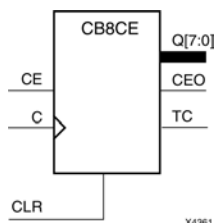
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB8CE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

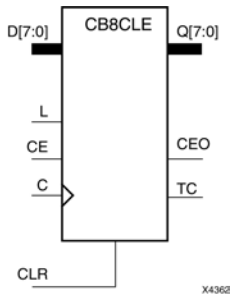
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB8CLE

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が高になると、TC 出力が高になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

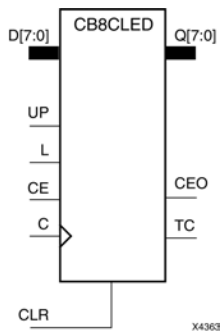
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB8CLED

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counters with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

CPLD デバイスについては、高速カスケードが可能な双方向カウンタである CB2X1、CB4X1、CB8X1、CB16X1 を参照してください。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO

z = ビット幅 - 1

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
$TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP)$								
CEO = TC · CE								

デザインの入力方法

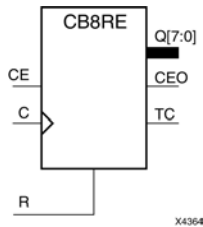
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CB8RE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q)、ターミナル カウンタ (TC)、およびクロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

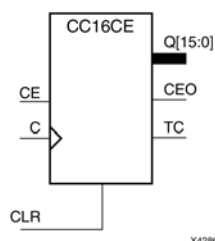
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC16CE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

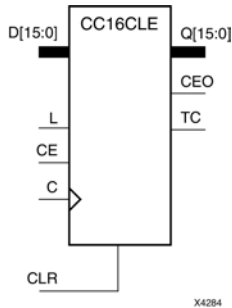
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC16CLE

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$							

デザインの入力方法

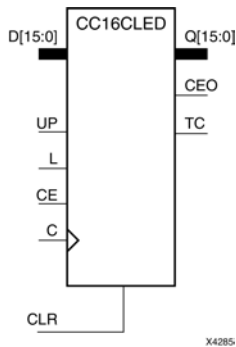
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC16CLED

マクロ : 16-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO
z = ビット幅 - 1 $TC = (Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0 \cdot UP) + (Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0 \cdot \overline{UP})$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

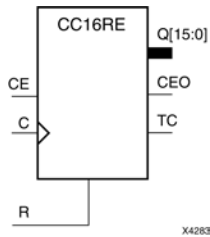
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC16RE

マクロ : 16-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エレメントは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリカウンタです。これらのカウンタは、キャリーロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。同期リセット入力 (R) は最も優先される入力で、R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力と CE が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

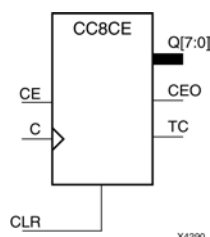
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC8CE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エレメントは、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
CLR	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

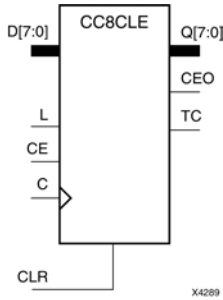
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC8CLE

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力		
CLR	L	CE	C	D _z - D ₀	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	D _n	D _n	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	X	インクリメント	TC	CEO

$z = \text{ビット幅} - 1$
 $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$
 $CEO = TC \cdot CE$

デザインの入力方法

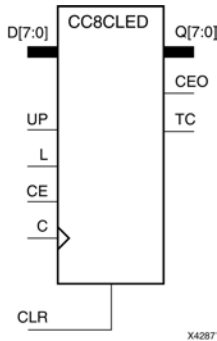
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC8CLED

マクロ : 8-Bit Loadable Cascadable Bidirectional Binary Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、同期、ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能な双方向バイナリ カウンタです。このカウンタは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、クロック イネーブル (CE) の値に関係なく、入力 (D) の値がカウンタにロードされます。CE が High、UP が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、Q 出力がデクリメントされます。CE と UP が High の場合、Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

カウントアップする場合、すべての Q 出力と UP が High になると TC 出力が High になります。カウントダウンする場合、すべての Q 出力と UP が Low になると TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、UP、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力		
CLR	L	CE	C	UP	Dz - D0	Qz - Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	↑	X	Dn	Dn	TC	CEO
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし	0
0	0	1	↑	1	X	インクリメント	TC	CEO
0	0	1	↑	0	X	デクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot UP) + (Qz \cdot Q(z-1) \cdot Q(z-2) \cdot \dots \cdot Q0 \cdot \overline{UP})$ $CEO = TC \cdot CE$								

デザインの入力方法

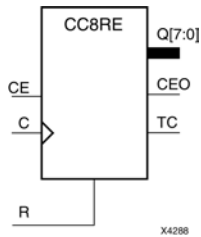
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CC8RE

マクロ : 8-Bit Cascadable Binary Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エレメントは、同期、リセット可能、カスケード可能なバイナリカウンタです。これらのカウンタは、キャリーロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。同期リセット入力 (R) は最も優先される入力で、R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。すべての Q 出力と CE が High になると、TC 出力が High になります。

1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力		
R	CE	C	Q _z - Q ₀	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし	0
0	1	↑	インクリメント	TC	CEO
$z = \text{ビット幅} - 1$ $TC = Q_z \cdot Q_{(z-1)} \cdot Q_{(z-2)} \cdot \dots \cdot Q_0$ $CEO = TC \cdot CE$					

デザインの入力方法

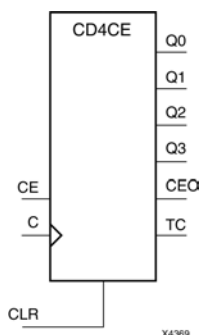
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CD4CE

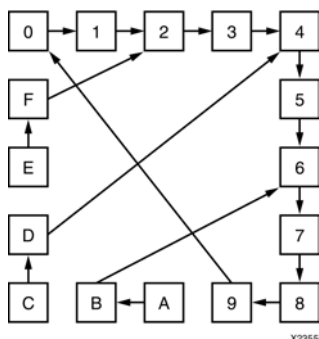
マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

CD4CE は、4 ビットの非同期、クリア可能、カスケード可能な 2 進法 10 進法 (BCD) のカウンタです。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力					
CLR	CE	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	X	0	0	0	0	0	0
0	1	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	1	X	1	0	0	1	1	1
TC = Q3·!Q2·!Q1·Q0								
CEO = TC·CE								

デザインの入力方法

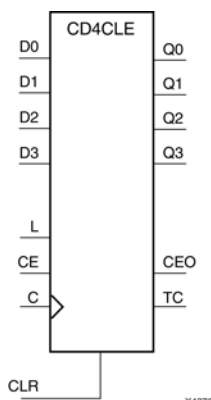
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CD4CLE

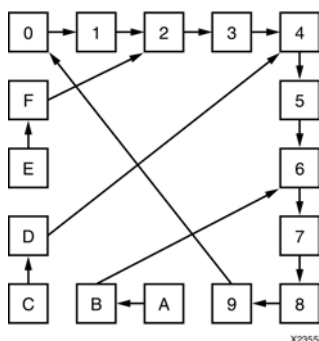
マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

CD4CLE は、4 ビットの同期ロード可能、非同期クリア可能、カスケード可能なバイナリ カウンタです。非同期クリア入力 (CLR) が最も優先される入力で、High の場合、クロック (C) の遷移に関係なく、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がカウンタにロードされます。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および CLR 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力					
CLR	L	CE	D3 : D0	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	X	X	X	0	0	0	0	0	0
0	1	X	D3 : D0	↑	D3	D2	D1	D0	TC	CEO
0	0	1	X	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	0	1	X	X	1	0	0	1	1	1
TC = Q3·!Q2·!Q1·Q0										
CEO = TC·CE										

デザインの入力方法

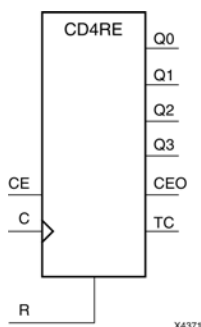
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CD4RE

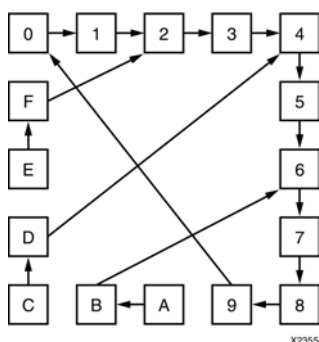
マクロ : 4-Bit Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

CD4RE は、4 ビットの同期、リセット可能、カスケード可能な 2 進法 10 進法 (BCD) のカウンタです。同期リセット入力 (R) は最も優先される入力であり、R が High になるとほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウンタシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期的にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力					
R	CE	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	↑	0	0	0	0	0	0
0	1	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	1	X	1	0	0	1	1	1
TC = Q3·!Q2·!Q1·Q0								
CEO = TC·CE								

デザインの入力方法

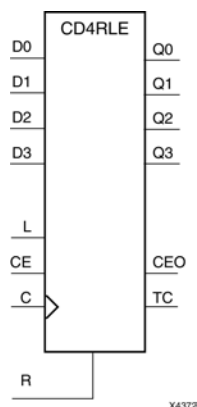
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CD4RLE

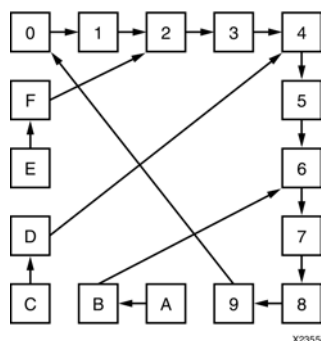
マクロ : 4-Bit Loadable Cascadable BCD Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

CD4RLE は、4 ビットの同期、ロード可能、リセット可能な 2 進法 10 進法 (BCD) カウンタです。同期リセット入力 (R) は最も優先される入力で、R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロックが Low から High に切り替わるたびに、Q 出力、ターミナル カウント (TC)、クロック イネーブル出力 (CEO) が 0 になります。ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに D 入力の値がカウンタにロードされます。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるたびに Q 出力がインクリメントされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。Q3 と Q0 が High、Q2 と Q1 が Low になると、TC 出力が High になります。

次のステート ダイアグラムに示すように、カウンタは 6 通りの無効状態から 2 クロック サイクル以内に通常のカウントシーケンスに復帰します。



1 段目の CEO 出力を次の段の CE 入力に接続し、C、L、および R 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。TC と CE が High になると、CEO がアクティブ (High) になります。カウンタの長さの最大値は、CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延の合計とクロック周期の関係によって決定されます。クロック周期は、 $n(t_{CE-TC})$ より大きい必要があります。ここで、 n は段数、時間 t_{CE-TC} は各段での CE ピンと TC ピン間の伝搬遅延を表します。カウンタをカスケードする場合、CE 入力を使用するときは CEO 出力を、CE 入力を使用しないときは TC 出力を使用します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力					
R	L	CE	D3 : D0	C	Q3	Q2	Q1	Q0	TC	CEO
1	X	X	X	↑	0	0	0	0	0	0
0	1	X	D3 : D0	↑	D3	D	D	D0	TC	CEO
0	0	1	X	↑	インクリメント	インクリメント	インクリメント	インクリメント	TC	CEO
0	0	0	X	X	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	TC	0
0	0	1	X	X	1	0	0	1	1	1
TC = $Q3 \cdot !Q2 \cdot !Q1 \cdot Q0$										
CEO = TC · CE										

デザインの入力方法

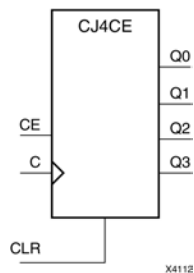
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CJ4CE

4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クリア可能なジョンソン/シフト カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q3 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
CLR	CE	C	Q0	Q1 - Q3
1	X	X	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q3	q0 - q2
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

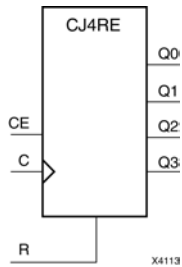
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CJ4RE

マクロ : 4-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能なジョンソン/シフト カウンタです。同期 R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q3 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
R	CE	C	Q0	Q1 - Q3
1	X	↑	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q3	q0 - q2
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

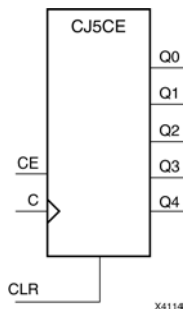
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CJ5CE

マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クリア可能なジョンソン/シフト カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q4 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
CLR	CE	C	Q0	Q1 - Q4
1	X	X	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q4	q0 - q3

q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

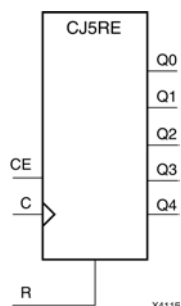
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CJ5RE

マクロ : 5-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能なジョンソン/シフト カウンタです。同期 R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q4 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
R	CE	C	Q0	Q1 - Q4
1	X	↑	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q4	q0 - q3
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

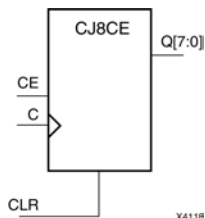
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CJ8CE

マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クリア可能なジョンソン/シフト カウンタです。非同期クリア (CLR) 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) の遷移に関係なく、出力 (Q) が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q7 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
CLR	CE	C	Q0	Q1 - Q8
1	X	X	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q7	q0 - q7
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

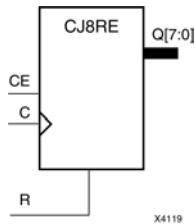
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CJ8RE

マクロ : 8-Bit Johnson Counter with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能なジョンソン/シフトカウンタです。同期 R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にカウンタがインクリメント (Q0 → Q1、Q1 → Q2 のようにシフト) します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

このデザイン エLEMENTでは、Q7 の出力が反転されて入力 Q0 にフィードバックされ、連続したカウント処理が行われます。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力	
R	CE	C	Q0	Q1 - Q7
1	X	↑	0	0
0	0	X	変化なし	変化なし
0	1	↑	!q7	q0 - q6
q = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値				

デザインの入力方法

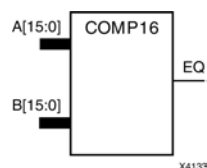
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP16

マクロ : 16-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、16 ビットのアイデンティティ コンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A15 ~ A0 および B15 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

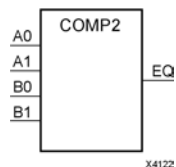
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP2

マクロ : 2-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、2 ビットのアイデンティティコンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A1 ~ A0 および B1 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

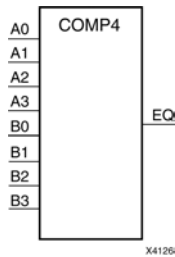
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP4

マクロ : 4-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビットのアイデンティティ コンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A3 ~ A0 および B3 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

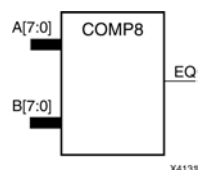
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP8

マクロ : 8-Bit Identity Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのアイデンティティコンパレータです。イコール出力 (EQ) は、A7 ~ A0 および B7 ~ B0 の 2 つのワードが等しいと High になります。

2 つのワードが等しいかどうかは、各ビットを比較して判断されます。各ワードの対応するビットのいずれかに等しくないものがある場合、EQ 出力は Low になります。

デザインの入力方法

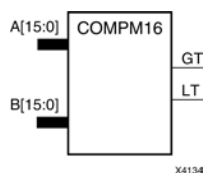
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP16

マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 16 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A15 ~ A0 と B15 ~ B0 を比較します。この場合、A15 と B15 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

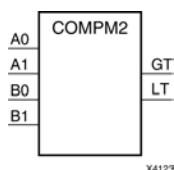
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMPM2

マクロ : 2-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 2 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A1 ~ A0 と B1 ~ B0 を比較します。この場合、A1 と B1 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力				出力	
A1	B1	A0	B0	GT	LT
0	0	0	0	0	0
0	0	1	0	1	0
0	0	0	1	0	1
0	0	1	1	0	0
1	1	0	0	0	0
1	1	1	0	1	0
1	1	0	1	0	1
1	1	1	1	0	0
1	0	X	X	1	0
0	1	X	X	0	1

デザインの入力方法

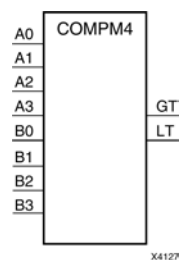
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMPM4

マクロ : 4-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 4 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A3 ~ A0 と B3 ~ B0 を比較します。この場合、A3 と B3 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力				出力	
A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
$A3 > B3$	X	X	X	1	0
$A3 < B3$	X	X	X	0	1
$A3 = B3$	$A2 > B2$	X	X	1	0
$A3 = B3$	$A2 < B2$	X	X	0	1
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 > B1$	X	1	0
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 < B1$	X	0	1
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 > B0$	1	0
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 < B0$	0	1
$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 = B0$	0	0

デザインの入力方法

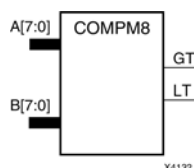
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP8

マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 8 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A7 ~ A0 と B7 ~ B0 を比較します。この場合、A7 と B7 が最上位ビットです。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートで比較します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
$A7 > B7$	X	X	X	X	X	X	X	1	0
$A7 < B7$	X	X	X	X	X	X	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 > B6$	X	X	X	X	X	X	1	0
$A7 = B7$	$A6 < B6$	X	X	X	X	X	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 > B5$	X	X	X	X	X	1	0
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 < B5$	X	X	X	X	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 > B4$	X	X	X	X	1	0
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 < B4$	X	X	X	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 > B3$	X	X	X	1	0
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 < B3$	X	X	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 > B2$	X	X	1	0
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 < B2$	X	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 > B1$	X	1	0
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 < B1$	X	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 > B0$	1	0
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 < B0$	0	1
$A7 = B7$	$A6 = B6$	$A5 = B5$	$A4 = B4$	$A3 = B3$	$A2 = B2$	$A1 = B1$	$A0 = B0$	0	0

デザインの入力方法

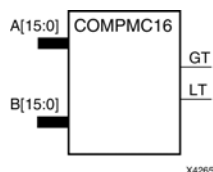
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP16

マクロ : 16-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 16 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A15 ~ A0 と B15 ~ B0 を比較します。この場合、A15 と B15 が最上位ビットです。

このコンパレータは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートに接続します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

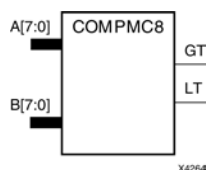
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

COMP8

マクロ : 8-Bit Magnitude Comparator



概要

このデザイン エLEMENTは 8 ビットのマグニチュード コンパレータであり、2 つの正の 2 進重み付きワード A7 ~ A0 と B7 ~ B0 を比較します。この場合、A7 と B7 が最上位ビットです。

このコンパレータは、キャリー ロジックと相対ロケーション制約を使用してインプリメントされているので、ロジックが効率よく配置されます。

大なり出力 (GT) は $A > B$ のとき High になり、小なり出力 (LT) は $A < B$ のとき High になります。2 つのワードが等しいときは、GT と LT の両方が Low になります。このマクロで等価性を調べるには、両方の出力を NOR ゲートに接続します。

論理表

入力								出力	
A7、B7	A6、B6	A5、B5	A4、B4	A3、B3	A2、B2	A1、B1	A0、B0	GT	LT
A7>B7	X	X	X	X	X	X	X	1	0
A7<B7	X	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6>B6	X	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6<B6	X	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5>B5	X	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5<B5	X	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4>B4	X	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4<B4	X	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3>B3	X	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3<B3	X	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2>B2	X	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2<B2	X	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1>B1	X	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1<B1	X	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0>B0	1	0
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0<B0	0	1
A7=B7	A6=B6	A5=B5	A4=B4	A3=B3	A2=B2	A1=B1	A0=B0	0	0

デザインの入力方法

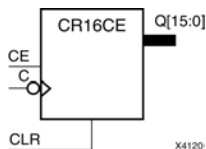
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CR16CE

マクロ : 16-Bit Negative-Edge Binary Ripple Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある、カスケード可能、クリア可能な 16 ビットのバイナリ リップル カウンタです。

1 段目の最後の Q 出力を次の段のクロック入力に接続し、CLR および CE 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。クロック周期は、リップル カウンタ全体の長さの影響を受けません。クロック ピンと出力ピンの伝搬遅延は、 $n(t_c - q)$ です。ここで、 n は段数、時間 $n(t_c - q)$ は各段における C ピンと Qz ピン間の伝搬遅延を表します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	CE	C	Qz : Q0
1	X	X	0
0	0	X	変化なし
0	1	↓	インクリメント
z = ビット幅 - 1			

デザインの入力方法

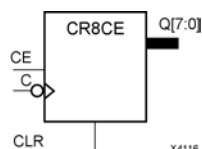
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

CR8CE

マクロ : 8-Bit Negative-Edge Binary Ripple Counter with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エレメントは、クロック イネーブルと非同期クリアがある、カスケード可能、クリア可能な 8 ビットのバイナリ リップル カウンタです。

非同期クリア (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が 0 になります。クロック イネーブル入力 (CE) が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにカウンタがインクリメントします。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

1 段目の最後の Q 出力を次の段のクロック入力に接続し、CLR および CE 入力を並列に接続すると、より大型のカウンタを作成できます。クロック周期は、リップル カウンタ全体の長さの影響を受けません。クロック ピンと出力ピンの伝搬遅延は、 $n(t_C - Q)$ です。ここで、 n は段数、時間 $n(t_C - Q)$ は各段における C ピンと Qz ピン間の伝搬遅延を表します。

電力を供給すると、カウンタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	CE	C	Qz : Q0
1	X	X	0
0	0	X	変化なし
0	1	↓	インクリメント
z = ビット幅 - 1			

デザインの入力方法

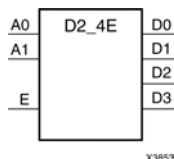
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

D2_4E

マクロ : 2- to 4-Line Decoder/Demultiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、デコーダ/デマルチプレクサです。イネーブル (E) 入力が High の場合、2 ビットのバイナリ アドレス (A1 ~ A0) 入力に応じて 4 つのアクティブ High の出力 (D3 ~ D0) のいずれかが High になります。それ以外の出力は、Low になります。E 入力が Low の場合は、すべての出力が Low になります。デマルチプレクサ アプリケーションでは、E 入力が入力値になります。

論理表

入力			出力			
A1	A0	E	D3	D2	D1	D0
X	X	0	0	0	0	0
0	0	1	0	0	0	1
0	1	1	0	0	1	0
1	0	1	0	1	0	0
1	1	1	1	0	0	0

デザインの入力方法

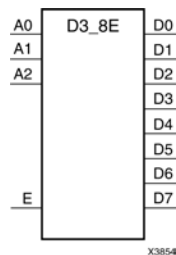
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

D3_8E

マクロ : 3- to 8-Line Decoder/Demultiplexer with Enable



概要

D3_8E デコーダ/デマルチプレクサのイネーブル (E) 入力が高の場合、3 ビットのバイナリ アドレス (A2 ~ A0) 入力によって 8 つのアクティブ High の出力 (D7 ~ D0) のいずれかが High になります。それ以外の出力は、Low になります。E 入力が高の場合は、すべての出力が Low になります。デマルチプレクサ アプリケーションでは、E 入力が入力値になります。

論理表

入力				出力							
A2	A1	A0	E	D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
X	X	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0
0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
0	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0
1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

デザインの入力方法

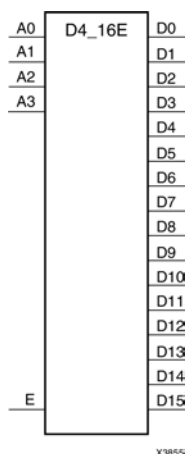
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

D4_16E

マクロ : 4- to 16-Line Decoder/Demultiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、デコーダ/デマルチプレクサです。D4_16E デコーダ/デマルチプレクサのイネーブル (E) 入力が高になると、4 ビットのバイナリ アドレス (A3 ~ A0) 入力に応じて 16 のアクティブ High の出力 (D15 ~ D0) のいずれかが High になります。それ以外の出力は、Low になります。E 入力が高の場合は、すべての出力が Low になります。デマルチプレクサ アプリケーションでは、E 入力が入力値になります。

デザインの入力方法

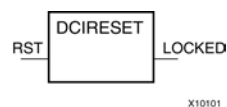
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DCIRESET

プリミティブ : DCI State Machine Reset (After Configuration Has Been Completed)



概要

このデザイン エLEMENTは、コンフィギュレーション後に DCI ステート マシンをリセットするために使用します。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
LOCKED	出力	1	リセット後に DCI ステート マシンが安定状態になったことを示します。
RST	入力	1	DCI ステート マシンを初期ステートから開始します。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

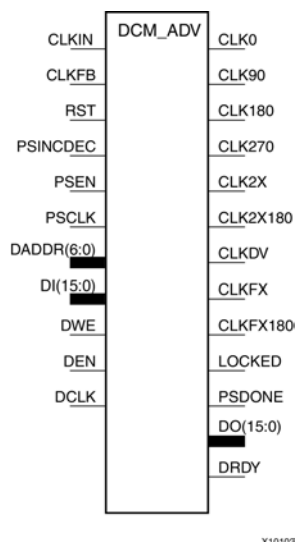
使用可能な属性

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DCM_ADV

プリミティブ : Advanced Digital Clock Manager Circuit



概要

このデザイン エLEMENTは、位相制御機能および周波数合成制御機能を持つコンフィギュレーション/リコンフィギュレーション可能な DLL です。このコンポーネントは、システムで必要になる多種のクロックを発生させて制御するために、多くの FPGA アプリケーションで使用されます。ダイナミック リコンフィギュレーションが不要な場合は、DVM_BASE または DCM_PS コンポーネントを使用します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
クロック出力/入力			
CLK0	出力	1	CLKIN の有効周波数と同じ周波数のクロックを出力します。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。CLKFB ピンを接続した場合、CLK0 は CLKIN の位相に揃えられます。
CLK90	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 90 度シフトしたクロックを出力します。
CLK180	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLK270	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 270 度シフトしたクロックを出力します。
CLK2X	出力	1	デューティ サイクルが 50-50 に自動調整された、CLK0 と位相が同じで周波数が 2 倍のクロックを出力します。DCM がロック状態になるまでは、周波数が入力クロックの 1 倍で、デューティ サイクルが 25-75 のクロックが CLK2X に出力されます。これにより、DCM がソース クロックに対して正しいエッジでロック状態になります。
CLK2X180	出力	1	CLK2X と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLKDV	出力	1	CLK0 と位相が同じで、CLKIN の有効周波数を分周したクロックが出力されます。分周する係数は、CLKDV_DIVIDE 属性で指定します。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。

ポート名	方向	幅	機能
CLKFX	出力	1	<p>次の式で求められる周波数のクロックを出力します。</p> $\text{CLKFX の周波数} = (M/D) \times (\text{CLKIN の有効周波数})$ <p>この式で、M は CLKFX_MULTIPLY 属性で指定し、D は CLKFX_DIVIDE 属性で指定します。M および D の値の範囲、入力および出力の周波数範囲は、このアーキテクチャのデータシートを参照してください。CLKFX 出力の立ち上がりエッジは、フィードバックパス (CLKFB) が使用されるとき、CLK0、CLK2X、および CLKDV の立ち上がりエッジに揃えられます。M と D の値に公約数がない場合、位相は D 入力クロックサイクルごとに揃えられます。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。</p>
CLKFX180	出力	1	CLKFX と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLKIN	入力	1	<p>DCM にソース クロックを供給します。CLKIN の周波数はこのアーキテクチャのデータシートで指定された範囲内にする必要があります。クロック入力信号は、次のいずれかのバッファから供給します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBUFG : グローバル クロック入力バッファ。デバイス上で DCM と同じ側 (上または下) にある IBUFG を使用すると、クロック入力パスが調整されます。 BUFG/BUFGCTRL : 内部グローバル クロック バッファ。専用グローバル配線を使用してデバイス上のどの DCM でも駆動できます。2 つの DCM を直列に接続する場合には、DCM の CLKIN ピンを駆動できます。 IBUF : 入力バッファ。IBUF で CLKIN 入力を駆動する場合、PAD から DCM 入力へのスキューは調整されず、ジッタが増加する可能性があります。このコンフィギュレーションは、使用しないでください。
CLKFB	入力	1	<p>クロック出力の遅延を調整してクロック入力と位相を揃えるために参照するクロック信号です。DCM にフィードバックを供給するには、CLK0 出力のみを CLKFB 入力に接続しますが、内部フィードバックの場合は BUFG コンポーネントを介して、外部フィードバックの場合は OBUF - IBUFG を介します。CLK_FEEDBACK 属性を 1X に設定します。CLKFB ピンを接続すると、CLK0、CLKDV、および CLKFX が CLKIN の位相に揃えられます。CLKFB ピンを接続しない場合は、CLK_FEEDBACK を NONE に設定します。この場合、CLKFX および CLKFX180 出力は、CLKIN の位相に揃えられませんが有効になります。</p>
ステータス出力/制御入力			
LOCKED	出力	1	位相アライメントが完了し、操作が開始可能であることを示す同期出力。
PSDONE	出力	1	<p>ダイナミック CLKIN セレクト入力。High (1) のときは CLKIN1 が、Low (0) のときは CLKIN2 が選択されます。2 つのクロックを選択する必要がない場合は、この入力を 1 にします。</p>

ポート名	方向	幅	機能
RST	入力	1	DCM 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。RST 信号をアサートすると、すべての DCM 出力 (LOCKED 信号、ステータス信号、出力クロック) がソースクロックの 4 サイクル以内に Low になります。リセットは非同期であるため、ディアサート中にクロックの最後のサイクルが短いパルスになったり、デューティサイクルが崩れたり、クロック間のスキューが調整される可能性があります。このため、デバイスをリコンフィギュレーションする場合や入力周波数を変更する場合は、RST ピンを使用する必要があります。RST 信号をディアサートすると、次の CLKIN サイクルに同期してクロックをロック状態にするプロセスが開始します。DCM がリセット後に正しくロックされるようにするには、CLKIN 信号が供給され、3 クロック サイクル以上安定するまで RST 信号をディアサートしておく必要があります。どのデザインでも、クロックが安定するまで DCM をリセットに保持する必要があります。コンフィギュレーションでは、GWE が解除されるまで DCM は自動的にリセット状態に保持されます。このクロックは、GSR がリリースされると安定します。
PSCLK	入力	1	DCM 位相シフトのソースクロックを供給します。位相シフトクロック信号は、どのクロックソース (内部または外部) でも駆動できます。 PSCLK の周波数範囲は、PSCLK_FREQ_LF/HF で定義します (このアーキテクチャのデータシートを参照)。CLKOUT_PHASE_SHIFT 属性を NONE または FIXED に設定している場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。
PSINCDEC	入力	1	PSINCDEC 入力は、PSCLK に同期しています。CLKOUT_PHASE_SHIFT が変数モードのいずれかに設定されているときに、位相シフト係数をインクリメント/デクリメントするために使用します。位相シフト係数をインクリメント/デクリメントすると、それに応じて出力クロックの位相がシフトします。PSINCDEC 信号が High の場合はインクリメント、Low の場合はデクリメントされます。CLKOUT_PHASE_SHIFT 属性を NONE または FIXED に設定している場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。
PSEN	入力	1	PSEN 入力は、PSCLK に同期しています。CLKOUT_PHASE_SHIFT が変数モードに設定されているときに、この信号によって可変位相シフトを開始します。可変位相シフトを有効にするには、PSEN 信号を PSCLK の 1 サイクル分アクティブにする必要があります。位相の変更は、CLKIN の 100 周期分と PSCLK の 3 周期分を加えた時間以内に有効になり、PSDONE が High になることにより示されます。位相が変化する間、出力に突発的な変化やグリッチは発生しません。PSEN がイネーブルになってから PSDONE が High になるまでの間、DCM の出力クロックは元の位相からターゲットの位相に少しずつ移動していきます。PSDONE が High になったら、位相シフトは完了です。CLKOUT_PHASE_SHIFT 属性を NONE または FIXED に設定している場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。
ダイナミック リコンフィギュレーション / DCM ステータス			
ダイナミック コンフィギュレーションの詳細は、該当デバイスの Configuration User Guide を参照してください。			

ポート名	方向	幅	機能
DO	出力	16	<p>ダイナミック リコンフィギュレーションを使用していない場合は DCM のステータス出力、使用している場合はリコンフィギュレーションのデータ出力になります。DCM ステータスが表示されている場合、次のマップが適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> DO[0] : 位相シフト オーバーフロー DO[1] : CLKIN の停止 DO[2] : CLKFX の停止 DO[3] : CLKFB の停止 DO[15:4] : 割り当てなし
DRDY	出力	1	DCM のダイナミック リコンフィギュレーション機能が準備完了になったことを示します。
DI	入力	16	DI 入力バスは、ダイナミック リコンフィギュレーションのデータ入力です。このバスを使用しない場合は、すべてのビットを 0 にする必要があります。
DADDR	入力	7	DADDR 入力バスは、ダイナミック リコンフィギュレーションのアドレス入力です。このバスを使用しない場合は、すべてのビットを 0 にする必要があります。
DWE	入力	1	DI データの DADDR アドレスへの書き込みを制御するライト イネーブル信号です。使用しない場合は、Low に接続する必要があります。
DEN	入力	1	ダイナミック リコンフィギュレーション機能を使用するかどうかを制御する信号です。ダイナミック リコンフィギュレーションが使用されていないときに DO 出力バスに DCM ステータス信号を反映させるには、DEN を Low に設定する必要があります。
DCLK	入力	1	DCM のダイナミック リコンフィギュレーション回路のソース クロックを供給します。DCLK には、CLKIN とは位相および周波数が非同期なクロックを使用できます。ダイナミック リコンフィギュレーション クロック信号は、どのクロック ソースでも駆動できます。DCLK の周波数範囲はこのアーキテクチャのデータシートに記載されています。ダイナミック リコンフィギュレーションを使用しない場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLK_FEEDBACK	文字列	1X、NONE	1X	クロック フィードバックを指定
CLKDV_DIVIDE	浮動 小数点	1.5、2.0、2.5、3.0、 3.5、4.0、4.5、5.0、 5.5、6.0、6.5、7.0、 7.5、8.0、9.0、10.0、 11.0、12.0、13.0、 14.0、15.0、16.0	2.0	CLKDLL、CLKDLLE、CLKDLLHF、DCM のクロック分周器 (CLKDV 出力) の分周比 を指定
CLKFX_DIVIDE	整数	1 ~ 32	1	CLKFX 出力の分周比を指定

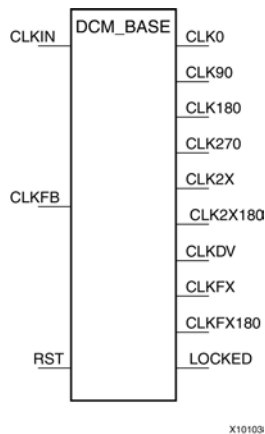
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLKFX_MULTIPLY	整数	2 ~ 32	4	CLKFX 出力の通倍比を指定
CLKIN_DIVIDE_BY_2	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	DCM の入力クロック周波数の要件に合うように、必要に応じて入力クロック周波数を 2 で分周
CLKIN_PERIOD	浮動 小数点	1.25 ~ 1000.00	10.0	入力クロックの周期を 1.25 ~ 1000.00 の範囲で設定 (ns)
CLKOUT_PHASE_SHIFT	文字列	NONE、FIXED、 VARIABLE_ POSITIVE、 VARIABLE _CENTER、DIRECT	NONE	位相シフトのモードを指定
DCM_PERFORMANCE_MODE	文字列	MAX_SPEED、 MAX_RANGE	MAX_SPEED	DCM を低ジッタの高周波数クロックを生成するよう最適化するか、位相シフト範囲が広い低周波数のクロックを生成するよう最適化するかを指定
DESKEW_ADJUST	文字列	SOURCE_ SYNCHRONOUS、 SYSTEM_ SYNCHRONOUS、 0 ~ 15	SYSTEM_ SYNCHRONOUS	フィードバック パスの遅延の量を制御。ソース同期のインターフェイスで使用する必要があります。
DFS_FREQUENCY_MODE	文字列	LOW、HIGH	LOW	周波数合成の周波数モードを指定
DLL_FREQUENCY_MODE	文字列	LOW、HIGH	LOW	DLL の周波数モードを指定
DUTY_CYCLE_CORRECTION	ブール 代数	TRUE、FALSE	TRUE	CLK0、CLK90、CLK180、CLK270 の各出力のデューティ サイクルを修正
FACTORY_JF	16 進数	16 ビット値	F0F0	この属性は、DCM のジッタフィルタ特性に影響します。ザイリンクスからの指示なしにこのデフォルト値を変更しないでください。
PHASE_SHIFT	整数	-255 ~ 1023	0	位相シフト量を指定。この値の範囲は CLKOUT_PHASE_SHIFT の指定によって異なります。
SIM_DEVICE	文字列	VIRTEX4、 VIRTEX5	VIRTEX5	デバイスの選択
STARTUP_WAIT	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、DCM がロック状態になるまでコンフィギュレーション スタートアップシーケンスの指定したサイクルで待機

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DCM_BASE

プリミティブ : Base Digital Clock Manager Circuit



概要

このデザイン エLEMENTは、位相制御機能および周波数合成制御機能を持つコンフィギュレーション可能な DLL です。このコンポーネントは、システムで必要になる多種のクロックを発生させて制御するために、多くの FPGA アプリケーションで使用されます。ダイナミックリコンフィギュレーションが必用な場合は、DVM_ADV コンポーネントを使用し、ダイナミック位相シフトが必用な場合は、DVM_PS コンポーネントを使用します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
クロック出力/入力			
CLK0	出力	1	CLKIN の有効周波数と同じ周波数のクロックを出力します。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。CLKFB ピンを接続した場合、CLK0 は CLKIN の位相に揃えられます。
CLK90	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 90 度シフトしたクロックを出力します。
CLK180	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLK270	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 270 度シフトしたクロックを出力します。
CLK2X	出力	1	デューティサイクルが 50-50 に自動調整された、CLK0 と位相が同じで周波数が 2 倍のクロックを出力します。DCM がロック状態になるまでは、周波数が入力クロックの 1 倍で、デューティサイクルが 25-75 のクロックが CLK2X に出力されます。これにより、DCM がソース クロックに対して正しいエッジでロック状態になります。
CLK2X180	出力	1	CLK2X と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLKDV	出力	1	CLK0 と位相が同じで、CLKIN の有効周波数を分周したクロックが出力されます。分周する係数は、CLKDV_DIVIDE 属性で指定します。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。

ポート名	方向	幅	機能
CLKFX	出力	1	<p>次の式で求められる周波数のクロックを出力します。</p> $\text{CLKFX の周波数} = (M/D) \times (\text{CLKIN の有効周波数})$ <p>この式で、M は CLKFX_MULTIPLY 属性で指定し、D は CLKFX_DIVIDE 属性で指定します。M および D の値の範囲、入力および出力の周波数範囲は、このアーキテクチャのデータシートを参照してください。CLKFX 出力の立ち上がりエッジは、フィードバックパス (CLKFB) が使用されるとき、CLK0、CLK2X、および CLKDV の立ち上がりエッジに揃えられます。M と D の値に公約数がない場合、位相は D 入力クロック サイクルごとに揃えられます。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。</p>
CLKFX180	出力	1	CLKFX と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLKIN	入力	1	<p>DCM にソース クロックを供給します。CLKIN の周波数はこのアーキテクチャのデータシートで指定された範囲内にする必要があります。クロック入力信号は、次のいずれかのバッファから供給します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBUFG : グローバル クロック入力バッファ。デバイス上で DCM と同じ側 (上または下) にある IBUFG を使用すると、クロック入力パスが調整されます。 BUFG/BUFGCTRL : 内部グローバル クロック バッファ。専用グローバル配線を使用してデバイス上のどの DCM でも駆動できます。2 つの DCM を直列に接続する場合には、DCM の CLKIN ピンを駆動できます。 IBUF : 入力バッファ。IBUF で CLKIN 入力を駆動する場合、PAD から DCM 入力へのスキューは調整されず、ジッタが増加する可能性があります。このコンフィギュレーションは、使用しないください。
CLKFB	入力	1	<p>クロック出力の遅延を調整してクロック入力と位相を揃えるために参照するクロック信号です。DCM にフィードバックを供給するには、CLK0 出力のみを CLKFB 入力に接続しますが、内部フィードバックの場合は BUFG コンポーネントを介して、外部フィードバックの場合は OBUF - IBUFG を介します。CLK_FEEDBACK 属性を 1X に設定します。CLKFB ピンを接続すると、CLK0、CLKDV、および CLKFX が CLKIN の位相に揃えられます。CLKFB ピンを接続しない場合は、CLK_FEEDBACK を NONE に設定します。この場合、CLKFX および CLKFX180 出力は、CLKIN の位相に揃えられませんが有効になります。</p>
ステータス出力/制御入力			
LOCKED	出力	1	位相アライメントが完了し、操作が開始可能であることを示す同期出力
RST	入力	1	<p>DCM 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。RST 信号をアサートすると、すべての DCM 出力 (LOCKED 信号、ステータス信号、出力クロック) がソース クロックの 4 サイクル以内に Low になります。リセットは非同期であるため、ディアサート中にクロックの最後のサイクルが短いパルスになったり、デューティ サイクルが崩れたり、クロック間のスキューが調整される可能性があります。このため、デバイスをリコンフィギュレーションする場合や入力周波数を変更する場合は、RST ピンを使用する必要があります。RST 信号をディアサートすると、次の CLKIN サイクルに同期してクロックをロック状態にするプロセスが開始します。DCM がリセット後に正しくロックされるようにするには、CLKIN 信号が供給され、3 クロック サイクル以上安定するまで RST 信号をディアサートしておく必要があります。どのデザインでも、クロックが安定するまで DCM をリセットに保持する必要があります。</p>

ポート名	方向	幅	機能
			があります。コンフィギュレーションでは、GWE が解除されるまで DCM は自動的にリセット状態に保持されます。このクロックは、GSR がリリースされると安定します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLK_FEEDBACK	文字列	1X、2X、NONE	1X	DCM へのフィードバック入力を指定 (CLK0 または CLK2X)
CLKDV_DIVIDE	浮動 小数点	1.5、2.0、2.5、3.0、 3.5、4.0、4.5、5.0、 5.5、6.0、6.5、7.0、 7.5、8.0、9.0、10.0、 11.0、12.0、13.0、 14.0、15.0、16.0	2.0	CLKDLL、CLKDLLE、CLKDLLHF、DCM のクロック分周器 (CLKDV 出力) の分周比を指定
CLKFX_DIVIDE	整数	1 ~ 32	1	CLKFX 出力の分周比を指定
CLKFX_MULTIPLY	整数	2 ~ 32	4	CLKFX 出力の通倍比を指定
CLKIN_DIVIDE_BY_2	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	DCM の入力クロック周波数の要件に合うように、必要に応じて入力クロック周波数を 2 で分周
CLKIN_PERIOD	浮動 小数点	1.25 ~ 1000.00	10.0	入力クロックの周期を 1.25 ~ 1000.00 の範囲で設定 (ns)
CLKOUT_PHASE_SHIFT	文字列	NONE、FIXED、 VARIABLE_ POSITIVE、 VARIABLE_ CENTER、DIRECT	NONE	位相シフトのモードを指定
DCM_PERFORMANCE_MODE	文字列	MAX_SPEED、 MAX_RANGE	MAX_SPEED	DCM を低ジッタの高周波数クロックを生成するよう最適化するか、位相シフト範囲が広い低周波数のクロックを生成するよう最適化するかを指定
DESKEW_ADJUST	文字列	SOURCE_ SYNCHRONOUS、 SYSTEM_ SYNCHRONOUS、 0 ~ 15	SYSTEM_ SYNCHRONOUS	フィードバックパスの遅延の量を制御。ソース同期のインターフェイスで使用する必要があります。
DFS_FREQUENCY_MODE	文字列	LOW、HIGH	LOW	周波数合成の周波数モードを指定
DLL_FREQUENCY_MODE	文字列	LOW、HIGH	LOW	DLL の周波数モードを指定
DUTY_CYCLE_CORRECTION	ブール 代数	TRUE、FALSE	TRUE	CLK0、CLK90、CLK180、CLK270 の各出力のデューティサイクルを修正
FACTORY_JF	16 進数	16 ビット値	F0F0	この属性は、DCM のジッタフィルタ特性に影響します。サイリックスからの指示なしにこのデフォルト値を変更しないでください。

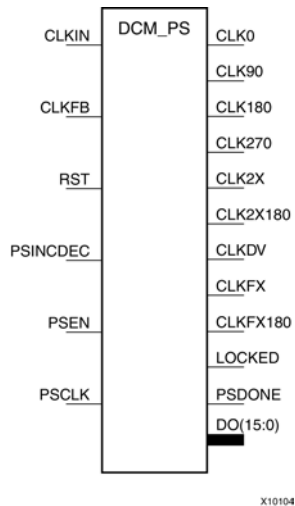
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
PHASE_SHIFT	整数	-255 ~ 1023	0	位相シフト量を指定。この値の範囲は CLKOUT_PHASE_SHIFT の指定によって異なります。
STARTUP_WAIT	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、DCM がロック状態になるまでコンフィギュレーション スタートアップ シーケンスの指定したサイクルで待機

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DCM_PS

プリミティブ : Digital Clock Manager with Basic and Phase Shift Features



概要

このデザイン エレメントは、位相制御機能および周波数合成制御機能を持つコンフィギュレーション可能な DLL です。このコンポーネントは、システムで必要になる多種のクロックを発生させて制御するために、多くの FPGA アプリケーションで使用されます。ダイナミックリコンフィギュレーションが必用な場合は、DVM_ADV コンポーネントを使用し、ダイナミック位相シフトが不要な場合は、DVM_BASE コンポーネントを使用します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
クロック出力/入力			
CLK0	出力	1	CLKIN の有効周波数と同じ周波数のクロックを出力します。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。CLKFB ピンを接続した場合、CLK0 は CLKIN の位相に揃えられます。
CLK90	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 90 度シフトしたクロックを出力します。
CLK180	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLK270	出力	1	CLK0 と同じ周波数で位相を 270 度シフトしたクロックを出力します。
CLK2X	出力	1	デューティ サイクルが 50-50 に自動調整された、CLK0 と位相が同じで周波数が 2 倍のクロックを出力します。DCM がロック状態になるまでは、周波数が入力クロックの 1 倍で、デューティ サイクルが 25-75 のクロックが CLK2X に出力されます。これにより、DCM がソース クロックに対して正しいエッジでロック状態になります。
CLK2X180	出力	1	CLK2X と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLKDV	出力	1	CLK0 と位相が同じで、CLKIN の有効周波数を分周したクロックが出力されます。分周する係数は、CLKDV_DIVIDE 属性で指定します。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。

ポート名	方向	幅	機能
CLKFX	出力	1	<p>次の式で求められる周波数のクロックを出力します。</p> $\text{CLKFX の周波数} = (M/D) \times (\text{CLKIN の有効周波数})$ <p>この式で、M は CLKFX_MULTIPLY 属性で指定し、D は CLKFX_DIVIDE 属性で指定します。M および D の値の範囲、入力および出力の周波数範囲は、データシートを参照してください。CLKFX 出力の立ち上がりエッジは、フィードバックパス (CLKFB) が使用されるとき、CLK0、CLK2X、および CLKDV の立ち上がりエッジに揃えられます。M と D の値に公約数がない場合、位相は D 入力クロック サイクルごとに揃えられます。デフォルトでは、CLKIN_DIVIDE_BY_2 属性を TRUE に設定した場合以外は、CLKIN の有効周波数は CLKIN の周波数と同じになります。</p>
CLKFX180	出力	1	CLKFX と同じ周波数で位相を 180 度シフトしたクロックを出力します。
CLKIN	入力	1	<p>DCM にソース クロックを供給します。CLKIN の周波数はデータシートで指定された範囲内にする必要があります。クロック入力信号は、次のいずれかのバッファから供給します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBUFG : グローバル クロック入力バッファ。デバイス上で DCM と同じ側 (上または下) にある IBUFG を使用すると、クロック入力パスが調整されます。 BUFG/BUFGCTRL : 内部グローバル クロック バッファ。専用グローバル配線を使用してデバイス上のどの DCM でも駆動できます。2 つの DCM を直列に接続する場合には、DCM の CLKIN ピンを駆動できます。 IBUF : 入力バッファ。IBUF で CLKIN 入力を駆動する場合、PAD から DCM 入力へのスキューは調整されず、ジッタが増加する可能性があります。このコンフィギュレーションは、使用しないでください。
CLKFB	入力	1	<p>クロック出力の遅延を調整してクロック入力と位相を揃えるために参照するクロック信号です。DCM にフィードバックを供給するには、CLK0 出力のみを CLKFB 入力に接続しますが、内部フィードバックの場合は BUFG コンポーネントを介して、外部フィードバックの場合は OBUF - IBUFG を介します。CLK_FEEDBACK 属性を 1X に設定します。CLKFB ピンを接続すると、CLK0、CLKDV、および CLKFX が CLKIN の位相に揃えられます。CLKFB ピンを接続しない場合は、CLK_FEEDBACK を NONE に設定します。この場合、CLKFX および CLKFX180 出力は、CLKIN の位相に揃えられませんが有効になります。</p>
ステータス出力/制御入力			
LOCKED	出力	1	位相アライメントが完了し、操作が開始可能であることを示す同期出力
PSDONE	出力	1	<p>ダイナミック CLKIN セレクト入力。High (1) のときは CLKIN1 が、Low (0) のときは CLKIN2 が選択されます。2 つのクロックを選択する必要がない場合は、この入力を 1 にします。</p>

ポート名	方向	幅	機能
RST	入力	1	DCM 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。RST 信号をアサートすると、すべての DCM 出力 (LOCKED 信号、ステータス信号、出力クロック) がソースクロックの 4 サイクル以内に Low になります。リセットは非同期であるため、ディアサート中にクロックの最後のサイクルが短いパルスになったり、デューティサイクルが崩れたり、クロック間のスキューが調整されなる可能性があります。このため、デバイスをリコンフィギュレーションする場合や入力周波数を変更する場合は、RST ピンを使用する必要があります。RST 信号をディアサートすると、次の CLKIN サイクルに同期してクロックをロック状態にするプロセスが開始します。DCM がリセット後に正しくロックされるようにするには、CLKIN 信号が供給され、3 クロックサイクル以上安定するまで RST 信号をディアサートしておく必要があります。どのデザインでも、クロックが安定するまで DCM をリセットに保持する必要があります。コンフィギュレーションでは、GWE が解除されるまで DCM は自動的にリセット状態に保持されます。このクロックは、GSR がリリースされると安定します。
PSCLK	入力	1	DCM 位相シフトのソースクロックを供給します。位相シフトクロック信号は、どのクロックソース (内部または外部) でも駆動できます。 PSCLK の周波数範囲は、PSCLK_FREQ_LF/HF で定義します (データシートを参照)。CLKOUT_PHASE_SHIFT 属性を NONE または FIXED に設定している場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。
PSINCDEC	入力	1	PSINCDEC 入力、PSCLK に同期しています。CLKOUT_PHASE_SHIFT が変数モードのいずれかに設定されているときに、位相シフト係数をインクリメント/デクリメントするために使用します。位相シフト係数をインクリメント/デクリメントすると、それに応じて出力クロックの位相がシフトします。PSINCDEC 信号が High の場合はインクリメント、Low の場合はデクリメントされます。CLKOUT_PHASE_SHIFT 属性を NONE または FIXED に設定している場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。
PSEN	入力	1	PSEN 入力は、PSCLK に同期しています。CLKOUT_PHASE_SHIFT が変数モードに設定されているときに、この信号によって可変位相シフトを開始します。可変位相シフトを有効にするには、PSEN 信号を PSCLK の 1 サイクル分アクティブにする必要があります。位相の変更は、CLKIN の 100 周期分と PSCLK の 3 周期分を加えた時間以内に有効になり、PSDONE が High になることにより示されます。位相が変化する間、出力に突発的な変化やグリッチは発生しません。PSEN がイネーブルになってから PSDONE が High になるまでの間、DCM の出力クロックは元の位相からターゲットの位相に少しずつ移動していきます。PSDONE が High になったら、位相シフトは完了です。CLKOUT_PHASE_SHIFT 属性を NONE または FIXED に設定している場合は、この入力をグラウンドに接続する必要があります。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

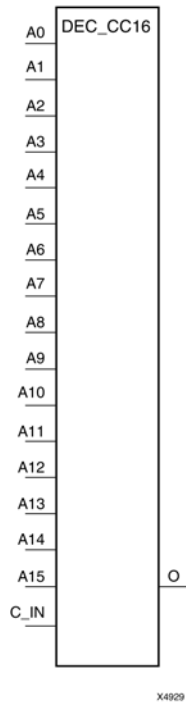
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CLK_FEEDBACK	文字列	1X、2X、NONE	1X	クロック フィードバックを指定
CLKDV_DIVIDE	浮動 小数点	1.5、2.0、2.5、3.0、 3.5、4.0、4.5、5.0、 5.5、6.0、6.5、7.0、 7.5、8.0、9.0、10.0、 11.0、12.0、13.0、 14.0、15.0、16.0	2.0	CLKDLL、CLKDLLE、CLKDLLHF、DCM の クロック分周器 (CLKDV 出力) の分周比を 指定
CLKFX_DIVIDE	整数	1 ~ 32	1	CLKFX 出力の分周比を指定
CLKFX_MULTIPLY	整数	2 ~ 32	4	CLKFX 出力の通倍比を指定
CLKIN_DIVIDE_BY_2	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	DCM の入力クロック周波数の要件に合うよう に、必要に応じて入力クロック周波数を 2 で 分周
CLKIN_PERIOD	浮動 小数点	1.25 ~ 1000.00	10.0	入力クロックの周期を 1.25 ~ 1000.00 の範 囲で設定 (ns)
CLKOUT_PHASE_ SHIFT	文字列	NONE、FIXED、 VARIABLE_ POSITIVE、 VARIABLE_ CENTER、DIRECT	NONE	位相シフトのモードを指定
DESKEW_ADJUST	文字列	SOURCE_ SYNCHRONOUS、 SYSTEM_ SYNCHRONOUS、 0 ~ 15	SYSTEM_ SYNCHRONOUS	フィードバック パスの遅延の量を制御。ソー ス同期のインターフェイスで使用する必要が あります。
DFS_FREQUENCY_ MODE	文字列	LOW、HIGH	LOW	周波数合成の周波数モードを指定
DLL_FREQUENCY_ MODE	文字列	LOW、HIGH	LOW	DLL の周波数モードを指定
DUTY_CYCLE_ CORRECTION	ブール 代数	TRUE、FALSE	TRUE	CLK0、CLK90、CLK180、CLK270 の各出力 のデューティ サイクルを修正
FACTORY_JF	16 進数	16 ビット値	F0F0	この属性は、DCM のジッタ フィルタ特性に影 響します。ザイリンクスからの指示なしにこの デフォルト値を変更しないでください。
PHASE_SHIFT	整数	-255 ~ 1023	0	位相シフト量を指定。この値の範囲は CLKOUT_PHASE_SHIFT の指定によって異 なります。
STARTUP_WAIT	ブール 代数	FALSE、TRUE	FALSE	TRUE に設定すると、DCM がロック状態にな るまでコンフィギュレーション スタートアップ シーケンスの指定したサイクルで待機

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DEC_CC16

マクロ : 16-Bit Active Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、多入力デコーダ ファンクションを作成するために使用される 16 ビットのデコーダで、ルックアップ テーブル (LUT) で駆動される CY_MUX エLEMENTをカスケードしてインプリメントされます。C_IN ピンは、前段のデコードの出力 (O) によってのみ駆動されます。1 つ以上の入力 (A) が Low になると、出力が Low になります。すべての A 入力と C_IN 入力が High になると、出力が High になります。入力にインバータを追加すると、パターンをデコードできます。

論理表

入力					出力
A0	A1	...	Az	C_IN	O
1	1	1	1	1	1
X	X	X	X	0	0
0	X	X	X	X	0
X	0	X	X	X	0
X	X	X	0	X	0

DEC_CC4 の場合 $z = 3$ 、DEC_CC8 の場合 $z = 7$ 、DEC_CC16 の場合 $z = 15$

デザインの入力方法

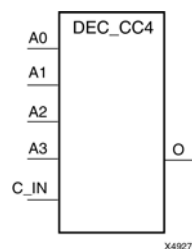
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DEC_CC4

マクロ : 4-Bit Active Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、多入力デコーダ ファンクションを作成するために使用される 4 ビットのデコーダで、ルックアップ テーブル (LUT) で駆動される CY_MUX ELEMENTをカスケードしてインプリメントされます。C_IN ピンは、前段のデコードの出力 (O) によってのみ駆動されます。1 つ以上の入力 (A) が Low になると、出力が Low になります。すべての A 入力と C_IN 入力が High になると、出力が High になります。入力にインバータを追加すると、パターンをデコードできます。

論理表

入力					出力
A0	A1	...	Az	C_IN	O
1	1	1	1	1	1
X	X	X	X	0	0
0	X	X	X	X	0
X	0	X	X	X	0
X	X	X	0	X	0

DEC_CC4 の場合 z = 3、DEC_CC8 の場合 z = 7、DEC_CC16 の場合 z = 15

デザインの入力方法

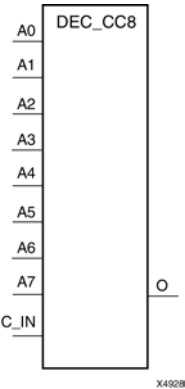
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DEC_CC8

マクロ : 8-Bit Active Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、多入力デコーダ ファンクションを作成するために使用される 8 ビットのデコーダで、ルックアップ テーブル (LUT) で駆動される CY_MUX ELEMENTをカスケードしてインプリメントされます。C_IN ピンは、前段のデコードの出力 (O) によってのみ駆動されます。1 つ以上の入力 (A) が Low になると、出力が Low になります。すべての A 入力と C_IN 入力が High になると、出力が High になります。入力にインバータを追加すると、パターンをデコードできます。

論理表

入力					出力
A0	A1	...	Az	C_IN	O
1	1	1	1	1	1
X	X	X	X	0	0
0	X	X	X	X	0
X	0	X	X	X	0
X	X	X	0	X	0
DEC_CC4 の場合 z = 3、DEC_CC8 の場合 z = 7、DEC_CC16 の場合 z = 15					

デザインの入力方法

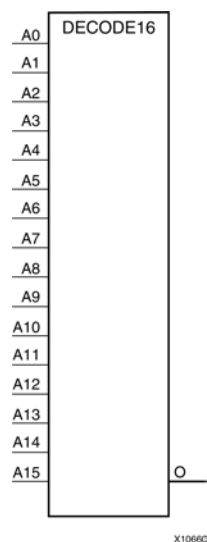
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DECODE16

マクロ : 16-Bit Active-Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビットのアクティブ Low デコーダで、LUT と MUXCY を組み合わせてインプリメントされます。

論理表

入力				出力*
A0	A1	...	Az	O
1	1	1	1	1
0	X	X	X	0
X	0	X	X	0
X	X	X	0	0

z = ビット幅 -1

* 高駆動電流を達成するには、プルアップ抵抗を出力に接続する必要があります。

デザインの入力方法

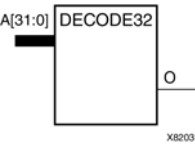
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DECODE32

マクロ : 32-Bit Active-Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、32 ビットのアクティブ Low デコーダで、LUT と MUXCY を組み合わせてインプリメントされます。

論理表

入力				出力
A0	A1	...	Az	O
1	1	1	1	1
0	X	X	X	0
X	0	X	X	0
X	X	X	0	0
DECODE32 の場合 z = 31、DECODE64 の場合 z = 63				

デザインの入力方法

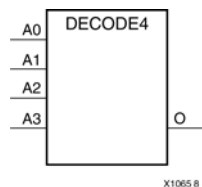
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DECODE4

マクロ : 4-Bit Active-Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビットのアクティブ Low デコーダで、LUT と MUXCY を組み合わせてインプリメントされます。

論理表

入力				出力*
A0	A1	...	Az	O
1	1	1	1	1
0	X	X	X	0
X	0	X	X	0
X	X	X	0	0

z = ビット幅 -1

* 高駆動電流を達成するには、プルアップ抵抗を出力に接続する必要があります。

デザインの入力方法

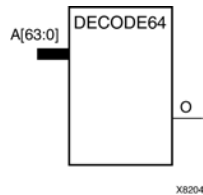
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DECODE64

マクロ : 64-Bit Active-Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、64 ビットのアクティブ Low デコーダで、LUT と MUXCY を組み合わせてインプリメントされます。

論理表

入力				出力
A0	A1	...	Az	O
1	1	1	1	1
0	X	X	X	0
X	0	X	X	0
X	X	X	0	0

DECODE32 の場合 z = 31、DECODE64 の場合 z = 63

デザインの入力方法

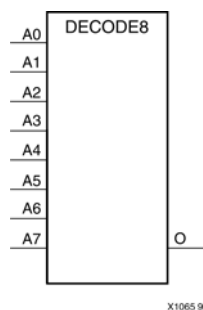
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DECODE8

マクロ : 8-Bit Active-Low Decoder



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのアクティブ Low デコーダで、LUT と MUXCY を組み合わせてインプリメントされます。

論理表

入力				出力*
A0	A1	...	Az	O
1	1	1	1	1
0	X	X	X	0
X	0	X	X	0
X	X	X	0	0

z = ビット幅 -1

* 高駆動電流を達成するには、プルアップ抵抗を出力に接続する必要があります。

デザインの入力方法

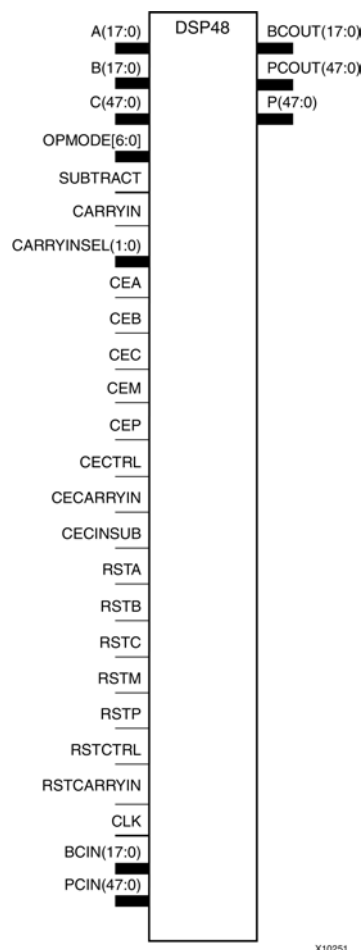
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

DSP48

プリミティブ : 18x18 Signed Multiplier Followed by a Three-Input Adder with Optional Pipeline Registers



X10251

概要

このデザイン エLEMENTのスライスは、48 ビットの出力を持つデジタル信号処理 (DSP) アプリケーションで使用するために開発されたコンポーネントですが、MACC ユニットだけでなくさまざまなアプリケーションで利用できる柔軟性を備えています。基本的な DSP48 スライスは、乗算器と加算器で構成されています。乗算器は、2 つの 18 ビット符号付き 2 の補数オペランドを入力とし、その結果を 36 ビット符号付き 2 の補数で出力します。結果は、48 ビットに符号拡張されます。加算器は、3 つの 48 ビット符号付き 2 の補数オペランドを入力とし、その結果を 48 ビット符号付き 2 の補数で出力します。

加算器のオペランドとしては、乗算器の出力、外部ソース、または加算器のレジスタを介した出力 (累積機能) を使用できます。48 ビット出力では、オーバーフローになるまでに 36 ビット オペランドの 4096 累積が可能です。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
CLK	I	1	DSP48 クロック
A	I	18	乗算器の A 入力。加算器の MSW 入力としても使用できます。
B	I	18	乗算器の B 入力。加算器の LSW 入力としても使用できます。
BCIN	I	18	乗算器のカスケード B 入力。加算器の LSW 入力としても使用できます。
C	I	48	加算器の C 入力
PCIN	I	48	前の DSP スライスからカスケード接続された加算器の C 入力
CARRYIN	I	1	加算器のキャリー入力
SUBTRACT	I	1	0 = add、1 = (C, PCIN) - (mult, A:B)
OPMODE	I	7	DSP48 スライスの加算器の制御入力 (OpMode の表を参照)
CARRYINSEL	I	2	キャリーのソースを選択 (CARRYINSEL の表を参照)
CEA	I	1	クロック イネーブル (0 = 保持、1 = AREG をイネーブル)
CEB	I	1	クロック イネーブル (0 = 保持、1 = BREG をイネーブル)
CEC	I	1	クロック イネーブル (0 = 保持、1 = CREG をイネーブル)
CEP	I	1	クロック イネーブル (0 = 保持、1 = PREG をイネーブル)

パイプライン レジスタを定義する合成属性

次に、パイプライン レジスタを定義する合成属性を示します。

属性	機能
AREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用、2 = 2 個使用
BREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用、2 = 2 個使用
CREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用
PREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用
MREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用
SUBTRACTREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用
OPMODEREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用
CARRYINSELREG	0 = バイパス、1 = 1 個使用

2 の補数の符号付乗算器

DSP48 スライスに含まれる乗算器は、18 ビット X 18 ビットの 2 の補数乗算器で、結果を 36 ビット符号付き 2 の補数で出力します。乗算器をカスケード接続すると、より大型の乗算器を作成できます。符号付きと符号付き、符号付きと符号なし、符号なしと符号なしの乗算、論理演算、数値演算、バレル シフタ、2 の補数および絶対値での結果出力を簡単にインプリメントできます。2 つの独立したダイナミック データ入力ポートがあります。入力ポートでは、18 ビットの符号付きデータまたは 17 ビットの符号なしデータがサポートされます。

X、Y、および Z マルチプレクサ

動作モード (OpMode) 入力を使用すると、動作中にデザインの機能を変更できます。たとえば、アキュムレータを指定すると、累積プロセスが開始します。OpMode ビットは、コンフィギュレーション RAM で制御してレジスタに取り込むことができます。

次の表に、OpMode の値と、加減算器にデータを供給する 3 つのマルチプレクサの出力での機能を示します。7 ビットの OpMode 制御は、マルチプレクサのセレクトビットに分割できます。セレクトビットの組み合わせによっては、使用できないものもあります。乗算器出力を選択した場合、X および Y 両方のマルチプレクサが乗算器出力により使用されます。

OpMode 制御ビット セレクト X、Y、Z とマルチプレクサ出力

2 進 OpMode			加減算器に供給される X マルチプレクサ出力
Z	Y	X	
XXX	XX	0	0 (デフォルト)
XXX	1	1	乗算器出力
XXX	XX	10	P
XXX	XX	11	A を B と連結

OpMode 制御ビット セレクト X、Y、Z とマルチプレクサ出力

2 進 OpMode			加減算器に供給される Y マルチプレクサ出力
Z	Y	X	
XXX	0	XX	0 (デフォルト)
XXX	1	1	乗算器出力
XXX	10	XX	不正
XXX	11	XX	C

OpMode 制御ビット セレクト X、Y、Z とマルチプレクサ出力

2 進 OpMode			加減算器に供給される Y マルチプレクサ出力
Z	Y	X	
XXX	0	XX	0 (デフォルト)
XXX	1	1	乗算器出力
XXX	10	XX	不正
XXX	11	XX	C

3 入力加減算器制御ロジック

加減算器の出力は、制御入力とデータ入力により決定します。OpMode は、前のセクションで示したように、3 つの加減算器の入力に供給される X、Y、Z マルチプレクサへの入力を選択します。乗算器出力が選択されると、X および Y マルチプレクサの両方が使用されます。加減算器の入力を指定したら、加減算器自体の機能を確認する必要があります。入力マルチプレクサと同様に、OpMode ビットによりこの機能の一部を指定できます。次の表に、この機能を示します。± 記号は加算または減算を示し、減算制御のステートにより指定されます。

16 進 OpMode	2 進 OpMode	加減算器の出力	説明
[6:0]	Z Y X		
0x00	000 00 00	±CIN	0
0x02	000 00 10	±(P + CIN)	P を保持
0x03	000 00 11	±(A:B + CIN)	A:B セレクト
0x05	000 01 01	± (A × B + CIN)	乗算
0x0c	000 11 00	± (C + CIN)	C セレクト

16 進 OpMode	2 進 OpMode	加減算器の出力	説明
[6:0]	Z Y X		
0x0e	000 11 10	$\pm (C + P + CIN)$	フィードバック加算
0x0f	000 11 11	$\pm (A:B + C + CIN)$	36 ビットの加算器
0x10	001 00 00	$PCIN \pm CIN$	P カスケード セレクト
0x12	001 00 10	$PCIN \pm (P + CIN)$	P カスケード フィードバック加算
0x13	001 00 11	$PCIN \pm (A:B + CIN)$	P カスケード加算
0x15	001 01 01	$PCIN \pm (A \times B + CIN)$	P カスケード乗算/加算
0x1c	001 11 00	$PCIN \pm (C + CIN)$	P カスケード加算
0x1e	001 11 10	$PCIN \pm (C + P + CIN)$	P カスケード フィードバック加算/加算
0x1c	001 11 11	$PCIN \pm (A:B + C + CIN)$	P カスケード加算/加算
0x20	010 00 00	$P \pm CIN$	P を保持
0x22	010 00 10	$P \pm (P + CIN)$	ダブル フィードバック加算
0x23	010 00 11	$P \pm (A:B + CIN)$	フィードバック加算
0x25	010 01 01	$P \pm (A \times B + CIN)$	乗算/累積
0x2c	010 11 00	$P \pm (C + CIN)$	フィードバック加算
0x2e	010 11 10	$P \pm (C + P + CIN)$	ダブル フィードバック加算
0x2f	010 11 11	$P \pm (A:B + C + CIN)$	フィードバック加算/加算
0x30	011 00 00	$C \pm CIN$	C セレクト
0x32	011 00 10	$C \pm (P + CIN)$	フィードバック加算
0x33	011 00 11	$C \pm (A:B + CIN)$	36 ビットの加算器
0x35	011 01 01	$C \pm (A \times B + CIN)$	乗算/加算
0x3c	011 11 00	$C \pm (C + CIN)$	ダブル
0x3e	011 11 10	$C \pm (C + P + CIN)$	ダブル加算フィードバック加算
0x3f	011 11 11	$C \pm (A:B + C + CIN)$	ダブル加算
0x50	101 00 00	$Shift(PCIN) \pm CIN$	17 ビット シフト P カスケード セレクト
0x52	101 00 10	$Shift(PCIN) \pm (P + CIN)$	17 ビット シフト P カスケード フィードバック加算
0x53	101 00 11	$Shift(PCIN) \pm (A:B + CIN)$	17 ビット シフト P カスケード加算
0x55	101 01 01	$Shift(PCIN) \pm (A \times B + CIN)$	17 ビット シフト P 乗算/加算
0x5c	101 11 00	$Shift(PCIN) \pm (C + CIN)$	17 ビット シフト P カスケード加算
0x5e	101 11 10	$Shift(PCIN) \pm (C + P + CIN)$	17 ビット シフト P カスケード フィードバック加算/加算
0x5c	101 11 11	$Shift(PCIN) \pm (A:B + C + CIN)$	17 ビット シフト P カスケード加算/加算
0x60	110 00 00	$Shift(P) \pm CIN$	17 ビット シフト フィードバック
0x62	110 00 10	$Shift(P) \pm (P + CIN)$	17 ビット シフト フィードバック/フィードバック加算
0x63	110 00 11	$Shift(P) \pm (A:B + CIN)$	17 ビット シフト フィードバック加算

16 進 OpMode	2 進 OpMode	加減算器の出力	説明
[6:0]	Z Y X		
0x65	110 01 01	Shift(P) \pm (A \times B+CIN)	17 ビット シフト フィードバック乗算/加算
0x6c	110 11 00	Shift(P) \pm (C + CIN)	17 ビット シフト フィードバック加算
0x6e	110 11 10	Shift(P) \pm (C + P + CIN)	17 ビット シフト フィードバック/フィードバック加算/加算
0x6f	110 11 11	Shift(P) \pm (A:B + C + CIN)	17 ビット シフト フィードバック加算/加算

キャリー ロジックでサポートされる繰り上げ/繰り下げモード

OpMode 入力、3 入力加減算器へのデータ入力、減算制御ビットに加え、加減算器の出力はキャリー入力ロジックの結果を示します。

CarryInSel 信号、減算制御信号、および OpMode 制御信号は、コンフィギュレーション RAM で制御してレジスタに取り込むことができます (グレーのマルチプレクサ シンボルで示す)。これにより、制御信号パイプラインの遅延をデータのパイプライン遅延と一致させることができます。CarryInSel 信号、減算制御信号、OpMode 制御信号は同じリセット信号 (RSTCTRL) を使用し、減算制御信号と OpMode 制御信号は同じクロック イネーブル信号を使用します。クロック イネーブルを使用すると、必要に応じて、制御信号をディスエーブルにできます。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
AREG	整数	0、1、2	1	A 入力にレジスタを付けるかを指定します。
B_INPUT	文字列	DIRECT、CASCADE	DIRECT	DIRECT = 被乗数は B、CASCADE = 被乗数は BCIN
BREG	整数	0、1、2	1	B 入力にレジスタを付けるかを指定します。
CARRYINREG	整数	0、1	1	CARRYIN 入力のパイプライン レジスタ数
CARRYINSELREG	整数	0、1	1	CARRYINSEL のパイプライン レジスタ数
CREG	整数	0、1、2	1	C 入力にレジスタを付けるかを指定します。
LEGACY_MODE	文字列	NONE、MULT18X18、MULT18X18S	MULT18X18S	DCM の内部属性設定。デフォルト値から変更しないでください。
MREG	整数	0、1	1	乗算器の段にレジスタを付けるかを指定します。イネーブル = 1/ディスエーブル = 0
OPMODEREG	整数	0、1	1	OpMode 入力上のパイプライン レジスタ数
PREG	整数	0、1	1	C 入力にレジスタを付けるかを指定します。
SUBTRACTREG	整数	0、1	1	SUBTRACT 入力上のパイプライン レジスタ数

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート: DC 特性およびスイッチ特性](#)

EMAC

プリミティブ : Fully integrated 10/100/1000 Mb/s Ethernet Media Access Controller (Ethernet MAC)

概要

このデザイン エLEMENTでは、Virtex®-4 PowerPC® プロセッサをイーサネット接続できるようにします。イーサネット MAC (EMAC) では、次の機能がサポートされています。

- 完全に統合された 10/100/1000 Mb/s イーサネット MAC
- IEEE 802.3-2002 規格に準拠
- 全二重または半二重操作を設定可能
- 物理 (PHY) レイヤでオブジェクトを制御する MII (Media Independent Interface) 制御 (MDIO) インターフェイス
- 統計ベクタ出力にアクセス可能
- VLAN フレームをサポート
- 内部フレーム ギャップ調整を設定可能
- 送信および受信パスの両方を通過するインバンド フレーム チェック シーケンス (FCS) フィールドを設定可能
- 送信で自動パディング、受信で FCS フィールド ストリップを提供
- ホスト インターフェイスから設定およびモニタ可能
- ハードウェアで選択可能なデバイス コントロール レジスタ (DCR) バスまたは 1G イーサネット MAC バス ホスト インターフェイス
- イーサネット MAC 制御 PAUSE フレームを使用したフロー制御を設定可能 (対称または非対称にイネーブル可能)
- 任意の長さのジャンボ フレームをサポート
- ユニキャスト、マルチキャスト、ブロードキャスト アドレス用の受信アドレス フィルタを設定可能
- II (Media Independent Interface)、GMII (Gigabit Media Independent Interface)、および Reduced Gigabit Media Independent Interface (RGMII)
- マルチギガビット トランシーバ (MGT) で使用して完全なオンチップ 1000BASE-X インプリメンテーションを提供するための 1000BASE-X PCS (Physical Coding Sublayer) および PMA (Physical Medium Attachment) サブレイヤを含有
- MGT インターフェイスから銅製の外部 PHY レイヤへの SGMII (Serial Gigabit Media Independent Interface) をサポート

ポートの説明

入力	出力
RESET	
TIEEMAC0CONFIGVEC [79:0]	
TIEEMAC1CONFIGVEC [79:0]	
TIEEMAC0UNICASTADDR [47:0]	
TIEEMAC1UNICASTADDR [47:0]	
PHYEMAC0GTCLK	
PHYEMAC1GTCLK	
CLIENTEMAC0DCMLOCKED	EMAC0CLIENTANINTERRUPT
CLIENTEMAC1DCMLOCKED	EMAC1CLIENTANINTERRUPT

入力	出力
CLIENTEMAC0RXCLIENTCLKIN	EMAC0CLIENTRXCLIENTCLKOUT
	EMAC0CLIENTRXD [15:0]
	EMAC0CLIENTRXDVLD
	EMAC0CLIENTRXDVLDMSW
	EMAC0CLIENTRXGOODFRAME
	EMAC0CLIENTRXBADFRAME
	EMAC0CLIENTRXFRAMEDROP
	EMAC0CLIENTRXDVREG6
	EMAC0CLIENTRXSTATS [6:0]
	EMAC0CLIENTRXSTATSBYTEVLD
	EMAC0CLIENTRXSTATSVLD
CLIENTEMAC1RXCLIENTCLKIN	EMAC1CLIENTRXCLIENTCLKOUT
	EMAC1CLIENTRXD [15:0]
	EMAC1CLIENTRXDVLD
	EMAC1CLIENTRXDVLDMSW
	EMAC1CLIENTRXGOODFRAME
	EMAC1CLIENTRXBADFRAME
	EMAC1CLIENTRXFRAMEDROP
	EMAC1CLIENTRXDVREG6
	EMAC1CLIENTRXSTATS [6:0]
	EMAC1CLIENTRXSTATSBYTEVLD
	EMAC1CLIENTRXSTATSVLD
CLIENTEMAC0TXGMIIMICLKIN	EMAC0CLIENTTXGMIIMICLKOUT
CLIENTEMAC0TXCLIENTCLKIN	EMAC0CLIENTTXCLIENTCLKOUT
CLIENTEMAC0TXD [15:0]	EMAC0CLIENTTXACK
CLIENTEMAC0TXDVLD	EMAC0CLIENTTXCOLLISION
CLIENTEMAC0TXDVLDMSW	EMAC0CLIENTTXRETRANSMIT
CLIENTEMAC0TXUNDERRUN	EMAC0CLIENTTXSTATS
CLIENTEMAC0TXIFGDELAY [7:0]	EMAC0CLIENTTXSTATSBYTEVLD
CLIENTEMAC0TXFIRSTBYTE	EMAC0CLIENTTXSTATSVLD
CLIENTEMAC1TXGMIIMICLKIN	EMAC1CLIENTTXGMIIMICLKOUT
CLIENTEMAC1TXCLIENTCLKIN	EMAC1CLIENTTXCLIENTCLKOUT
CLIENTEMAC1TXD [15:0]	EMAC1CLIENTTXACK
CLIENTEMAC1TXDVLD	EMAC1CLIENTTXCOLLISION
CLIENTEMAC1TXDVLDMSW	EMAC1CLIENTTXRETRANSMIT
CLIENTEMAC1TXUNDERRUN	EMAC1CLIENTTXSTATS
CLIENTEMAC1TXIFGDELAY [7:0]	EMAC1CLIENTTXSTATSBYTEVLD
CLIENTEMAC1TXFIRSTBYTE	EMAC1CLIENTTXSTATSVLD

入力	出力
CLIENTEMAC0PAUSEREQ	
CLIENTEMAC0PAUSEVAL [15:0]	
CLIENTEMAC1PAUSEREQ	
CLIENTEMAC1PAUSEVAL [15:0]	
HOSTADDR [9:0]	HOSTMIIMRDY
HOSTCLK	HOSTRDDATA [31:0]
HOSTMIIMSEL	
HOSTOPCODE [1:0]	
HOSTREQ	
HOSTWRDATA [31:0]	
HOSTEMAC1SEL	
DCREMACCLK	DCRHOSTDONEIR
DCREMACENABLE	EMACDCRACK
DCREMACDBUS [0:31]	EMACDCRDBUS [0:31]
DCREMACABUS [8:9]	
DCREMACREAD	
DCREMACWRITE	
PHYEMAC0RXCLK	EMAC0PHYTXCLK
PHYEMAC0RXD [7:0]	EMAC0PHYTXD [7:0]
PHYEMAC0RXDV	EMAC0PHYTXEN
PHYEMAC0RXER	EMAC0PHYTXER
PHYEMAC0MIITXCLK	
PHYEMAC0COL	
PHYEMAC0CRS	
PHYEMAC1RXCLK	EMAC1PHYTXCLK
PHYEMAC1RXD [7:0]	EMAC1PHYTXD [7:0]
PHYEMAC1RXDV	EMAC1PHYTXEN
PHYEMAC1RXER	EMAC1PHYTXER
PHYEMAC1MIITXCLK	
PHYEMAC1COL	
PHYEMAC1CRS	
PHYEMAC0SIGNALDET	EMAC0PHYENCOMMAALIGN
PHYEMAC0PHYAD [4:0]	EMAC0PHYLOOPBACKMSB
PHYEMAC0RXCLKCORCNT [2:0]	EMAC0PHYMGTRXRESET
PHYEMAC0RXBUFSTATUS [1:0]	EMAC0PHYMGTTXRESET
PHYEMAC0RXCHARISCOMMA	EMAC0PHYPOWERDOWN
PHYEMAC0RXCHARISK	EMAC0PHYSYNACQSTATUS
PHYEMAC0RXCHECKINGCRC	EMAC0PHYTXCHARDISPMODE

入力	出力
PHYEMAC0RXCOMMADET	EMAC0PHYTXCHARDISPVAL
PHYEMAC0RXDISPERR	EMAC0PHYTXCHARISK
PHYEMAC0RXLOSSOFSYNC [1:0]	
PHYEMAC0RXNOTINTABLE	
PHYEMAC0RXRUNDISP	
PHYEMAC0RXBUFERR	
PHYEMAC0TXBUFERR	
PHYEMAC1SIGNALDET	EMAC1PHYENCOMMAALIGN
PHYEMAC1PHYAD [4:0]	EMAC1PHYLOOPBACKMSB
PHYEMAC1RXCLKCORCNT [2:0]	EMAC1PHYMGTRXRESET
PHYEMAC1RXBUFSTATUS [1:0]	EMAC1PHYMGTTXRESET
PHYEMAC1RXCHARISCOMMA	EMAC1PHYPOWERDOWN
PHYEMAC1RXCHARISK	EMAC1PHYSYNACQSTATUS
PHYEMAC1RXCHECKINGCRC	EMAC1PHYTXCHARDISPMODE
PHYEMAC1RXCOMMADET	EMAC1PHYTXCHARDISPVAL
PHYEMAC1RXDISPERR	EMAC1PHYTXCHARISK
PHYEMAC1RXLOSSOFSYNC [1:0]	
PHYEMAC1RXNOTINTABLE	
PHYEMAC1RXRUNDISP	
PHYEMAC1RXBUFERR	
PHYEMAC1TXBUFERR	
PHYEMAC0MCLKIN	EMAC0PHYMCLKOUT
PHYEMAC0MDIN	EMAC0PHYMDOUT
	EMAC0PHYMDTRI
PHYEMAC1MCLKIN	EMAC1PHYMCLKOUT
PHYEMAC1MDIN	EMAC1PHYMDOUT
	EMAC1PHYMDTRI

デザインの入力方法

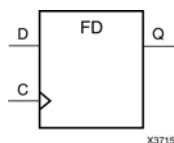
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD

Primitive: D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とデータ出力 (Q) がある D フリップフロップです。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↑	0
1	↑	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

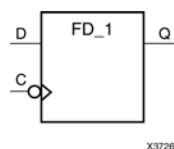
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↓	0
1	↓	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

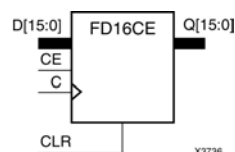
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD16CE

マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある 16 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかの入力はすべて無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

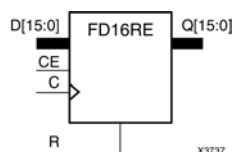
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD16RE

マクロ : 16-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、16 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル入力 (CE) が High、同期リセット入力 (R) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに入力 (D) の値が対応する出力 (Q) に送られます。R が High になると、ほかの入力はすべて無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

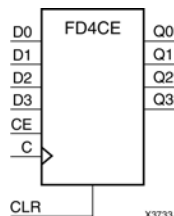
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD4CE

マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある 4 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかの入力はすべて無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

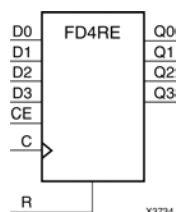
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD4RE

マクロ : 4-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、4 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル入力 (CE) が High、同期リセット入力 (R) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに入力 (D) の値が対応する出力 (Q) に送られます。R が High になると、ほかの入力はすべて無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

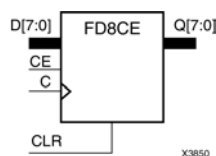
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD8CE

マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある 8 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかの入力はすべて無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

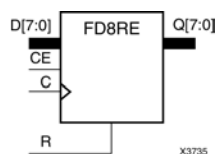
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FD8RE

マクロ : 8-Bit Data Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、8 ビットのデータレジスタです。クロック イネーブル入力 (CE) が High、同期リセット入力 (R) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに入力 (D) の値が対応する出力 (Q) に送られます。R が High になると、ほかの入力はすべて無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	Dz : D0	C	Qz : Q0
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	Dn	↑	Dn
z = ビット幅 - 1				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

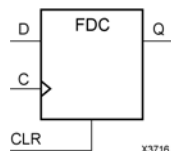
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDC

Primitive: D Flip-Flop with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、非同期クリア入力 (CLR)、データ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low になります。CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	D	C	Q
1	X	X	0
0	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

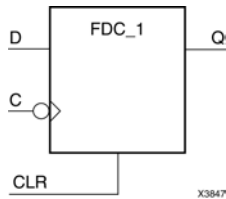
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDC_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Clear



概要

FDC_1 は、入力 (D)、非同期クリア入力 (CLR)、出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low になります。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	D	C	Q
1	X	X	0
0	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

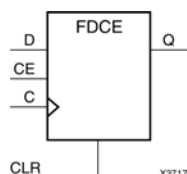
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDCE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブルと非同期クリアがある単一の D タイプ フリップフロップです。クロック イネーブル (CE) が High、非同期クリア (CLR) が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにデータ入力 (D) の値がデータ出力 (Q) に送られます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	D	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

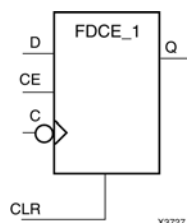
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDCE の場合、INIT 値は 0 である必要があります。1 に設定する場合は、この動作を表す非同期回路を作成する必要がありますが、ザイリンクスでは推奨されていません。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDCE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) のある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low になります。CLR が Low、CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	D	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

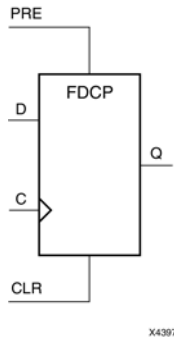
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDCC

プリミティブ : D Flip-Flop with Asynchronous Preset and Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期プリセット (PRE)、クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、Q 出力が High にセットされます。CLR が High になると、出力が Low にリセットされます。PRE と CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	PRE	D	C	Q
1	X	X	X	0
0	1	X	X	1
0	0	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

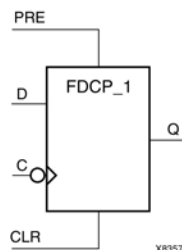
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDCEP_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Preset and Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期プリセット (PRE)、クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、Q 出力が High にセットされます。CLR が High になると、出力が Low にリセットされます。PRE と CLR が Low の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	PRE	D	C	Q
1	X	X	X	0
0	1	X	X	1
0	0	0	↓	0
0	0	1	↓	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

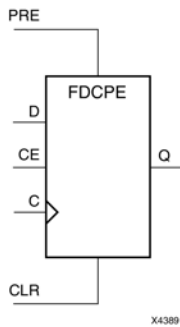
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDCPE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset and Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE)、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。非同期 PRE が High になると Q 出力が High にセットされ、CLR が High になると出力が Low にリセットされます (CLR 入力 が PRE 入力よりも優先される)。PRE と CLR が Low で CE が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合クロック遷移は無視され、以前の値が保持されます。FDCPE は通常、スライスまたは IOB レジスタとしてインプリメントされます。

FPGA では電源が投入されると、INIT 属性を使用して指定した初期値に設定されます。GSR (グローバル セット/リセット) をアサートすると、INIT で指定した初期値に非同期で設定されます。

メモ : 非同期のセットおよびリセットの使用がサポートされていますが、これらの使用は通常お勧めしません。非同期信号を使用するとタイミングの問題が検出および制御しにくく、またロジックの最適化に悪影響を及ぼし、同期セットまたはリセットを使用した場合に比べて消費電力が大きくなることがあります。

論理表

入力					出力
CLR	PRE	CE	D	C	Q
1	X	X	X	X	0
0	1	X	X	X	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	D	↑	D

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q	出力	1	データ出力
C	入力	1	クロック入力
CE	入力	1	クロック イネーブル入力
CLR	入力	1	非同期クリア入力
D	入力	1	データ入力
PRE	入力	1	非同期セット入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

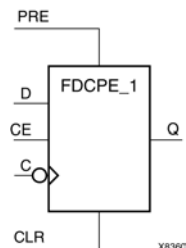
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後および GSR 入力時の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDCPE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Preset and Clear



概要

FDCPE_1 は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE)、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、Q 出力が High にセットされます。CLR が High になると、出力が Low にリセットされます。PRE と CLR が Low で CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるたびに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
CLR	PRE	CE	D	C	Q
1	X	X	X	X	0
0	1	X	X	X	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	D	↓	D

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q	出力	1	データ出力
C	入力	1	クロック入力
CE	入力	1	クロック イネーブル入力
CLR	入力	1	非同期クリア入力
D	入力	1	データ入力
PRE	入力	1	非同期セット入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

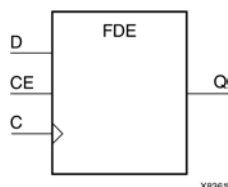
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、クロック イネーブル (CE)、データ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。クロック イネーブルが High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
0	X	X	変化なし
1	0	↑	0
1	1	↑	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

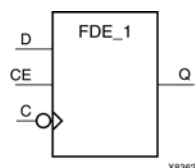
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、クロック イネーブル (CE)、データ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。クロック イネーブルが High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
0	X	X	変化なし
1	0	↓	0
1	1	↓	1

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

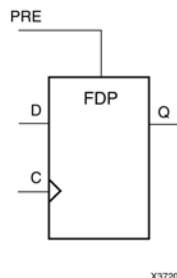
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDP

Primitive: D Flip-Flop with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にプリセットされます。PRE が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	C	D	Q
1	X	X	1
0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

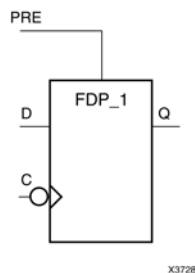
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDP_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期 PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にプリセットされます。PRE が Low の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	C	D	Q
1	X	X	1
0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

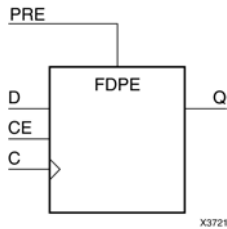
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDPE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期の PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low、CE が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	CE	D	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

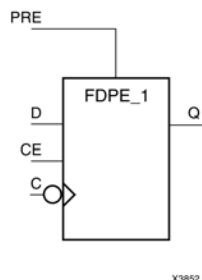
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDPE の場合、INIT 値は 1 である必要があります。0 に設定する場合は、この動作を表す非同期回路を作成する必要がありますが、ザイリンクスでは推奨されていません。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDPE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。非同期の PRE が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low、CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	CE	D	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

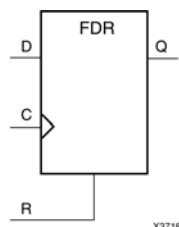
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDR

Primitive: D Flip-Flop with Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
R	D	C	Q
1	X	↑	0
0	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

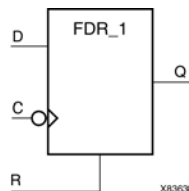
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDR_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
R	D	C	Q
1	X	↓	0
0	D	↓	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

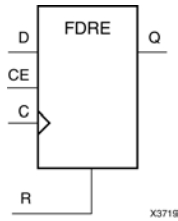
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDRE

Primitive: D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low、CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	D	C	Q
1	X	X	↑	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

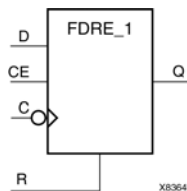
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDRE の場合、INIT 値を 0 に設定する必要があります。1 に設定すると余分なロジックが挿入されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDRE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge, Clock Enable, and Synchronous Reset



概要

FDRE_1 は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。R が Low で CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	CE	D	C	Q
1	X	X	↓	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

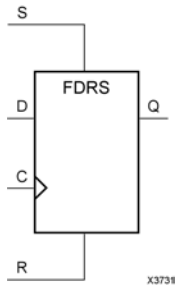
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDRS

Primitive: D Flip-Flop with Synchronous Reset and Set



概要

FDRS は、データ (D)、同期セット (S)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます (リセットがセットよりも優先される)。S が High、R が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時にフリップフロップがセットされ、出力が High になります。R と S が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	S	D	C	Q
1	X	X	↓	0
0	1	X	↓	1
0	0	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

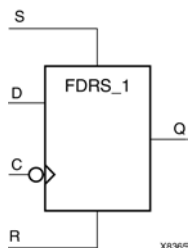
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDRS_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge and Synchronous Reset and Set



概要

FDRS_1 は、データ (D)、同期セット (S)、同期リセット (R) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます (リセットがセットよりも優先される)。S が High、R が Low の場合、クロックが High から Low に切り替わる時にフリップフロップがセットされ、出力が High になります。R と S が Low の場合、クロックが High から Low に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
R	S	D	C	Q
1	X	X	↓	0
0	1	X	↓	1
0	0	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

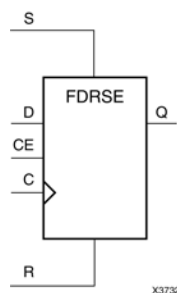
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDRSE

Primitive: D Flip-Flop with Synchronous Reset and Set and Clock Enable



概要

FDRSE は、同期リセット (R)、同期セット (S)、クロック イネーブル (CE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます (リセットがセットよりも優先される)。セット入力 (S) が High、R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップがセットされ、出力が High になります。R と S が Low、CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電源が投入されると、INIT 属性を使用して指定した初期値に設定されます。GSR (グローバル セット/リセット) をアサートすると、INIT で指定した初期値に非同期で設定されます。

論理表

入力					出力
R	S	CE	D	C	Q
1	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	↑	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	↑	1
0	0	1	0	↑	0

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

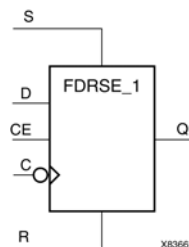
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後および GSR 入力時の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート：DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDRSE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Clock Edge, Synchronous Reset and Set, and Clock Enable



概要

FDRSE_1 は、同期リセット (R)、同期セット (S)、クロック イネーブル (CE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかの入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに、出力 (Q) が Low にリセットされます (リセットがセットよりも優先される)。S が High、R が Low の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップがセットされ、出力が High になります。R と S が Low で CE が High の場合、クロックが High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
R	S	CE	D	C	Q
1	X	X	X	↓	0
0	1	X	X	↓	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

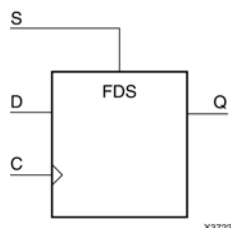
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後および GSR 入力時の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDS

プリミティブ : D Flip-Flop with Synchronous Set



概要

FDS は、データ (D)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期セット入力が高レベルになると、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q 出力が高レベルにセットされます。S が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が高レベルになります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
S	D	C	Q
1	X	↑	1
0	D	↑	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

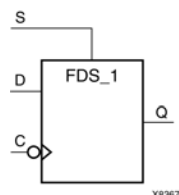
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDS_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock and Synchronous Set



概要

FDS は、データ (D)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期セット入力が High になると、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q 出力が High にセットされます。S が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
S	D	C	Q
1	X	↓	1
0	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

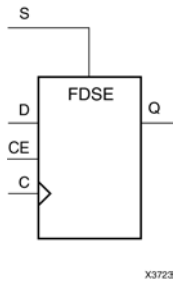
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDSE

プリミティブ : D Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set



概要

FDSE は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D タイプ フリップフロップです。同期セット (S) 入力が高になると、クロック イネーブル (CE) 入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに Q 出力が高にセットされます。S が Low、CE が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるたびに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が高になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
S	CE	D	C	Q
1	X	X	↑	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↑	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

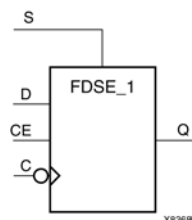
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定。 Spartan®-6 デバイスでは、INIT 値とセットまたはリセットの極性を常に一致させる必要があります。FDSE の場合、INIT 値を 1 に設定する必要があります。0 に設定すると余分なロジックが挿入されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FDSE_1

プリミティブ : D Flip-Flop with Negative-Edge Clock, Clock Enable, and Synchronous Set



概要

FDSE_1 は、データ (D)、クロック イネーブル (CE)、同期セット (S) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の D フリップフロップです。同期セット (S) 入力が High になると、クロック イネーブル (CE) 入力は無視され、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに Q 出力が High にセットされます。S が Low、CE が High の場合、クロック (C) が High から Low に切り替わるときに D 入力の値がフリップフロップにロードされます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
S	CE	D	C	Q
1	X	X	↓	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	D	↓	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

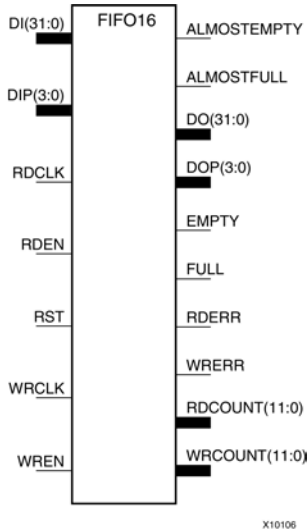
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FIFO16

プリミティブ : Virtex-4 Block RAM Based, Built-In FIFO



概要

多くの FPGA デザインでは、ブロック RAM を使用して FIFO をインプリメントします。Virtex®-4 アーキテクチャでは、ブロック RAM に含まれる専用ロジックにより、同期または非同期 FIFO を簡単にインプリメントできます。カウンタ、コンパレータ、またはステータスフラグの生成に追加の CLB ロジックを使用することなく、1 つのブロック RAM リソースで 1 つの FIFO を作成できます。標準モードと FWFT (First Word Fall Through) モードがサポートされています。

標準モード : 空の FIFO に最初のワードが書き込まれると、EMPTY フラグは RDCLK に同期してデアサートされます。EMPTY フラグが Low にデアサートされ、RDEN がアサートされると、RDCLK の立ち上がりエッジで DOUT に最初のワードが出力されます。

FWFT (First Word Fall Through) モード : 空の FIFO に最初のワードが書き込まれると、RDEN がアサートされなくても、その値が RDCLK の数サイクル後に DOUT に出力されます。この後読み出し操作を行うには、EMPTY が Low、RDEN が High になっている必要があります。

メモ : 独立したクロックでデュアル クロック モードを使用する場合、読み出しクロック エッジと書き込みクロック エッジ間のオフセットによっては、Empty、Almost Empty、Full、および Almost Full フラグが 1 クロック サイクル後にデアサートされることがあります。クロックが非同期のため、シミュレーション モデルではアーキテクチャのユーザー ガイドに示されているデアサートレイテンシ サイクルのみが反映されます。

次の表に、2 つのモードでの FIFO の容量を示します。

標準モード	FWFT モード
4k + 1 エントリ X 4 ビット	4k + 2 エントリ X 4 ビット
2k + 1 エントリ X 9 ビット	2k + 2 エントリ X 9 ビット
1k + 1 エントリ X 18 ビット	1k + 2 エントリ X 18 ビット
512 + 1 エントリ X 36 ビット	512 + 2 エントリ X 36 ビット

ブロック RAM は、同期または非同期操作用に、別々の読み出し/書き込みクロックを使用した非同期 FIFO メモリとしてコンフィギュレーションできます。ブロック RAM のポート A は FIFO 読み出しポートとして、ポート B は FIFO 書き込みポートとして使用します。データは、読み出しクロックの立ち上がりエッジで FIFO から読み出され、書き込みクロックの立ち上がりエッジで FIFO に書き込まれます。FIFO モードでは、読み出しポートと書き込みポートの幅を別々に選択できません。

使用可能なステータス フラグは、次のとおりです。

- ・ **フル (FULL)** : WRCLK に同期しています。FIFO にデータを書き込むスペースがなくなると、FULL がアサートされます。FIFO がフルになると、書き込みポインタは停止します。これにより、読み出しポインタと書き込みポインタにより同じエントリが指定され、オーバーフローは発生しません。FULL フラグは出力でレジスタを介し、1 書き込みクロック サイクル後にアサートされます。最後のエントリが読み出されると、3 クロック サイクル以内に WRCLK に同期してディアサートされます。
- ・ **空 (EMPTY)** : RDCLK に同期しています。
- ・ **ほぼフル (AFULL)** : WRCLK に同期しています。FIFO の空きスペースが ALMOST_FULL_OFFSET で指定した値よりも少なくなるとアサートされ、書き込みを停止するよう警告します。FIFO の空きスペースが ALMOST_FULL_OFFSET で指定した値より大きくなると、WRCLK に同期してディアサートされます。
- ・ **ほぼ空 (AEMPTY)** : RDCLK に同期しています。
- ・ **書き込みカウント (WRCOUNT)** : WRCLK に同期しています。
- ・ **書き込みエラー (WRERR)** : WRCLK に同期しています。FULL フラグがアサートされた後に書き込みを実行すると、WRERR フラグがアサートされます。書き込みイネーブルまたは FULL が Low にディアサートされると、WRERR はディアサートされます。この信号は、WRCLK に同期しています。
- ・ **読み出しカウント (RDCOUNT)** : RDCLK に同期しています。
- ・ **読み出しエラー (RDERR)** : RDCLK に同期しています。

ポートの説明

ポート名	方向	機能
DI	入力	データ入力
DIP	入力	パリティビット入力
WREN	入力	ライト イネーブル。WREN = 1 の場合、データがメモリに書き込まれます。WREN = 0 の場合、書き込みはディスエーブルになります。
WRCLK	入力	書き込みクロック
RDEN	入力	読み出しイネーブル。RDEN = 1 の場合、データが出力レジスタに読み出されます。RDEN = 0 の場合、読み出しはディスエーブルになります。
RDCLK	入力	読み出しクロック
RESET	入力	FIFO 機能、フラグ、ポインタの非同期リセット
DO	出力	データ出力 (RDCLK に同期)
DOP	出力	パリティビット出力 (RDCLK に同期)
FULL	出力	FIFO メモリのすべてのエントリがフル
ALMOSTFULL	出力	FIFO メモリのほぼすべてのエントリがフル。WRCLK に同期しています。値はユーザーが設定できます。
EMPTY	出力	FIFO が空です。この出力がアサートされると、読み出しは行われません。RDCLK に同期しています。
ALMOSTEMPTY	出力	FIFO のほぼすべての有効エントリが読み出されたことを示します。RDCLK に同期しています。値はユーザーが設定できます。
RDCOUNT	出力	FIFO データ読み出しポインタ。RDCLK に同期しています。最大読み出しポインタ値に達すると、0 に戻ります。
WRCOUNT	出力	FIFO データ書き込みポインタ。WRCLK に同期しています。最大書き込みポインタ値に達すると、0 に戻ります。
WRERR	出力	FIFO がフルのときに書き込みを行うと、アサートされます。WRCLK に同期しています。
RDERR	出力	FIFO が空のときに読み出しを行うと、アサートされます。RDCLK に同期しています。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

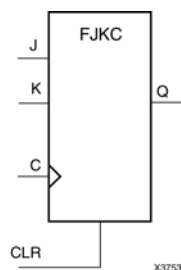
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ALMOST_EMPTY_OFFSET	16 進数	12 ビット値	すべてゼロ	ほぼ空の状態を検出するしきい値を指定
ALMOST_FULL_OFFSET	16 進数	12 ビット値	すべてゼロ	ほぼフルの状態を検出するしきい値を指定
DATA_WIDTH	整数	4、9、18、36	36	データ幅を指定
FIRST_WORD_FALL_THROUGH	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	FIFO FWFT をオン/オフに設定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FJKC

マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K タイプ フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low にリセットされます。CLR が Low になると、次の論理表に示すように、クロックが Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて出力の値が変化します。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	J	K	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	0	↑	変化なし
0	0	1	↑	0
0	1	0	↑	1
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

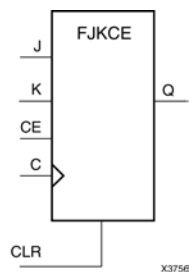
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FJKCE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア (CLR) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K タイプ フリップフロップです。非同期クリア (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が Low にリセットされます。CLR が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロックが Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q の値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
CLR	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	0
0	0	X	X	X	変化なし
0	1	0	0	X	変化なし
0	1	0	1	↑	0
0	1	1	0	↑	1
0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

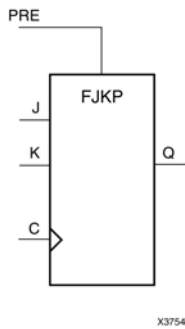
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FJKP

マクロ : J-K Flip-Flop with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low の場合、次の論理表に示すように、クロックが Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q の値が変化します。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	J	K	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	0	X	変化なし
0	0	1	↑	0
0	1	0	↑	1
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

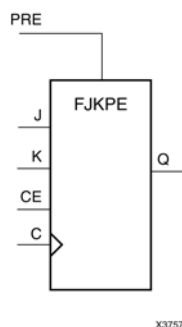
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FJKPE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、クロック イネーブル (CE)、非同期プリセット (PRE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K フリップフロップです。非同期プリセット (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、Q 出力が High にセットされます。PRE が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q 出力の値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
PRE	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	1
0	0	X	X	X	変化なし
0	1	0	0	X	変化なし
0	1	0	1	↑	0
0	1	1	0	↑	1
0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

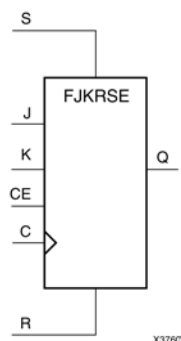
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FJKRSE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、同期リセット (R)、同期セット (S)、クロック イネーブル (CE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K フリップフロップです。同期リセット (R) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。同期セット (S) が High、R が Low の場合、Q 出力が High にセットされます。R と S が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、J および K 入力の値に応じて Q 出力が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
R	S	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	X	↑	1
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	0	X	変化なし
0	0	1	0	1	↑	0
0	0	1	1	0	↑	1
0	0	1	1	0	↑	1
0	0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

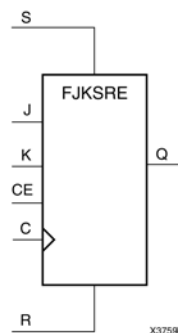
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FJKSRE

マクロ : J-K Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、J、K、同期セット (S)、同期リセット (R)、クロック イネーブル (CE) の各入力とデータ出力 (Q) がある単一の J-K タイプ フリップフロップです。同期セット (S) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に Q が High にセットされます。同期リセット (R) が High、S が Low の場合、出力 Q が Low にリセットされます。S と R が Low、CE が High の場合、次の論理表に示すように、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、J および K 入力の値に応じて Q 出力が変化します。CE が Low の場合、クロック 遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
S	R	CE	J	K	C	Q
1	X	X	X	X	↑	1
0	1	X	X	X	↑	0
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	0	X	変化なし
0	0	1	0	1	↑	0
0	0	1	1	0	↑	1
0	0	1	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

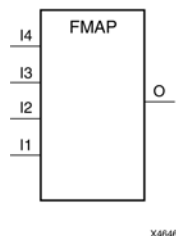
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FMAP

プリミティブ : F Function Generator Partitioning Control Symbol



概要

FMAP シンボルは、ロジックをスライスのファンクション ジェネレータにマップするために使用されます。特定の回路図設計エディタでこの属性を指定する方法については、該当する CAE ツールのマニュアルを参照してください。

マップ プログラムの自由度を定義する場合は、MAP=type パラメータを FMAP シンボルと共に使用します。MAP のオプション文字とその意味を次の表に示します。

MAP のオプション文字	機能
P	ピン
C	クローズ : CLB に対するロジックを追加または削除できません。
L	ロック : CLB ピンをロックします。
O	オープン : CLB に対するロジックを追加または削除できます。
U	アンロック : CLB ピンをロックしません。

FMAP の MAP パラメータには、MAP=PUC、MAP=PLC、MAP=PLO、MAP=PUO を使用できます。デフォルトは PUO です。「オープン」パラメータのいずれか (PLO または PUO) を使用する場合は、出力信号のみを指定してください。

メモ : 現時点では、PUC と PUO のみが有効です。PLC は PUC に、PLO は PUO に変換されます。

LOC 属性を使用すると、FMAP シンボルを特定の CLB 位置に割り当てることができます。

デザインの入力方法

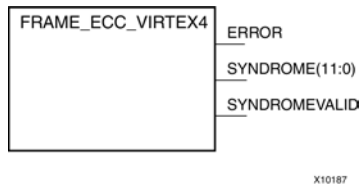
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FRAME_ECC_VIRTEX4

プリミティブ : Reads a Single, Virtex®-4 Configuration Frame and Computes a Hamming, Single-Error Correction, Double-Error Detection Syndrome



概要

このデザイン エLEMENTは、Virtex®-4 の 1312 ビットのコンフィギュレーション フレームを 32 ビットずつ読み出します。その後、ハミング エラー訂正コード、ダブル エラー検出シンドローム値を算出します。これにより、フレーム ビットの 1 つにエラーがある場合に、訂正が必要なが示されます。2 ビット エラーがあることも検出されますが、これは訂正できません。FRAME_ECC_VIRTEX4 プリミティブでは、変更されたビットは修正されません。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
ERROR	出力	1	エラー出力。エラーが存在することを示します。
SYNDROME	出力	12	エラー ビットの位置。エラーの位置と、0、1、または 2 ビット エラーが存在することを示します。
SYNDROMEVALID	出力	1	High の場合、フレームに 0、1、または 2 ビット エラーがあることを示します。フレーム リードバックが終了すると High にアサートされます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

SYNDROME の値とエラー ステータスの関係

SYNDROME ビット 11	SYNDROME ビット 10 ~ 0	エラー ステータス
0	すべて 0	ビット エラーなし
0	0 以外	1 ビット エラーが存在 (SYNDROME 値はエラー ビットの位置を示す)
1	すべて 0	2 ビット エラーが存在 (訂正不可)

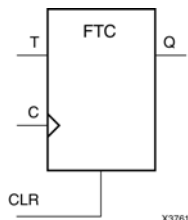
メモ : 上記の表の値は、SYNDROME_VALID が High の場合にのみ適用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTC

マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、リセット可能な同期トグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。トグル イネーブル入力 (T) が High、CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに Q 出力がトグルし、値が変化します。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	T	C	Q
1	X	X	0
0	0	X	変化なし
0	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、CPLD を使用しているときはインスタンスエートできますが、FPGA を使用しているときはインスタンスエートできません。

使用可能な属性

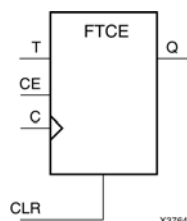
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTCE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期クリアがあるトグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) の値が Low にリセットされます。CLR が Low、トグル イネーブル (T) とクロック イネーブル (CE) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q 出力がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	CE	T	C	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	X	変化なし
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

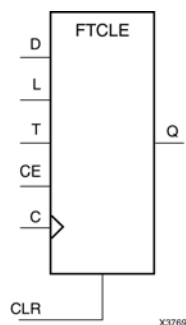
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTCLe

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期クリアがあるロード可能なトグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が Low にリセットされます。ロード イネーブル入力 (L) が High、CLR が Low の場合、クロック イネーブル (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。トグル イネーブル (T) と CE が High、L と CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わるときに、出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
CLR	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	0
0	1	X	X	D	↑	D
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

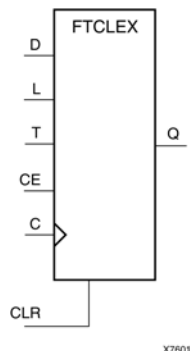
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTCLEX

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期クリアがあるロード可能なトグル フリップフロップです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が Low にリセットされます。ロード イネーブル入力 (L) と CE が High、CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。トグル イネーブル (T) と CE が High、L と CLR が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に、出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
CLR	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	0
0	1	X	X	D	↑	D
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

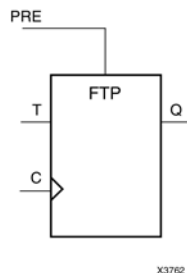
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTP

マクロ : Toggle Flip-Flop with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブルと非同期プリセットがあるトグル フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が High にセットされます。トグル イネーブル入力 (T) が High、PRE が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 Q がトグルし、値が変化します。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	T	C	Q
1	X	X	1
0	0	X	変化なし
0	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

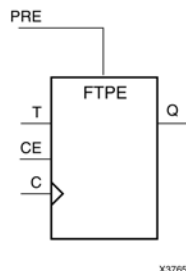
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTPE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エレメントは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期プリセットがあるトグル フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が High にセットされます。トグル イネーブル入力 (T) とクロック イネーブル入力 (CE) が High、PRE が Low の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	CE	T	C	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	X	変化なし
0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

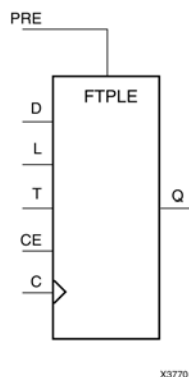
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTPLE

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、非同期プリセットがあるロード可能なトグル フリップフロップです。非同期プリセット入力 (PRE) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 Q が High にセットされます。ロード イネーブル入力 (L) が High、PRE が Low の場合、クロック イネーブル (CE) は無視され、クロックが Low から High に切り替わる時に、D の値がフリップフロップにロードされます。L と PRE が Low、トグル イネーブル入力 (T) と CE が High の場合、クロックが Low から High に切り替わる時に出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力
PRE	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	1
0	1	X	X	D	↑	D
0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

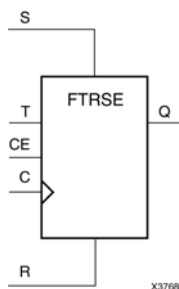
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTRSE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるトグル フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 (Q) の値が Low にリセットされます。R が Low、同期セット入力 (S) が High の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が High にセットされます (リセットがセットよりも優先される)。トグル イネーブル入力 (T) と CE が High、S と R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグルし、値が変化します。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
R	S	CE	T	C	Q
1	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	↑	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	変化なし
0	0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

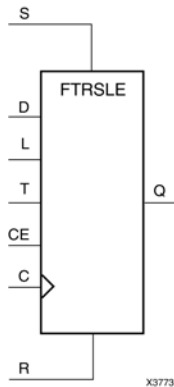
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTRSLE

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Reset and Set



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるロード可能なトグル フリップフロップです。同期リセット入力 (R) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 (Q) が Low にリセットされます (リセットがセットよりも優先される)。R が Low、同期セット入力 (S) が High の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が High にセットされます。R と S が Low、ロード イネーブル入力 (L) が High の場合、CE は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。R、S、L が Low、CE とトグル イネーブル (T) が High の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグル し、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力							出力
R	S	L	CE	T	D	C	Q
1	0	X	X	X	X	↑	0
0	1	X	X	X	X	↑	1
0	0	1	X	X	1	↑	1
0	0	1	X	X	0	↑	0
0	0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

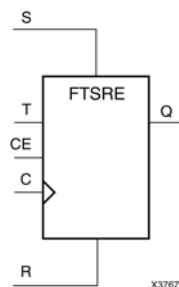
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTSRE

マクロ : Toggle Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるトグル フリップフロップです。同期セット入力 (S) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、データ出力 (Q) が High にセットされます (セットがリセットよりも優先される)。同期リセット (R) が High、S が Low の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が Low にリセットされます。トグル イネーブル入力 (T) と CE が High、S と R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
S	R	CE	T	C	Q
1	X	X	X	↑	1
0	1	X	X	↑	0
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	0	X	変化なし
0	0	1	1	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

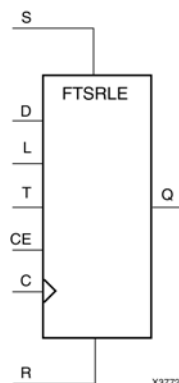
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

FTSRLE

マクロ : Toggle/Loadable Flip-Flop with Clock Enable and Synchronous Set and Reset



概要

このデザイン エLEMENTは、トグル イネーブル、クロック イネーブル、同期セット、同期リセットがあるロード可能なトグル フリップフロップです。同期セット入力 (S) が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、データ出力 (Q) が High にセットされます (セットがリセットよりも優先される)。同期リセット (R) が High、S が Low の場合、クロック イネーブル入力 (CE) は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、出力 Q が Low にリセットされます。ロード イネーブル入力 (L) が High、S と R が Low の場合、CE は無視され、クロックが Low から High に切り替わるときに、入力 (D) の値がフリップフロップにロードされます。トグル イネーブル入力 (T) と CE が High、S、R、L が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 Q がトグルし、値が変化します。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力							出力
S	R	L	CE	T	D	C	Q
1	X	X	X	X	X	↑	1
0	1	X	X	X	X	↑	0
0	0	1	X	X	1	↑	1
0	0	1	X	X	0	↑	0
0	0	0	0	X	X	X	変化なし
0	0	0	1	0	X	X	変化なし
0	0	0	1	1	X	↑	トグル

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

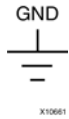
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

GND

プリミティブ : Ground-Connection Signal Tag



概要

GND 信号タグは、ネットまたは入力ファンクションの論理レベルを Low にします。GND に接続されたネットは、ほかのソースに接続できません。

ロジックトリム ソフトウェアまたはフィタでは、GND に接続されたネットまたは入力ファンクションがあると、GND 信号でディスエーブルになるロジックが削除されます。ディスエーブルになるロジックを削除できない場合のみ、GND 信号がインプリメントされます。

デザインの入力方法

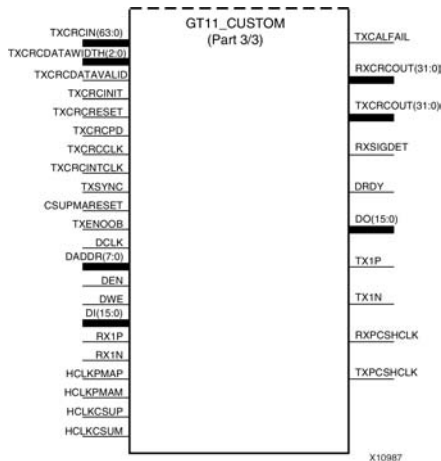
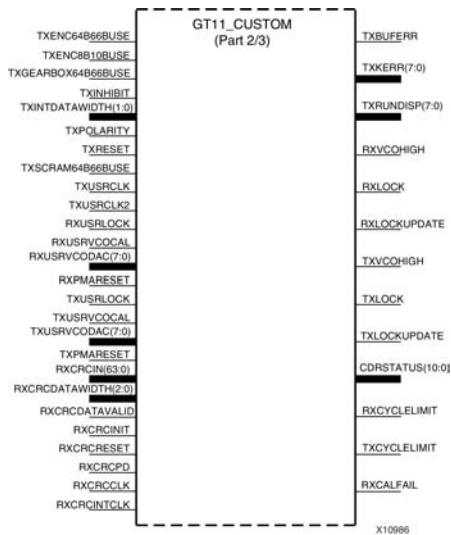
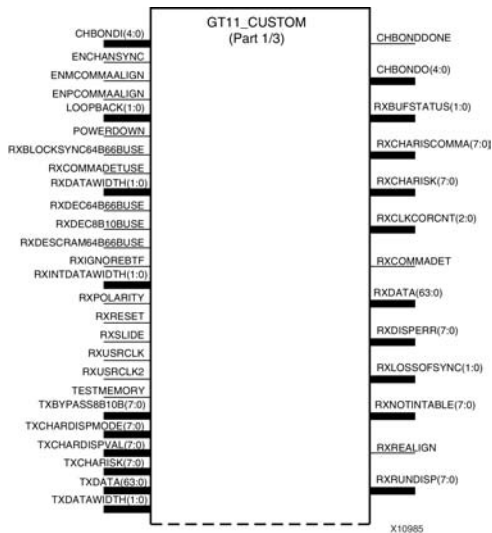
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

GT11_CUSTOM

プリミティブ : RocketIO MGTs with 622 Mb/s to 11.1 Gb/s Data Rates, 8 to 24 Transceivers per FPGA, and 2.5 GHz 5.55 GHz VCO, Less Than 1ns RMS Jitter



概要

このデザイン エLEMENTは、RocketIO™ MGT です。RocketIO MGT は、マルチギガビット シリアル トランシーバを Virtex®-4 デザインに簡単に組み込むための柔軟な機能を提供します。次の機能がサポートされています。

- ・ 10.3Gb/s データ レート
- ・ 1 つの FPGA に 8 ~ 24 個のトランシーバを搭載
- ・ 2.5GHz ~ 5.55GHz VCO で動作し、RMS のジッタは 1ns 未満
- ・ トランスミッタのプリエンファシス
- ・ レシーバ連続時間の均等化
- ・ オンチップ AC カップリング レシーバ (オプションでバイパス可)
- ・ レシーバ信号の検出、信号損失インジケータ、バンド外信号レシーバ
- ・ バンド外信号に対し、Vcm の両方の出力にドライバ アイドル ステートを送信
- ・ 8B/10B または 64B/66B エンコード、あるいはデータ エンコードなし (パス スルー モード)
- ・ チャネル ボンディング
- ・ 柔軟な CRC (Cyclic Redundancy Check) の生成およびチェック
- ・ トランスミッタおよびレシーバ終端電圧用のピン
- ・ セカンダリ (ダイナミック) コンフィギュレーション バスを使用したりコンフィギュレーション
- ・ PMA RX-TX パスを含む複数のループバック パス

RocketIO MGT は、FX デバイスでのみ使用可能です。

論理表

入力	出力
CHBONDI [4:0]	DRDY
CSUPMARESET	RXBUFERR
DADDR [7:0]	RXCALFAIL
DCLK	RXCOMMADET
DEN	RXCYLELIMIT
DI [15:0]	RXLOCK
DWE	RXRealIGN
ENCHANSYNC	RXRECCLK1
ENMCOMMAALIGN	RXBCLK
ENPCOMMAALIGN	RXRECCLK2
GREFCLK	RXSIGDET
LOOPBACK [1:0]	TX1N
POWERDOWN	TX1P
REFCLK1	TXBUFERR
REFCLK2	TXCALFAIL
RX1N	TXCYLELIMIT
RX1P	TXLOCK

入力	出力
RXBLOCKSYNC64B66BUSE	DO [15:0]
RXCLKSTABLE	RXLOSSOFSYNC [1:0]
RXCOMMADETUSE	RXCRCOUT [31:0]
RXCRCCLK	TXCRCOUT [31:0]
RXCRCDATAVALID	CHBONDO [4:0]
RXCRCDATAWIDTH [2:0]	RXSTATUS [5:0]
RXCRCIN [63:0]	RXDATA [63:0]
RXCRCINIT	RXCHARISCOMMA [7:0]
RXCRCINTCLK	RXCHARISK [7:0]
RXCRCPD	RXDISPERR [7:0]
RXCRCRESET	RXNOTINTABLE [7:0]
RXDATAWIDTH [1:0]	RXRUNDISP [7:0]
RXDEC64B66BUSE	TXRUNDISP [7:0]
RXDEC8B10BUSE	TXKERR [7:0]
RXDESCRAM64B66BUSE	
RXIGNOREBTF	
RXINTDATAWIDTH [1:0]	
RXPMARESET	
RXPOLARITY	
RXRESET	
RXSLIDE	
RXUSRCLK	
RXUSRCLK2	
TXBYPASS8B10B [7:0]	
TXCHARDISPMODE [7:0]	
TXCHARDISPVAL [7:0]	
TXCHARISK [7:0]	
TXCLKSTABLE	
TXCRCCLK	
TXCRCDATAVALID	
TXCRCDATAWIDTH [2:0]	
TXCRCIN [63:0]	
TXCRCINIT	
TXCRCINTCLK	
TXCRCPD	
TXCRCRESET	
TXDATA [63:0]	

入力	出力
TXDATAWIDTH [1:0]	
TXENC64B66BUSE	
TXENC8B10BUSE	
TXENOOB	
TXGEARBOX64B66BUSE	
TXINHIBIT	
TXINTDATAWIDTH [1:0]	
TXPMARESET	
TXPOLARITY	
TXRESET	
TXSCRAM64B66BUSE	
TXSYNC	
TXUSRCLK	
TXUSRCLK2	

デザインの入力方法

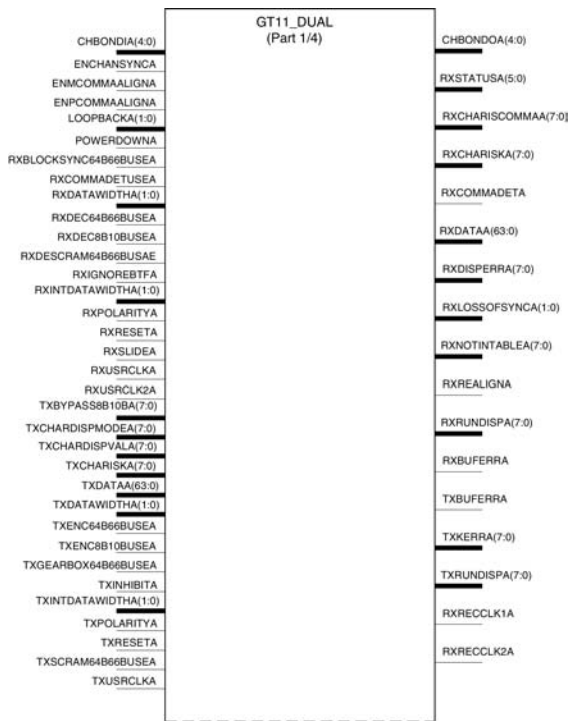
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

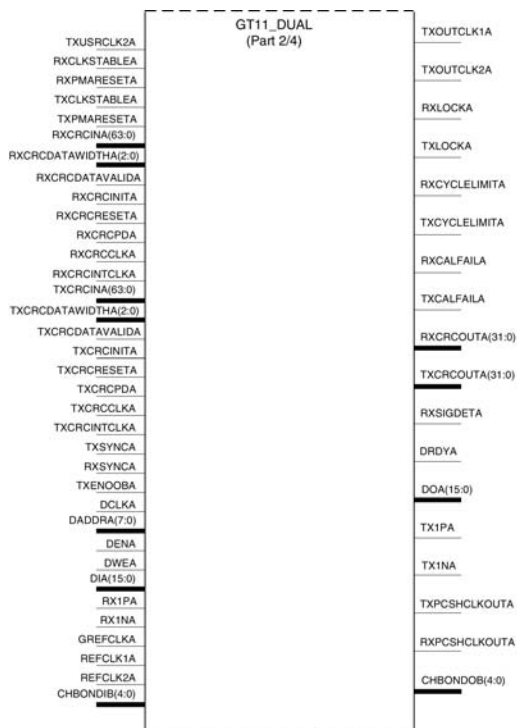
- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

GT11_DUAL

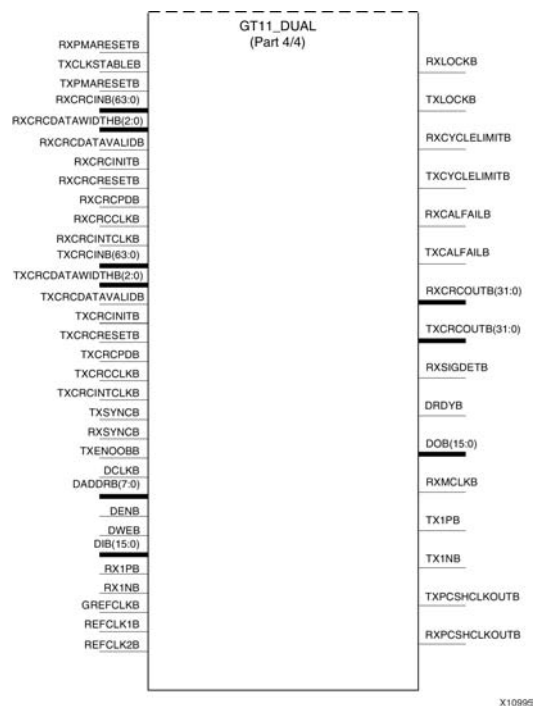
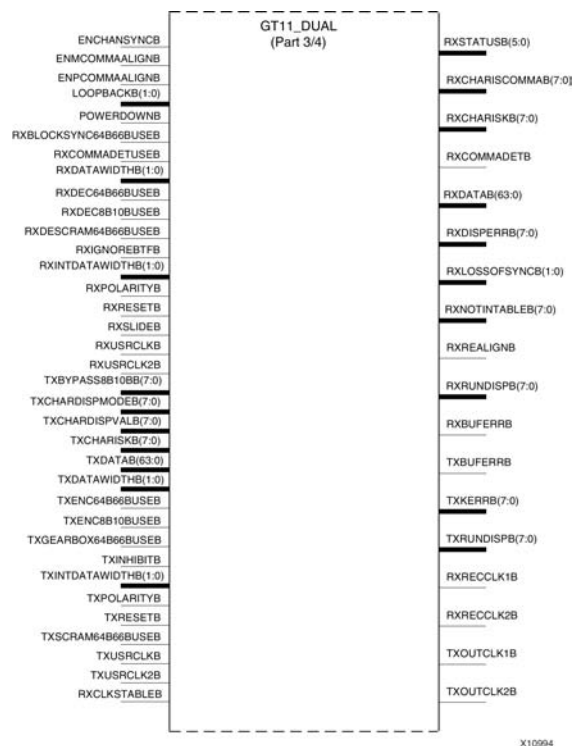
プリミティブ : RocketIO MGT Tile (contains 2 GT11_CUSTOM) with 622 Mb/s to 11.1 Gb/s data rates, 8 to 24 transceivers per FPGA, and 2.5 GHz 5.55 GHz VCO, less than 1ns RMS jitter



X10992



X10993



概要

RocketIO™ MGT は、マルチギガビット シリアル トランシーバを Virtex®-4 デザインに簡単に組み込むための柔軟な機能を提供します。RocketIO MGT では、次の機能がサポートされています。

- ・ 622Mb/s ~ 11.1Gb/s データ レート
- ・ 1 つの FPGA に 8 ~ 24 個の トランシーバ を搭載
- ・ 2.5GHz ~ 5.55GHz VCO で動作し、RMS のジッタは 1ns 未満
- ・ トランスミッタのプリエンファシス
- ・ レシーバ連続時間の均等化
- ・ オンチップ AC カップリング レシーバ
- ・ 2.5Gb/s までのデータ レート用のデジタル オーバーサンプリング レシーバ
- ・ レシーバ信号の検出、信号損失インジケータ、バンド外信号レシーバ
- ・ バンド外信号に対し、Vcm の両方の出力にドライバ アイドル ステートを送信
- ・ 8B/10B または 64B/66B エンコード、あるいはデータ エンコードなし (パス スルー モード)
- ・ チャンネル ボンディング
- ・ 柔軟な CRC (Cyclic Redundancy Check) の生成およびチェック
- ・ トランスミッタおよびレシーバ終端電圧用のピン
- ・ セカンダリ (ダイナミック) コンフィギュレーション バスを使用したリコンフィギュレーション
- ・ PMA RX-TX パスを含む複数のループバック パス

論理表

入力	出力
[1:0] LOOPBACK_A;	[1:0] RXLOSSOFSYNC_A;
[1:0] LOOPBACK_B;	[1:0] RXLOSSOFSYNC_B;
[1:0] RXDATAWIDTH_A;	[15:0] DO_A;
[1:0] RXDATAWIDTH_B;	[15:0] DO_B;
[1:0] RXINTDATAWIDTH_A;	[31:0] RXCRCOUT_A;
[1:0] RXINTDATAWIDTH_B;	[31:0] RXCRCOUT_B;
[1:0] TXDATAWIDTH_A;	[31:0] TXCRCOUT_A;
[1:0] TXDATAWIDTH_B;	[31:0] TXCRCOUT_B;
[1:0] TXINTDATAWIDTH_A;	[4:0] CHBONDO_A;
[1:0] TXINTDATAWIDTH_B;	[4:0] CHBONDO_B;
[15:0] DI_A;	[5:0] RXSTATUS_A;
[15:0] DI_B;	[5:0] RXSTATUS_B;
[2:0] RXCRCDATAWIDTH_A;	[63:0] RXDATA_A;
[2:0] RXCRCDATAWIDTH_B;	[63:0] RXDATA_B;
[2:0] TXCRCDATAWIDTH_A;	[7:0] RXCHARISCOMMA_A;
[2:0] TXCRCDATAWIDTH_B;	[7:0] RXCHARISCOMMA_B;
[4:0] CHBONDI_A;	[7:0] RXCHARISK_A;

入力	出力
[4:0] CHBONDI_B;	[7:0] RXCHARISK_B;
[63:0] RXCRCIN_A;	[7:0] RXDISPERR_A;
[63:0] RXCRCIN_B;	[7:0] RXDISPERR_B;
[63:0] TXCRCIN_A;	[7:0] RXNOTINTABLE_A;
[63:0] TXCRCIN_B;	[7:0] RXNOTINTABLE_B;
[63:0] TXDATA_A;	[7:0] RXRUNDISP_A;
[63:0] TXDATA_B;	[7:0] RXRUNDISP_B;
[7:0] DADDR_A;	[7:0] TXKERR_A;
[7:0] DADDR_B;	[7:0] TXKERR_B;
[7:0] TXBYPASS8B10B_A;	[7:0] TXRUNDISP_A;
[7:0] TXBYPASS8B10B_B;	[7:0] TXRUNDISP_B;
[7:0] TXCHARDISPMODE_A;	DRDY_A;
[7:0] TXCHARDISPMODE_B;	DRDY_B;
[7:0] TXCHARDISPVAL_A;	RXBUFERR_A;
[7:0] TXCHARDISPVAL_B;	RXBUFERR_B;
[7:0] TXCHARISK_A;	RXCALFAIL_A;
[7:0] TXCHARISK_B;	RXCALFAIL_B;
DCLK_A;	RXCOMMADET_A;
DCLK_B;	RXCOMMADET_B;
DEN_A;	RXCYLELIMIT_A;
DEN_B;	RXCYLELIMIT_B;
DWE_A;	RXLOCK_A;
DWE_B;	RXLOCK_B;
ENCHANSYNC_A;	RXMCLK_A;
ENCHANSYNC_B;	RXMCLK_B;
ENMCOMMAALIGN_A;	RXPCSHCLKOUT_A;
ENMCOMMAALIGN_B;	RXPCSHCLKOUT_B;
ENPCOMMAALIGN_A;	RXRealIGN_A;
ENPCOMMAALIGN_B;	RXRealIGN_B;
GREFCLK_A;	RXRECCLK1_A;
GREFCLK_B;	RXRECCLK1_B;
POWERDOWN_A;	RXRECCLK2_A;
POWERDOWN_B;	RXRECCLK2_B;
REFCLK1_A;	RXSIGDET_A;
REFCLK1_B;	RXSIGDET_B;
REFCLK2_A;	TX1N_A;
REFCLK2_B;	TX1N_B;
RX1N_A;	TX1P_A;

入力	出力
RX1N_B;	TX1P_B;
RX1P_A;	TXBUFERR_A;
RX1P_B;	TXBUFERR_B;
RXBLOCKSYNC64B66BUSE_A;	TXCALFAIL_A;
RXBLOCKSYNC64B66BUSE_B;	TXCALFAIL_B;
RXCLKSTABLE_A;	TXCYCLELIMIT_A;
RXCLKSTABLE_B;	TXCYCLELIMIT_B;
RXCOMMADETUSE_A;	TXLOCK_A;
RXCOMMADETUSE_B;	TXLOCK_B;
RXCRCLK_A;	TXOUTCLK1_A;
RXCRCLK_B;	TXOUTCLK1_B;
RXCRCDATAVALID_A;	TXOUTCLK2_A;
RXCRCDATAVALID_B;	TXOUTCLK2_B;
RXCRCINIT_A;	TXPCSHCLKOUT_A;
RXCRCINIT_B;	TXPCSHCLKOUT_B;
RXCRCINTCLK_A;	
RXCRCINTCLK_B;	
RXCRCPD_A;	
RXCRCPD_B;	
RXCRCRESET_A;	
RXCRCRESET_B;	
RXDEC64B66BUSE_A;	
RXDEC64B66BUSE_B;	
RXDEC8B10BUSE_A;	
RXDEC8B10BUSE_B;	
RXDESCRAM64B66BUSE_A;	
RXDESCRAM64B66BUSE_B;	
RXIGNOREBTF_A;	
RXIGNOREBTF_B;	
RXPMARESET_A;	
RXPMARESET_B;	
RXPOLARITY_A;	
RXPOLARITY_B;	
RXRESET_A;	
RXRESET_B;	
RXSLIDE_A;	
RXSLIDE_B;	
RXSYNC_A;	

入力	出力
RXSYNC_B;	
RXUSRCLK_A;	
RXUSRCLK_B;	
RXUSRCLK2_A;	
RXUSRCLK2_B;	
TXCLKSTABLE_A;	
TXCLKSTABLE_B;	
TXCRCCLK_A;	
TXCRCCLK_B;	
TXCRCDATAVALID_A;	
TXCRCDATAVALID_B;	
TXCRCINIT_A;	
TXCRCINIT_B;	
TXCRCINTCLK_A;	
TXCRCINTCLK_B;	
TXCRCPD_A;	
TXCRCPD_B;	
TXCRCRESET_A;	
TXCRCRESET_B;	
TXENC64B66BUSE_A;	
TXENC64B66BUSE_B;	
TXENC8B10BUSE_A;	
TXENC8B10BUSE_B;	
TXENOOB_A;	
TXENOOB_B;	
TXGEARBOX64B66BUSE_A;	
TXGEARBOX64B66BUSE_B;	
TXINHIBIT_A;	
TXINHIBIT_B;	
TXPMARESET_A;	
TXPMARESET_B;	
TXPOLARITY_A;	
TXPOLARITY_B;	
TXRESET_A;	
TXRESET_B;	
TXSCRAM64B66BUSE_A;	
TXSCRAM64B66BUSE_B;	
TXSYNC_A;	

入力	出力
TXSYNC_B;	
TXUSRCLK_A;	
TXUSRCLK_B;	
TXUSRCLK2_A;	
TXUSRCLK2_B;	

デザインの入力方法

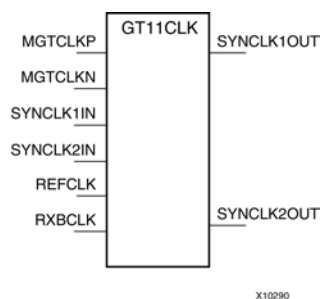
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

GT11CLK

プリミティブ : A MUX That Can Select From Differential Package Input Clock, refclk From the Fabric, or rxbclk to Drive the Two Vertical Reference Clock Buses for the Column of MGTs



概要

GT11CLK は、RocketIO™ クロックの専用パッケージ ピンを使用する場合にインスタンス化する必要があります。このブロックは、MGT の各列に 2 つずつあります。属性を使用して、このパッケージの入力で SYNCLK クロック ツリーの 1 つまたは両方を駆動できます。詳細は、『Virtex-4 RocketIO Multi-Gigabit Transceiver User Guide』を参照してください。

REFCLKSEL 属性を使用すると、MGTCLK、SYNCLK1IN、SYNCLK2IN、REFCLK、RXBCLK などのクロック オプションを指定できます。

ポートの説明

入力 : MGTCLKP、MGTCLKN

出力 : SYNCLK1OUT、SYNCLK2OUT

デザインの入力方法

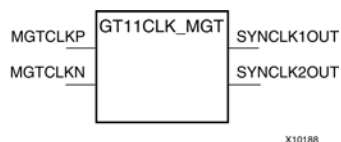
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

GT11CLK_MGT

プリミティブ : Allows Differential Package Input to Drive the Two Vertical Reference Clock Buses for the Column of MGTs



概要

GT11CLK は、RocketIO™ クロックの専用パッケージ ピンを使用する場合にインスタンス化する必要があります。このブロックは、MGT の各列に 2 つずつあります。属性を使用して、このパッケージの入力で SYNCLK クロック ツリーの 1 つまたは両方を駆動できます。詳細は、『Virtex-4 RocketIO Multi-Gigabit Transceiver User Guide』を参照してください。

ポートの説明

入力 : MGTCLKP、MGTCLKN

出力 : SYNCLK1OUT、SYNCLK2OUT

デザインの入力方法

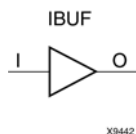
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUF

プリミティブ : Input Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、最上位の入力ポートまたは入出力ポートに接続されている信号に自動的に挿入されます。このバッファは通常、合成ツールで推論しますが、必要に応じてインスタンスエートすることも可能です。インスタンスエートするには、入力ポート (I) を関連する最上位の入力ポートまたは入出力ポートに接続し、出力ポート (O) をそのポートをソースとする FPGA ロジックに接続します。必要なジェネリック マップ (VHDL) またはパラメータ値代入 (Verilog) に変更を加えて、コンポーネントのデフォルトのビヘイビアを変更します。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファの出力
I	入力	1	バッファの入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンスエートできます。このコンポーネントをインスタンスエートするには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンスエーション コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに直接接続します。generic/default 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

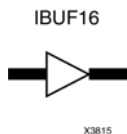
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUF16

マクロ : 16-Bit Input Buffer



概要

IBUF は、チップに入力される信号から内部回路を分離します。このデザイン エLEMENTは I/O ブロック (IOB) に含まれており、I/O の I/O 規格を指定できます。通常シングルエンドのデータ入力ピンまたは双方向ピンに使用されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンス化できます。このコンポーネントをインスタンス化するには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンス化コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力から供給されるロジックに直接接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

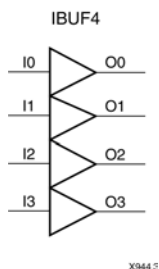
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUF4

マクロ : 4-Bit Input Buffer



概要

IBUF は、チップに入力される信号から内部回路を分離します。このデザイン エLEMENT は I/O ブロック (IOB) に含まれており、I/O の I/O 規格を指定できます。通常シングルエンドのデータ入力ピンまたは双方向ピンに使用されます。

デザインの入力方法

このELEMENT は、回路図で使用されます。

このELEMENT は通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソース コードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンス化できます。このコンポーネントをインスタンス化するには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンス化コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに直接接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

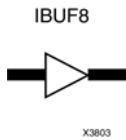
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENT に割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUF8

マクロ : 8-Bit Input Buffer



概要

IBUF は、チップに入力される信号から内部回路を分離します。このデザイン エLEMENTは I/O ブロック (IOB) に含まれており、I/O の I/O 規格を指定できます。通常シングルエンドのデータ入力ピンまたは双方向ピンに使用されます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは通常、デザインの最上位入力ポートに対して推論されます。通常はソースコードで指定する必要はありませんが、必要に応じてインスタンス化できます。このコンポーネントをインスタンス化するには、該当するライブラリ ガイドに含まれるインスタンス化コードを最上位エンティティ/モジュールに挿入します。デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートをデザインの最上位入力ポートに、O ポートをこの入力供給されるロジックに直接接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

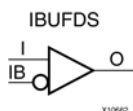
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUFDS

プリミティブ : Differential Signaling Input Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧差動信号を使用する入力バッファです。IBUFDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方がマスタで、もう一方がスレーブとなる 2 つの異なるポート (I、IB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。オプションで、プログラム可能な差動終端機能を使用すると、シグナル インテグリティが向上し、外部コンポーネントの数を減らすことができます。

論理表

入力		出力
I	IB	O
0	0	変化なし
0	1	0
1	0	1
1	1	変化なし

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
I	入力	1	Diff_p バッファの入力
IB	入力	1	Diff_p バッファの入力
O	出力	1	バッファの出力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートを直接デザインの最上位のマスタとなる入力ポートに、IB ポートを最上位のスレーブとなる入力ポートに、O ポートをこの入力 that 供給されるロジックに接続します。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

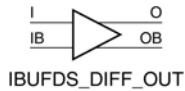
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DIFF_TERM	ブール代数	TRUE、FALSE	FALSE	ビルトインの差動終端抵抗をイネーブル
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUFDS_DIFF_OUT

プリミティブ : Differential I/O Input Buffer with Differential Outputs



X10107

概要

このデザイン エLEMENTは、差動出力付きの差動 I/O 入力バッファです。差動出力ペア (O と OB) は、差動入力ペアの関係を保ちます。

デザインの入力方法

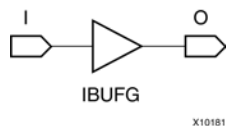
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUFG

プリミティブ : Dedicated Input Clock Buffer



概要

IBUFG は、FPGA への入力クロックをグローバル クロック配線リソースに接続するために使用する専用入力です。DCM_SP および BUFG への専用接続となり、デバイスのクロック遅延とジッタが最小限に抑えられます。IBUFG の入力は、グローバル クロック ピンでのみ駆動できます。IBUFG の出力は、DCM_SP、BUFG、または指定したロジックの CLKIN を駆動できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	クロック バッファ出力
I	入力	1	クロック バッファ入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

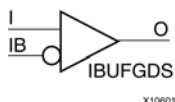
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をエレメントに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IBUFGDS

プリミティブ : Differential Signaling Dedicated Input Clock Buffer and Optional Delay



概要

このデザイン エLEMENT は、クロック バッファ (BUFG) または DCM に接続するための専用の差動信号入力バッファです。IBUFGDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方が「マスタ」で、もう一方が「スレーブ」となる 2 つの異なるポート (I, IB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。オプションで、プログラム可能な差動終端機能を使用すると、シグナル インテグリティが向上し、外部コンポーネントの数を減らすことができます。デバイスへの入力データの取り込みには、プログラマブル遅延を使用することもできます。

論理表

入力		出力
I	IB	O
0	0	変化なし
0	1	0
1	0	1
1	1	変化なし

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	クロック バッファ出力
IB	入力	1	Diff_n クロック バッファの入力
I	入力	1	Diff_p クロック バッファの入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

デザイン階層を保つために、すべての I/O コンポーネントを必ずデザインの最上位に配置してください。I ポートを直接デザインの最上位のマスタとなる入力ポートに、IB ポートを最上位のスレーブとなる入力ポートに、O ポートをこの入力をソースとする DCM、BUFG、またはロジックに接続してください。一部の合成ツールでは、IBUFG を FPGA のクロックリソースに接続すると、必要に応じて BUFG が自動的に推論されます。generic/defparam 値を設定し、バッファのビヘイビアを適切に設定してください。

使用可能な属性

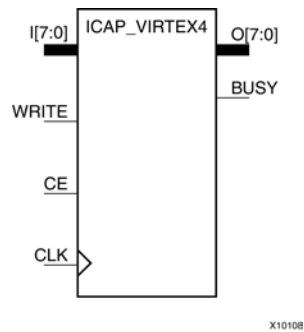
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DIFF_TERM	ブール代数	TRUE、FALSE	FALSE	ビルトインの差動終端抵抗をイネーブル
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をエレメントに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ICAP_VIRTEX4

プリミティブ : Virtex-4 Internal Configuration Access Port



概要

このデザイン エLEMENTを使用すると、Virtex®-4 の内部コンフィギュレーション アクセス ポート (ICAP) にアクセスできます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
BUSY	出力	1	BUSY 信号
O	出力	32	32 ビット データ バス出力
CE	入力	1	クロック イネーブル ピン
CLK	入力	1	クロック入力
WRITE	入力	1	書き込み信号
I	入力	32	32 ビット データ バス入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

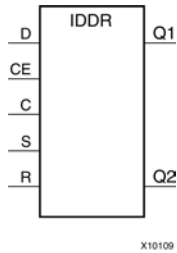
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
ICAP_WIDTH	文字列	X8、X32	X8	ICAP コンポーネントのデータ幅を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IDDR

プリミティブ : Input Dual Data-Rate Register



概要

このデザイン エLEMENTは、ザイリンクス FPGA で外部デュアル データレート (DDR) 信号を受信するための専用入力レジスタです。このプリミティブでは、データが取り込まれるクロック エッジごとにデータを転送するだけでなく、同じクロック エッジで同時にデータを転送することもできます。これにより、タイミングが複雑にならず、追加のリソースも必要ありません。

- OPPOSITE_EDGE モード :** 通常の DDR 方式でデータが受信されます。Q1 はクロック C の各立ち上がりエッジの後に変化し、Q2 は各立ち下がりエッジの後に変化します。
- SAME_EDGE モード :** データはクロック C の反対のエッジで受信されますが、立ち下がりエッジ データレジスタの前にレジスタが追加されるので、DDR データは同じクロック エッジで FPGA に送信されます。ただし、データ ペアは分離されているように見えます。Q1 と Q2 にはペア 1 および 2 が同時に送信されず、最初のペアがペア 1 とドントケアとなり、次のクロック サイクルでペア 2 と 3 が送信されます。
- SAME_EDGE_PIPELINED モード :** SAME_EDGE モードと同様にデータが受信されますが、SAME_EDGE モードでのデータ ペアの分離を回避するため、立ち上がりエッジ データレジスタの前にもレジスタが追加されます。これにより、データ ペアが Q1 と Q2 ピンに同時に送信されます。ただし、このモードを使用すると、Q1 と Q2 信号が変化するレイテンシが 1 サイクル分増加します。

IDDR は IODELAY などの SelectIO™ 機能とも使用できます。

メモ : 高速インターフェイスには、IDDR_2CLK コンポーネントを使用して データの取り込みに 2 つの独立したクロックを指定できます。このコンポーネントは、IDDR のパフォーマンス要件が不十分のときに使用します。IDDR_2CLK では、必要なクロック リソース数が増え、IDDR コンポーネントを使用するときには不要な配置制限が発生する可能性があります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q1 ~ Q2	出力	1	FPGA に接続する IDDR 出力です。Q1 は最初のデータ ペア、Q2 は 2 番目のデータ ペアです。
C	入力	1	クロック入力ピンです。
CE	入力	1	Low になると、ポート O の出力クロックがディスエーブルになります。
D	入力	1	DDR データを IDDR モジュールに入力するピン。 このピンは、最上位の入力または双方向ポート、入力遅延が設定された IODELAY、または適切な入力または双方向バッファに接続します。
R	入力	1	アクティブ High のリセットで Q1 および Q2 を論理値 0 にします。SRTYPE 属性に基づき、同期または非同期に設定できます。
S	入力	1	アクティブ High のリセットで Q1 および Q2 を論理値 1 にします。SRTYPE 属性に基づき、同期または非同期に設定できます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

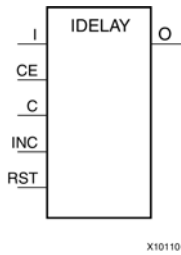
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DDR_CLK_EDGE	文字列	OPPOSITE_EDGE、 SAME_EDGE、 SAME_EDGE_ PIPELINED	OPPOSITE_ EDGE	クロック エッジに相対させた IDDR 操作モードを選択します。
INIT_Q1	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーションのスタートアップ後または GSR がアサートされたときの Q1 ピンの初期値を指定します。
INIT_Q2	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーションのスタートアップ後または GSR がアサートされたときの Q2 ピンの初期値を指定します。
SRTYPE	文字列	SYNC、ASYNC	SYNC	セット/リセットのタイプを選択します。SYNC では、リセット (R) およびセット (S) ピンの動作が C クロック ピンの立ち上がりエッジに同期するように指定し、ASYNC では非同期のセット/リセット機能を指定します。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IDELAY

プリミティブ : Input Delay Element



概要

Virtex® および上記のデバイスには、各ユーザー I/O の入力パスに IDELAY モジュールがあります。このモジュールは、入力データを正しく取り込むためのスキュー調整アルゴリズムをインプリメントします。IDELAY は、データ信号、クロック信号、またはその両方に適用でき、その機能は 64 タップ遅延ラインで制御されます。IDELAYCTRL コンポーネントと共に使用すると、プロセス、電圧、温度の変化にかかわらず、正確に増分された遅延を追加できます。3 つの動作モードがあります。

- ・ **ゼロ ホールド タイム遅延モード** : このモードは、および デバイスのゼロ ホールド タイム遅延機能を使用して、あるデザインでも使用できます。このモードを使用する場合、IDELAYCTRL プリミティブをインスタンスエートする必要はありません。
- ・ **固定タップ遅延モード** : 遅延値は IOBDELAY_VALUE 属性で指定した値に固定されます。この値をランタイムで変更することはできません。このモードを使用する場合、IDELAYCTRL プリミティブをインスタンスエートする必要があります。
- ・ **可変タップ遅延モード** : 制御信号 CE と INC を変更することにより、遅延値をランタイムで変更できます。このモードを使用する場合、IDELAYCTRL プリミティブをインスタンスエートする必要があります。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
I	入力	1	IOB からのシリアル入力データ
C	入力	1	クロック入力
INC	入力	1	タップ遅延のインクリメント/デクリメント数
CE	入力	1	インクリメント/デクリメントをイネーブル
RST	入力	1	遅延チェーンをあらかじめ設定された値にリセット。値が設定されていない場合は、0 にリセット。
O	出力	1	組み合わせ出力

データ入力および出力 - I および O

IDELAY プリミティブは、3 種類の IOB ロケーションに配置されています。入力と出力の接続は、IOB ロケーションのタイプにより異なります。

- ・ **汎用 IOB** : 汎用 IOB にある IDELAY の入力は、入力バッファ IBUF から直接供給されます。IDELAY (O) の出力は、直接ユーザー ロジックに接続します。入力および出力データパスは組み合わせパスであり、クロック信号 (C) の影響は受けませんが、IOB の出力信号 (O) をレジスタに接続できます。
- ・ **リージョナル クロックを使用可能な IOB** : リージョナル クロックを使用可能な IOB は、HCLK IOB の上下にある I/O ペアに配置されています。この IOB にある IDELAY の入力は、入力バッファ IBUF から直接供給され、出力は次のコンポーネントに接続できます。

- ユーザー ロジック
- BUFIO (リージョナル クロック信号の場合)

リージョナル クロック バッファ BUFIO は、入力されるリージョナル クロック信号をリージョナル I/O クロック ツリー IOCLK に接続します。また、BUFIO は、リージョナル クロック バッファ BUFR に接続してリージョナル クロック ツリー rclk にも接続できます。入力および出力データパスは組み合わせパスであり、クロック信号 (C) の影響は受けませんが、IOB の出力信号 (O) をレジスタに接続できます。

- ・ **グローバル クロックを使用可能な IOB** : グローバル クロックを使用可能な IOB は、中央の I/O 列に配置されています。この IOB にある IDELAY の入力は、入力グローバル クロック バッファ IBUFG から直接供給され、出力は次のコンポーネントに接続できます。

- ユーザー ロジック
- BUFG (グローバル クロック信号の場合)

グローバル クロック バッファ BUFG は、入力されるリージョナル クロック信号をグローバル I/O クロック ツリー gclk に接続します。入力および出力データパスは組み合わせパスであり、クロック信号 (C) の影響は受けませんが、IOB の出力信号 (O) をレジスタに接続できます。

クロック入力 - C

IDELAY の制御入力 (RST、CE、INC) は、すべてクロック入力 (C) に同期しています。IDELAY のデータ入力および出力 (I および O) は、クロック信号の影響は受けません。このクロック入力は、ISERDES の CLKDIV 入力と同じです。このため、CLKDIV を駆動するために使用されるクロックソースは、すべて IDELAY クロック入力 (C) を駆動します。クロック入力 (C) で駆動可能なクロックソースは、次のとおりです。

- ・ 8 個の gclk (グローバル クロック ツリー)
- ・ 2 個の rclk (リージョナル クロック ツリー)

モジュール リセット - RST

IDELAY のリセット信号 RST は、タップ遅延ラインを IOBDELAY_VALUE 属性で設定された値にリセットします。IOBDELAY_VALUE 属性を指定しない場合は、タップ遅延ラインは 0 にリセットされます。

インクリメント/デクリメント信号 - CE、INC

インクリメント/デクリメント イネーブル信号 (CE) は、インクリメント/デクリメント信号 (INC) をイネーブルにします。INC は、タップ遅延ラインをインクリメントするか、デクリメントするかを指定します。CE = 0 の場合、INC の値にかかわらず、遅延は変化しません。CE = 1 の場合、INC の値に応じてタップ遅延値がインクリメントまたはデクリメントします。タップ遅延のインクリメント/デクリメントは、入力クロック (C) に同期して行われます。CE = 1 である限り、各クロック サイクルでタップ遅延が 1 ずつインクリメント/デクリメントされます。次の表に、インクリメント/デクリメントの動作を示します。

動作	RST	CE	INC
設定されたタップ数にリセット	1	X	X
タップ数を増分	0	1	1
タップ数を減分	0	1	0
変化なし	0	0	X

メモ :

1. RST は、遅延チェーンを IOBDelay_VALUE 属性で指定された値にリセットします。値が設定されていない場合は、0 にリセットされます。
2. RST、CE、INC は、クロック入力 (C) に同期しています。

CE が High になると、次の立ち上がりクロックでインクリメント/デクリメントが開始します。CE が Low になると、次の立ち上がりクロックでインクリメント/デクリメントが停止します。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
IOBDelay_TYPE	文字列	DEFAULT、FIXED、VARIABLE	DEFAULT	タップ遅延のタイプを指定
IOBDelay_VALUE	整数	0 ~ 63	0	タップ遅延の初期値を指定

IOBDelay_TYPE 属性

IOBDelay_TYPE 属性は、使用する遅延のタイプを指定します。指定可能な値は DEFAULT、FIXED、または VARIABLE で、デフォルト値は DEFAULT です。DEFAULT に設定すると、ゼロ ホールド タイム遅延エレメントが選択されます。この遅延エレメントは、pad-to-pad ホールド タイムを削減し、遅延をデバイスの内部クロック分配遅延と一致させます。この遅延エレメントを使用すると、pad-to-pad ホールド タイムは 0 になります。

FIXED に設定した場合、タップ遅延値は IOBDelay_VALUE 属性で指定したタップ数に固定されます。この値は、動作中に変更することはできません。

VARIABLE に設定した場合、タップ遅延を動作中に変更できます。CE = 1 および INC = 1 に設定するとタップ遅延がインクリメントされ、CE = 1 および INC = 0 に設定するとデクリメントされます。インクリメント/デクリメントは、入力クロック信号 C に同期して行われます。

IOBDelay_VALUE 属性

タップ遅延の初期値を指定します。指定可能な値は 0 ~ 63 で、デフォルト値は 0 です。0 に設定すると、合計遅延は出力マルチプレクサの遅延 (約 400ps) になります。

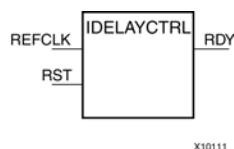
タップ遅延がリセットされた場合 (RST = 1)、IOBDelay_TYPE が FIXED の場合、タップ遅延は IOBDelay_VALUE で設定した値になります。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IDELAYCTRL

プリミティブ : IDELAY Tap Delay Value Control



概要

このデザイン エLEMENTは、タップ遅延ラインを使用する場合にインスタンス化する必要があります。これは、IDELAY または ISERDES プリミティブがインスタンス化されており、IOBDELAY_TYPE 属性が FIXED または VARIABLE に設定されている場合です。このモジュールは、一定の周波数リファレンス クロック REFCLK を使用する場合に、プロセス、電圧、および温度の変化にかかわらず、タップ遅延ラインに電圧バイアスを供給します。これにより、正確な遅延調整が可能になります。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
RDY	出力	1	リファレンス クロック入力 が有効であることを示します。REFCLK.REFCLK が停止する (REFCLK が High または Low に 1 クロック周期以上保持される) と、RDY 信号がデassertされます。
REFCLK	入力	1	プロセス、電圧、温度の変化にかかわらず、タップ遅延ラインに電圧バイアスを供給します。タップ遅延をデータシートに記載された値にするには、REFCLK の周波数を 200MHz にする必要があります。
RST	入力	1	IDELAYCTRL 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。IDELAYCTRL をリセットするには、このポートを 50ns 以上 High にアassertする必要があります。

RST (モジュール リセット) : IDELAYCTRL 回路をリセットします。RST 信号は、アクティブ High の非同期リセットです。IDELAYCTRL をリセットするには、このポートを 50ns 以上 High にアassertする必要があります。

REFCLK (リファレンス クロック) : プロセス、電圧、温度の変化にかかわらず、タップ遅延ラインに電圧バイアスを供給します。タップ遅延をデータシートに記載された値にするには、REFCLK の周波数を 200MHz にする必要があります。

RDY (Ready 出力) : リファレンス クロック入力 REFCLK が有効になったことを示します。REFCLK が停止する (REFCLK が High または Low に 1 クロック周期以上保持される) と、RDY 信号がデassertされます。

デザインの入力方法

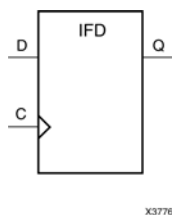
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFD

マクロ : Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

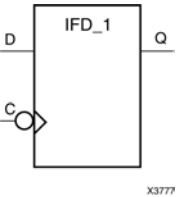
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFD_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。また、入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時に、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↓	0
1	↓	1

デザインの入力方法

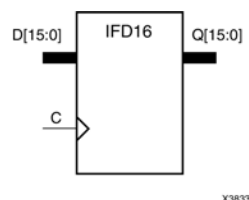
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFD16

マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力は、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

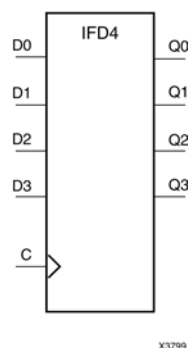
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFD4

マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

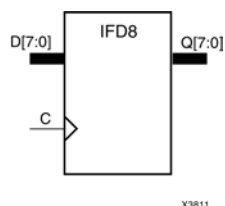
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFD8

マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

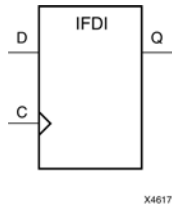
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDI

マクロ : Input D Flip-Flop (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力が同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、フリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力は、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

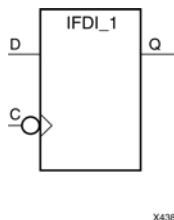
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDI_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力が同期化されます。入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力は、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
0	↓	D

デザインの入力方法

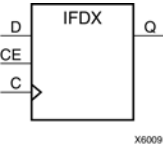
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDX

マクロ : Input D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このELEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

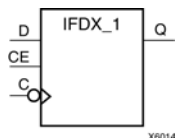
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDX_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。また、入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

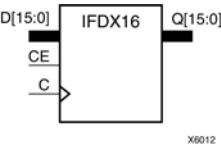
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDX16

マクロ : 16-Bit Input D Flip-Flops with Clock Enable



概要

このELEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

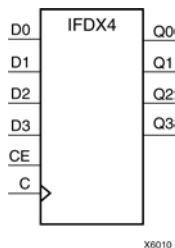
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDX4

マクロ : 4-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このエレメントは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

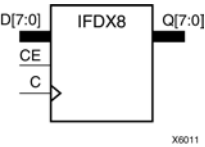
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDX8

マクロ : 8-Bit Input D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このELEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、フリップフロップの出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

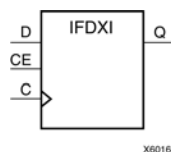
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDXI

マクロ : Input D Flip-Flop with Clock Enable (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からはデータが入力され、チップへのデータ入力同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力は、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

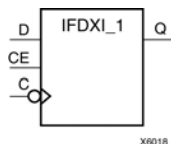
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IFDXI_1

マクロ : Input D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは D フリップフロップで、I/O ブロック (IOB) に含まれています。フリップフロップの入力 (D) は、IPAD または IOPAD に接続されます。入力 D からデータが入力され、チップへのデータ入力が同期化されます。CE が High になっていると、入力 D の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、出力 (Q) に出力されます。クロック入力、内部ロジックまたは別の外部ピンによって駆動できます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

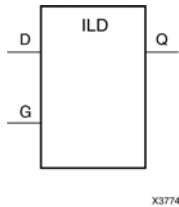
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILD

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは単一の透過データラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。このラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) のデータが出力 (Q) に出力されます。入力 D のデータは、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	D	D
0	X	変化なし
↓	D	D

デザインの入力方法

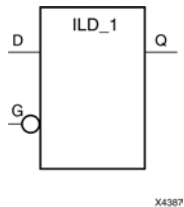
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILD_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が Low になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
0	D	D
1	X	変化なし
↑	D	D

デザインの入力方法

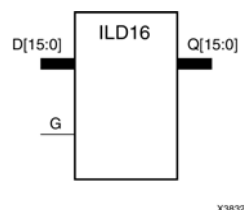
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILD16

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは複数の透過データ ラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ILD ラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれています。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

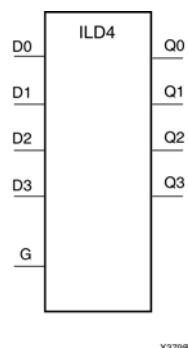
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILD4

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは複数の透過データラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ILD ラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれています。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

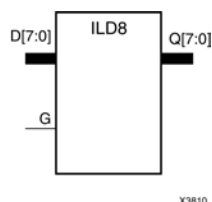
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILD8

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは複数の透過データ ラッチで、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ILD ラッチは、I/O ブロック (IOB) に含まれています。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

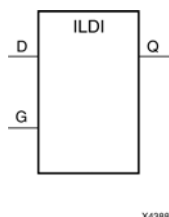
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDI

マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) のデータが出力 (Q) に出力されます。入力 D のデータは、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

ILDI は、入力フリップフロップのマスタラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの異なる出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDI) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDL1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDI1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDI) に対応します。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	D	D
0	X	D
↓	D	D

デザインの入力方法

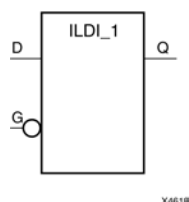
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDI_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エレメントは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が Low になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
0	1	1
0	0	0
1	X	変化なし
↑	D	D

デザインの入力方法

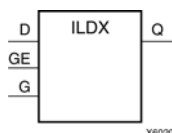
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDX

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは単一または複数の透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。

ILDX は、入力フリップフロップのマスタラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDX) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX_1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDX_1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX) に対応します。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	X	変化なし
1	1	1	1
1	1	0	0
1	↓	D	D

デザインの入力方法

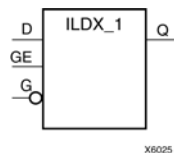
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDX_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が Low になると、入力 (D) の値が出力 (Q) に出力されます。入力 D の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチに格納されます。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	1	X	変化なし
1	0	1	1
1	0	0	0
1	↑	D	D

デザインの入力方法

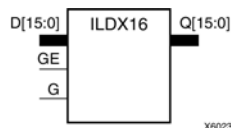
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDX16

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは単一または複数の透過データ ラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。

ILDX は、入力フリップフロップのマスタ ラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDX) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX_1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDX_1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX) に対応します。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	X	変化なし
1	1	Dn	Dn

デザインの入力方法

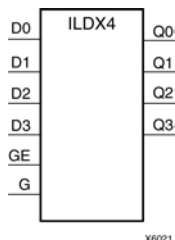
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDX4

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは単一または複数の透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。

ILDX は、入力フリップフロップのマスタラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDX) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX_1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDX_1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX) に対応します。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	X	変化なし
1	1	1	1
1	1	0	0
1	↓	D	D

デザインの入力方法

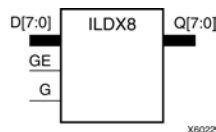
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDX8

マクロ : Transparent Input Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは単一または複数の透過データラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ラッチ入力 (D) は、IBUF を使用せずに IPAD または IOPAD に接続されます。

ILDX は、入力フリップフロップのマスタラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDX) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX_1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDX_1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDX) に対応します。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	X	変化なし
1	1	Dn	Dn

デザインの入力方法

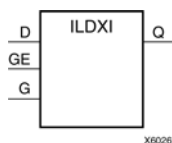
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDXI

マクロ : Transparent Input Data Latch (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。ゲート入力 (G) が High になると、入力 (D) のデータが出力 (Q) に出力されます。入力 D のデータは、G が High から Low に切り替わるときにラッチに格納されます。

ILDXI は、入力フリップフロップのマスタ ラッチです。入力フリップフロップからは、クロック信号のレベルに対応する出力とクロック信号のエッジに対応する出力という 2 つの出力が使用できます。同じ入力フリップフロップから両方の出力を使用する場合、透過 High ラッチ (ILDXI) は立ち下がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDXI_1) に対応します。同様に、透過 Low ラッチ (ILDXI_1) は立ち上がりエッジでトリガされるフリップフロップ (IFDXI) に対応します。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	X	変化なし
1	1	D	D
1	↓	D	D

デザインの入力方法

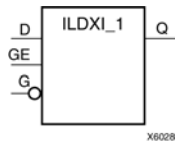
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ILDXI_1

マクロ : Transparent Input Data Latch with Inverted Gate (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチであり、チップに入力されるデータを一時的に保持します。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。

FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	1	X	変化なし
1	0	D	D
1	↑	D	D

デザインの入力方法

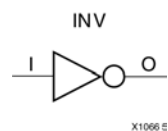
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

INV

プリミティブ : Inverter



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する単一のインバータです。

デザインの入力方法

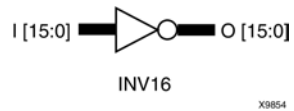
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

INV16

マクロ : 16 Inverters



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する複数のインバータです。

デザインの入力方法

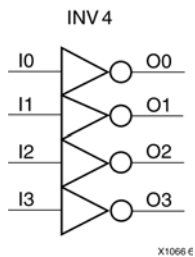
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

INV4

マクロ : Four Inverters



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する複数のインバータです。

デザインの入力方法

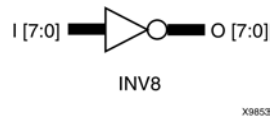
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

INV8

マクロ : Eight Inverters



概要

このデザイン エLEMENTは、回路図で信号を反転する複数のインバータです。

デザインの入力方法

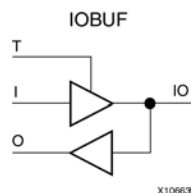
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IOBUF

プリミティブ : Bi-Directional Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは双方向でシングルエンドの I/O バッファで、内部ロジックを外部双方向ピンに接続する場合に使用します。

論理表

入力		双方向	出力
T	I	I/O	O
1	X	Z	X
0	1	1	1
0	0	0	0

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファの出力
I/O	入出力	1	バッファの入出力
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トリステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

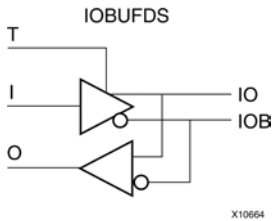
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	I/O 規格として LVTTL、LVCMOS12、LVCMOS15、LVCMOS18、LVCMOS25 または LVCMOS33 を使用する SelectIO™ バッファの出力の駆動電流 (mA) を選択
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST、QUIETIO	SLOW	出力の立ち上がり時間と立ち下がり時間を設定 この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

IOBUFDS

プリミティブ : 3-State Differential Signaling I/O Buffer with Active Low Output Enable



概要

このデザイン エレメントは、低電圧差動信号を使用する双方向バッファです。IOBUFDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方が「マスタ」で、もう一方が「スレーブ」となる 2 つの異なるポート (IO、IOB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。オプションで、プログラム可能な差動終端機能を使用すると、シグナル インテグリティが向上し、外部コンポーネントの数を減らすことができます。デバイスへの入力データの取り込みには、プログラマブル遅延を使用することもできます。

論理表

入力		双方向		出力
I	T	I/O	IOB	O
X	1	Z	Z	変化なし
0	0	0	1	0
1	0	1	0	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファの出力
I/O	入出力	1	Diff_p 入出力
IOB	入出力	1	Diff_n 入出力
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トライステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

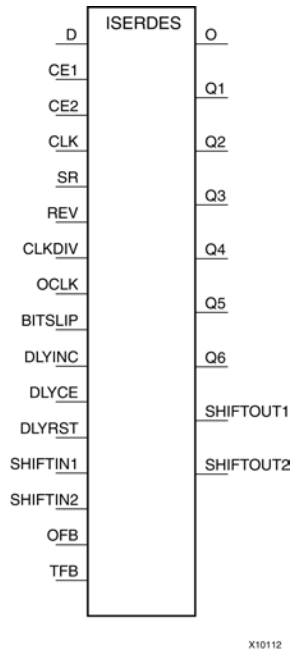
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をエレメントに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ISERDES

プリミティブ : Dedicated I/O Buffer Input Deserializer



概要

このデザイン エLEMENTを使用することにより、同期ソリューションを簡単にインプリメントできます。ISERDES は専用のソース同期 I/O アーキテクチャです。このモジュールを使用すると、ソース同期アプリケーションで FPGA のロジックリソースを節約でき、タイミングが複雑になるのを防ぎます。

このモジュールには、シリアル/パラレル コンバータ、シリアル遅延チェーン、ワード アライメント ユニット (BITSLLIP)、クロック イネーブル (CE) モジュールが含まれています。また、さまざまなアプリケーションに対応した複数のクロック入力があり、SelectIO™ 機能と共に使用できます。SERDES のサブモジュールの詳細は次のとおりです。

遅延チェーン モジュール

遅延チェーンは、入力データと転送されたクロックのタイミング関係を調整するための専用アーキテクチャです。このタイミング関係の調整は、ISERDES モジュール内に遅延を配置し、入力のスキューを調整することによって達成します。入力遅延チェーンは、あらかじめ設定しておくか (固定)、動作中に変更できます (可変)。また、このモジュールは IDELAYCTRL プリミティブと共に使用します。

遅延チェーン モジュールを使用するにはいくつかの属性が必要です。その属性は次のとおりです。

- ・ IOBDELAY_VALUE
- ・ IOBDELAY
- ・ IOBDELAY_TYPE

IOBDELAY_VALUE は、使用する遅延タップの数を指定します。指定可能な値は、0 ～ 63 で、デフォルト値は 0 です。

IOBDELAY 属性を IBUF、IFD、または BOTH に設定すると、遅延チェーンをそれぞれ組み合わせ出力 (O)、レジスタ付き出力 (Q1 ～ Q6)、または両方に使用できます。IOBDELAY 属性を NONE に設定すると、遅延チェーン モジュールがバイパスされます。

IOBDELAY_TYPE は、DEFAULT、FIXED、または VARIABLE に設定できます。DEFAULT に設定すると、ホールド タイムがゼロになります。FIXED に設定すると、遅延タップ値は IOBDELAY_VALUE で設定した値になります。このモードでは、デバイスがプログラムされた後に値を変更することはできません。VARIABLE に設定すると、遅延タップの初期値が IOBDELAY_VALUE の値に設定され、デバイスをプログラムした後に変更可能です。

遅延チェーン モードは、DLIRST、DLYCE、および DLYINC ピンを使用して制御します。これらのピンによる動作は、CLKDIV クロック信号に同期しています。DLIRST を High にアサートすると、遅延チェーンのタップ値が IOBDELAY_VALUE で設定した値にリセットされます。遅延タップ値をインクリメント/デクリメントするには、DLYCE および DLYINC を使用します。遅延タップ値を変更するには、DLYCE を High にアサートする必要があります。DLYINC を 1 に設定するとインクリメントされ、0 に設定するとデクリメントされます。

次の表に、遅延チェーン制御ピンの値による動作を示します。

動作	DLIRST	DLYCE	DLYINC
IOBDELAY_VALUE の値にリセット	1	X	X
タップ値をインクリメント	0	1	1
タップ値をデクリメント	0	1	0
変化なし	0	0	X

メモ： 遅延チェーンのすべての動作は、CLKDIV に同期しています。

シリアル/パラレル コンバータ

ISERDES モジュールのシリアル/パラレル コンバータは、シリアル データを取り込み、2 ～ 6 のデータ幅に変換します。データ幅拡張モードを使用すると、データ幅を 7、8、10 に拡張できます。データ幅を拡張するには、1 つの ISERDES をマスタ モードにし、もう 1 つの ISERDES をスレーブ モードに設定し、スレーブの SHIFTIN ポートをマスタの SHIFTOUT ポートに接続します。スレーブでは、出力として Q3 ～ Q6 ポートのみを使用します。シリアル/パラレル コンバータは、SDR または DDR モードの両方で使用できます。

このモジュールは、主に CLK および CLKDIV クロックで制御されます。次の表に、SDR および DDR の異なるモードにおける CLK と CLKDIV の関係を示します。

次の表に、シリアル/パラレル コンバータの CLK と CLKDIV の関係を示します。

SDR のデータ幅	DDR のデータ幅	CLK	CLKDIV
2	4	2X	X
3	6	3X	X
4	8	4X	X
5	10	5X	X
6	–	6X	X
7	–	7X	X
8	–	8X	X

CE モジュール

CE モジュールは、基本的には 2:1 パラレル/シリアル コンバータです。このモジュールは CLKDIV クロック入力で制御され、シリアル/パラレル コンバータ モジュールのクロック イネーブル ポートを制御するのに使用されます。

BITSLIP モジュール

BITSLIP モジュールは、出力シーケンスを並べ替えるバレル シフタのような機能を実行します。BITSLIP を起動するたびに、出力パターンが変化します。BITSLIP による並べ替えの最大回数は、パターンに含まれるビット数から 1 を引いた数になります (DATA_WIDTH - 1)。BITSLIP は、SDR および DDR の両方でサポートされます。SDR と DDR の出力の並べ替えは、異なるので注意してください。

BITSLIP を使用するには BITSLIP_ENABLE 属性を ON に設定する必要があります。この属性を OFF に設定すると、BITSLIP モジュールはバイパスされます。

BITSLIP の動作は、CLKDIV クロック入力に同期しています。BITSLIP モジュールを起動するには、BITSLIP ポートを CLKDIV の 1 サイクル分だけ High にアサートします。BITSLIP ポートが CLKDIV の 1 サイクル分 High にアサートされると、BITSLIP の動作が完了します。DDR モードでは、CLKDIV の 2 サイクル分経過するまで、BITSLIP の動作が安定しない場合があります。BITSLIP の出力は、すべてレジスタ付き出力ポート (Q1 ~ Q6) に出力されます。

その他の機能

データ幅の拡張 : ISERDES モジュールでは、7 ビット幅以上のデータ幅を回復できます。この機能を使用するには、2 つの ISERDES モジュールをインスタンス化する必要があります。この 2 つの ISERDES は、隣接したマスタ/スレーブペアである必要があります。ISERDES_MODE 属性を MASTER または SLAVE に設定し、ISERDES のペアを区別する必要があります。また、マスタの SHIFTOUT ポートをスレーブの SHIFTIN ポートに接続します。SDR および DDR モードでは、データ幅 7、8、10 がサポートされています。次の表に、SDR および DDR モードで使用可能なデータ幅を示します。

モード	幅
SDR	2、3、4、5、6、7、8
DDR	4、6、8、10

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	組み合わせ出力。ISERDES モジュールのレジスタを介さない出力で、遅延チェーンの出力です。この出力ポートは、ISERDES モジュール内のすべてのサブモジュールをバイパスするようにコンフィギュレーションすることも可能です。BUFIO を駆動できます。
Q1:6	出力	1 (それぞれ)	レジスタ付き出力。ISERDES モジュールのレジスタ付き出力です。これらの出力を使用すると、ISERDES のサブモジュール パスの次の組み合わせを入力として使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> 遅延チェーン → シリアル/パラレル コンバータ → BITSLIP モジュール 遅延チェーン → シリアル/パラレル コンバータ これらのポートは、2 ~ 6 ビットに設定できます。データ幅拡張モードでは、10 ビットまで拡張できます。
SHIFTOUT 1:2	出力	1 (それぞれ)	データ入力を拡張するためのキャリー出力です。スレーブの SHIFTIN1、SHIFTIN12 に接続します。
BITSLIP	入力	1	BITSLIP 動作を起動します。このピンを High にすると、BITSLIP モジュールがイネーブルになります。
CE 1:2	入力	1 (それぞれ)	CE モジュールに供給するクロック イネーブル入力です。

ポート名	方向	幅	機能
CLK	入力	1	<p>高速転送クロック入力。シリアル/パラレル コンバータおよび BITSLLIP モジュールを駆動するのに使用するクロック入力です。CLK ポートは、次のいずれかのクロックリソースで駆動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロック領域内の 8 個のグローバル クロック ライン ・ 2 個のリージョナル クロック ライン ・ 6 個のクロック I/O (隣接したクロック領域内) ・ FPGA (バイパスを介す)
CLKDIV	入力	1	<p>高速転送分周クロック入力。シリアル/パラレル コンバータ、遅延チェーン、BITSLLIP モジュール、および CE モジュールを駆動するのに使用するクロック入力です。CLK ポートに接続されたクロックよりも低周波数のクロックを入力する必要があります。CLKDIV ポートは、次のいずれかのクロックリソースで駆動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロック領域内の 8 個のグローバル クロック ライン ・ 2 個のリージョナル クロック ライン
D	入力	1	IOB からのシリアル入力データ。ISERDES モジュールにデータが入力されるポートです。SelectIO 機能を使用して、I/O 規格を指定できます。
DLYCE	入力	1	遅延チェーンのインクリメント/デクリメントをイネーブルにします。
DLYINC	入力	1	遅延チェーン インクリメント/デクリメントピン。DLYCE ピンを High にアサートすると、DLYINC ピンの値に応じて遅延チェーンのタップ値がインクリメント/デクリメントされます。DLYINC ピンが High の場合はタップ値がインクリメントされ、Low の場合はデクリメントされます。
DLYRST	入力	1	遅延チェーン リセットピン。遅延チェーンのタップ数を IOBDELAY_VALUE で設定された値にリセットします。値が設定されていない場合は、0 にリセットします。
OCLK	入力	1	<p>メモリ インターフェイス アプリケーション用高速クロック。シリアル/パラレル コンバータを駆動するのに使用するクロック入力です。OCLK ポートは、次のいずれかのクロックリソースで駆動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロック領域内の 8 個のグローバル クロック ライン ・ 2 個のリージョナル クロック ライン ・ 6 個のクロック I/O (隣接したクロック領域内) ・ FPGA (バイパスを介す) <p>このクロックは、ストロブ信号が必要なメモリ インターフェイスに適しています。</p>
REV	入力	1	SR を反転。内部テスト用です。SR を使用した場合、REV ピンによりストレージ エLEMENTが反対の状態になります。リセットがセットよりも優先されます。REV ピンは、ISERDES ではサポートされていません。
SR	入力	1	<p>セット/リセット入力。ストレージ ELEMENTの状態をユーザー制約ファイル (UCF) で設定した SRVAL 属性で設定された状態にします。SRVAL = 1 の場合は 1、SRVAL = 0 の場合は 0 になります。SR を使用した場合、REV ピンによりストレージ ELEMENTが反対の状態になります。リセットがセットよりも優先されます。ISERDES コンポーネントのすべてのレジスタに対し、SR ピンはアクティブ High に非同期リセットします。</p>
SHIFTIN 1:2	入力	1 (それぞれ)	データ入力を拡張するためのキャリー入力です。マスタの SHIFTOUT1、SHIFTOUT2 に接続します。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

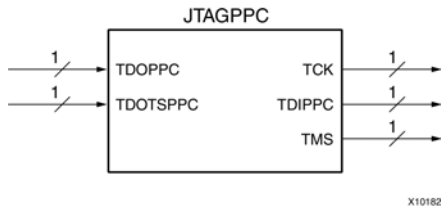
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
BITSLIP_ENABLE	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	BITSLIP コントローラをイネーブル
DATA_RATE	文字列	SDR、DDR	DDR	データ レートを指定
DATA_WIDTH	文字列	DATA_RATE = DDR の場合は 4、6、8、10、 DATA_RATE = SDR の場合は 2、3、4、5、6、7、8	4	シリアル/パラレル コンバータの幅を指定。SDR と DDR のどちらを選択するかで値が異なります。
INTERFACE_TYPE	文字列	MEMORY、NETWORKING	MEMORY	ISERDES の使用モデルを指定
IOBDelay	文字列	NONE、IBUF、IFD、BOTH	NONE	遅延チェーンを使用する ISERDES の出力を指定
IOBDelay_TYPE	文字列	DEFAULT、FIXED、VARIABLE	DEFAULT	遅延チェーンを固定モードまたは可変モードに指定
IOBDelay_VALUE	整数	0 ～ 63	0	タップ遅延の初期値を指定
NUM_CE	整数	1、2	2	クロック イネーブルの数を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート：DC 特性およびスイッチ特性](#)

JTAGPPC

プリミティブ : JTAG Primitive for the Power PC



概要

このデザイン エLEMENTを使用すると、PPC405 コアにある JTAG ロジック が、コアが存在する FPGA デバイス の JTAG ロジックに接続されます。接続はプログラム可能な配線を介するため、コンフィギュレーション後にのみ確立されます。

ポートの説明

入力	出力
TDOTSPPC	TDIPPC
TDOPPC	TCK
	TMS

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

KEEPER

プリミティブ : KEEPER Symbol



概要

このデザイン エLEMENTは、双方向出力ピンに接続されるネットの値を保持するウィークキーパ ELEMENTです。たとえば、ネットに対して論理値 1 を駆動すると、KEEPER はそのネットにウィーク/抵抗値 1 を駆動します。その後、ネットドライバがトライステートになっても、KEEPER はウィーク/抵抗値 1 を駆動し続けます。

ポートの説明

属性	方向	幅	機能
O	出力	1 ビット	キーパ出力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは、最上位の回路図ファイルで次のネットに接続できます。

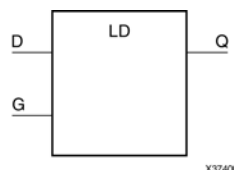
- ・ 入力 I/O マーカーに接続されたネット
- ・ 出力 I/O マーカーおよび OBUFT のようなトライステートにできる I/O ELEMENTの両方に接続されたネット

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD

プリミティブ : Transparent Data Latch



概要

LD は透過データ ラッチです。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	D	D
0	X	変化なし
↓	D	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

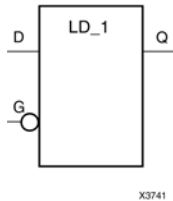
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、反転ゲート (G) 付き透過データ ラッチです。ゲート (G) 入力 が Low の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
0	D	D
1	X	変化なし
↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

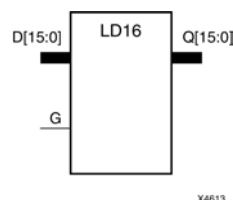
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD16

マクロ : Multiple Transparent Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチ 16 個で構成されており、共通のゲート イネーブル (G) が 1 つあります。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

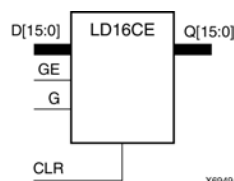
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD16CE

マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは 16 個の透過データ ラッチで構成されており、非同期クリア (CLR) とゲート イネーブル (GE) があります。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	Dn	Qn
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	Dn	Dn
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

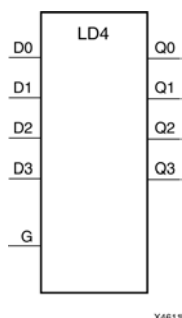
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	16 ビット値	すべてでゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD4

マクロ : Multiple Transparent Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチ 4 個で構成されており、共通のゲート イネーブル (G) が 1 つあります。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

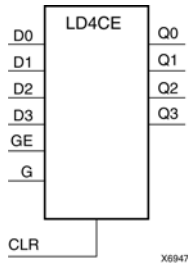
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD4CE

マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは 4 個の透過データ ラッチで構成されており、非同期クリア (CLR) とゲート イネーブル (GE) があります。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	Dn	Qn
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	Dn	Dn
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

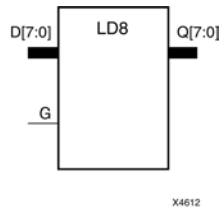
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	4 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD8

マクロ : Multiple Transparent Data Latch



概要

このデザイン エLEMENTは透過データ ラッチ 8 個で構成されており、共通のゲート イネーブル (G) が 1 つあります。ゲート イネーブル入力 (G) が High の場合、データ出力 (Q) にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
G	D	Q
1	Dn	Dn
0	X	変化なし
↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

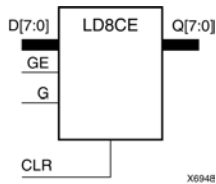
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LD8CE

マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは 8 個の透過データ ラッチで構成されており、非同期クリア (CLR) とゲート イネーブル (GE) があります。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	Dn	Qn
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	Dn	Dn
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	Dn	Dn

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

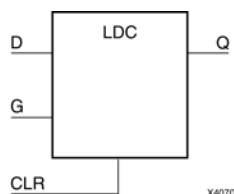
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	8 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDC

プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR) がある透過データラッチです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート イネーブル入力 (G) が High で CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	G	D	Q
1	X	X	0
0	1	D	D
0	0	X	変化なし
0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

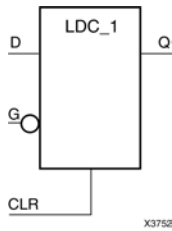
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDC_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR) および反転ゲート (G) 付き透過データラッチです。CLR が High になると、ほかの入力 (D、G) は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート (G) 入力および CLR が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わる時にラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CLR	G	D	Q
1	X	X	0
0	0	D	D
0	1	X	変化なし
0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

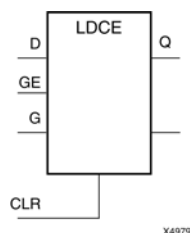
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDCE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR) およびゲート イネーブル (GE) 付き透過データ ラッチです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High で、CLR が Low のとき、Q にはデータ入力 (D) が使用されます。GE が Low の場合、D の値は不定値になります。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	D	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	D	D
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

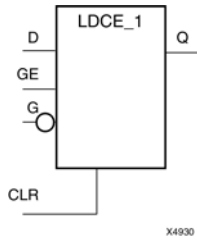
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDCE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear, Gate Enable, and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期クリア (CLR)、ゲート イネーブル (GE)、反転ゲート (G) 付きの透過データ ラッチです。非同期クリア入力 (CLR) が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。G および CLR が Low、GE が High のとき、Q にはデータ入力 (D) が使用されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	GE	G	D	Q
1	X	X	X	0
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	D	D
0	1	1	X	変化なし
0	1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

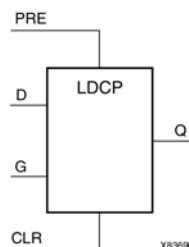
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDCP

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D)、非同期クリア入力 (CLR)、プリセット入力 (PRE) がある透過データ ラッチです。CLR が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。PRE が High、CLR が Low の場合、データ出力 (Q) は High にプリセットされます。ゲート入力 (G) が High で CLR と PRE が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	PRE	G	D	Q
1	X	X	X	0
0	1	X	X	1
0	0	1	D	D
0	0	0	X	変化なし
0	0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

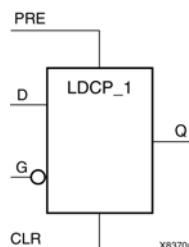
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	整数	0、1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDCP_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期クリア (CLR)、プリセット (PRE)、反転ゲート (G) がある透過データ ラッチです。CLR が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。PRE が High、CLR が Low の場合、データ出力 (Q) は High にプリセットされます。ゲート入力 (G)、CLR、PRE が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
CLR	PRE	G	D	Q
1	X	X	X	0
0	1	X	X	1
0	0	0	D	D
0	0	1	X	変化なし
0	0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

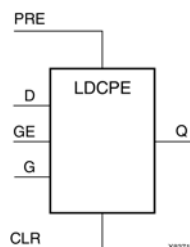
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	整数	0、1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDCPE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期クリア (CLR)、非同期プリセット (PRE)、ゲート イネーブル (GE) がある透過データラッチです。CLR が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。PRE が High、CLR が Low の場合、データ出力 (Q) は High にプリセットされます。ゲート入力 (G) と GE が High で CLR と PRE が Low の場合、Q にはデータ入力 (D) が使用されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
CLR	PRE	GE	G	D	Q
1	X	X	X	X	0
0	1	X	X	X	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	1	0	0
0	0	1	1	1	1
0	0	1	0	X	変化なし
0	0	1	↓	D	D

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q	出力	1	データ出力
CLR	入力	1	非同期クリア/リセット入力
D	入力	1	データ入力
G	入力	1	ゲート入力
GE	入力	1	ゲート イネーブル入力
PRE	入力	1	非同期プリセット/セット入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

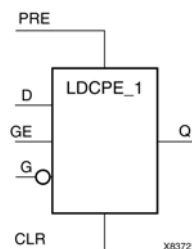
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	整数	0、1	0	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDCPE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Clear and Preset, Gate Enable, and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、データ (D)、非同期クリア (CLR)、非同期プリセット (PRE)、ゲート イネーブル (GE)、反転ゲート (G) がある透過データ ラッチです。CLR が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が Low にリセットされます。PRE が High、CLR が Low の場合、データ出力 (Q) は High にプリセットされます。GE が High で、G、CLR、PRE が Low の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間に変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力					出力
CLR	PRE	GE	G	D	Q
1	X	X	X	X	0
0	1	X	X	X	1
0	0	0	X	X	変化なし
0	0	1	0	D	D
0	0	1	1	X	変化なし
0	0	1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

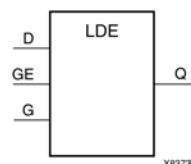
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	整数	0、1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable



概要

このデザイン エレメントは、データ入力 (D) とゲート イネーブル入力 (GE) がある透過データ ラッチです。ゲート入力 (G) とゲート イネーブル (GE) が High の場合、Q 出力にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期的にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	1	D	D
1	0	X	変化なし
1	↓	D	D

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

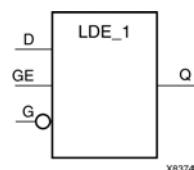
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Gate Enable and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、データ入力 (D) とゲート イネーブル入力 (GE)、反転ゲート (G) がある透過データ ラッチです。G が Low で GE が High の場合、Q 出力にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間に変化しません。

電力を供給すると、ラッチは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
GE	G	D	Q
0	X	X	変化なし
1	0	D	D
1	1	X	変化なし
1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

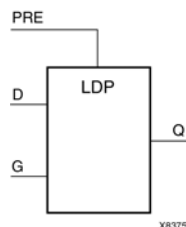
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	0	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDP

プリミティブ : マクロ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE) がある透過データ ラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。ゲート入力 (G) が High で PRE が Low の場合、Q にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が Low の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	G	D	Q
1	X	X	1
0	1	0	0
0	1	1	1
0	0	X	変化なし
0	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

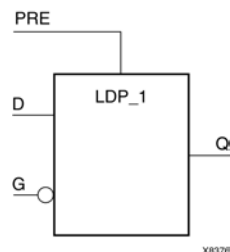
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDP_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE)、反転ゲート (G) がある透過データ ラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。G と PRE が Low の場合、Q にはデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
PRE	G	D	Q
1	X	X	1
0	0	D	D
0	1	X	変化なし
0	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

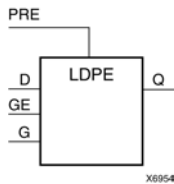
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDPE

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset and Gate Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE) およびゲート イネーブル (GE) 付き透過データ ラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。ゲート入力 (G) およびゲート イネーブル (GE) が High の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が High から Low に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G または GE が Low の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	GE	G	D	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	1	D	D
0	1	0	X	変化なし
0	1	↓	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

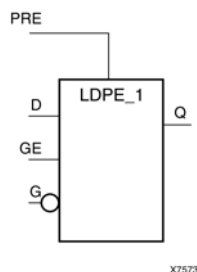
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LDPE_1

プリミティブ : Transparent Data Latch with Asynchronous Preset, Gate Enable, and Inverted Gate



概要

このデザイン エLEMENTは、非同期プリセット (PRE)、ゲート イネーブル (GE)、反転ゲート (G) 付きの透過データ ラッチです。PRE が High になると、ほかの入力は無視され、データ出力 (Q) が High にプリセットされます。G および PRE が Low で、GE が High の場合、Q にデータ入力 (D) の値が出力されます。D 入力の値は、G が Low から High に切り替わるときにラッチ内に格納されます。Q 出力の値は、G が High または GE が Low の間は変化しません。

電力が供給されると、ラッチは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力
PRE	GE	G	D	Q
1	X	X	X	1
0	0	X	X	変化なし
0	1	0	D	D
0	1	1	X	変化なし
0	1	↑	D	D

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

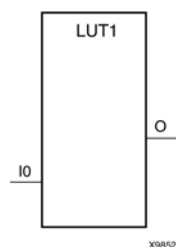
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	2 進数	0、1	1	電源投入時または Q ポートに対する GSR のアサート時の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT1

プリミティブ : 1-Bit Look-Up Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 1 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力	出力
I0	O
0	INIT[0]
1	INIT[1]
INIT = INIT 属性に割り当てられた 2 進数値	

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

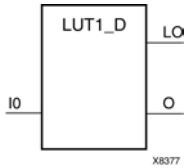
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	2 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT1_D

プリミティブ : 1-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 1 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力	出力	
IO	O	LO
0	INIT[0]	INIT[0]
1	INIT[1]	INIT[1]
INIT = INIT 属性に割り当てられた 2 進数値		

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

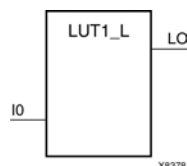
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	2 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT1_L

プリミティブ : 1-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、1 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力	出力
I0	LO
0	INIT[0]
1	INIT[1]
INIT = INIT 属性に割り当てられた 2 進数値	

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

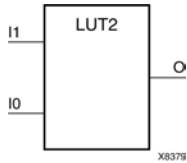
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	2 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT2

プリミティブ : 2-Bit Look-Up Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 2 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力		出力
I1	I0	O
0	0	INIT[0]
0	1	INIT[1]
1	0	INIT[2]
1	1	INIT[3]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値		

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

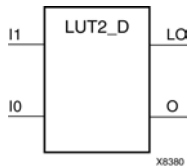
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	4 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT2_D

プリミティブ : 2-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 2 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力		出力	
I1	I0	O	LO
0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	1	INIT[1]	INIT[1]
1	0	INIT[2]	INIT[2]
1	1	INIT[3]	INIT[3]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

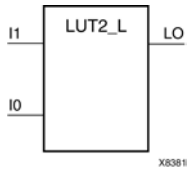
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	4 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT2_L

プリミティブ : 2-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、2 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力		出力
I1	I0	LO
0	0	INIT[0]
0	1	INIT[1]
1	0	INIT[2]
1	1	INIT[3]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値		

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

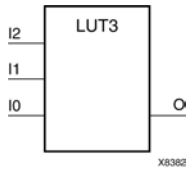
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	4 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT3

プリミティブ : 3-Bit Look-Up Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 3 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力			出力
I2	I1	I0	O
0	0	0	INIT[0]
0	0	1	INIT[1]
0	1	0	INIT[2]
0	1	1	INIT[3]
1	0	0	INIT[4]
1	0	1	INIT[5]
1	1	0	INIT[6]
1	1	1	INIT[7]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

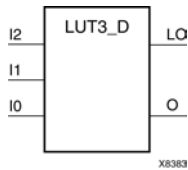
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	8 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT3_D

プリミティブ : 3-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 3 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力			出力	
I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
1	1	0	INIT[6]	INIT[6]
1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

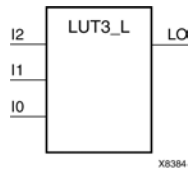
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	8 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT3_L

プリミティブ : 3-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、3 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力			出力
I2	I1	I0	LO
0	0	0	INIT[0]
0	0	1	INIT[1]
0	1	0	INIT[2]
0	1	1	INIT[3]
1	0	0	INIT[4]
1	0	1	INIT[5]
1	1	0	INIT[6]
1	1	1	INIT[7]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

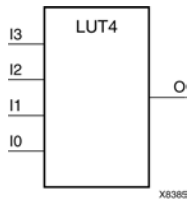
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	8 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT4

プリミティブ : 4-Bit Look-Up-Table with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは一般出力 (O) を持つ 4 ビットのルックアップ テーブル (LUT) です。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。このELEMENTは、バッファまたはインバータの機能を果たします。これらのELEMENTは基本ブロックで、各 CLB スライスに 2 つ、各 CLB に 4 つずつあります。LUT には複数のバリエーションがあり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力				出力
I3	I2	I1	I0	O
0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	1	INIT[1]
0	0	1	0	INIT[2]
0	0	1	1	INIT[3]
0	1	0	0	INIT[4]
0	1	0	1	INIT[5]
0	1	1	0	INIT[6]
0	1	1	1	INIT[7]
1	0	0	0	INIT[8]
1	0	0	1	INIT[9]
1	0	1	0	INIT[10]
1	0	1	1	INIT[11]
1	1	0	0	INIT[12]
1	1	0	1	INIT[13]
1	1	1	0	INIT[14]
1	1	1	1	INIT[15]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値				

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

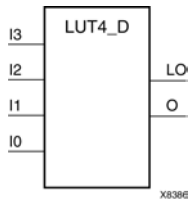
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT4_D

プリミティブ : 4-Bit Look-Up Table with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは 4 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ機能を持つ O および LO という 2 つの出力があります。

出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は同じ CLB スライス内の別の出力、または高速バッファに接続します。LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力				出力	
I3	I2	I1	I0	O	LO
0	0	0	0	INIT[0]	INIT[0]
0	0	0	1	INIT[1]	INIT[1]
0	0	1	0	INIT[2]	INIT[2]
0	0	1	1	INIT[3]	INIT[3]
0	1	0	0	INIT[4]	INIT[4]
0	1	0	1	INIT[5]	INIT[5]
0	1	1	0	INIT[6]	INIT[6]
0	1	1	1	INIT[7]	INIT[7]
1	0	0	0	INIT[8]	INIT[8]
1	0	0	1	INIT[9]	INIT[9]
1	0	1	0	INIT[10]	INIT[10]
1	0	1	1	INIT[11]	INIT[11]
1	1	0	0	INIT[12]	INIT[12]
1	1	0	1	INIT[13]	INIT[13]
1	1	1	0	INIT[14]	INIT[14]
1	1	1	1	INIT[15]	INIT[15]
INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値					

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

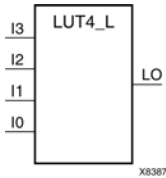
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

LUT4_L

プリミティブ : 4-Bit Look-Up Table with Local Output



概要

このデザイン エLEMENT は、4 ビットのルックアップ テーブル (LUT) で、同じ CLB スライス内にある別の出力および高速バッファへの接続に使用するローカル出力 (LO) があります。このELEMENTはバッファまたはインバータの機能を果たします。

LUT のファンクションを設定するため、INIT 属性を使用して、各入力値に対する出力値を 16 進数で指定する必要があります。

FPGA LUT プリミティブでは、INIT パラメータで論理値が設定されます。デフォルトは 0 で、入力値にかかわらず出力を 0 に駆動します (グラウンドとして機能)。ただし多くの場合、LUT プリミティブのロジック ファンクションを指定するために、新しい INIT の値を決定する必要があります。LUT の値を指定する方法には、次の 2 つがあります。

論理表を使用する方法 : LUT の INIT 値を決定する一般的な方法。バイナリの論理表にすべての入力をリストして出力のロジック値を指定し、これらの出力値から、初期値を作成します。

論理式を使用する方法 : リストされた真理値表の値に対応する LUT の各入力にパラメータを定義し、パラメータを元にロジックの論理式を生成します。概念を理解してしまえばこの方法の方が簡単で、前出の方法のようにパラメータの指定にコードを使用する必要がありません。

論理表

入力				出力
I3	I2	I1	I0	LO
0	0	0	0	INIT[0]
0	0	0	1	INIT[1]
0	0	1	0	INIT[2]
0	0	1	1	INIT[3]
0	1	0	0	INIT[4]
0	1	0	1	INIT[5]
0	1	1	0	INIT[6]
0	1	1	1	INIT[7]
1	0	0	0	INIT[8]
1	0	0	1	INIT[9]
1	0	1	0	INIT[10]
1	0	1	1	INIT[11]
1	1	0	0	INIT[12]
1	1	0	1	INIT[13]
1	1	1	0	INIT[14]
1	1	1	1	INIT[15]

INIT = INIT 属性で指定された 16 進数値を 2 進数で表した値

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

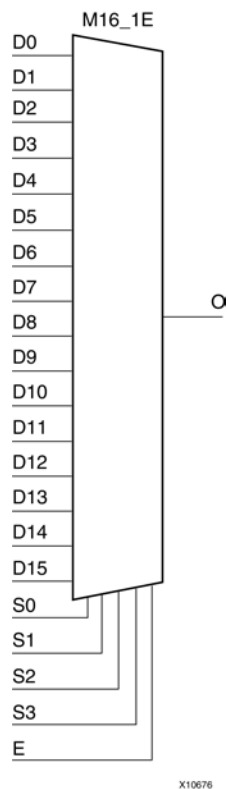
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M16_1E

マクロ : 16-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 16:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S3 ~ S0) の値に応じて、16 個の入力 (D15 ~ D0) のうち 1 つのデータビットが選択されます。出力 (O) には、次の論理表に示すように、選択された入力の値が出力されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力						出力
E	S3	S2	S1	S0	D15 ~ D0	O
0	X	X	X	X	X	0
1	0	0	0	0	D0	D0
1	0	0	0	1	D1	D1
1	0	0	1	0	D2	D2
1	0	0	1	1	D3	D3
.
.
.
1	1	1	0	0	D12	D12
1	1	1	0	1	D13	D13
1	1	1	1	0	D14	D14
1	1	1	1	1	D15	D15

デザインの入力方法

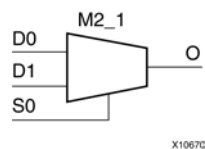
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M2_1

マクロ : 2-to-1 Multiplexer



概要

このデザイン エLEMENTは、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータビットを選択します。出力 (O) には、選択された入力の値が出力されます。S0 が Low の場合は D0 が選択され、High の場合は D1 が選択されます。

論理表

入力			出力
S0	D1	D0	O
1	D1	X	D1
0	X	D0	D0

デザインの入力方法

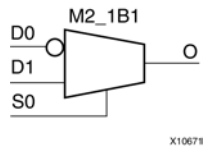
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M2_1B1

マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 Inverted



概要

このデザイン エLEMENTは、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータビットを選択します。S0 が Low の場合は O に D0 の反転値が出力され、S0 が High の場合は D1 の値が出力されます。

論理表

入力			出力
S0	D1	D0	O
1	1	X	1
1	0	X	0
0	X	1	0
0	X	0	1

デザインの入力方法

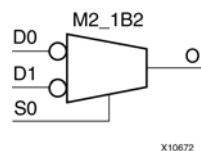
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M2_1B2

マクロ : 2-to-1 Multiplexer with D0 and D1 Inverted



概要

このデザイン エレメントは、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータビットを選択します。S0 が Low の場合は O に D0 の反転値が出力され、S0 が High の場合は D1 の反転値が出力されます。

論理表

入力			出力
S0	D1	D0	O
1	1	X	0
1	0	X	1
0	X	1	0
0	X	0	1

デザインの入力方法

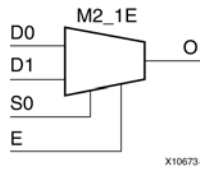
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M2_1E

マクロ : 2-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 2:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S0) の値に応じて、2 つの入力 (D1 または D0) のうち 1 つのデータ ビットが選択されます。S0 が Low の場合は D0 が選択され、High の場合は D1 が選択されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力				出力
E	S0	D1	D0	O
0	X	X	X	0
1	0	X	1	1
1	0	X	0	0
1	1	1	X	1
1	1	0	X	0

デザインの入力方法

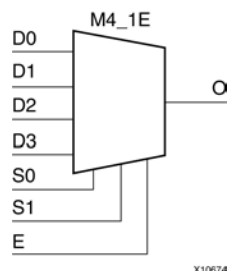
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M4_1E

マクロ : 4-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 4:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S1 ~ S0) の値に応じて、4 つの入力 (D3、D2、D1、D0) のうち 1 つのデータビットが選択されます。出力 (O) には、次の論理表に示すように、選択された入力の値が出力されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力							出力
E	S1	S0	D0	D1	D2	D3	O
0	X	X	X	X	X	X	0
1	0	0	D0	X	X	X	D0
1	0	1	X	D1	X	X	D1
1	1	0	X	X	D2	X	D2
1	1	1	X	X	X	D3	D3

デザインの入力方法

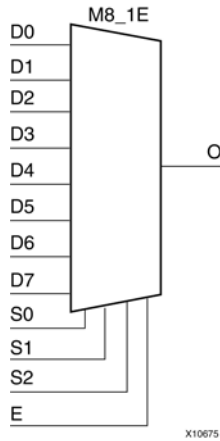
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

M8_1E

マクロ : 8-to-1 Multiplexer with Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、イネーブル付き 8:1 マルチプレクサです。イネーブル入力 (E) が High の場合、セレクト入力 (S2 ~ S0) の値に応じて、8 つの入力 (D7 ~ D0) のうち 1 つのデータビットが選択されます。出力 (O) には、次の論理表に示すように、選択された入力の値が出力されます。E が Low の場合、出力は Low になります。

論理表

入力					出力
E	S2	S1	S0	D7 - D0	O
0	X	X	X	X	0
1	0	0	0	D0	D0
1	0	0	1	D1	D1
1	0	1	0	D2	D2
1	0	1	1	D3	D3
1	1	0	0	D4	D4
1	1	0	1	D5	D5
1	1	1	0	D6	D6
1	1	1	1	D7	D7

デザインの入力方法

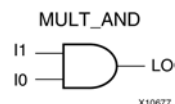
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MULT_AND

プリミティブ : Fast Multiplier AND



概要

このデザイン エLEMENTはスライス内にある AND コンポーネントです。このスライスでは 2 つの入力が 4 入力 LUT と共有され、出力がキャリー ロジックに駆動しています。この追加のロジックはその他の目的にも使用できますが、高速で小型の乗算器の作成に特に有用です。I1 および I0 入力は、対応する LUT の I1 および I0 入力に接続する必要があります。LO 出力は、対応する MUXCY、MUXCY_D、または MUXCY_L の DI 入力に接続する必要があります。

論理表

入力		出力
I1	I0	LO
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

デザインの入力方法

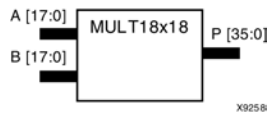
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MULT18X18

プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier



概要

MULT18X18 は、組み合わせ符号付き 18 X 18 ビット乗算器です。18 ビット入力 A の値に 18 ビット入力 B の値を掛け合わせた積が、出力 P に 36 ビットで出力されます。

論理表

入力		出力
A	B	P
A	B	A X B
A、B、および P は 2 の補数です。		

デザインの入力方法

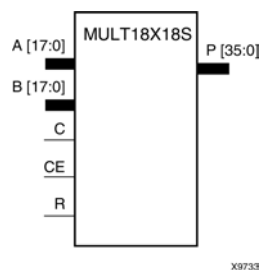
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MULT18X18S

プリミティブ : 18 x 18 Signed Multiplier -- Registered Version



概要

MULT18X18S は、符号付き 18 X 18 乗算器 (MULT18X18) にレジスタを追加したもので、出力 (P)、データ入力 (A、B、C)、クロック イネーブル入力 (CE)、および同期リセット入力 (R) があります。レジスタは、GSR パルス後 0 に初期化されます。

18 ビット入力 A の値に 18 ビット入力 B の値を掛け合わせた積が、出力 P に 36 ビットで出力されます。

論理表

入力					出力
C	CE	Am	Bn	R	P
↑	X	X	X	1	0
↑	1	Am	Bn	0	A X B
X	0	X	X	0	変化なし

A、B、および P は 2 の補数です。

デザインの入力方法

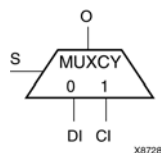
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXCY

プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with General Output



概要

スライスの直接入力 (DI) は、MUXCY の DI 入力に接続します。LC のキャリー入力 (CI) は、MUXCY の CI 入力に接続します。セレクト入力 (S) は、ルックアップ テーブル (LUT) の出力で駆動し、MUX ファンクションとしてコンフィギュレーションします。キャリー出力 (O) には選択された入力の値が出力され、各 LC のキャリー出力ファンクションをインプリメントします。S が Low の場合は DI が選択され、High の場合は CI が選択されます。

このほか、ローカル出力を持つ MUXCY_D および MUXCY_L があり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

論理表

入力			出力
S	DI	CI	O
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

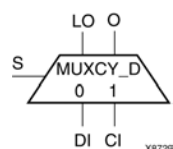
このエレメントは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXCY_D

プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、1 ビットの高速キャリー伝搬ファンクションをインプリメントするために使用します。このようなファンクションは、1 つのロジック セル (LC) に 1 つずつインプリメントできるので、1 つの CLB に合計 4 ビットをインプリメントできます。LC の直接入力 (DI) は MUXCY_D の DI 入力に接続し、LC のキャリー入力 (CI) は MUXCY_D の CI 入力に接続します。セレクト入力 (S) は、ルックアップ テーブル (LUT) の出力で駆動し、XOR ファンクションとしてコンフィギュレーションします。キャリー出力 (O と LO) には選択された入力の値が出力され、各 LC のキャリー出力ファンクションをインプリメントします。S が Low の場合は DI が選択され、High の場合は CI が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。「MUXCY」および「MUXCY_L」も参照してください。

論理表

入力			出力	
S	DI	CI	O	LO
0	1	X	1	1
0	0	X	0	0
1	X	1	1	1
1	X	0	0	0

デザインの入力方法

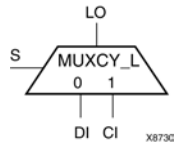
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXCY_L

プリミティブ : 2-to-1 Multiplexer for Carry Logic with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、1 ビットの高速キャリー伝搬ファンクションをインプリメントするために使用します。このようなファンクションは、1 つのロジック セル (LC) に 1 つずつインプリメントできるので、1 つの CLB に合計 4 ビットをインプリメントできます。LC の直接入力 (DI) は MUXCY_L の DI 入力に接続し、LC のキャリー入力 (CI) は MUXCY_L の CI 入力に接続します。セレクト入力 (S) は、ルックアップ テーブル (LUT) の出力で駆動し、XOR ファンクションとしてコンフィギュレーションします。キャリー出力 (LO) には選択された入力の値が出力され、各 LC のキャリー出力ファンクションをインプリメントします。S が Low の場合は DI が選択され、High の場合は CI が選択されます。

「MUXCY」および「MUXCY_D」も参照してください。

論理表

入力			出力
S	DI	CI	LO
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

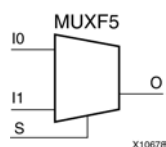
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF5

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、ルックアップ テーブルと組み合わせて、5 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 4:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB スライスを 1 つ使用してインプリメントします。I0 および I1 入力には、2 つのルックアップ テーブルのローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

このほか、ローカル出力を持つ MUXF5_D および MUXF5_L があり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	O
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

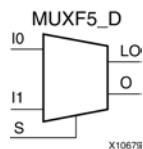
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF5_D

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、ルックアップ テーブルと組み合わせて、5 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 4:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB スライス を 1 つ使用してインプリメントします。I0 および I1 入力には、2 つのルックアップ テーブルのローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。「MUXF5」および「MUXF5_L」も参照してください。

論理表

入力			出力	
S	I0	I1	O	LO
0	1	X	1	1
0	0	X	0	0
1	X	1	1	1
1	X	0	0	0

デザインの入力方法

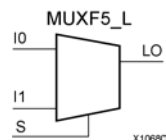
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF5_L

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、ルックアップ テーブルと組み合わせて、5 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 4:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB スライス を 1 つ使用してインプリメントします。I0 および I1 入力には、2 つのルックアップ テーブルのローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

「MUXF5」および「MUXF5_D」も参照してください。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	LO
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

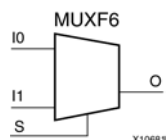
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF6

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応する 4 つのルックアップ テーブルと 2 つの MUXF5 を組み合わせて、6 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 8:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、スライス 2 つにインプリメントします。I0 および I1 入力には、同じ CLB 内にある 2 つの MUXF5 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

このほか、ローカル出力を持つ MUXF6_D および MUXF6_L があり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	O
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

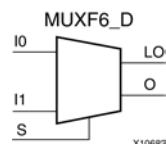
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF6_D

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応する 4 つのルックアップ テーブルと 2 つの MUXF5 を組み合わせて、6 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 8:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、スライス 2 つにインプリメントします。I0 および I1 入力には、同じ CLB 内にある 2 つの MUXF5 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力	
S	I0	I1	O	LO
0	1	X	1	1
0	0	X	0	0
1	X	1	1	1
1	X	0	0	0

デザインの入力方法

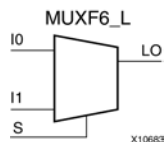
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF6_L

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応する 4 つのルックアップ テーブルと 2 つの MUXF5 を組み合わせて、6 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 8:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、同じ CLB 内にある 2 つの MUXF5 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	LO
0	1	X	1
0	0	X	0
1	X	1	1
1	X	0	0

デザインの入力方法

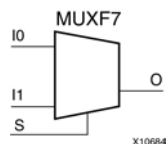
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF7

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと組み合わせて、7 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 8:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF6 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

このほか、ローカル出力を持つ MUXF7_D および MUXF7_L があり、異なるタイミング モデルでレイアウト前のタイミング予測をより正確に行う必要がある場合に使用できます。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	O
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

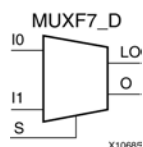
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF7_D

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと組み合わせて、7 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 16:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF6 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力	
S	I0	I1	O	LO
0	I0	X	I0	I0
1	X	I1	I1	I1
X	0	0	0	0
X	1	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF6 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

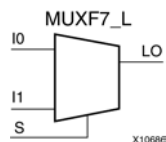
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF7_L

プリミティブ : 2-to-1 look-up table Multiplexer with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと組み合わせて、7 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 16:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションをインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF6 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	LO
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力
I1	入力	1	入力
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

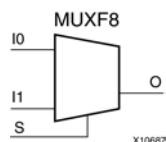
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF8

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブルと MUXF5、MUXF6、および MUXF7 を組み合わせて、8 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 16:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB 2 個 (スライス 8 個) にインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF7 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	O
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

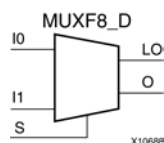
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF8_D

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブル 4 つと MUXF8 を 2 つ組み合わせて、8 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 32:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB 2 個 (スライス 8 個) にインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF7 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

出力 O と LO は、機能的に同じです。出力 O は一般的なインターコネクトです。LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力	
S	I0	I1	O	LO
0	I0	X	I0	I0
1	X	I1	I1	I1
X	0	0	0	0
X	1	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	汎用配線への MUX の出力
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

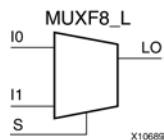
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

MUXF8_L

プリミティブ : 2-to-1 Look-Up Table Multiplexer with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、対応するルックアップ テーブル 4 つと MUXF8 を 2 つ組み合わせて、8 ファンクションのルックアップ テーブルまたは 32:1 マルチプレクサを作成するためのマルチプレクサ ファンクションを、CLB 2 個 (スライス 8 個) にインプリメントします。I0 および I1 入力には、MUXF7 のローカル出力 (LO) を接続します。セレクト入力 (S) は、どの内部ネットでも駆動できます。S が Low の場合は I0 が選択され、High の場合は I1 が選択されます。

LO 出力は、同じ CLB スライス内にある別の入力との接続に使用します。

論理表

入力			出力
S	I0	I1	LO
0	I0	X	I0
1	X	I1	I1
X	0	0	0
X	1	1	1

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
LO	出力	1	ローカル配線への MUX の出力
I0	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
I1	入力	1	入力 (MUXF7 LO 出力に接続)
S	入力	1	MUX への入力セレクト

デザインの入力方法

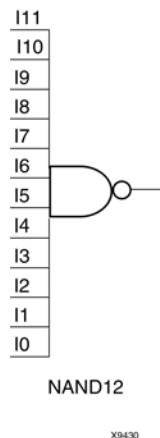
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND12

マクロ : 12- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

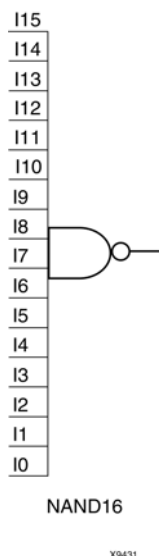
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND16

マクロ : 16- Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

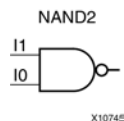
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND2

プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

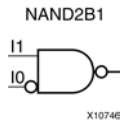
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND2B1

プリミティブ : 2-Input NAND Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

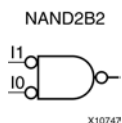
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND2B2

プリミティブ : 2-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

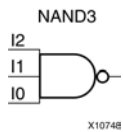
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND3

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

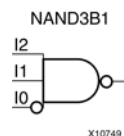
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND3B1

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

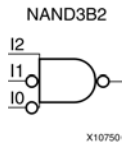
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND3B2

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

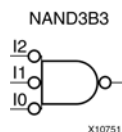
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND3B3

プリミティブ : 3-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

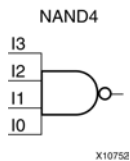
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND4

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

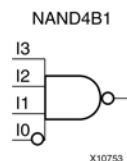
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND4B1

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

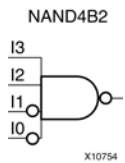
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND4B2

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

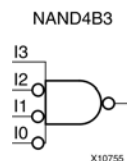
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND4B3

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

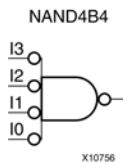
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND4B4

プリミティブ : 4-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

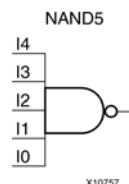
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND5

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

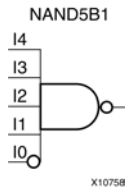
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND5B1

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

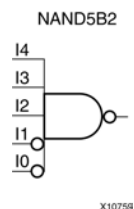
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND5B2

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

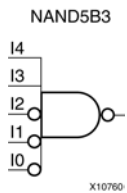
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND5B3

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

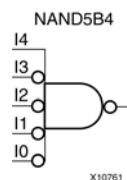
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND5B4

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

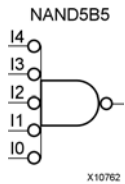
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND5B5

プリミティブ : 5-Input NAND Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

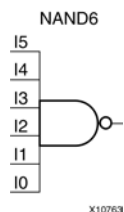
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND6

マクロ : 6-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

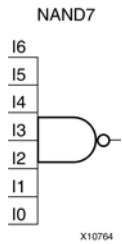
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND7

マクロ : 7-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

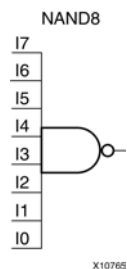
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND8

マクロ : 8-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

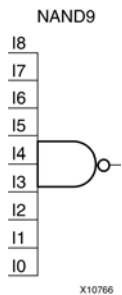
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NAND9

マクロ : 9-Input NAND Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NAND ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NAND ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

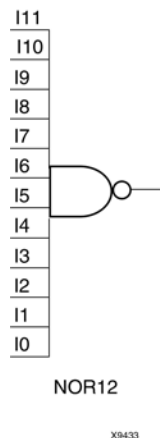
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR12

マクロ : 12-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

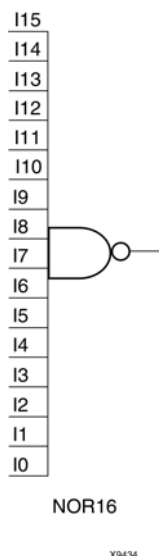
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR16

マクロ : 16-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

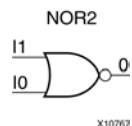
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR2

プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

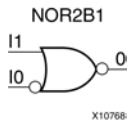
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR2B1

プリミティブ : 2-Input NOR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

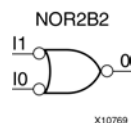
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR2B2

プリミティブ : 2-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

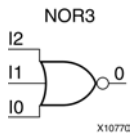
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR3

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

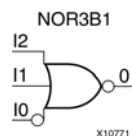
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR3B1

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

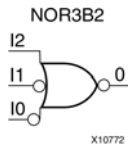
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR3B2

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

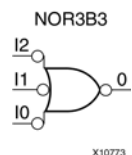
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR3B3

プリミティブ : 3-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

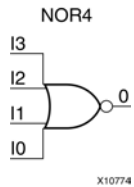
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR4

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

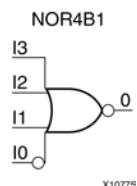
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR4B1

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

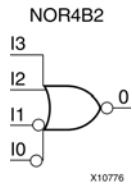
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR4B2

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

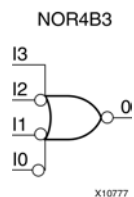
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR4B3

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

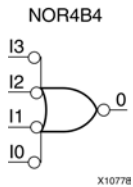
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR4B4

プリミティブ : 4-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

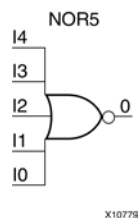
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR5

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

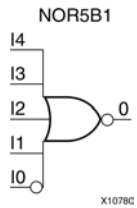
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR5B1

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

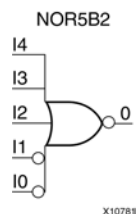
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR5B2

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

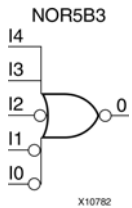
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR5B3

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

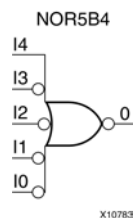
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR5B4

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

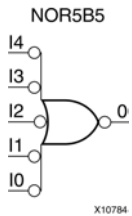
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR5B5

プリミティブ : 5-Input NOR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

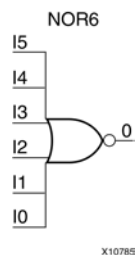
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR6

マクロ : 6-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

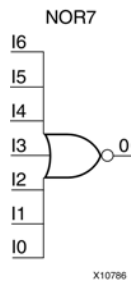
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR7

マクロ : 7-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

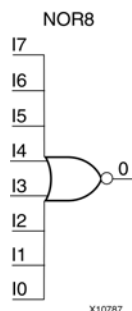
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR8

マクロ : 8-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

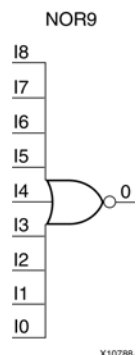
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

NOR9

マクロ : 9-Input NOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの NOR ゲートには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の NOR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で 1 つの CLB リソースが使用されるので、入力が必要数だけあるゲートを使用してください。

デザインの入力方法

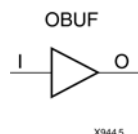
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUF

プリミティブ : Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは単純な出力バッファで、出力信号を、トライステートでない FPGA デバイス ピンに駆動するために使用します。デザインのすべての出力ポートに OBUF、OBUFT、OBUFDS、OBUFTDS のいずれかを接続する必要があります。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	最上位出力ポートに直接接続される OBUF の出力
I	入力	1	OBUF の入力。出力ポートを駆動するロジックに接続

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUF16

マクロ : 16-Bit Output Buffer

OBUF16



X0851

概要

このデザイン エLEMENTは、複数の出力バッファです。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

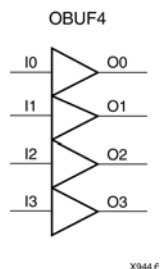
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUF4

マクロ : 4-Bit Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、複数の出力バッファです。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

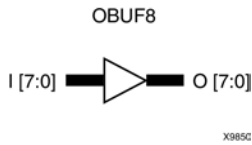
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUF8

マクロ : 8-Bit Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、複数の出力バッファです。

このELEMENTは内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。I/O ブロック (IOB) 内にあります。出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

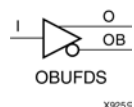
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUFDS

プリミティブ : Differential Signaling Output Buffer



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧の差動信号 (1.8V CMOS) をサポートする単一の出力バッファです。内部回路を外部から分離し、チップから出力する信号の駆動電流を供給します。出力には 2 つの異なるポート (O および OB) があり、これらのポートをそれぞれ「マスタ」、「スレーブ」と呼びます。マスタとスレーブは MYNET と MYNETB のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。

論理表

入力	出力	
I	O	OB
0	0	1
1	1	0

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	Diff_p 出力 (最上位ポートに直接接続)
OB	出力	1	Diff_n 出力 (最上位ポートに直接接続)
I	入力	1	バッファの入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

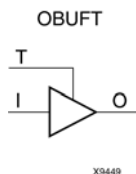
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUFT

プリミティブ : 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ単一のトリステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイインピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トリステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	バッファ出力 (最上位ポートに直接接続)
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トリステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

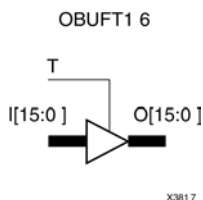
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUFT16

マクロ : 16-Bit 3-State Output Buffer with Active Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ複数のトライステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイ インピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トライステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

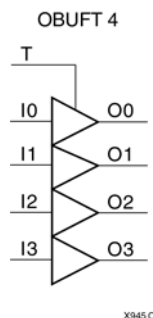
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUFT4

マクロ : 4-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ複数のトライステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイ インピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トライステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

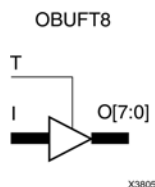
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUFT8

マクロ : 8-Bit 3-State Output Buffers with Active-Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、入力 (I)、出力 (O)、アクティブ Low 出力イネーブル (T) を持つ複数のトライステート出力バッファです。このELEMENTでは、LVTTTL 規格が使用され、DRIVE 制約と SLOW または FAST 制約を使用して駆動電流とスルー レートを選択できます。デフォルトでは、DRIVE=12mA、スルー レートは SLOW に設定されています。

T が Low の場合、バッファに入力された値が対応する出力に送られます。T が High の場合は、出力がハイ インピーダンス (オフまたは Z ステート) になります。OBUFT は、双方向 I/O を作成するなど、トライステート機能にシングルエンド出力を使用する必要がある場合に使用します。

論理表

入力		出力
T	I	O
1	X	Z
0	I	f

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

使用可能な属性

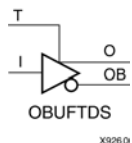
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
DRIVE	整数	2、4、6、8、12、16、24	12	出力の駆動電流を指定します。許容範囲で最も低い値を使用してください。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て
SLEW	文字列	SLOW、FAST	SLOW	出力ドライバのスルー レートを指定。この属性の最適な設定方法は、データシートを参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OBUFTDS

プリミティブ : 3-State Output Buffer with Differential Signaling, Active-Low Output Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、低電圧差動信号を使用する出力バッファです。OBUFTDS では、デザイン レベルのインターフェイス信号は、一方が「マスタ」で、もう一方が「スレーブ」となる 2 つの異なるポート (O、OB) で表されます。マスタとスレーブは MYNET_P と MYNET_N のように、同じ論理信号の反対の状態を示します。

論理表

入力		出力	
I	T	O	OB
X	1	Z	Z
0	0	0	1
1	0	1	0

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	Diff_p 出力 (最上位ポートに直接接続)
OB	出力	1	Diff_n 出力 (最上位ポートに直接接続)
I	入力	1	バッファの入力
T	入力	1	トライステート イネーブル入力

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

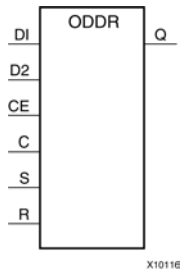
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
CAPACITANCE	文字列	LOW、NORMAL、DONT_CARE	DONT_CARE	I/O を低いまたは通常の固有キャパシタンスと共に使用するかどうかを指定。
IOSTANDARD	文字列	データシートを参照	DEFAULT	I/O 規格をELEMENTに割り当て

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ODDR

プリミティブ : Dedicated Dual Data Rate (DDR) Output Register



概要

このデザイン エLEMENTは、FPGA デバイスからデュアル データ レート (DDR) 信号を送信するための専用出力レジスタです。ODDR プリミティブでは、FPGA からのデータを送信するのに反対のクロック エッジだけではなく、同じクロック エッジを使用することも可能です。これにより、タイミングが複雑にならず、追加の CLB リソースも必要ありません。また ODDR は SelectIO™ 機能と共に使用されます。

ODDR のモード

このELEMENTは 2 つのモードで動作します。これらのモードは、DDR_CLK_EDGE 属性で設定します。

- ・ **OPPOSITE_EDGE モード** : 通常の DDR 方式でデータを送信します。D1 はクロック C の立ち上がりエッジごとにサンプリングされ、D2 は立ち下がりエッジごとにサンプリングされます。Q は各クロック エッジで変化します。
- ・ **SAME_EDGE モード** : データはクロック C の反対のエッジで ODDR 出力から送信されますが、ODDR への 2 入力からクロック信号 C の立ち上がりエッジで動作し、追加されたレジスタがクロック信号 C の立ち下がりエッジで動作します。この機能を使用すると、DDR データは同じクロック エッジで ODDR に取り込まれます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
Q	出力	1	データ出力 (DDR)。IOB パッドに接続されます。
C	入力	1	クロック入力。クロック入力ピンです。
CE	入力	1	クロック イネーブル入力。High になると、ポート C のクロック入力がいネーブルになります。
D1 : D2	入力	1 (それぞれ)	データ入力。DDR データを ODDR モジュールに入力するピンです。
R	入力	1	リセット。SRTYPE の設定によって異なります。
S	入力	1	セット。アクティブ High の非同期セット ピンです。SRTYPE 属性の設定により、同期にもなります。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

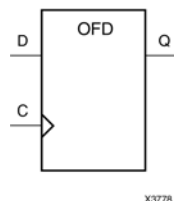
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DDR_CLK_EDGE	文字列	OPPOSITE_EDGE、 SAME_EDGE	OPPOSITE_EDGE	DDR のデータ送信モードを選択します。
INIT	整数	0, 1	1	Q の初期値
SRTYPE	文字列	SYNC、ASYN	SYNC	セット/リセットのタイプを選択

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFD

マクロ : Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは単一出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

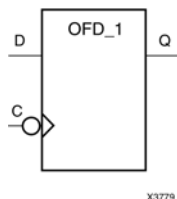
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFD_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↓	D

デザインの入力方法

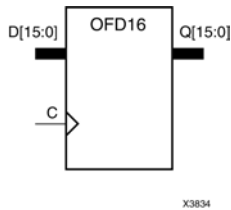
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFD16

マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

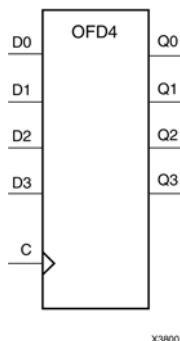
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFD4

マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

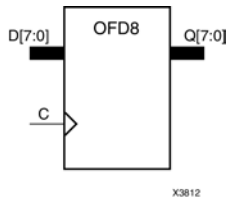
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFD8

マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。

出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

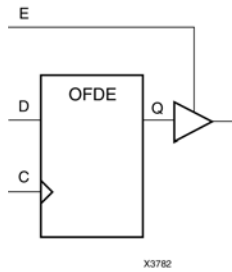
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDE

マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは単一の D フリップフロップで、出力はトライステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High の場合、フリップフロップの出力 (Q) の値は OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

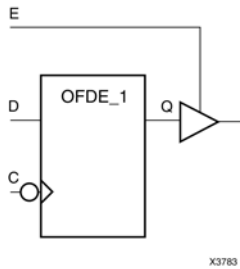
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDE_1

マクロ : D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffer and Inverted Clock



概要

このデザイン エLEMENTとその出力バッファは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファまたは OBUFE の入力に接続されます。OBUFE の出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High の場合、フリップフロップの出力 (Q) の値は OBUFT の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	D	↓	D

デザインの入力方法

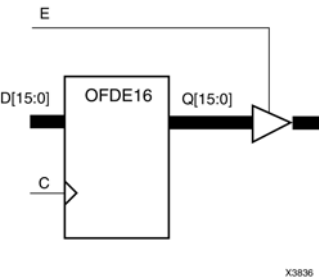
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDE16

マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

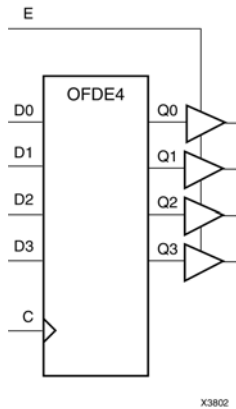
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDE4

マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

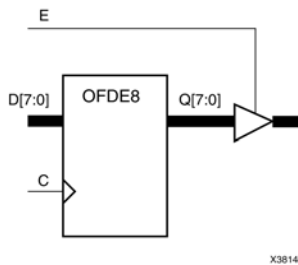
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDE8

マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-High Enable Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFE) の入力に接続されます。OBUFE の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ High のイネーブル入力 (E) が High のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が OBUFE の O に出力されます。E が Low になると、出力はハイ インピーダンス (Z ステートまたはオフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
E	D	C	O
0	X	X	Z
1	Dn	↑	Dn

デザインの入力方法

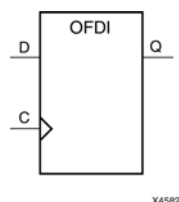
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDI

マクロ : Output D Flip-Flop (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↑	D

デザインの入力方法

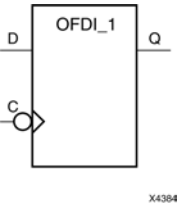
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDI_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) 内に配置されます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力		出力
D	C	Q
D	↓	D

デザインの入力方法

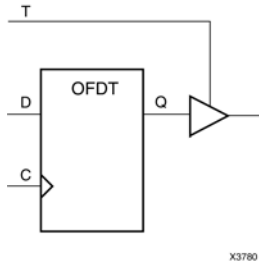
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDT

マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer



概要

このデザイン エレメントは単一の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

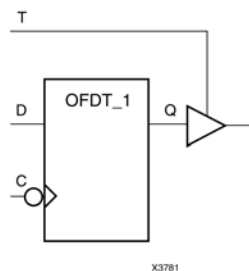
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDT_1

マクロ : D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffer and Inverted Clock



概要

このデザイン エLEMENTとその出力バッファは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が 0 に出力されます。T が High になると、出力はハイインピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↓	D

デザインの入力方法

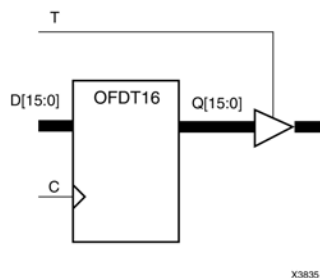
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDT16

マクロ : 16-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

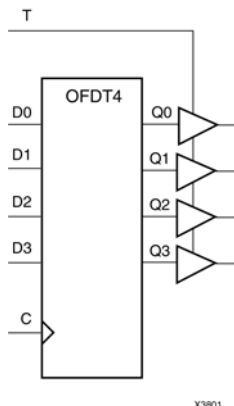
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDT4

マクロ : 4-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトリステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

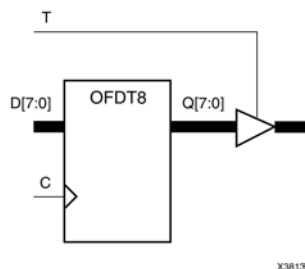
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDT8

マクロ : 8-Bit D Flip-Flop with Active-Low 3-State Output Buffers



概要

このデザイン エLEMENTは複数の D フリップフロップで、出力はトライステート バッファでイネーブル制御されます。

フリップフロップの出力 (Q) は、出力バッファ (OBUFT) の入力に接続されます。OBUFT の出力 (O) は、OPAD または IOPAD に接続されます。入力 (D) の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされます。アクティブ Low のイネーブル入力 (T) が Low のとき、フリップフロップの出力 (Q) の値が O に出力されます。T が High になると、出力はハイ インピーダンス (オフ) になります。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
T	D	C	O
1	X	X	Z
0	D	↑	D

デザインの入力方法

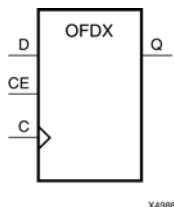
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDX

マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは単一出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

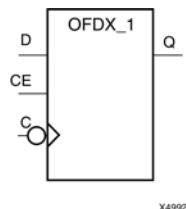
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDX_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

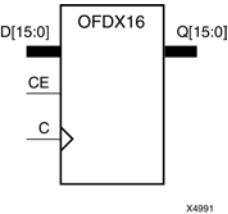
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDX16

マクロ : 16-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

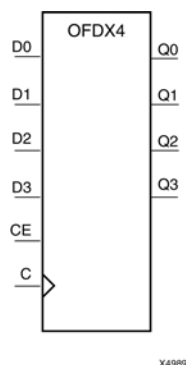
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDX4

マクロ : 4-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

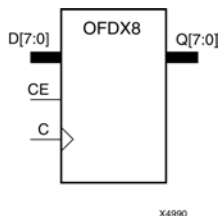
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDX8

マクロ : 8-Bit Output D Flip-Flop with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは複数出力の D フリップフロップです。Q 出力は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わる時にフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、このフリップフロップは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット / リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	Dn	↑	Dn
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

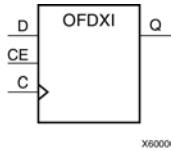
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDXI

マクロ : Output D Flip-Flop with Clock Enable (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エLEMENTは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が Low から High に切り替わるときにフリップフロップにロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力は変化しません。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↑	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

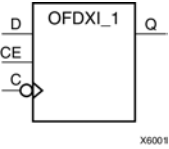
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OFDXI_1

マクロ : Output D Flip-Flop with Inverted Clock and Clock Enable (Asynchronous Preset)



概要

このデザイン エレメントは、I/O ブロック (IOB) に含まれます。D フリップフロップの出力 (Q) は、OPAD または IOPAD に接続されます。D 入力の値は、クロック (C) が High から Low に切り替わるときにフリップフロップ内にロードされ、Q に出力されます。クロック イネーブル (CE) が Low のときには、出力 (Q) は変化しません。

電力を供給すると、フリップフロップは非同期にプリセットされ、出力が High になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力			出力
CE	D	C	Q
1	D	↓	D
0	X	X	変化なし

デザインの入力方法

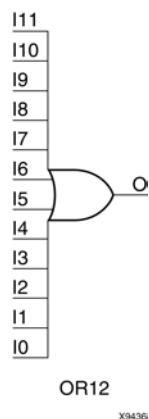
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR12

マクロ : 12-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

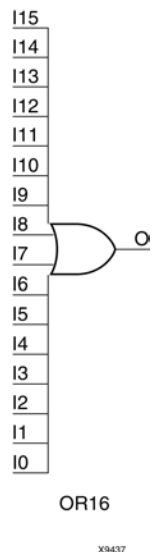
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR16

マクロ : 16-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

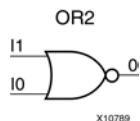
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR2

プリミティブ : 2-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

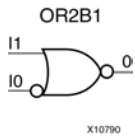
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR2B1

プリミティブ : 2-Input OR Gate with 1 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

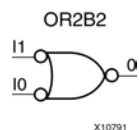
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR2B2

プリミティブ : 2-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

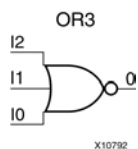
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR3

プリミティブ : 3-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

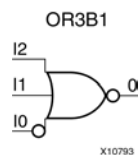
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR3B1

プリミティブ : 3-Input OR Gate with 1 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

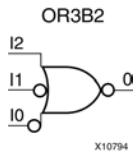
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR3B2

プリミティブ : 3-Input OR Gate with 2 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

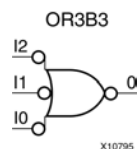
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR3B3

プリミティブ : 3-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

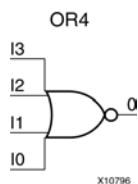
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR4

プリミティブ : 4-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

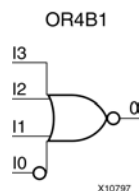
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR4B1

プリミティブ : 4-Input OR Gate with 1 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

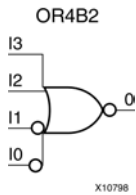
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR4B2

プリミティブ : 4-Input OR Gate with 2 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

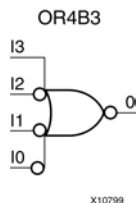
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR4B3

プリミティブ : 4-Input OR Gate with 3 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

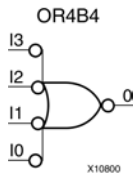
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR4B4

プリミティブ : 4-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

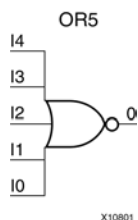
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR5

プリミティブ : 5-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

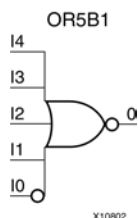
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR5B1

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 1 Inverted and 4 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

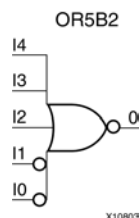
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR5B2

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 2 Inverted and 3 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

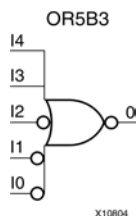
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR5B3

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 3 Inverted and 2 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

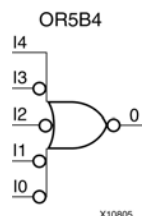
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR5B4

プリミティブ : 5-Input OR Gate with 4 Inverted and 1 Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

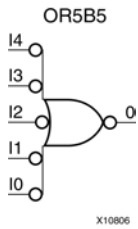
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR5B5

プリミティブ : 5-Input OR Gate with Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

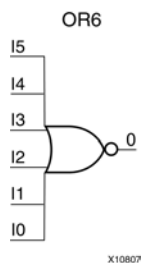
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR6

マクロ : 6-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

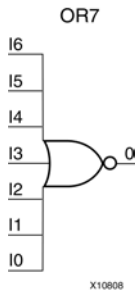
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR7

マクロ : 7-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

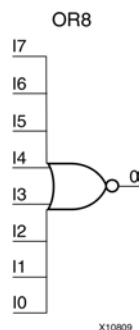
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR8

マクロ : 8-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

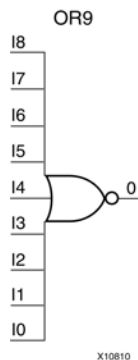
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OR9

マクロ : 9-Input OR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

5 入力までの OR ファンクションには、反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。6 ～ 9 入力、12 入力、および 16 入力の OR ファンクションには、非反転入力のみが使用されています。一部またはすべての入力を反転するには、外部インバータを使用します。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

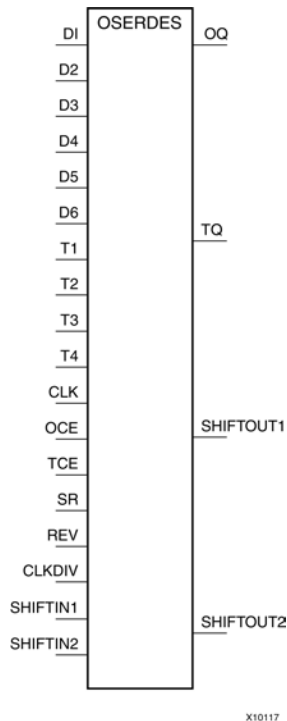
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

OSERDES

プリミティブ : Dedicated IOB Output Serializer



概要

このプリミティブを使用すると、同期インターフェイスを簡単にインプリメントできます。このモジュールを使用すると、FPGA のロジックリソースを節約でき、タイミングが複雑になるのを防ぎます。また、さまざまアプリケーションに対応した複数のクロック入力があり、SelectIO™ 機能と共に使用できます。

ポートの説明

ポート名	タイプ	幅	機能
OQ	出力	1	データパス出力。OSERDES モジュールのデータ出力です。このポートは、データ パラレル/シリアル コンバータの出力と IOB パッドのデータ入力を接続します。また、OSERDES モジュール内のすべてのサブモジュールをバイパスするようにコンフィギュレーションすることも可能です。
SHIFTOUT1、SHIFTOUT2	出力	1 (それぞれ)	データ入力を拡張するためのキャリー出力です。マスタの SHIFTIN1、SHIFTIN2 に接続します。
TQ	出力	1	トライステートパス出力。OSERDES モジュールのトライステート出力です。このポートは、トライステート パラレル/シリアル コンバータの出力と IOB パッドの制御入力を接続します。
CLK	入力	1	高速クロック入力。パラレル/シリアル コンバータを駆動するのに使用するクロック入力です。CLK ポートは、次のいずれかのクロックリソースで駆動します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クロック領域内の 10 個のグローバル クロック ライン ・ 4 個のリージョナル クロック ライン ・ 4 個のクロック I/O (隣接したクロック領域内)

ポート名	タイプ	幅	機能
			・ FPGA (バイパスを介す)
CLKDIV	入力	1	高速分周クロック入力。パラレル/シリアル コンバータを駆動するのに使用するクロック入力です。CLK ポートに接続されたクロックよりも低周波数に分周したクロックを入力する必要があります。CLKDIV のソースには、次のクロック リソースのいずれかを使用できます。 ・ クロック領域内の 10 個のグローバル クロック ライン ・ 4 個のリージョナル クロック ライン
D1 ~ D6	入力	1	パラレル データ入力。OSERDES モジュールにパラレル データが入力されるポート。このポートは FPGA に接続され、2 ~ 6 ビットにコンフィギュレーションできます。データ幅拡張モードでは、10 ビットまで拡張できます。
OCE	入力	1	パラレル/シリアル コンバータ (データ) クロック イネーブル。High の場合、データ パラレル/シリアル コンバータの出力がイネーブルになります。
SR	入力	1	セット/リセット入力。ストレージ エLEMENT の状態を SRVAL 属性で設定した状態にします。SRVAL = 1 の場合は 1、SRVAL = 0 の場合は 0 になります。リセットがセットよりも優先されます。
SHIFTIN1、SHIFTIN2	入力	1 (それぞれ)	データ入力を拡張するためのキャリー入力です。スレーブの SHIFTOUT1、SHIFTOUT2 に接続します。
T1 ~ T4	入力	1 (それぞれ)	パラレル トライステート入力。OSERDES モジュールにパラレル トライステート信号が入力されるポートです。このポートは FPGA に接続され、1 ~ 4 ビットにコンフィギュレーションできます。この機能は、データ幅拡張モードではサポートされません。
TCE	入力	1	パラレル/シリアル コンバータ (トライステート) クロック イネーブル。High の場合、トライステート信号パラレル/シリアル コンバータの出力がイネーブルになります。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

OSERDES モジュールのデータ パラレル/シリアル コンバータは、2 ~ 6 ビットのパラレル データを取り込み、シリアル データに変換します。2 つの OSERDES モジュールをカスケード接続すると、データ入力幅を 7、8、または 10 ビットに拡張できます。拡張する場合は、1 つの OSERDES をマスタ モードにし、もう 1 つの OSERDES をスレーブ モードに設定して、スレーブの SHIFTOUT ポートをマスタの SHIFTIN ポートに接続します。スレーブでは、入力として D3 ~ D6 ポートのみを使用します。パラレル/シリアル コンバータは、SDR または DDR モードの両方で使用できます。

D1 ポートのデータ入力が、最初の出力ビットになります。このモジュールは、CLK および CLKDIV クロックで制御されます。次の表に、SDR および DDR の異なるモードにおける CLK と CLKDIV の関係を示します。

SDR のデータ幅	DDR のデータ幅	CLK	CLKDIV
2	4	2X	X
3	6	3X	X
4	8	4X	X
5	10	5X	X
6	-	6X	X
7	-	7X	X
8	-	8X	X

このブロックの出力は、FPGA の IOB パッドのデータ入力に接続されます。この IOB パッドには、SelectIO を使用して信号規格を設定できます。

パラレル/シリアル コンバータ (トライステート)

OSERDES モジュールのトライステート パラレル/シリアル コンバータは、4 ビットのパラレル トライステート信号を取り込み、シリアル トライステート信号に変換します。データ パラレル/シリアル コンバータとは異なり、トライステート パラレル/シリアル コンバータは信号幅を 5 ビット以上には拡張できません。このモジュールは、主に CLK および CLKDIV クロックで制御されます。このモードを使用するには、DATA_RATE_TQ および TRISTATE_WIDTH 属性を設定する必要があります。場合によっては、DATA_RATE_OQ および DATA_WIDTH を設定することも必要です。次の表に、使用する機能と属性の値を示します。

機能	DATA_RATE_TQ	TRISTATE_WIDTH
4 ビット DDR	DDR	4
1 ビット SDR	SDR	1
バッファ	BUF	1

このブロックの出力は、FPGA の IOB パッドのトライステート入力に接続されます。この IOB パッドには、SelectIO を使用して信号規格を設定できます。

データ幅の拡張

このエレメントでは、7 ビット幅以上のパラレル データを送信できます。ただし、トライステート出力は信号幅を拡張できません。7 ビット幅以上のデータを送信するには、エレメントを 2 つインスタンス化する必要があります。この 2 つは、隣接したマスタ/スレーブ ペアである必要があります。OSERDES_MODE 属性を MASTER または SLAVE に設定し、OSERDES のペアを区別する必要があります。また、マスタの SHIFTIN ポートをスレーブの SHIFTOUT ポートに接続します。SDR および DDR モードでは、データ幅 7、8、10 がサポートされています。次の表に、SDR および DDR モードで使用可能なデータ幅を示します。

モード	幅
SDR	2、3、4、5、6、7、8
DDR	4、6、8、10

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DATA_RATE_OQ	文字列	SDR、DDR	DDR	データを CLK の各エッジで変化させるか、各立ち上がりエッジで変化させるかを指定
DATA_RATE_TQ	文字列	BUF、SDR、DDR	DDR	トライステートを CLK の各エッジで変化させるか、各立ち上がりエッジで変化させるか、バッファのコンフィギュレーションで変化させるかを指定
DATA_WIDTH	整数	2、3、4、5、6、7、8、10	4	DATA_RATE_OQ = DDR の場合は 4、6、8、10、DATA_RATE_OQ = SDR の場合は 2、3、4、5、6、7、8
INIT_OQ	2 進数	0、1	0	OQ 出力の初期値を指定
INIT_TQ	2 進数	0、1	0	TQ 出力の初期値を指定
SERDES_MODE	文字列	MASTER、SLAVE	MASTER	データ幅を拡張する場合に OSERDES モジュールがマスタかスレーブかを指定
SRVAL_OQ	2 進数	0、1	0	リセットをアサートした場合の OQ 出力の値を指定

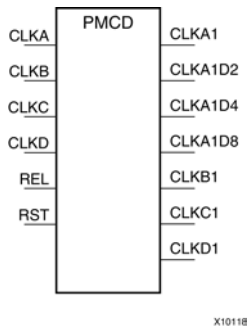
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
SRVAL_TQ	2 進数	0、1	0	リセットをアサートした場合の TQ 出力の値を指定
TRISTATE_WIDTH	整数	1、2、4	4	DATA_RATE_TQ = DDR の場合は値は 2 または 4 です。DATA_RATE_TQ = SDR または BUF の場合は値は 1 です。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

PMCD

プリミティブ : Phase-Matched Clock Divider



概要

このデザイン エLEMENTは、Virtex®-4 アーキテクチャに含まれているクロック リソースの 1 つで、次のようなクロック管理機能を備えています。

位相一致分周クロック

入力クロック CLKA の周波数を分周し、位相が一致したクロックを 4 つまで生成します。出力クロックの周波数は、入力クロック周波数を 1 (CLKA1)、2 (CLKA1D2)、4 (CLKA1D4)、および 8 (CLKA1D8) で分周した値です。出力クロック CLKA1、CLKA1D2、CLKA1D4、および CLKA1D8 は、立ち上がりエッジが揃っています。

位相一致クロック

入力クロック CLKA と PMCD のその他の入力クロック間のエッジ アライメント、位相関係、スキューが保持されます。CLKB、CLKC、および CLKD クロック入力に対しては、対応する CLKB1、CLKC1、および CLKD1 遅延出力があります。CLKA、CLKB、CLKC、CLKD には同じ遅延が挿入されるため、CLKA1、CLKB1、CLKC1、CLKD1 遅延出力では、エッジ アライメント、位相関係、および入力スキューが保持されます。

このデザイン エLEMENTは、グローバル バッファや DCM などその他のクロック リソースと共に使用できます。これらのクロック リソースを組み合わせることで、デザインの複雑なクロック ネットワークを柔軟に管理できます。

ポートの説明

ポート名	方向	機能
CLKA	入力	PMCD へのクロック入力。CLKA の周波数は、1、2、4、8 で分周できます。
CLKB、CLKC、CLKD	入力	PMCD へのクロック入力。これらのクロックは分周されませんが、クロック間の位相アライメントおよび位相関係を保持するために遅延が追加されます。
RST	入力	PMCD へのリセット入力。RST 信号がアサートされると、出力がすべて非同期で Low になります。RST 信号がディアサートされると、入力クロックに同期してすべての出力がトグルを開始します。
REL	入力	PMCD へのリリース入力。REL 信号がアサートされると、CLKA に同期して分周出力クロックがトグルを開始します。
CLKA1	出力	CLKA 入力と同じ周波数の出力で、遅延が追加されています。
CLKA1D2	出力	CLKA の周波数を 2 で分周した出力で、立ち上がりエッジは CLKA1 に揃えられています。
CLKA1D4	出力	CLKA の周波数を 4 で分周した出力で、立ち上がりエッジは CLKA1 に揃えられています。

ポート名	方向	機能
CLKA1D8	出力	CLKA の周波数を 8 で分周した出力で、立ち上がりエッジは CLKA1 に揃えられています。
CLKB1、CLKC1、CLKD1	出力	CLKB 入力と同じ周波数の出力で、遅延が追加されています。CLKB1 と CLKA1 間のスキューは、CLKB と CLKA 入力間のスキューと同じです。同様に、CLKC1 は CLKC に、CLKD1 は CLKD に遅延を追加したものです。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

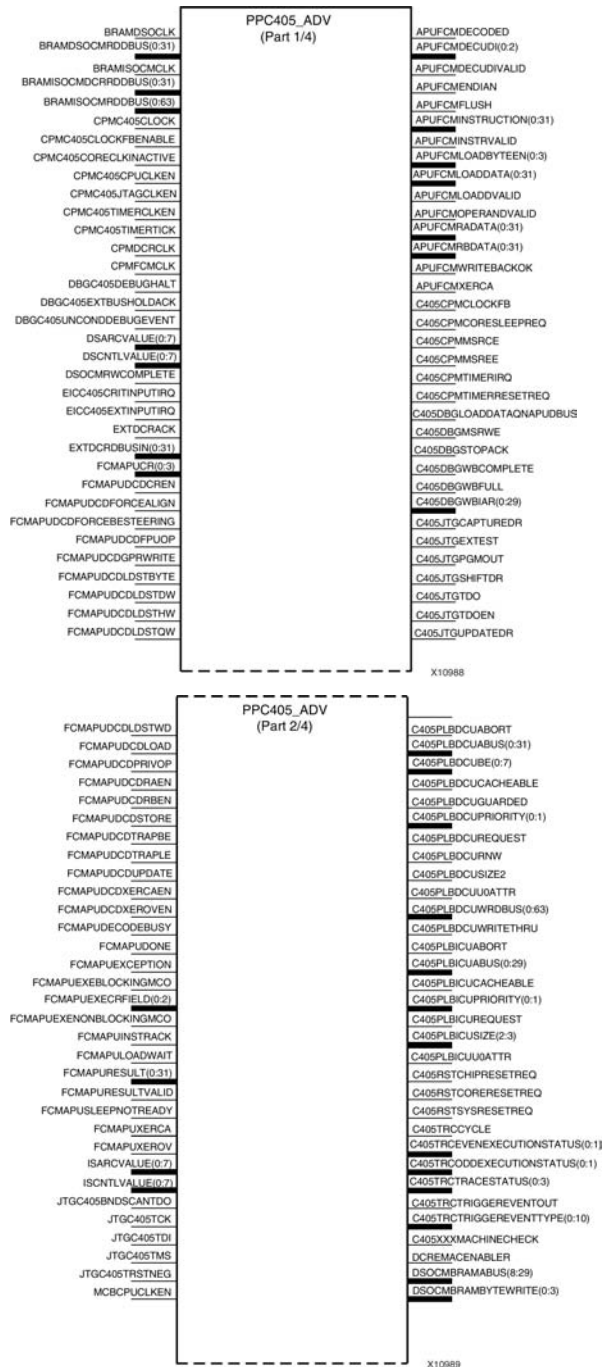
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
EN_REL	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	REL 信号のアサート時に、CLKA1D2、CLKA1D4、および CLKA1D8 出力のトグルを開始。 メモ：REL は CLKA 入力に同期。
RST_DEASSERT_CLK	文字列	CLKA、CLKB、CLKC、CLKD	CLKA	この属性で選択した PMCD 入力クロックに同期して、RST 信号のディアサートを認識

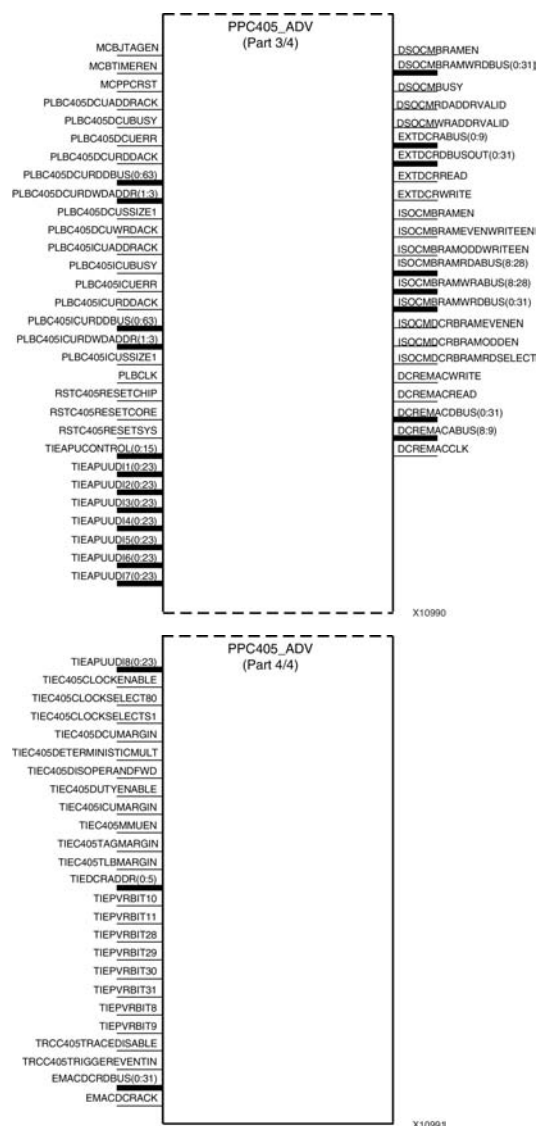
詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート：DC 特性およびスイッチ特性](#)

PPC405_ADV

プリミティブ : Primitive for the Power PC Core





概要

このデザイン エLEMENTは、PowerPC® アーキテクチャを基に開発された PowerPC エンベデッド環境アーキテクチャの 32 ビット インプリメンテーションで、Virtex®-4 用の PowerPC 405F6 プロセッサ コアです。このプロセッサ コアには、オンチップ メモリ ロジック (OCM)、APU コントローラ (Virtex-4 のみ)、およびバスケット ロジックおよびインターフェイスが含まれます。

PowerPC アーキテクチャでは、PowerPC ファミリのマイクロプロセッサのインプリメンテーション間で互換性を確実にするため、ソフトウェア モデルが提供されています。また、アプリケーション プログラム レベルでプロセッサのインプリメンテーションの互換性を保証するパラメータが定義されており、特定の要件を満たす PowerPC インプリメンテーションを柔軟に開発できます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

PULLDOWN

プリミティブ : Resistor to GND for Input Pads, Open-Drain, and 3-State Outputs

PULLDOWN



概要

この抵抗エレメントは、入力、出力、双方向のパッドに接続し、フロートする可能性のあるノードのロジックレベルを Low にします。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	プルダウン出力 (最上位ポートに直接接続)

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

このエレメントは、最上位の回路図ファイルで次のネットに接続できます。

- ・ 入力 I/O マーカーに接続されたネット
- ・ 出力 I/O マーカーおよび OBUFT のようなトライステートにできる I/O エレメントの両方に接続されたネット

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

PULLUP

プリミティブ : Resistor to VCC for Input PADS, Open-Drain, and 3-State Outputs



概要

このデザイン エLEMENTは、1 つの入力、トリステート出力、または双方向ポートが内部または外部ソースで駆動されないときに、値、weak High で駆動できます。このELEMENTは、すべてのドライバが使用されていないときにオープンドレイン ELEMENTおよびマクロのロジック レベルを 1 (High) にします。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
O	出力	1	プルアップ出力 (最上位ポートに直接接続)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このELEMENTは、最上位の回路図ファイルで次のネットに接続できます。

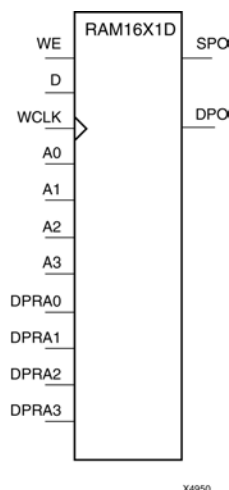
- ・ 入力 I/O マーカーに接続されたネット
- ・ 出力 I/O マーカーおよび OBUFT のようなトリステートにできる I/O ELEMENTの両方に接続されたネット

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X1D

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 1 ビットのデュアル ポート SRAM で、同期書き込み機能を備えています。デバイスには、読み出しアドレス (DPRA3 ~ DPRA0) と書き込みアドレス (A3 ~ A0) の 2 種類のアドレスポートがあります。この 2 種類のアドレスポートは非同期です。読み出しアドレスによって出力ピン (DPO) に出力される値が指定され、書き込みアドレスによって書き込みを行う位置が指定されます。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。

WE が High の場合、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 4 ビットの書き込みアドレスで選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

SPO 出力には、A3 ~ A0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。DPO 出力には、DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。

メモ : 書き込み処理は、読み出しアドレスポートのアドレスには影響されません。

INIT 属性を使用すると、RAM を直接初期化できます。値は、INIT=ABAC のように、16 進数で指定してください。INIT 属性を指定しない場合は、RAM は 0 に初期化されます。

論理表

モード選択を次の論理表に示します。

入力			出力	
WE (モード)	WCLK	D	SPO	DPO
0 (読み出し)	X	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	0	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	1	X	data_a	data_d
1 (書き込み)	↑	D	D	data_d
1 (読み出し)	↓	X	data_a	data_d
data_a = A3 ~ A0 で指定されたワード				
data_d = DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたワード				

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

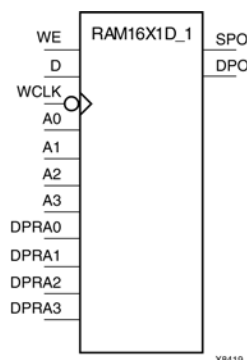
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X1D_1

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Dual Port Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このエレメントは、クロックのネガティブ エッジで動作する 16 ワード X 1 ビットのデュアル ポート SRAM で、同期書き込み機能を備えています。デバイスには、読み出しアドレス (DPRA3 ~ DPRA0) と書き込みアドレス (A3 ~ A0) の独立した 2 種類のアドレス ポートがあります。この 2 種類のアドレス ポートは非同期です。読み出しアドレスによって出力ピン (DPO) に出力される値が指定され、書き込みアドレスによって書き込みを行う位置が指定されます。

ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が High から Low に切り替わるときに、4 ビットの書き込みアドレスで選択されているワードにデータ入力 (D) の値がロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM16X1D_1 を初期化できます。

SPO 出力には、A3 ~ A0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。DPO 出力には、DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたメモリ セルの値が出力されます。

メモ : 書き込み処理は、読み出しアドレス ポートのアドレスには影響されません。

論理表

モード選択を次の論理表に示します。

入力			出力	
WE (モード)	WCLK	D	SPO	DPO
0 (読み出し)	X	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	0	X	data_a	data_d
1 (読み出し)	1	X	data_a	data_d
1 (書き込み)	↓	D	D	data_d
1 (読み出し)	↑	X	data_a	data_d
data_a = A3 ~ A0 で指定されたワード				
data_d = DPRA3 ~ DPRA0 で指定されたワード				

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
DPO	出力	1	読み出し専用 1 ビット データ出力
SPO	出力	1	読み出し/書き込み 1 ビット データ出力
A0	入力	1	読み出し/書き込み address[0] 入力
A1	入力	1	読み出し/書き込み address[1] 入力
A2	入力	1	読み出し/書き込み address[2] 入力
A3	入力	1	読み出し/書き込み address[3] 入力
D	入力	1	書き込み 1 ビット データ入力
DPRA0	入力	1	読み出し専用 address[0] 入力
DPRA1	入力	1	読み出し専用 address[1] 入力
DPRA2	入力	1	読み出し専用 address[2] 入力
DPRA3	入力	1	読み出し専用 address[3] 入力
WCLK	入力	1	書き込みクロック入力
WE	入力	1	書き込みイネーブル入力

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

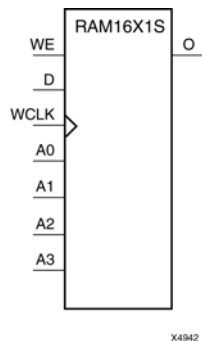
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X1S

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わる時に、データ入力 (D) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM16X1S を初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D	D
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

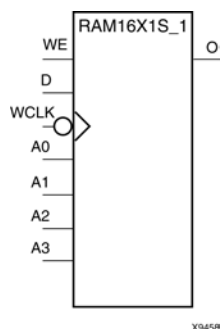
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X1S_1

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このエレメントはクロックの立ち下がりエッジで動作する 16 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が High から Low に切り替わる時に、データ入力 (D) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ Low ですが、インバータを使用してアクティブ High にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中にこのエレメントを初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

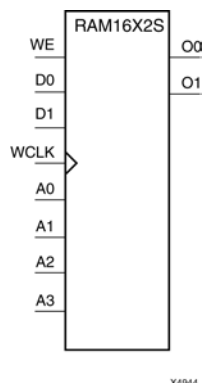
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X2S

プリミティブ : 16-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 2 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High の場合、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D1 ~ D0) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O1 ~ O0) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT_xx 属性を使用すると、の RAM の初期値を指定できます。INIT_00 は出力 (O0) に対応する RAM のセルを初期化し、INIT_01 は出力 (O1) に対応するセルを初期化します。たとえば、RAM16X2S インスタンスは、INIT_00 および INIT_01 にそれぞれ 4 つの 16 進数値を指定して初期化します。RAM16X8S インスタンスは、INIT_00 ~ INIT_07 の 8 個の属性にそれぞれ 4 個の 16 進数値を指定して初期化します。RAM64X2S インスタンスは、INIT_00 および INIT_01 にそれぞれ 16 個の 16 進数値を指定して初期化します。

Virtex-4 デバイス以外では、このエレメントの初期値を直接指定することはできません。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D1 ~ D0	O1 ~ O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D1 ~ D0	D1 ~ D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

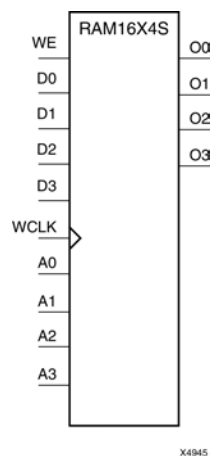
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00 ~ INIT_01	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X4S

プリミティブ : 16-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 4 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D3 ~ D0) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O3 ~ O0) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D3:D0	O3:O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D3:D0	D3:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

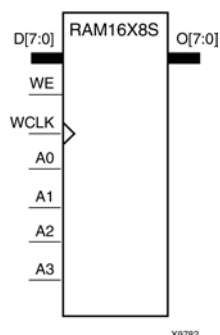
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00 ~ INIT_03	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM16X8S

プリミティブ : 16-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM



概要

このエレメントは 16 ワード X 8 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D7 ~ D0) の値が 4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O7 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D7:D0	O7:O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D7:D0	D7:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A3 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

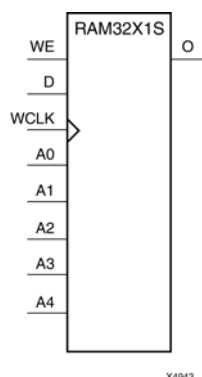
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00 ~ INIT_07	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM32X1S

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM32X1S を初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

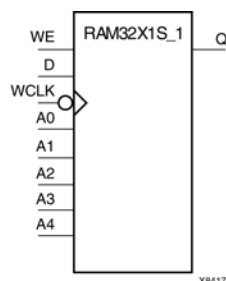
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM32X1S_1

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が High から Low に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ Low ですが、インバータを使用してアクティブ High にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中に RAM32X1S_1 を初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

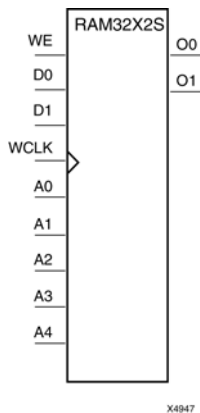
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	0	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM32X2S

プリミティブ : 32-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 2 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D1 ~ D0) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。出力ピン (O1 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT_00 および INIT_01 属性を使用して RAM32X2S の初期値を指定できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O0-O1
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D1:D0	D1:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

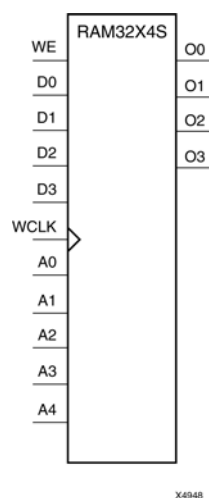
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_01	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM32X4S

プリミティブ : 32-Deep by 4-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 4 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D3 ~ D0) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O3 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE	WCLK	D3 - D0	O3 - O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D3:D0	D3:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

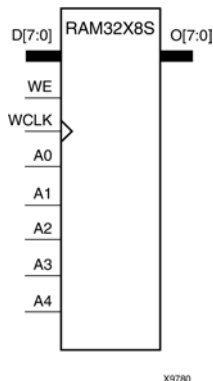
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_01	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_02	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_03	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM32X8S

プリミティブ : 32-Deep by 8-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 8 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D7 ~ D0) の値が 5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O7 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D7:D0	O7:O0
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D7:D0	D7:D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A4 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

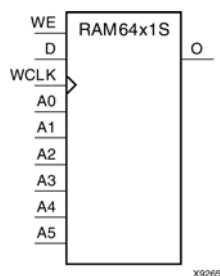
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_01	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_02	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_03	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_04	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_05	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、ルックアップ テーブルの初期値を指定
INIT_06	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_07	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM64X1S

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中にこのELEMENTを初期化できます。

論理表

モード選択を次の論理表に示します。

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D	D
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A5 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

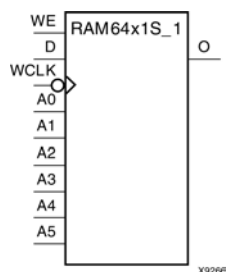
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM64X1S_1

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide Static Synchronous RAM with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が High から Low に切り替わるときに、データ入力 (D) の値が 6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が High から Low に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ Low ですが、インバータを使用してアクティブ High にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O) に出力される値は、アドレスピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。

INIT 属性を使用すると、コンフィギュレーション中にこのELEMENTを初期化できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D	O
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↓	D	D
1 (読み出し)	↑	X	データ
データ = A5 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

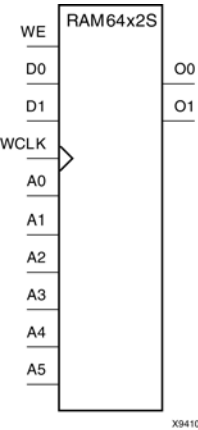
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ROM、RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAM64X2S

プリミティブ : 64-Deep by 2-Wide Static Synchronous RAM



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 2 ビットの SRAM で、同期書き込み機能を備えています。ライト イネーブル (WE) が Low の場合、ライト クロック (WCLK) の遷移は無視され、RAM に格納されている値は変化しません。WE が High になると、WCLK が Low から High に切り替わるときに、入力 (D1 ~ D0) の値が 6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードにロードされます。書き込みを正しく行うには、WCLK が Low から High に切り替わる前に、書き込みアドレスとデータ入力の値を安定させる必要があります。WCLK はデフォルトではアクティブ High ですが、インバータを使用してアクティブ Low にすることもできます。WCLK の入力ネットに配置されたインバータは、RAM ブロック内に組み込まれます。

出力ピン (O1 ~ O0) に出力される値は、アドレス ピンで指定された RAM 内の位置に格納されている値です。INIT_00 および INIT_01 属性を使用してこのデザイン エLEMENTの初期値を指定できます。

論理表

入力			出力
WE (モード)	WCLK	D0 : D1	O0 : O1
0 (読み出し)	X	X	データ
1 (読み出し)	0	X	データ
1 (読み出し)	1	X	データ
1 (書き込み)	↑	D1 : D0	D1 : D0
1 (読み出し)	↓	X	データ
データ = A5 ~ A0 で指定されたワード			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

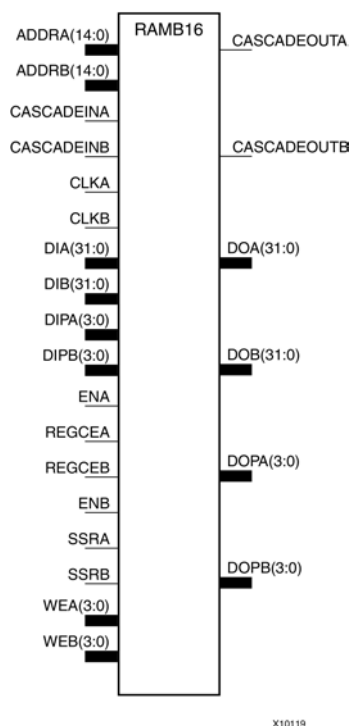
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT_00	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定
INIT_01	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	RAM、レジスタ、LUT の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAMB16

プリミティブ : 16K-bit Data and 2K-bit Parity Single-Port Synchronous Block RAM with Configurable Port Widths



概要

Virtex®-4 および上記のデバイスには、分散 RAM メモリに加え、18Kb のブロック RAM メモリが多数搭載されています。ブロック RAM メモリは真のデュアル ポート RAM であり、デバイス上で高速で離散型の大容量ブロック メモリとして使用できます。メモリは縦に並べられており、ブロック RAM メモリの総容量はデバイスのサイズによって異なります。18Kb ブロックをカスケード接続すると、タイミング遅延を最小限に抑えて、ビット数とワード数の多いメモリをインプリメントできます。

読み出し	読み出しは、クロック エッジに同期して行われます。読み出しアドレスが読み出しポートに取り込まれ、RAM アクセス時間後に保存されているデータが出力ラッチに送信されます。
書き込み	書き込みは、クロック エッジに同期して行われます。書き込みアドレスは書き込みポートに取り込まれ、入力データがメモリに保存されます。

書き込みの動作モード

書き込み中のポートでのデータ出力には、3 つのモードがあります。これらのモードでは、書き込み中に同じポートのデータ出力バスを使用できます。出力オプションは、コンフィギュレーションで指定します。オプションの選択により、各クロック サイクルでのブロック RAM メモリの効率が向上し、最大のバンド幅を使用したデザインが可能になります。

書き込みクロック エッジ後の出力ラッチのデータは、3 つのモードのいずれかを選択して指定します。

WRITE_FIRST (透過) モード	入力データがメモリに書き込まれると同時に、データ出力に送信されます (透過書き込み)。
READ_FIRST (書き込み前に読み出し) モード	書き込みアドレスに以前に保存されたデータが出力ラッチに送信され、それと同時に入力データがメモリに保存されます (書き込み前に読み出し)。
NO_CHANGE (変化なし) モード	書き込み中に出力ラッチは変化しません。

動作モードは、コンフィギュレーション中に設定します。各ポートに対し、属性を使用して 3 つのモードのいずれかを個別に設定できます。デフォルトでは、WRITE_FIRST に設定されています。

ポートの説明

出力ラッチの同期セット/リセット – SRVAL (SRVAL_A および SRVAL_B)

SRVAL_A および SRVAL_B (デュアル ポート) 属性は、SSR 入力のアサートした際の出力ラッチの値を定義します。次の表に示すように、SRVAL (SRVAL_A および SRVAL_B) 属性の幅がポート幅となります。

ポート幅およびデータ幅	DOP バス	DO バス	SRVAL
1	なし	<0>	1
2	なし	<1:0>	2
4	なし	<3:0>	4
9	<0>	<7:0>	(1+8) = 9
18	<1:0>	<15:0>	(2+16) = 18
36	<3:0>	<31:0>	(4 + 32) = 36

オプションの出力レジスタ切り替え – DO[A|B]_REG

RAMB16 の A/B 出力でのパイプライン レジスタの数を設定します。有効な値は 0 および 1 で、デフォルト値は 0 です。

出力レジスタのクロック反転 – INVERT_CLK_DO[A|B]_REG

TRUE に設定すると、RAMB16 の A/B 出力でのパイプライン レジスタのクロック入力が反転されます。デフォルト値は FALSE です。

拡張モード アドレス – RAM_EXTENSION_[A|B]

カスケード モードを使用する場合に、ブロック RAM の A ポートと B ポートを上位アドレス (UPPER) にするか、下位アドレス (LOWER) にするかを指定します。カスケード モードを使用するには、READ_WIDTH_[A/B] および WRITE_WIDTH_[A/B] を 1 に設定する必要があります。デフォルトでは NONE に設定されており、ブロック RAM はカスケード モードでは使用されません。

読み出し幅 – READ_WIDTH_[A|B]

ブロック RAM の A/B 読み出しポートの幅を指定します。有効な値は、0、1、2、4、9、18 および 36 で、デフォルト値は 0 です。両方のポートの READ_WIDTH_[A/B] 属性を同時に 0 に設定しないでください。

書き込み幅 – WRITE_WIDTH_[A|B]

ブロック RAM の A/B 書き込みポートの幅を指定します。有効な値は、0、1、2、4、9、18 および 36 で、デフォルト値は 0 です。

書き込みモード – WRITE_MODE_[A|B]

A/B 入力ポートの書き込みモードを指定します。有効な値は、WRITE_FIRST、READ_FIRST、および NO_CHANGE で、デフォルト値は WRITE_FIRST です。

RAMB16 のロケーション制約

ブロック RAM のインスタンスに LOC プロパティを指定すると、配置を制約できます。ブロック RAM を配置する位置の表記方法は、CLB 位置の表記方法とは異なっており、LOC プロパティを別のアレイでも簡単に使用できます。LOC プロパティは、次の形式で指定します。LOC = RAMB16_X#Y#

RAMB16_X0Y0 は、デバイスの左下にあるブロック RAM の位置を表します。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DOA_REG	整数	0、1	0	A ポート上の出力レジスタ (オプション)
DOB_REG	整数	0、1	0	B ポート上の出力レジスタ (オプション)
INIT_00 ~ INIT_39	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_0A ~ INIT_0F	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_1A ~ INIT_1F	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_2A ~ INIT_2F	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_3A ~ INIT_3F	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	RAM の初期値を指定
INIT_A	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	A 出力ポートの初期値
INIT_B	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	B 出力ポートの初期値
INITP_00 ~ INITP_07	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	パリティビットの初期値
INVERT_CLK_DOA_REG	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	A ポート出力レジスタのクロックを反転
INVERT_CLK DOB_REG	ブール代数	FALSE、TRUE	FALSE	B ポート出力レジスタのクロックを反転
RAM_EXTENSION_A	文字列	LOWER、NONE、UPPER	NONE	カスケードする場合に上位アドレスにするか下位アドレスにするかを指定
RAM_EXTENSION_B	文字列	LOWER、NONE、UPPER	NONE	カスケードする場合に上位アドレスにするか下位アドレスにするかを指定
READ_WIDTH_A	整数	0、1、2、4、9、18、36	0	書き込みポート幅の指定
READ_WIDTH_B	整数	0、1、2、4、9、18、36	0	書き込みポート幅の指定

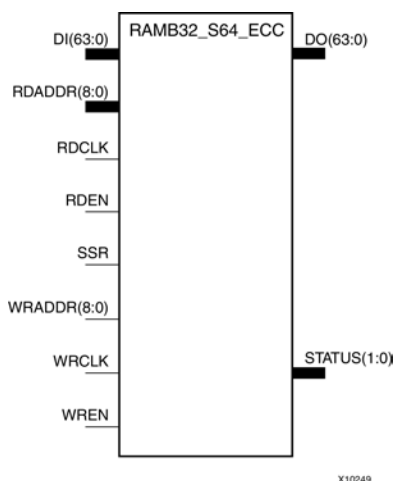
SIM_COLLISION_CHECK	文字列	ALL、WARNING_ONLY、GENERATE_X_ONLY、または NONE	ALL	<p>メモリの競合が発生した場合にシミュレーションの動作を変更できます。詳細は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ALL に設定すると、警告メッセージが出力され、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 ・ WARNING_ONLY に設定すると、警告メッセージのみが出力され、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 ・ GENERATE_X_ONLY に設定すると、警告メッセージは出力されず、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 ・ NONE に設定すると、警告メッセージは出力されず、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 <p>メモ: ALL 以外の値に設定すると、シミュレーション中にデザインの問題を認識できなくなるため、この値を変更する場合は注意が必要です。詳細は、『合成/シミュレーション デザイン ガイド』を参照してください。</p>
SRVAL_A	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	SSR をアサートした際の A ポート出力の値を指定
SRVAL_B	16 進数	36 ビット値	すべてゼロ	SSR をアサートした際の B ポート出力の値を指定
WRITE_MODE_A	文字列	WRITE_FIRST、READ_FIRST、NO_CHANGE	WRITE_FIRST	デュアル ポート RAMB16 のポート A (Sn) の書き込みモードを指定
WRITE_MODE_B	文字列	WRITE_FIRST、READ_FIRST、NO_CHANGE	WRITE_FIRST	デュアル ポート RAMB16 のポート B (Sn) の書き込みモードを指定
WRITE_WIDTH_A	整数	0、1、2、4、9、18、36	0	書き込みポート幅の指定
WRITE_WIDTH_B	整数	0、1、2、4、9、18、36	0	書き込みポート幅の指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート: DC 特性およびスイッチ特性](#)

RAMB32_S64_ECC

プリミティブ : 512 Deep by 64-Bit Wide Synchronous, Two-Port Block RAM with Built-In Error Correction



概要

縦に並ぶ 2 個のブロック RAM は、72 ビット幅 RAM の追加の 8 ビットを使用し、ビルトインのハミング エラー訂正コードを使用した 512 X 64 RAM としてコンフィギュレーションできます。この動作は自動的に行われます。書き込みで 8 個の保護ビットが生成され、これらのビットは読み出しでシングル エラーの訂正やダブル エラーの検知に使用されます。2 つのステータス出力で、エラーなし、シングル エラーの訂正、ダブル エラーの検知という 3 つの読み出し結果を表します。読み出しでは、メモリ アレイのエラーは訂正されず、DOUT に訂正されたデータが送信されるだけです。

エラー訂正コード (ECC) コンフィギュレーション オプションは、ほぼすべてのブロック RAM ペアで使用できますが、Virtex®-4 PowerPC® ブロックのすぐ上またはすぐ下にあるブロック RAM は使用できません。

ポートの説明

ポート名	方向	機能
DIN<63:0>	入力	データ入力バス
WRADDR<8:0>	入力	書き込みアドレス バス
RDADDR<8:0>	入力	読み出しアドレス バス
WREN	入力	ライト イネーブル。WREN = 1 の場合、データがメモリに書き込まれます。WREN = 0 の場合、書き込みはディスエーブルになります。
RDEN	入力	読み出しイネーブル。RDEN = 1 の場合、データがメモリから読み出されます。RDEN = 0 の場合、読み出しはディスエーブルになります。
SSR	入力	セット/リセット出力レジスタ (メモリの内容はセット/リセットしない)
WRCLK	入力	書き込みクロック
RDCLK	入力	読み出しクロック
DOUT<63:0>	出力	データ出力バス
STATUS<1:0>(1)	出力	エラー ステータス バス

メモ : ブロック RAM ECC ロジックにインプリメントされたハミング コードは、検知可能なエラーなし、DOUT でのシングルビット エラーの検知と訂正 (メモリでは訂正されない)、ダブルビット エラーの検知という 3 つの状態のうちいずれかを検知します。STATUS<1:0> は、これらの状態を表します。

STATUS[1:0]	機能
0	ビット エラーなし
1	シングルビット エラー。ブロック RAM ECC マクロは、シングルビット エラーを検知し、自動的に訂正します。
10	ダブルビット エラー。ブロック RAM ECC マクロは、ダブルビット エラーを検知します。
11	中間状態。予測されないステータスです。エラー ステータス バスを正しく機能させるには、データにシングルビット エラーまたはダブルビット エラー以外のエラーが含まれないようにする必要があります。

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

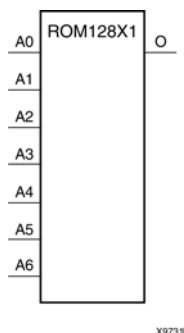
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
DO_REG	整数	0、1	0	A ポート上の出力レジスタ (オプション)
SIM_COLLISION_CHECK	文字列	ALL、NONE、WARNING_ONLY、GENERATE_X_ONLY	ALL	<p>メモリの競合が発生した場合にシミュレーションの動作を変更できます。詳細は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ALL に設定すると、警告メッセージが出力され、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 WARNING_ONLY に設定すると、警告メッセージのみが出力され、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 GENERATE_X_ONLY に設定すると、警告メッセージは出力されず、関連する出力およびメモリの値が不定 (X) になります。 NONE に設定すると、警告メッセージは出力されず、関連する出力およびメモリの値はそのまま保持されます。 <p>メモ : ALL 以外の値に設定すると、シミュレーション中にデザインの問題を認識できなくなるため、この値を変更する場合は注意が必要です。詳細は、『合成/シミュレーション デザイン ガイド』を参照してください。</p>

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ROM128X1

プリミティブ : 128-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 128 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、7 ビットのアドレス (A6 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 32 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

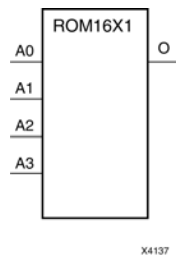
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	128 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ROM16X1

プリミティブ : 16-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 16 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、4 ビットのアドレス (A3 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 4 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。たとえば、INIT=10A7 と指定すると、「0001 0000 1010 0111」というデータストリームが生成されます。INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

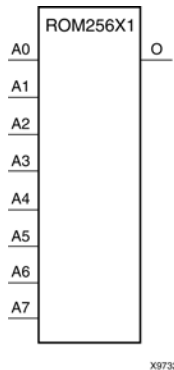
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ROM256X1

プリミティブ : 256-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 256 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、8 ビットのアドレス (A7 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 64 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。

INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

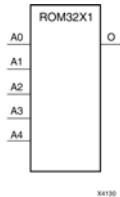
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	256 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ROM32X1

プリミティブ : 32-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 32 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、5 ビットのアドレス (A4 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 8 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=1FH から最下位ビット A=00H の順に書き込まれます。

たとえば、INIT=10A78F39 と指定すると、次のデータストリームが生成されます。0001 0000 1010 0111 1000 1111 0011 1001. INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

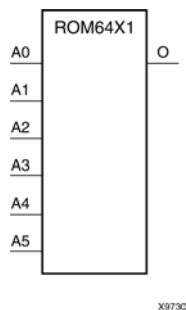
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	32 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

ROM64X1

プリミティブ : 64-Deep by 1-Wide ROM



概要

このデザイン エLEMENTは 64 ワード X 1 ビットの ROM です。データ出力 (O) には、6 ビットのアドレス (A5 ~ A0) で選択されたワードが出力されます。ROM は、コンフィギュレーションの際に INIT=value で指定した値に初期化されます。初期値は 16 桁の 16 進数で、ROM には最上位ビット A=FH から最下位ビット A=0H の順に書き込まれます。INIT=value を指定しないと、エラーになります。

論理表

入力				出力
I0	I1	I2	I3	O
0	0	0	0	INIT(0)
0	0	0	1	INIT(1)
0	0	1	0	INIT(2)
0	0	1	1	INIT(3)
0	1	0	0	INIT(4)
0	1	0	1	INIT(5)
0	1	1	0	INIT(6)
0	1	1	1	INIT(7)
1	0	0	0	INIT(8)
1	0	0	1	INIT(9)
1	0	1	0	INIT(10)
1	0	1	1	INIT(11)
1	1	0	0	INIT(12)
1	1	0	1	INIT(13)
1	1	1	0	INIT(14)
1	1	1	1	INIT(15)

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

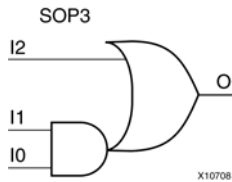
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	64 ビット値	すべてゼロ	ROM の値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP3

マクロ : 3-Input Sum of Products



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

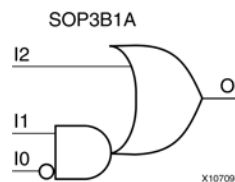
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP3B1A

マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option A)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

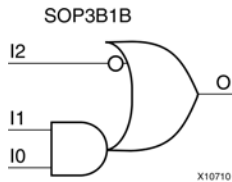
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP3B1B

マクロ : 3-Input Sum of Products with One Inverted Input (Option B)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

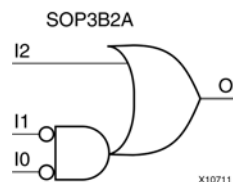
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP3B2A

マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

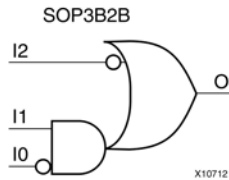
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP3B2B

マクロ : 3-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

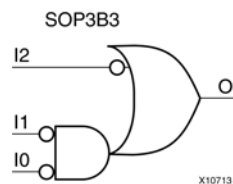
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP3B3

マクロ : 3-Input Sum of Products with Inverted Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは 3 入力の積和 (SOP) マクロで、1 個の AND 出力と 1 個の直接入力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

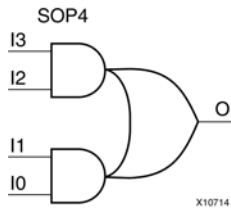
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP4

マクロ : 4-Input Sum of Products



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

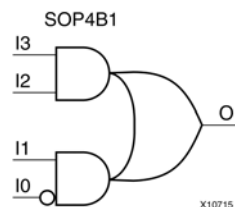
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP4B1

マクロ : 4-Input Sum of Products with One Inverted Input



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

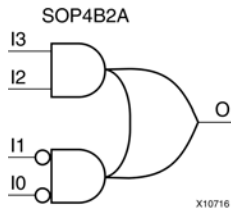
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP4B2A

マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option A)



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

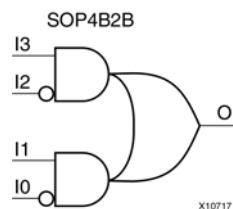
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP4B2B

マクロ : 4-Input Sum of Products with Two Inverted Inputs (Option B)



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

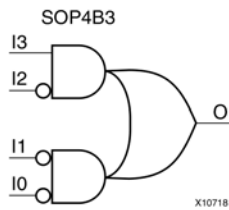
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP4B3

マクロ : 4-Input Sum of Products with Three Inverted Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

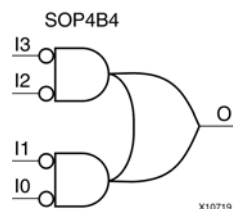
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SOP4B4

マクロ : 4-Input Sum of Products with Inverted Inputs



概要

このデザイン エLEMENTは 4 入力の積和 (SOP) マクロで、2 個の AND 出力を OR ゲートに入力した共通ロジック ファンクションです。反転入力と非反転入力をさまざまに組み合わせたものがあります。

デザインの入力方法

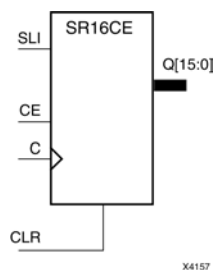
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR16CE

マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Q)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア入力 (CLR) があります。CLR 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High で CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
CLR	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1

z = ビット幅 - 1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

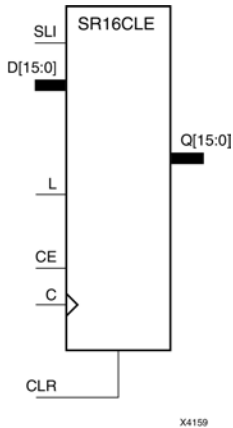
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR16CLE

マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、非同期クリア (CLR) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、Dn ~ D0 入力の値は対応する Qn ~ Q0 ビットにロードされます。

CE が High で L および CLR が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
CLR	L	CE	SLI	Dn : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	X	0	0
0	1	X	X	Dn : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

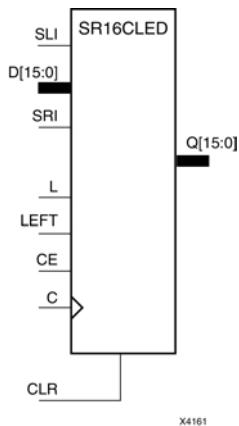
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR16CLED

マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、シフト ライト シリアル入力 (SRI)、パラレル 入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフト レフト/ライト (LEFT)、非 同期クリア (CLR) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。

L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビット にロードされます。CE が High で L および CLR が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビット または 下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値 が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック 遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
CLR	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D15 : D0	C	Q0	Q15	Q14 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D15 : D0	↑	D0	D15	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q14	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1

qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

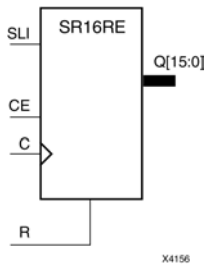
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR16RE

マクロ : 16-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Qn)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット入力 (R) があります。R 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに出力 (Q) が Low にリセットされます。

CE が High で R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに SLI の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High で R が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期的にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
R	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	↑	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

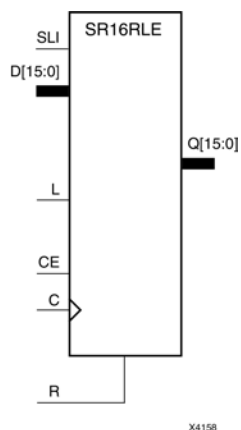
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR16RLE

マクロ : 16-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、同期リセット (R) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合は、C が Low から High に切り替わる時に SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と R が Low の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
R	L	CE	SLI	Dz : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	↑	0	0
0	1	X	X	Dz : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

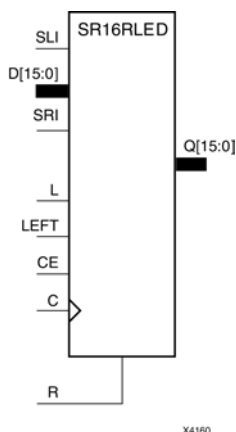
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR16RLED

マクロ : 16-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、シフトライトシリアル入力 (SRI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフトレフト/ライト (LEFT)、同期リセット (R) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
R	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D15:D0	C	Q0	Q15	Q14:Q1
1	X	X	X	X	X	X	↑	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D15:D0	↑	D0	D15	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q14	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

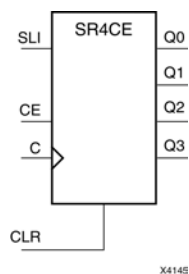
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR4CE

マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Q)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア入力 (CLR) があります。CLR 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High で CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
CLR	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 - 1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

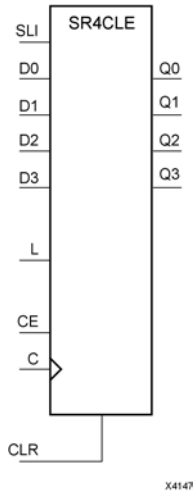
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR4CLE

マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、非同期クリア (CLR) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Dn ~ D0 入力の値は対応する Qn ~ Q0 ビットにロードされます。

CE が High で L および CLR が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
CLR	L	CE	SLI	Dn : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	X	0	0
0	1	X	X	Dn : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし
z = ビット幅 -1							
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値							

デザインの入力方法

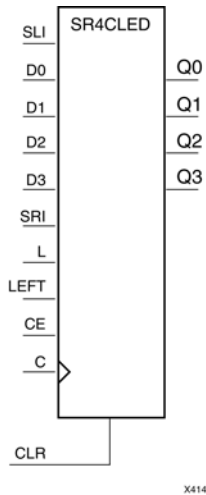
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR4CLED

マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、シフト ライト シリアル入力 (SRI)、パラレル 入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフト レフト/ライト (LEFT)、非 同期クリア (CLR) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。

L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビット にロードされます。CE が High で L および CLR が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビット または下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値 が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック 遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
CLR	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D3 : D0	C	Q0	Q3	Q2 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D3:D0	↑	D0	D3	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q2	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 および qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

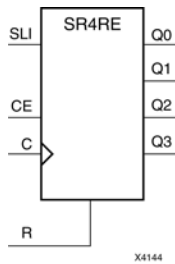
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR4RE

マクロ : 4-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Qn)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット入力 (R) があります。R 入力が高になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。

CE が High で R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に SLI の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わる時に CE が High で R が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
R	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	↑	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 -1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

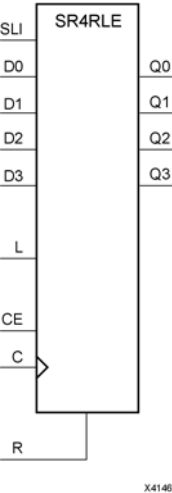
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR4RLE

マクロ : 4-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、同期リセット (R) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合は、C が Low から High に切り替わる時に SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と R が Low の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
R	L	CE	SLI	Dz : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	↑	0	0
0	1	X	X	Dz : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし
z = ビット幅 -1							
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値							

デザインの入力方法

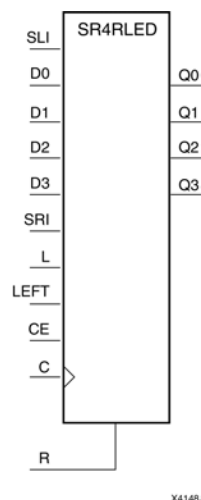
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR4RLED

マクロ : 4-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、シフト ライト シリアル入力 (SRI)、パラレル 入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフト レフト/ライト (LEFT)、同期 リセット (R) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例 : Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
R	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D3 : D0	C	Q0	Q3	Q2 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	↑	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D3 : D0	↑	D0	D3	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q2	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

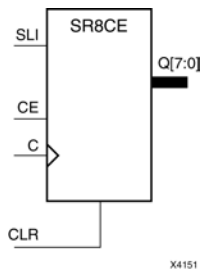
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR8CE

マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Q)、クロック イネーブル (CE)、非同期クリア入力 (CLR) があります。CLR 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。CE が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High で CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例 : SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
CLR	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1

z = ビット幅 - 1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

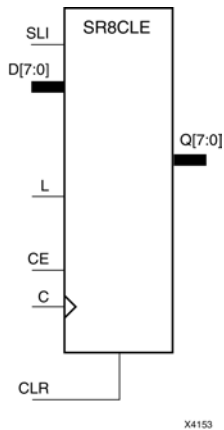
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR8CLE

マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、非同期クリア (CLR) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、Dn ~ D0 入力の値は対応する Qn ~ Q0 ビットにロードされます。

CE が High で L および CLR が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と CLR が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、CLR を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
CLR	L	CE	SLI	Dn : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	X	0	0
0	1	X	X	Dn : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

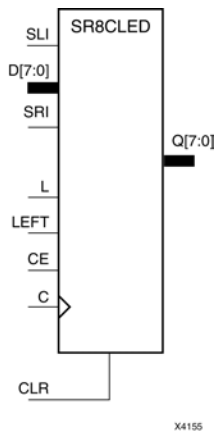
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR8CLED

マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Asynchronous Clear



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、シフトライトシリアル入力 (SRI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロックイネーブル (CE)、ロードイネーブル (L)、シフトレフト/ライト (LEFT)、非同期クリア (CLR) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。CLR が High になると、ほかのすべての入力は無視され、出力 (Q) が Low にリセットされます。

L が High で CLR が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。CE が High で L および CLR が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わる時に SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例: Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わる時に SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバルセット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
CLR	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D7 : D0	C	Q0	Q7	Q6 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	X	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D7 : D0	↑	D0	D7	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q6	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

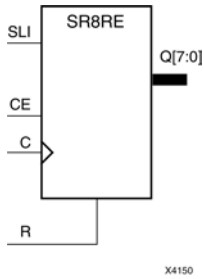
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR8RE

マクロ : 8-Bit Serial-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、パラレル出力 (Qn)、クロック イネーブル (CE)、同期リセット入力 (R) があります。R 入力が高レベルになると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に出力 (Q) が Low にリセットされます。

CE が High で R が Low の場合、クロック (C) が Low から High に切り替わる時に SLI の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次にクロックが Low から High に切り替わる時に CE が High で R が Low の場合、値が次の高位ビットの位置にシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます (例: SLI → Q0、Q0 → Q1、Q1 → Q2)。CE が Low の場合は、クロック遷移は無視されます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力				出力	
R	CE	SLI	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	↑	0	0
0	0	X	X	変化なし	変化なし
0	1	SLI	↑	SLI	qn-1
z = ビット幅 -1					
qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値					

デザインの入力方法

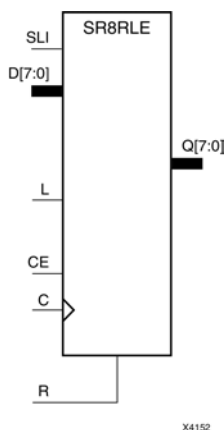
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR8RLE

マクロ : 8-Bit Loadable Serial/Parallel-In Parallel-Out Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフト レフト シリアル入力 (SLI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、同期リセット (R) の 3 つの制御入力があります。L と CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わる時に、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合は、C が Low から High に切り替わる時に SLI 入力の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされ、Q0 に出力されます。次のクロック遷移で CE が High、L と R が Low の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値が Q0 にロードされます。

最後の Q 出力を次の段の SLI 入力に接続し、クロック、CE、L、R を並列に接続すると、複数のレジスタをカスケード接続できます。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力						出力	
R	L	CE	SLI	Dz : D0	C	Q0	Qz : Q1
1	X	X	X	X	↑	0	0
0	1	X	X	Dz : D0	↑	D0	Dn
0	0	1	SLI	X	↑	SLI	qn-1
0	0	0	X	X	X	変化なし	変化なし

z = ビット幅 -1

qn-1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値

デザインの入力方法

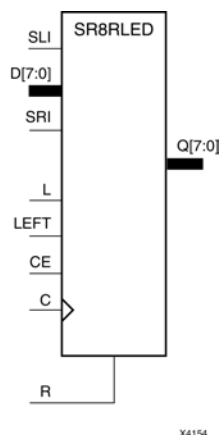
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SR8RLED

マクロ : 8-Bit Shift Register with Clock Enable and Synchronous Reset



概要

このデザイン エLEMENTはシフトレジスタで、シフトレフトシリアル入力 (SLI)、シフトライトシリアル入力 (SRI)、パラレル入力 (D)、パラレル出力 (Q) に加え、クロック イネーブル (CE)、ロード イネーブル (L)、シフトレフト/ライト (LEFT)、同期リセット (R) の 4 つの制御入力があります。CE と L が Low の場合、クロック遷移は無視されます。R が High になると、ほかのすべての入力は無視され、クロック (C) が Low から High に切り替わるときに Q が Low にリセットされます。L が High で R が Low の場合、C が Low から High に切り替わるときに、D 入力の値が対応する Q ビットにロードされます。

CE が High で L および R が Low の場合、LEFT 入力の値に応じて、レジスタの値は高位ビットまたは下位ビットにシフトされます。LEFT が High の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SLI の値が Q0 にロードされ、次の Low から High へのクロック遷移で高位ビットにシフトされます (例: Q0 → Q1、Q1 → Q2)。LEFT が Low の場合は、クロックが Low から High に切り替わるときに SRI の値が最後の Q にロードされ、次のクロック遷移で右方向にシフトされます。論理表にすべての入力条件に対する Q 出力の値を示します。

電力を供給すると、レジスタは非同期にクリアされ、出力が Low になります。FPGA では、グローバル セット/リセット (GSR) をアクティブにすると、電源投入時の状態をシミュレーションできます。GSR のデフォルトはアクティブ High ですが、STARTUP_architecture シンボルの GSR 入力の前にインバータを追加するとアクティブ Low にできます。

論理表

入力								出力		
R	L	CE	LEFT	SLI	SRI	D7 : D0	C	Q0	Q7	Q6 : Q1
1	X	X	X	X	X	X	↑	0	0	0
0	1	X	X	X	X	D7 : D0	↑	D0	D7	Dn
0	0	0	X	X	X	X	X	変化なし	変化なし	変化なし
0	0	1	1	SLI	X	X	↑	SLI	q6	qn-1
0	0	1	0	X	SRI	X	↑	q1	SRI	qn+1
qn-1 または qn+1 = アクティブなクロック エッジの 1 セットアップ タイム前の対応する出力の値										

デザインの入力方法

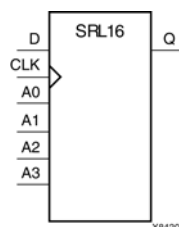
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRL16

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT)



概要

このデザイン エLEMENTは、シフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わると、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

論理表

入力			出力
A _m	CLK	D	Q
A _m	X	X	Q(A _m)
A _m	↑	D	Q(A _m - 1)
m = 0、1、2、3			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

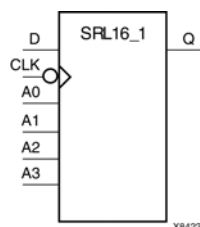
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRL16_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、シフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が High から Low に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが High から Low に切り替わると、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

論理表

入力			出力
Am	CLK	D	Q
Am	X	X	Q(Am)
Am	↓	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

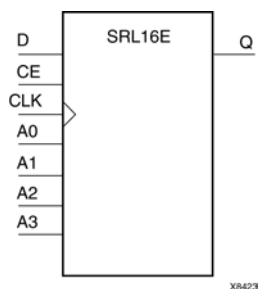
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後の Q 出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRL16E

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、シフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

CE が High の場合、クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

論理表

入力				出力
Am	CE	CLK	D	Q
Am	0	X	X	Q(Am)
Am	1	↑	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3				

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
Q	出力	1	シフトレジスタ データ出力
D	入力	1	シフトレジスタ データ入力
CLK	入力	1	クロック
CE	入力	1	アクティブ High のクロック イネーブル
A	入力	4	SRL のワード数のダイナミック選択 ・ A=0000 ==> 1 ビット シフト長 ・ A=1111 ==> 16 ビット シフト長

デザインの入力方法

このエレメントは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

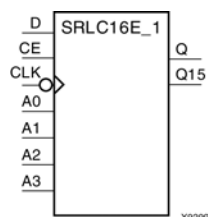
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRL16E_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Negative-Edge Clock and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、クロック イネーブル (CE) があるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) で、クロックの立ち下がりエッジで動作します。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- 固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

CE が High の場合、クロック (CLK) が High から Low に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが High から Low に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。CE が Low の場合、クロック遷移は無視されます。

論理表

入力				出力
Am	CE	CLK	D	Q
Am	0	X	X	Q(Am)
Am	1	↓	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

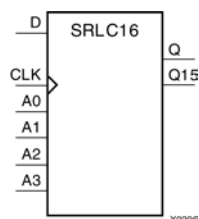
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRLC16

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry



概要

このデザイン エLEMENTは、キャリーがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わると、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力			出力
Am	CLK	D	Q
Am	X	X	Q(Am)
Am	↑	D	Q(Am - 1)
m = 0、1、2、3			

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

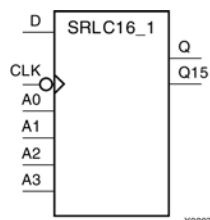
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRLC16_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Negative-Edge Clock



概要

このデザイン エLEMENTは、キャリーがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) で、クロックの立ち下がりエッジで動作します。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力			出力	
A _m	CLK	D	Q	Q15
A _m	X	X	Q(A _m)	変化なし
A _m	↓	D	Q(A _m - 1)	Q14
m = 0、1、2、3				

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

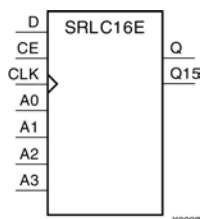
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRLC16E

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、キャリーとクロック イネーブルがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) です。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには** : 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには** : 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

クロック (CLK) が Low から High に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが Low から High に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しいデータがロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力				出力	
Am	CLK	CE	D	Q	Q15
Am	X	0	X	Q(Am)	Q(15)
Am	X	1	X	Q(Am)	Q(15)
Am	↑	1	D	Q(Am - 1)	Q15
m = 0、1、2、3					

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

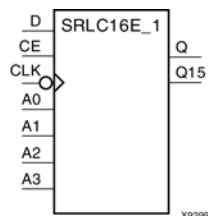
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

SRLC16E_1

プリミティブ : 16-Bit Shift Register Look-Up Table (LUT) with Carry, Negative-Edge Clock, and Clock Enable



概要

このデザイン エLEMENTは、キャリーおよびクロック イネーブルがあるシフトレジスタ ルックアップ テーブル (LUT) で、クロックの立ち下がりがエッジで動作します。シフトレジスタの長さは、入力 A3、A2、A1、A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタの長さは、固定することも、変動させることもできます。

- ・ **固定長のシフトレジスタを作成するには :** 入力 A3 ~ A0 の値を一定の値にします。シフトレジスタは 1 ~ 16 ビットの長さに設定できます。アドレス入力の値によるシフトレジスタの長さは、長さ = $(8 \times A3) + (4 \times A2) + (2 \times A1) + A0 + 1$ という式で算出できます。A3、A2、A1、A0 がすべてゼロの場合 (0000) はシフトレジスタの長さは 1 ビットになり、すべて 1 の場合 (1111) は 16 ビットになります。
- ・ **シフトレジスタ長を動的に変化させるには :** 入力 A3 ~ A0 の値を変化させます。たとえば、A2、A1、A0 がすべて 1 の場合 (111) に A3 を 1 から 0 に切り替えると、シフトレジスタの長さは 16 ビットから 8 ビットに変化します。内部的には、シフトレジスタの長さは常に 16 ビットで、どのビットの値が出力されるかは入力 A3 ~ A0 の値によって決定されます。

シフトレジスタ LUT の初期値を指定するには、INIT 属性に 4 桁の 16 進数を割り当てます。一番左の桁が最上位ビットになります。INIT の値を指定しない場合は、シフトレジスタ LUT の内容はコンフィギュレーション中にゼロ (0000) にクリアされます。

CE が High の場合、クロック (CLK) が High から Low に切り替わるときに、D の値がシフトレジスタの第 1 ビットにロードされます。次にクロックが High から Low に切り替わるときに CE が High の場合、シフトレジスタの値は次の高位ビットにシフトされ、新しい値がロードされます。アドレス入力の値によってシフトレジスタの長さが決まり、Q にその値が出力されます。

メモ : Q15 の出力を使用すると、複数のシフトレジスタ LUT をカスケード接続でき、より大きなシフトレジスタを作成できます。

論理表

入力				出力	
A _m	CE	CLK	D	Q	Q15
A _m	0	X	X	Q(A _m)	変化なし
A _m	1	X	X	Q(A _m)	変化なし
A _m	1	↓	D	Q(A _m -1)	Q14
m = 0、1、2、3					

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

使用可能な属性

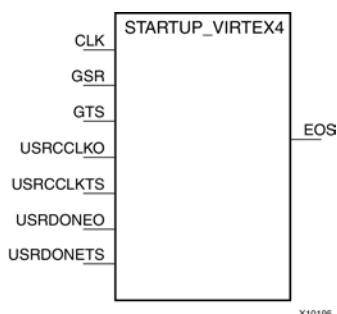
属性	タイプ	値	デフォルト	説明
INIT	16 進数	16 ビット値	すべてゼロ	コンフィギュレーション後のシフトレジスタと出力の初期値を指定

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

STARTUP_VIRTEX4

プリミティブ : Virtex®-4 User Interface to Configuration Clock, Global Reset, Global 3-State Controls, and Other Configuration Signals



概要

このデザイン エLEMENTでグローバル セット/リセット (GSR)、グローバル トライステート (GTS) 制御、コンフィギュレーション クロックをアクティベートし、また、コンフィギュレーション後の DONE および CLK ピンも制御できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
EOS	出力	1	EOS 信号
CLK	入力	1	クロック入力
GTS	入力	1	GTS 制御
GSR	入力	1	Global Set/Reset (GSR)
USRCCLKO	入力	1	外部 CCLK ピンを駆動します。
USRCCLKTS	入力	1	アサートされると、CCLK ピンがトライステートになります。
USRDONEO	入力	1	外部 DONE ピンを駆動します。
USRDONETS	入力	1	アサートされると、DONE ピンがトライステートになります。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

メモ : ブロック RAM、LUT RAM、デジタル クロック マネージャ (DCM)、シフトレジスタ LUT (SRL16、SRL16_1、SRL16E、SRL16E_1、SRLC16、SRLC16_1、SRLC16E、SRLC16E_1) は、セットもリセットもされません。

BSCAN がディスエーブルで EXTEST 命令が実行されていない場合、コンフィギュレーションの後にグローバル トライステート信号 (GTS) が High になると、すべての IOB 出力がハイ インピーダンスになり、デバイスの出力が回路から切り離されます。ただし、入力はアクティブのままです。

CLK 入力を使用すると、JTAG の TCK または CCCLK ピンにクロックを供給する必要はなく、コンフィギュレーション スタートアップ シーケンスに指定の IO を使用してクロックを供給できます。この機能をイネーブルにするには、BitGen でビットストリームを生成する際に、スタートアップ クロックを userclk に設定しておく必要があります。

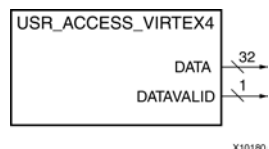
USRCCLKO/TS および USRDONEO/TS は、外部 DONE および CCLK ピンを制御するために使用します。ROM データの FPGA への読み込みなど、さまざまなアプリケーションで、STARTUP_VIRTEX4 を USR_ACCESS_VIRTEX4 プリミティブと共に使用できます。詳細は、「USR_ACCESS_VIRTEX4」を参照してください。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

USR_ACCESS_VIRTEX4

プリミティブ : 32-Bit Register with a 32-Bit DATA Bus and a DATAVALID Port



概要

このデザイン エLEMENTは、ビットストリームからのデータに FPGA から直接アクセスできるようにする 32 ビットレジスタです。このモジュールには、32 ビット DATA バスと DATAVALID の 2 つの出力があります。コンフィギュレーション データソース クロックには、CCLK または TCK を使用します。

このブロックは、FPGA がコンフィギュレーションされた後に、ビットストリーム データ格納ソース (PROM など) のデータに FPGA からアクセスできるようにします。この機能を使用するには、STARTUP_VIRTEX4 ブロックもインスタンス化する必要があります。STARTUP_VIRTEX4 ブロックには、EOS (End-Of-Startup) 信号がアサートされた後に CCLK および DONE ピンをユーザーが使用できるようにする入力があります。これらのピンは、USR_CCLK_O、USR_CCLK_TS、USR_DONE_O、および USR_DONE_TS です。DONE ピンが High になると PROM がリセットされてしまうので、BitGen の -g DONE_cycle: 7 オプションを使用して、DONE ピンが High にならないようにする必要があります。USR_CCLK_O ピンは、FPGA 内の制御クロックに接続します。PROM には、USR_ACCESS レジスタをターゲットとしたデータ パケットが含まれている必要があります。EOS がアサートされたら、USR_CCLK_TS を Low に保持した状態で、USR_CCLK_O ピンにクロックを供給するとデータ パケットを読み込むことができます。この使用方法では、USR_CCLK_TS を Low に接続しておくこともできます。

また、BRAM または LUTRAM で定数を保存する代わりに、USR_ACCESS レジスタに 32 ビットの定数値 1 つを保存できます。

ポートの説明

ポート名	方向	幅	機能
DATA	出力	32	FPGA でビットストリーム データの格納ソースからのデータにアクセスできるようにする 32 ビットレジスタです。
DATAVALID	出力	1	DATA バスの値が有効 (新規) であるかを示す。真の場合、コンフィギュレーション データソース クロックの 1 サイクル間 High にアサートされます。

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

このモジュールを使用してビットストリーム データ格納ソース (PROM など) のデータに FPGA からアクセスできるようにする場合は、STARTUP_VIRTEX4 ブロックもインスタンス化する必要があります。STARTUP_VIRTEX4 モジュールには、EOS (End-Of-Startup) 信号がアサートされた後に CCLK および DONE ピンをユーザーが使用できるようにする入力があります。これらのピンは、USR_CCLK_O、USR_CCLK_TS、USR_DONE_O、および USR_DONE_TS です。

USR_CCLK_O ピンは、FPGA 内の制御クロックに接続します。データ格納ソースには、USR_ACCESS_VIRTEX4 レジスタをターゲットとしたデータ パケットが含まれている必要があります。EOS がアサートされたら、USR_CCLK_TS を Low に保持した状態で、USR_CCLK_O ピンにクロックを供給するとデータ パケットを読み込むことができます。この使用方法では、USR_CCLK_TS を Low に接続しておくこともできます。

また、このモジュールを使用する場合は、BitGen の -g DONE_cycle: 7 オプションを使用して、DONE ピンが High にならないようにする必要があります。DONE が High にアサートされると、PROM がリセットされてしまいます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

VCC

プリミティブ : VCC-Connection Signal Tag



概要

このデザイン エLEMENTは信号タグまたはパラメータであり、ネットや入力ファンクションを強制的に High にします。このELEMENTに接続したネットを、ほかのソースに接続することはできません。

配置配線のプロセスで VCC に接続されたネットまたは入力ファンクションが検出されると、VCC 信号でディスエーブルになるロジックは削除されます。VCC 信号は、ディスエーブルされたロジックが削除できない場合のみインプリメントされます。

デザインの入力方法

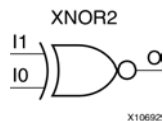
このELEMENTは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR2

プリミティブ : 2-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

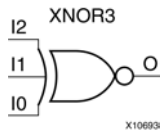
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR3

プリミティブ : 3-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I2	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

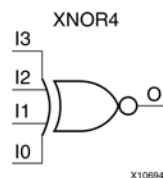
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR4

プリミティブ : 4-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I2	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

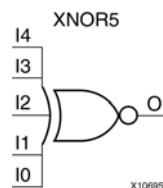
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR5

プリミティブ : 5-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

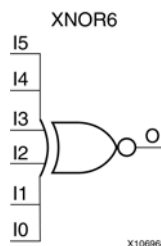
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR6

マクロ : 6-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

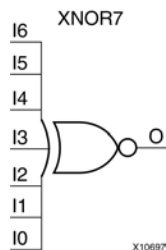
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR7

マクロ : 7-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力 が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力 で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

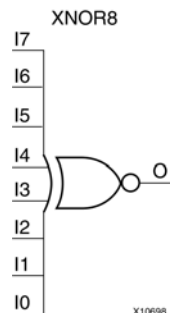
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR8

マクロ : 8-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... Iz	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

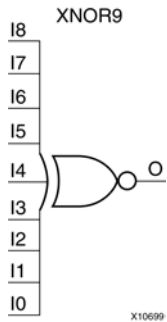
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XNOR9

マクロ : 9-Input XNOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XNOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

論理表

入力	出力
I0 ... I8	O
奇数個の 1	0
偶数個の 1	1

デザインの入力方法

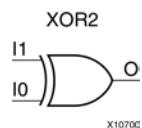
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR2

プリミティブ : 2-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

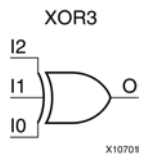
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR3

プリミティブ : 3-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

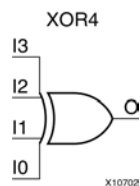
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR4

プリミティブ : 4-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

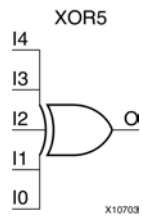
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR5

プリミティブ : 5-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

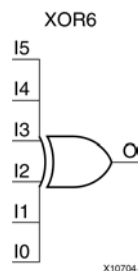
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR6

マクロ : 6-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 9 個のものまでありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力に CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

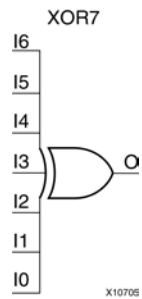
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR7

マクロ : 7-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力が 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力で CLB リソースが使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

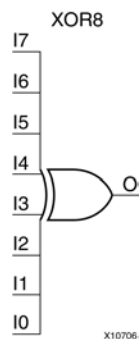
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR8

マクロ : 8-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 が 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力 で CLB リソース が使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

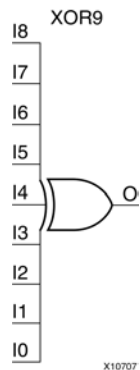
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XOR9

マクロ : 9-Input XOR Gate with Non-Inverted Inputs



概要

XOR ファンクションには入力 が 9 個のものまでがありますが、入力はすべて非反転入力です。各入力 で CLB リソース が使用されるので、必要な入力数のファンクションを使用するようにしてください。

デザインの入力方法

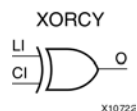
このエレメントは、回路図でのみ使用できます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XORCY

プリミティブ : XOR for Carry Logic with General Output



概要

このデザイン エLEMENTは、一般出力 (O) のある特殊な XOR ゲートで、高速で小型の演算ファンクションを生成するために使用します。このプリミティブは、スライスのキャリーチェーン ロジック内の専用 XOR ファンクションで、演算ファンクション (加算または除算) または多入力ロジック ファンクション (多入力 AND または OR ゲート) を高速かつ効率的に作成できます。

論理表

入力		出力
LI	CI	O
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

デザインの入力方法

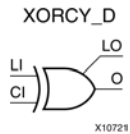
このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XORCY_D

プリミティブ : XOR for Carry Logic with Dual Output



概要

このデザイン エLEMENTは、一般出力 (O) とローカル出力 (LO) のある特殊な XOR ゲートで、高速で小型の演算ファンクションを生成するために使用します。

論理表

入力		出力
LI	CI	O および LO
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)

XORCY_L

プリミティブ : XOR for Carry Logic with Local Output



概要

このデザイン エLEMENTは、ローカル出力 (LO) のある特殊な XOR ゲートで、高速で小型の演算ファンクションを生成するために使用します。

論理表

入力		出力
LI	CI	LO
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

デザインの入力方法

このELEMENTは、回路図で使用されます。

詳細情報

- ・ [Virtex-4 FPGA ユーザー ガイド](#)
- ・ [Virtex-4 FPGA データシート : DC 特性およびスイッチ特性](#)